

令和4年度宮城県
多文化共生アンケート調査
(外国人対象調査)

調査結果報告書

令和5年3月

宮城県

目 次

I	調査概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査対象	1
3.	調査方法	1
4.	調査期間	1
5.	調査票言語	1
6.	調査項目	1
7.	回収結果	1
8.	調査結果の見方	2
9.	宮城県における在留外国人の概況	3
	(1) 在留外国人数の推移	3
	(2) 国籍別登録者数	3
	(3) 在留資格別登録者数	4
	(4) 年齢別登録者数	4
	(5) 男女別登録者数	5
II	調査結果	6
1.	基本属性	6
	(1) 国籍	6
	(2) 居住地	6
	(3) 性別	7
	(4) 年齢	7
	(5) 婚姻状況	8
	(6) 同居人	8
	(7) 在留資格	9
	(8) 今後の居住予定	10
	(9) 日本国籍の取得予定	12
2.	日常生活	14
	(10) 生活満足度	14
	(11) 個別の事柄の満足度	16
3.	言語	23
	(12) 日本語能力	23
	(13) 日本語の必要性	35

(14) 日本語の学習状況	37
(15) 日本語の学習方法	39
(16) 日本語を学習しない理由	41
4. 情報	43
(17) 生活に必要な情報の入手先	43
5. 居住	46
(18) 居住年数	46
(19) 以前の居住地	50
6. 医療・福祉	52
(20) 保健・医療・介護サービスの利用経験	52
(21) 病院で困った経験	54
(22) 病院に求める言語支援	56
7. 育児・教育	58
(23) 18歳未満の子どもの有無・年齢	58
(24) 子どもと会話する言語	62
(25) 育児で困っていること	65
(26) 子育て支援制度の利用経験	67
(27) 教育で困っていること	68
(28) 母国語・母国文化の教育	70
(29) 母国語・母国文化の教育をしていない理由	72
8. 労働	74
(30) 現在の雇用形態	74
(31) 現在の職業	76
(32) 現在の仕事の見つけ方	78
(33) 仕事上の困りごと・不満	80
(34) 今後の勤務地	82
(35) 仕事を探していない理由	84
9. 社会生活一般	86
(36) 日本人との付き合い	86
(37) 相談相手	91
(38) 日本人との交流希望	96
(39) 差別経験	98
(40) いやな経験、つらい思いの具体的内容	100
(41) 現在困っていること	102

(42) 社会活動	105
10. 防災・感染症対策	112
(43) 防災用語についての知識	112
(44) 災害から身を守る方法	118
(45) 新型コロナウイルス感染症の影響による困りごと	120
(46) 災害（防災）や感染症（予防・対策）に関する情報の入手先.....	122
11. 行政	125
(47) 行政施設を利用する上で困ったこと	125
(48) 行政施設を利用する上でどのような時に困ったと感じたか.....	127
(49) 充実してほしい行政情報	129
(50) 「外国人住民向け情報発信プラットフォーム」に求める情報や機能.....	132
(51) 行政に求めること	134

参考資料

1. 自由意見一覧
2. アンケート調査票

I 調査概要

1. 調査の目的

県では、「多文化共生社会の形成の推進に関する条例」に基づき、平成31年3月に「第3期宮城県多文化共生社会推進計画」（平成31年度～令和5年度）を策定し、多文化共生施策の基本的方向性と取組方針を定め、これに基づいた施策を実施している。

今後の推進計画の改訂に向けた内容検討のため、県民（18歳以上の日本人県民及び外国人県民）に日常生活での困りごとや、地域での日本人・外国人の関わりについての意識調査を実施した。

2. 調査対象

宮城県内に住民登録のある18歳以上の外国人県民から無作為抽出した方を対象

3. 調査方法

設問法による無記名のアンケート調査（郵送配布・郵送回収・調査票に記載のURLやQRコードからのWEB回答併用）

4. 調査期間

令和4年11月28日（月）～令和4年12月26日（月）

※集計には令和5年1月18日（水）回収分までを含む

5. 調査票言語

日本語（ふりがな付き）、中国語（簡体字）、韓国語、英語、ベトナム語、ネパール語

6. 調査項目

1 基本属性（9問）	5 居住（2問）	9 社会生活一般（7問）
2 日常生活（2問）	6 医療・福祉（3問）	10 防災・感染症対策（4問）
3 言語（5問）	7 育児・教育（7問）	11 行政（5問）
4 情報（1問）	8 労働（6問）	12 自由意見 全52問

7. 回収結果

配付数	返戻数	①調査実施数 (配布数-返戻数)
1,900	64	1,836

郵送回収数	WEB回収数	②有効回収数 (郵送回収数+WEB回収数)	有効回収率 (②/①)
364	66	430	23.4%

（無効票：郵送1、WEB1を除く）

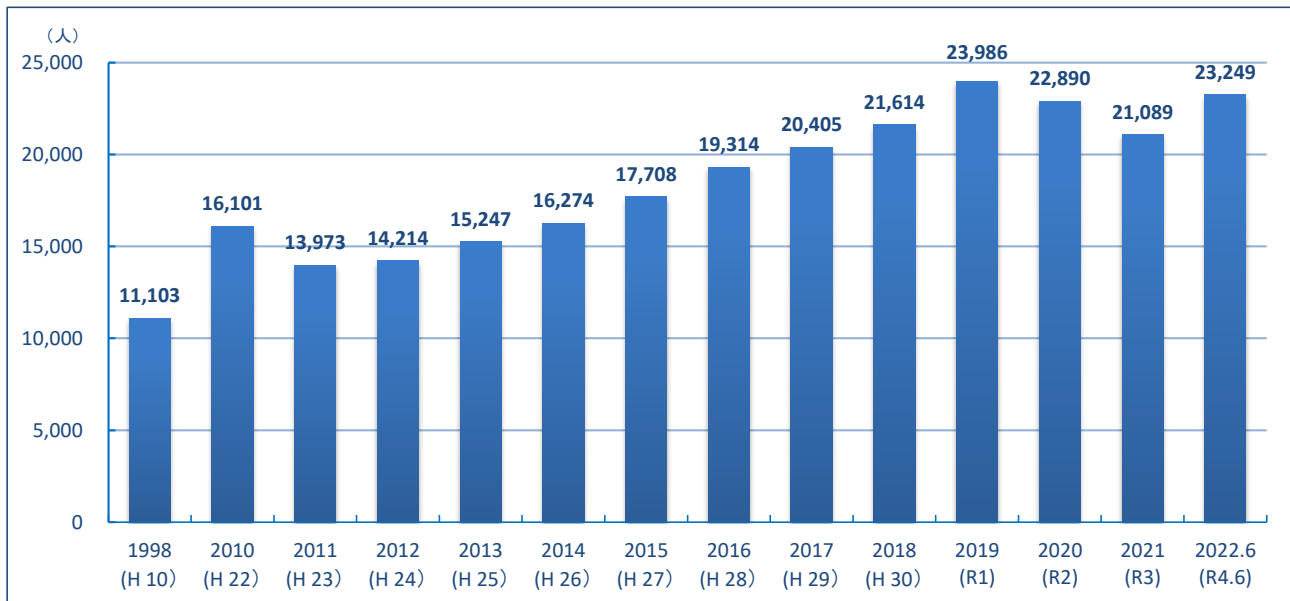
8. 調査結果の見方

- (1) n (number of cases) は比率算出の基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを示す。
- (2) 回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。したがって、単一回答形式の質問においては、回答比率を合計しても100.0%にならない場合がある。また、回答者が2つ以上の回答をすることができる複数回答形式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると100.0%を超える。
- (3) 図表及び本文で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- (4) 調査数 (n 値) が少数のものは、回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析では言及していない。

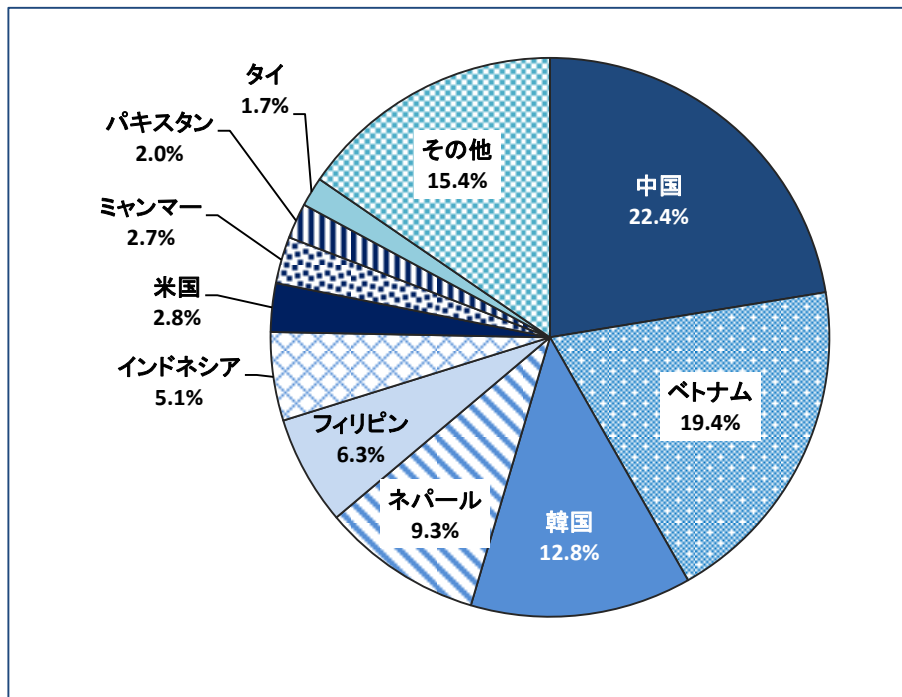
9. 宮城県における在留外国人の概況（令和4年（2022年）6月末現在）

（【出典】法務省「在留外国人統計」）

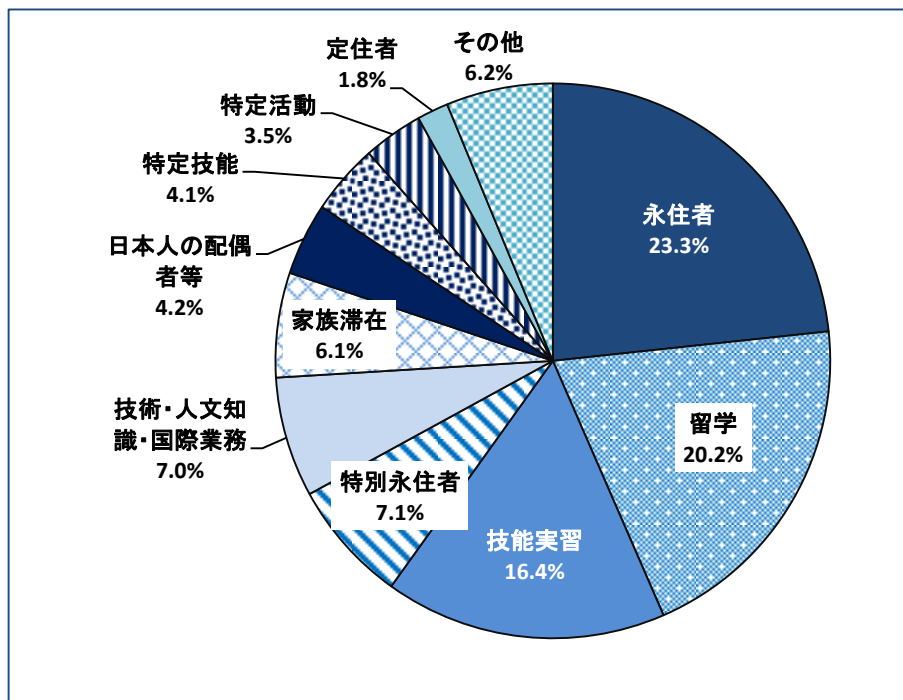
（1）在留外国人数の推移



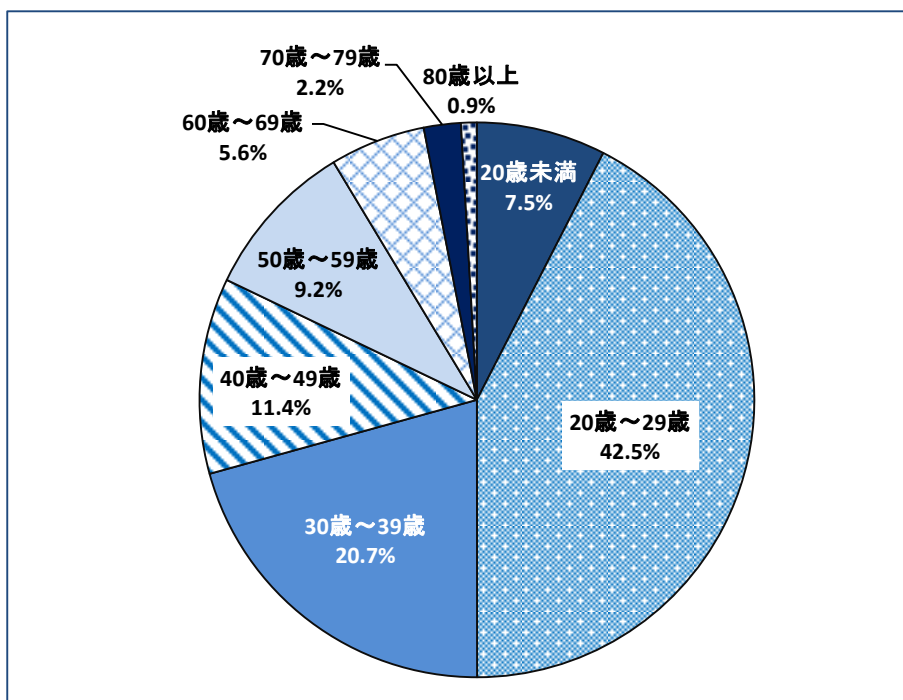
（2）国籍別登録者数



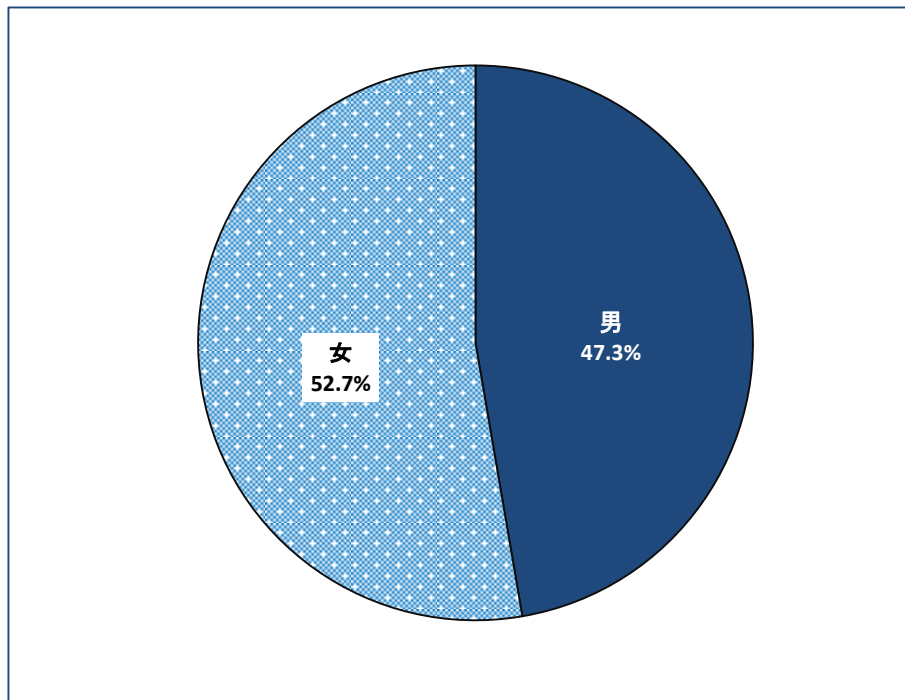
(3) 在留資格別登録者数



(4) 年齢別登録者数



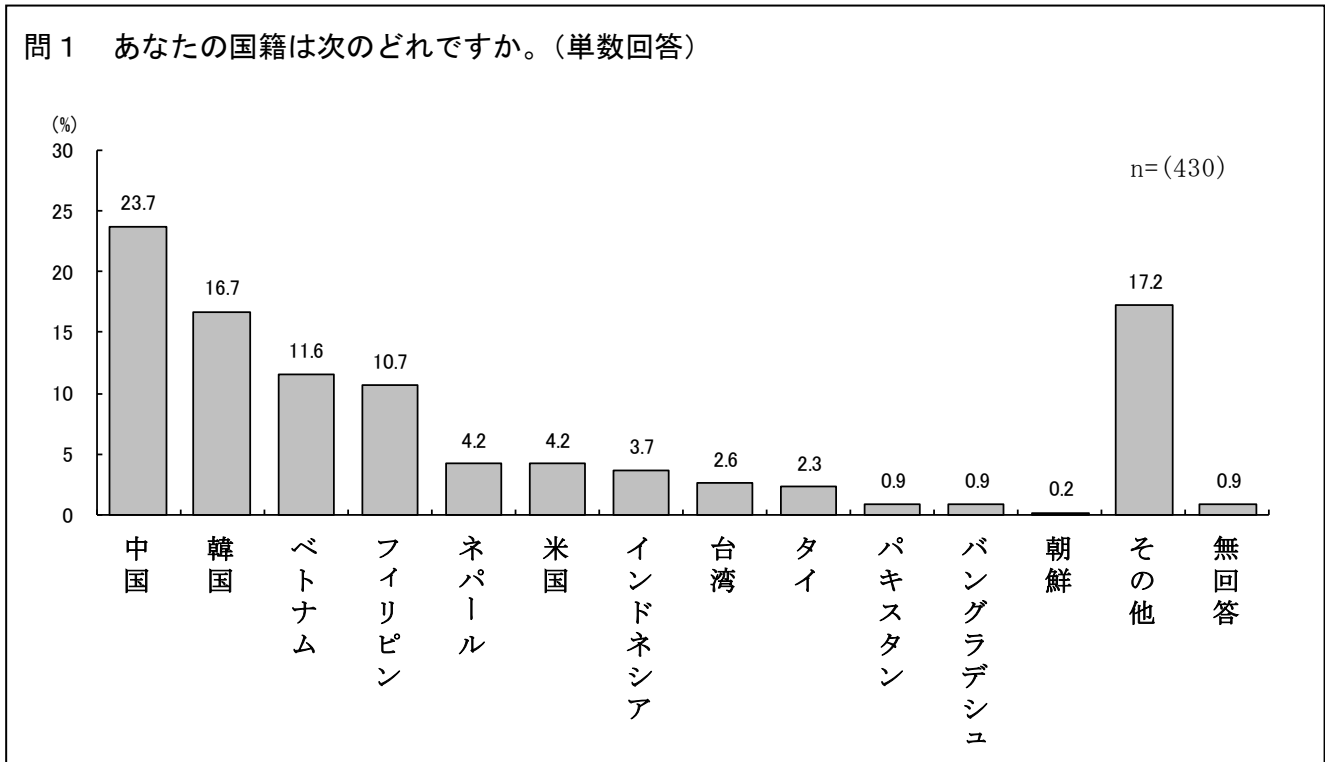
(5) 男女別登録者数



Ⅱ 調査結果

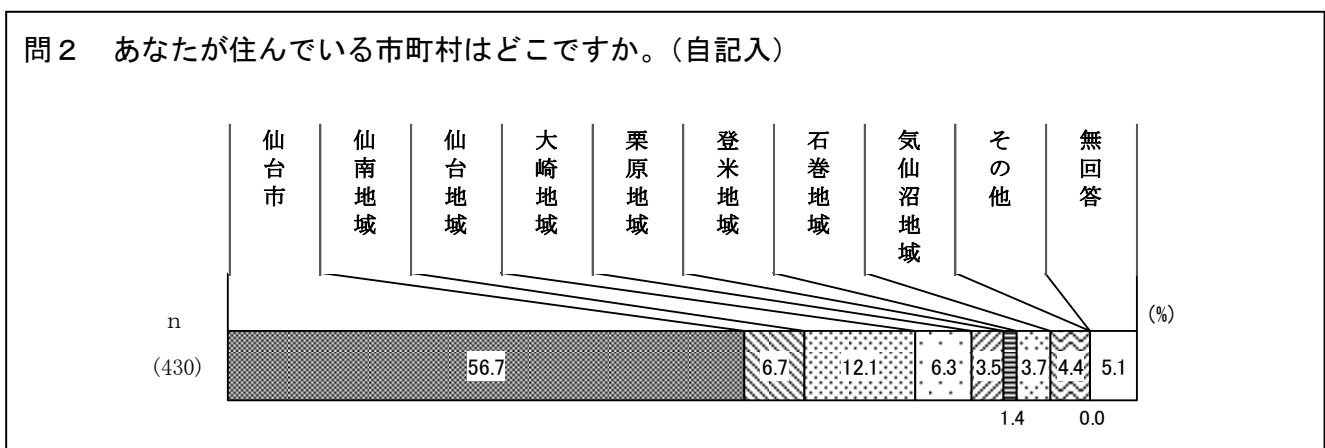
1. 基本属性

(1) 国籍



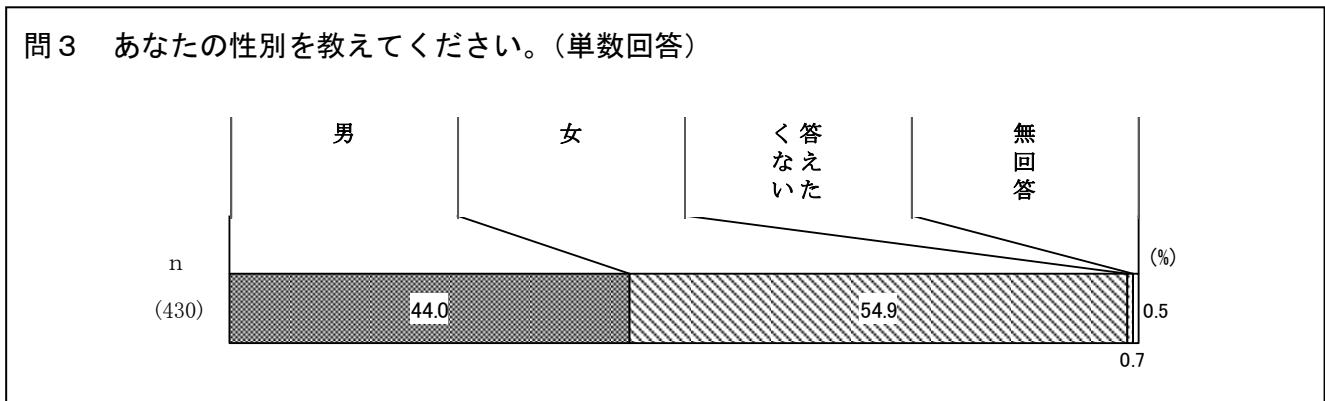
回答者の国籍は、「中国」が23.7%と最も多くなっており、以下、「韓国」が16.7%、「ベトナム」が11.6%、「フィリピン」が10.7%などとなっている。

(2) 居住地



回答者の居住地は、「仙台市」が56.7%と最も多く、以下、「仙台地域」が12.1%、「仙南地域」が6.7%、「大崎地域」が6.3%などとなっている。

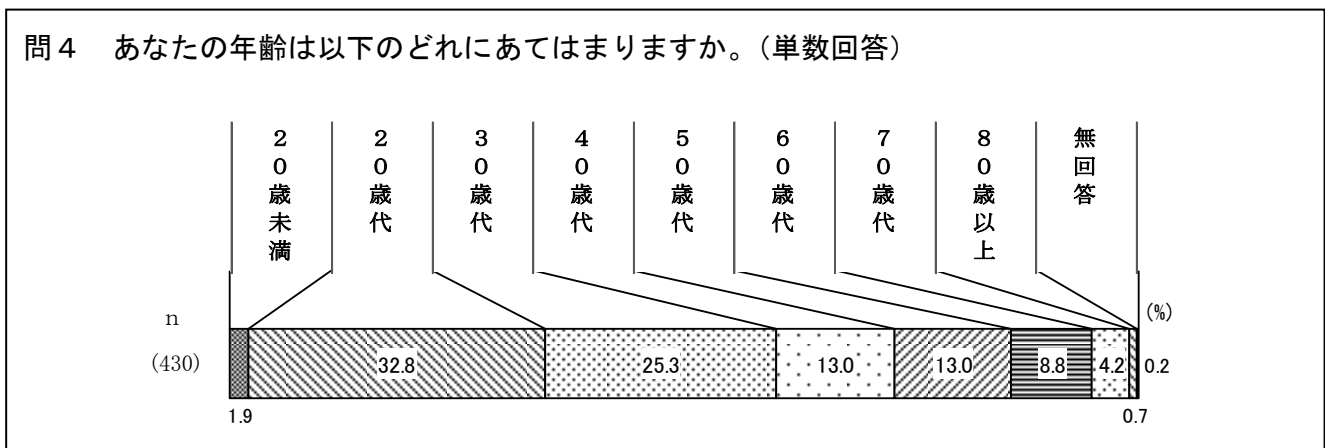
(3) 性別



回答者の性別は、「女性」が 54.9%と、「男性」の 44.0%をやや上回っている。

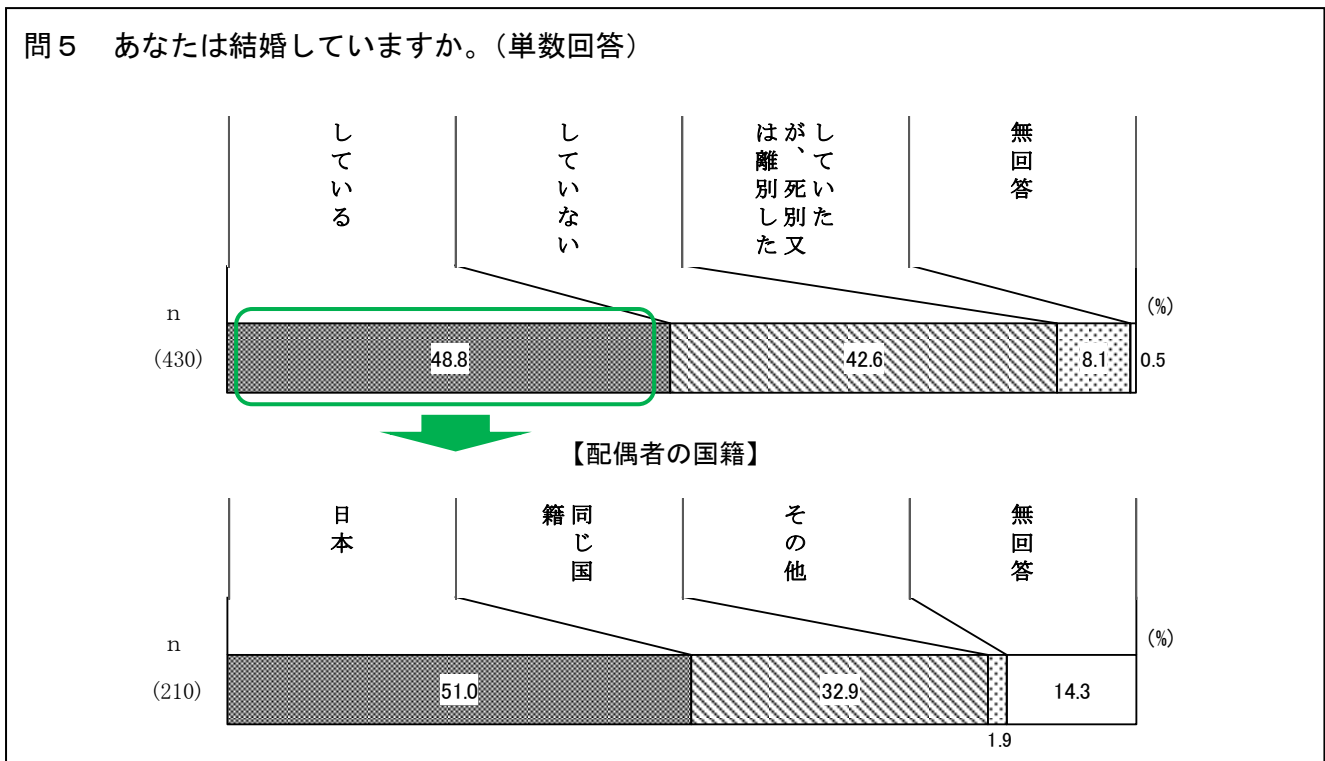
なお、2022 年 6 月の法務省在留外国人統計では、宮城県在住の外国籍者のうち「女性」は 52.7%、「男性」は 44.0%となっており、今回の調査では女性の回答者割合はやや高くなっている。

(4) 年齢



回答者の年齢は、「20歳代」が 32.8%と最も多く、以下「30歳代」「40歳代」「50歳代」がともに 13.0%となっており、《30歳代以下》の回答者は全体の約 6 割を占める。

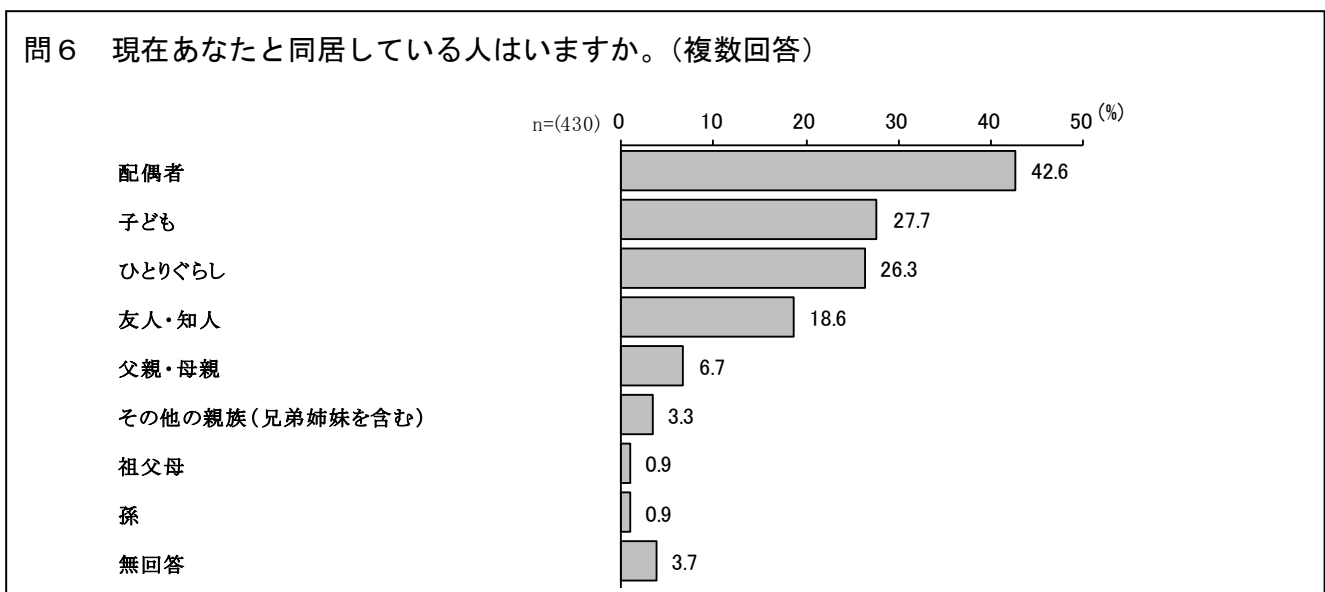
(5) 婚姻状況



回答者の婚姻状況は、48.8%が既婚、42.6%が未婚となっている。

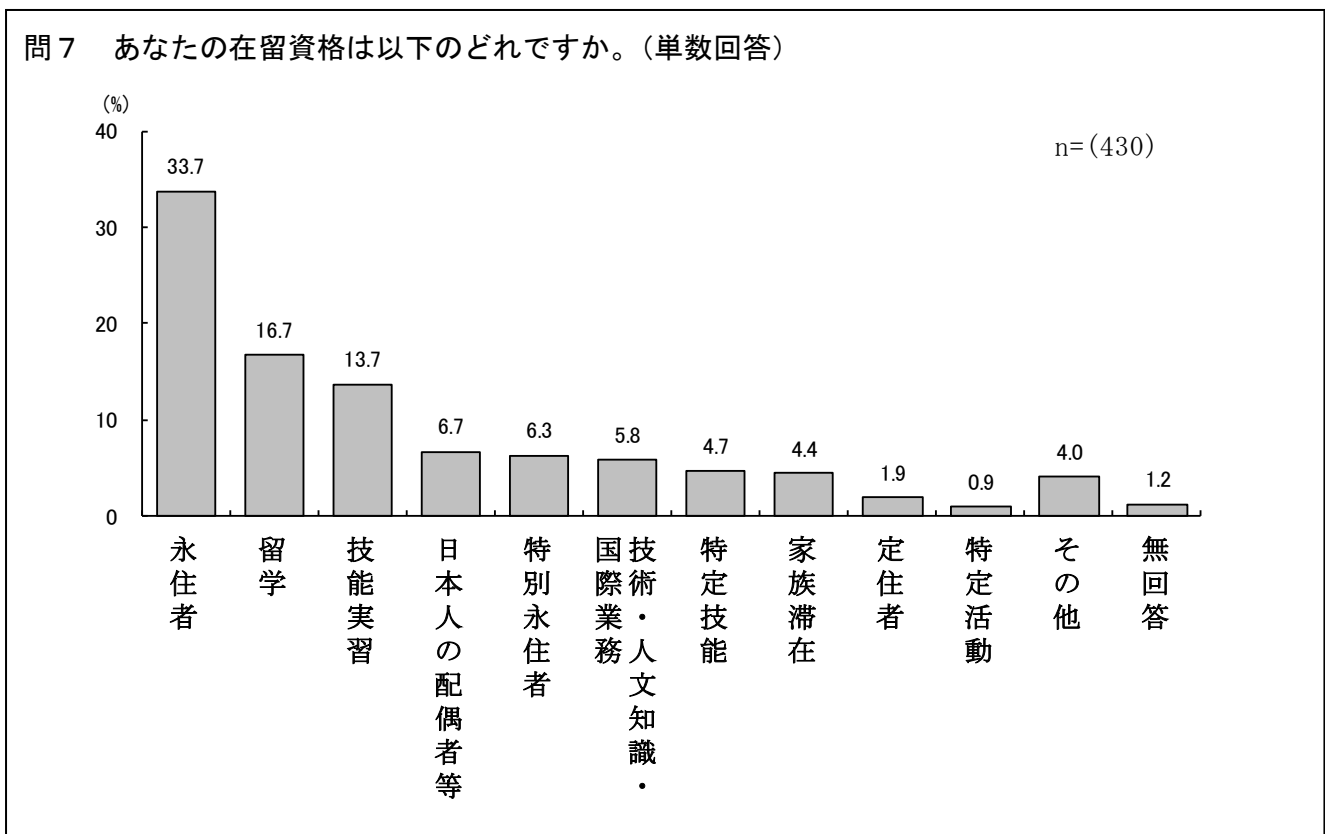
既婚者のうち、配偶者が日本国籍である人は51.0%と約半数を占めており、回答者と同国籍である人は32.9%である。

(6) 同居人



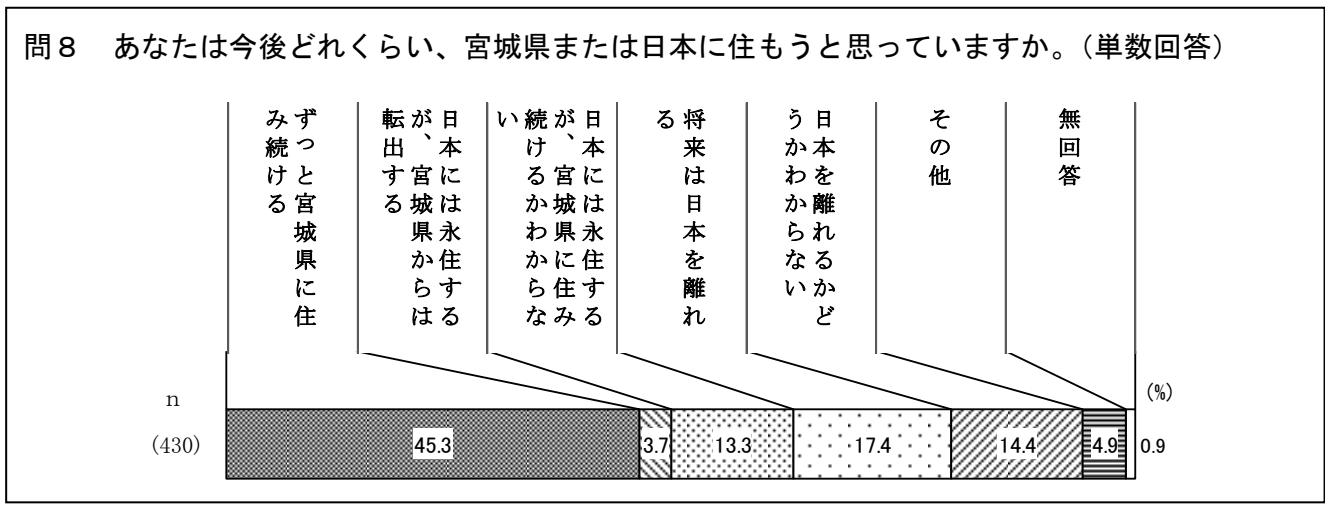
回答者の同居状況は、「ひとりぐらし」の人は26.3%で、誰かと同居している人は70.0%となっている。同居している相手は、「配偶者」が42.6%と最も多く、以下、「子ども」(27.7%)、「友人・知人」(18.6%)、「父親・母親」(6.7%)、「その他の親族(兄弟姉妹を含む)」(3.3%)などとなっている。

(7) 在留資格



回答者の在留資格は、「永住者」が 33.7%と最も多く、以下、「留学」(16.7%)、「技能実習」(13.7%)、「日本人の配偶者等」(6.7%)、「特別永住者」(6.3%) などとなっている。

(8) 今後の居住予定

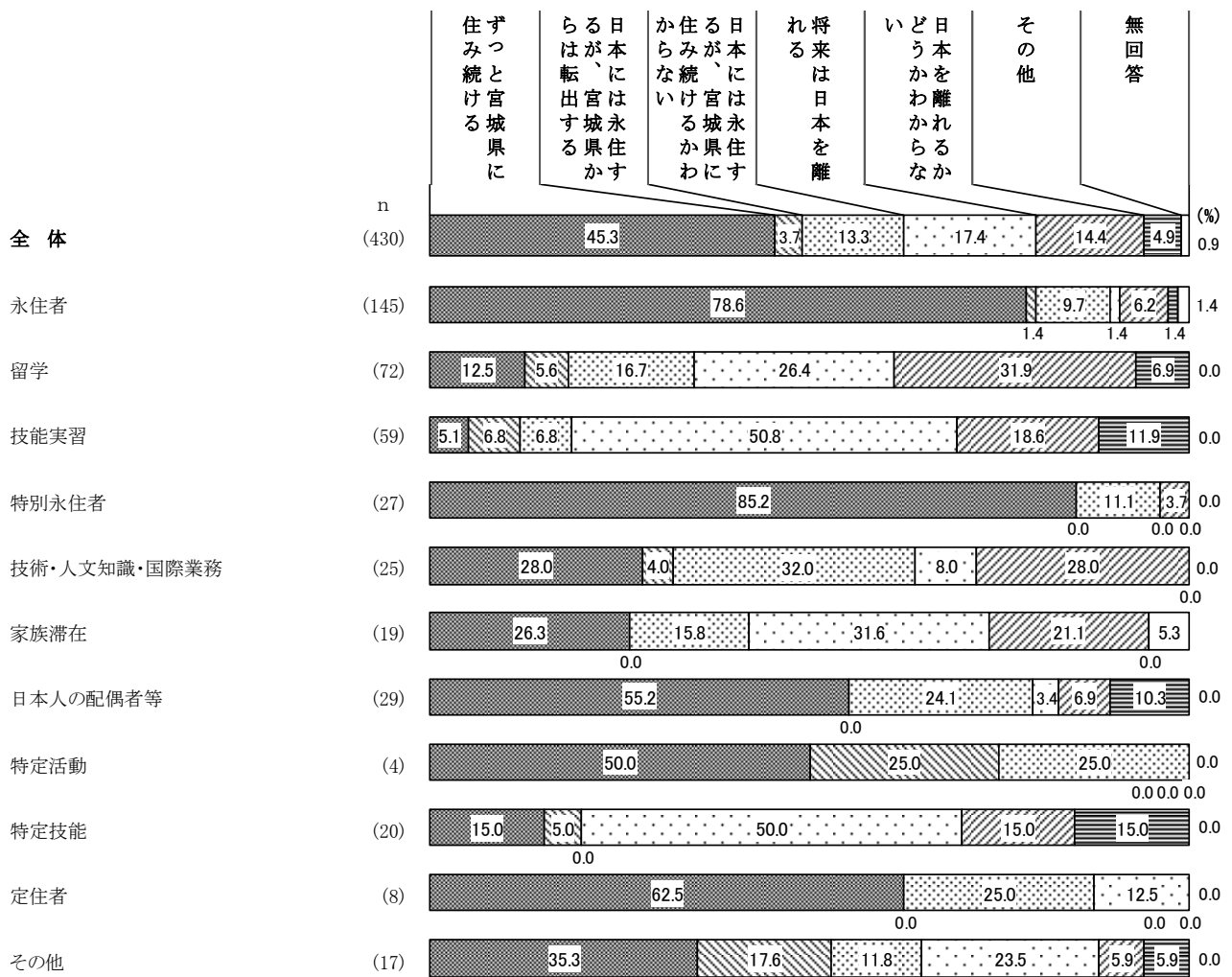


今後の居住予定は、「ずっと宮城県に住み続ける」が最も多く 45.3%となっている。

一方、「日本には永住するが、宮城県からは転出する」(3.7%)と「日本には永住するが、宮城県に住み続けるかわからない」(13.3%)を合わせた《宮城県以外で日本に定住》する人は17.0%で、「将来は日本を離れる」人も17.4%と、ほぼ同率となっている。

なお、「日本を離れるかどうかかわからない」人は14.4%となっている。

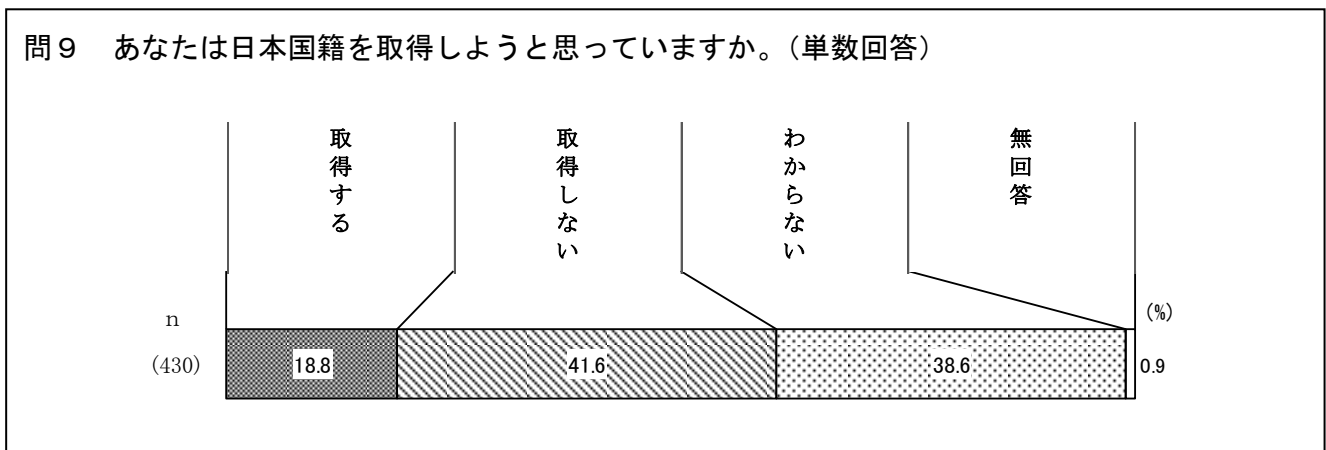
【在留資格別 今後の居住予定】



在留資格別の今後の居住予定は、永住者、特別永住者、日本人の配偶者等では「ずっと宮城県に住み続ける」が最も多く 50%を超えている。技術・人文知識・国際業務では「日本には永住するが、宮城県に住み続けるかわからない」(32.0%) が最も多くなっている。

一方、技能実習では、「将来は日本を離れる」(50.8%) が最も多く、留学では「将来は日本を離れる」(26.4%) であるものの、「日本を離れるかどうかはわからない」(31.9%) が最も多くなっている。

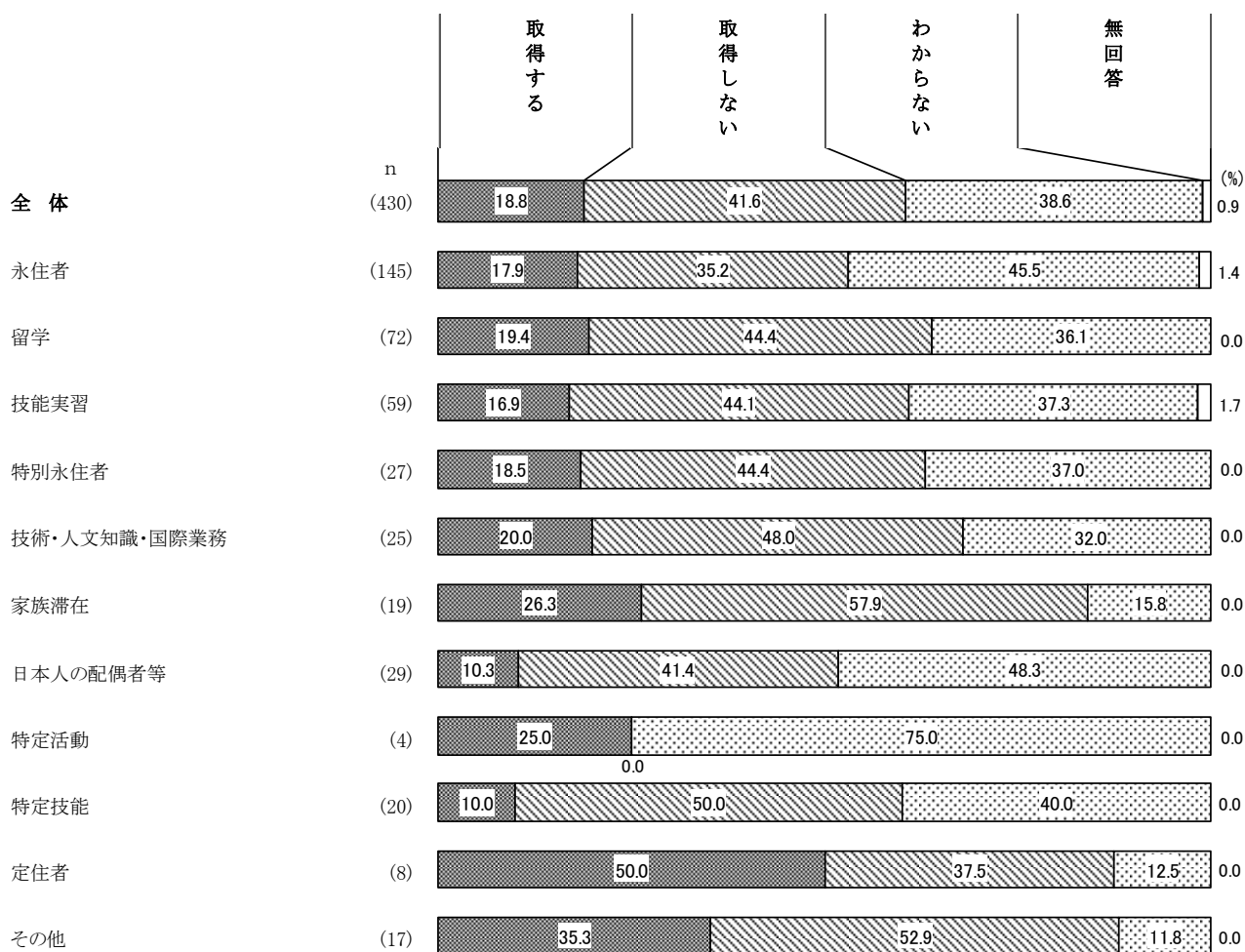
(9) 日本国籍の取得予定



日本国籍の取得予定は、「取得しない」が 41.6%と最も多く、「取得する」は 18.8%にとどまっている。

なお、「わからない」と回答した不特定層は約 4 割存在する。

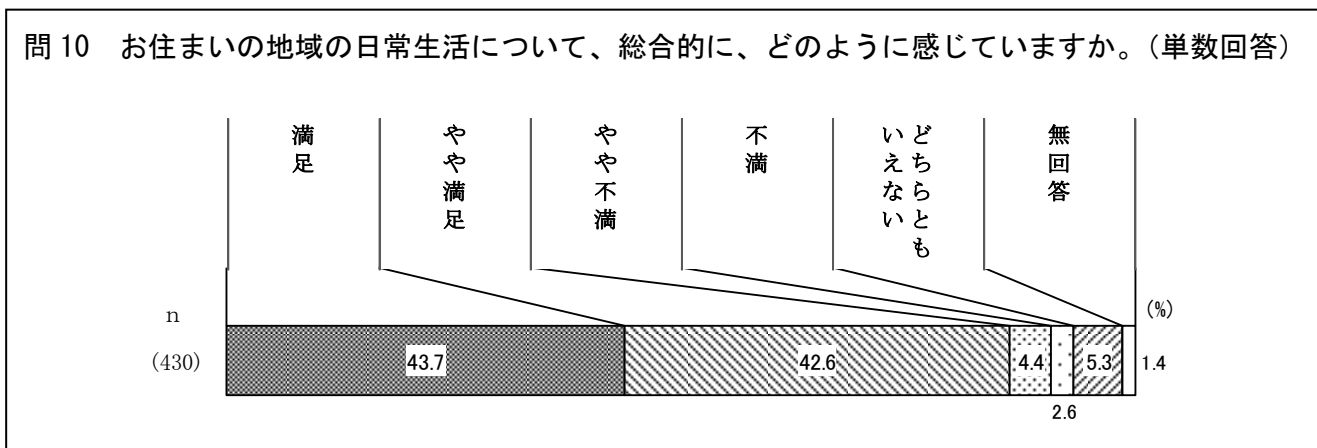
【在留資格別 日本国籍の取得予定】



在留資格別の日本国籍の取得予定は、永住者では「わからない」(45.5%)が最も多くなっており、次いで「取得しない」(35.2%)となっている。その他の資格では「取得しない」が多くなっており40%を超えている。

2. 日常生活

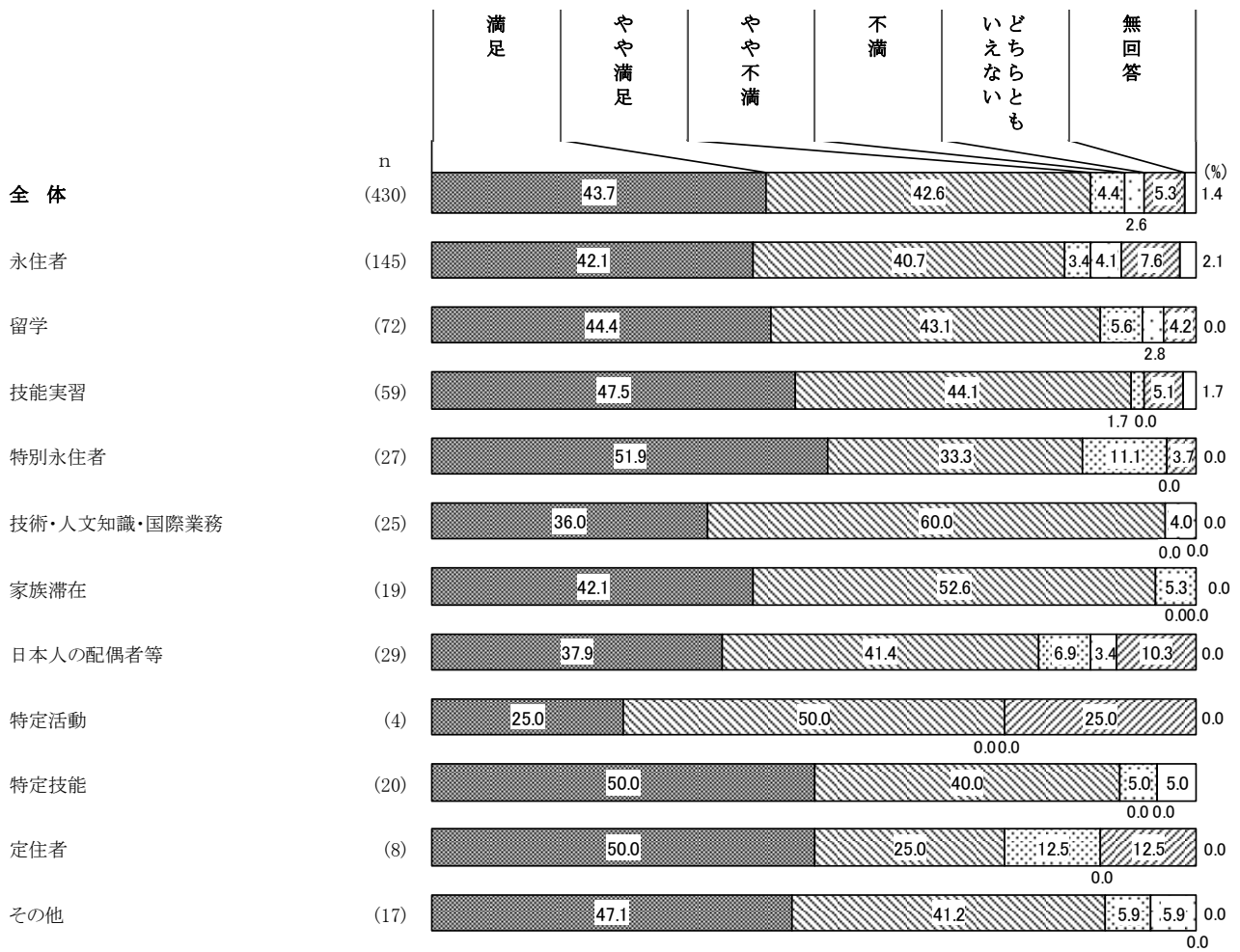
(10) 生活満足度



日常生活の総合的な満足度は、「満足」(43.7%)と「やや満足」(42.6%)を合わせた《満足》と回答した人は86.3%を占める。

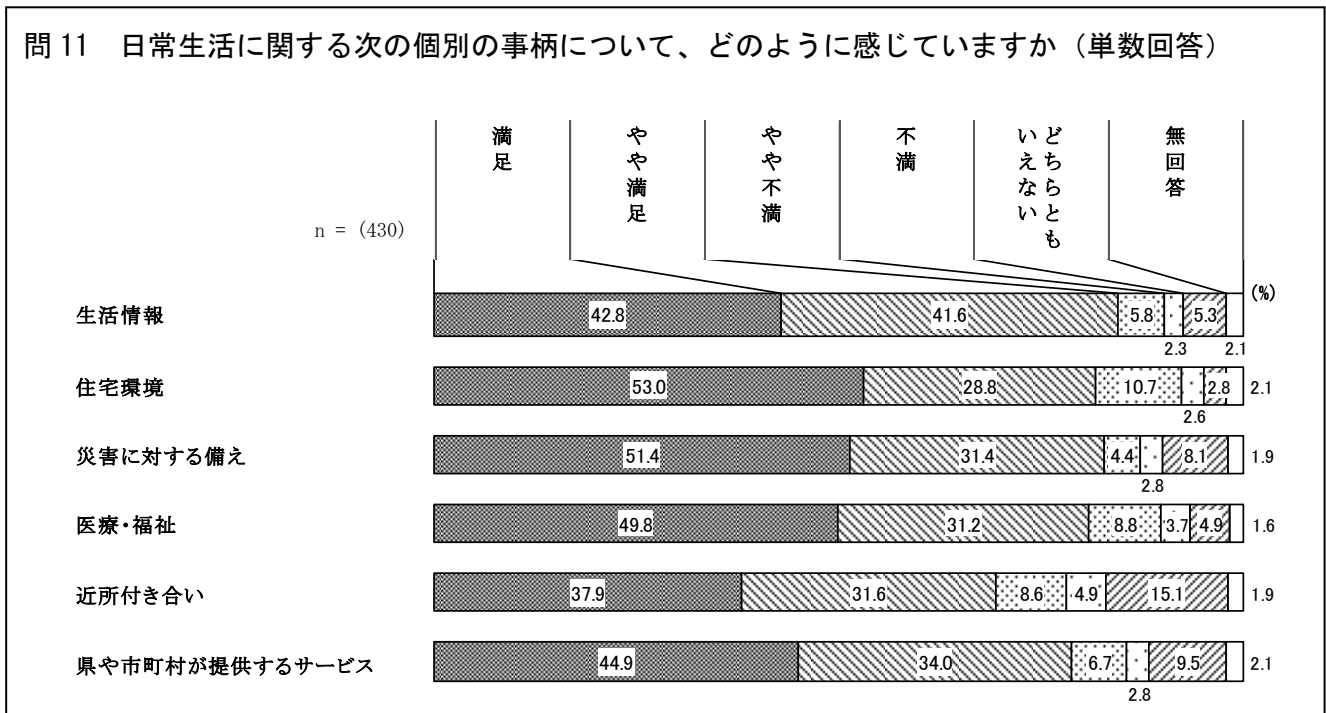
一方で、「やや不満」(4.4%)と「不満」(2.6%)を合わせた《不満》と回答した人は7.0%にとどまっている。

【在留資格別 生活満足度】



在留資格別に日常生活の総合的な満足度は見ると、特別永住者では「満足」が51.9%となっているほか、その他の資格でも「満足」と「やや満足」を合わせた《満足》と回答した人は70%を超えている。

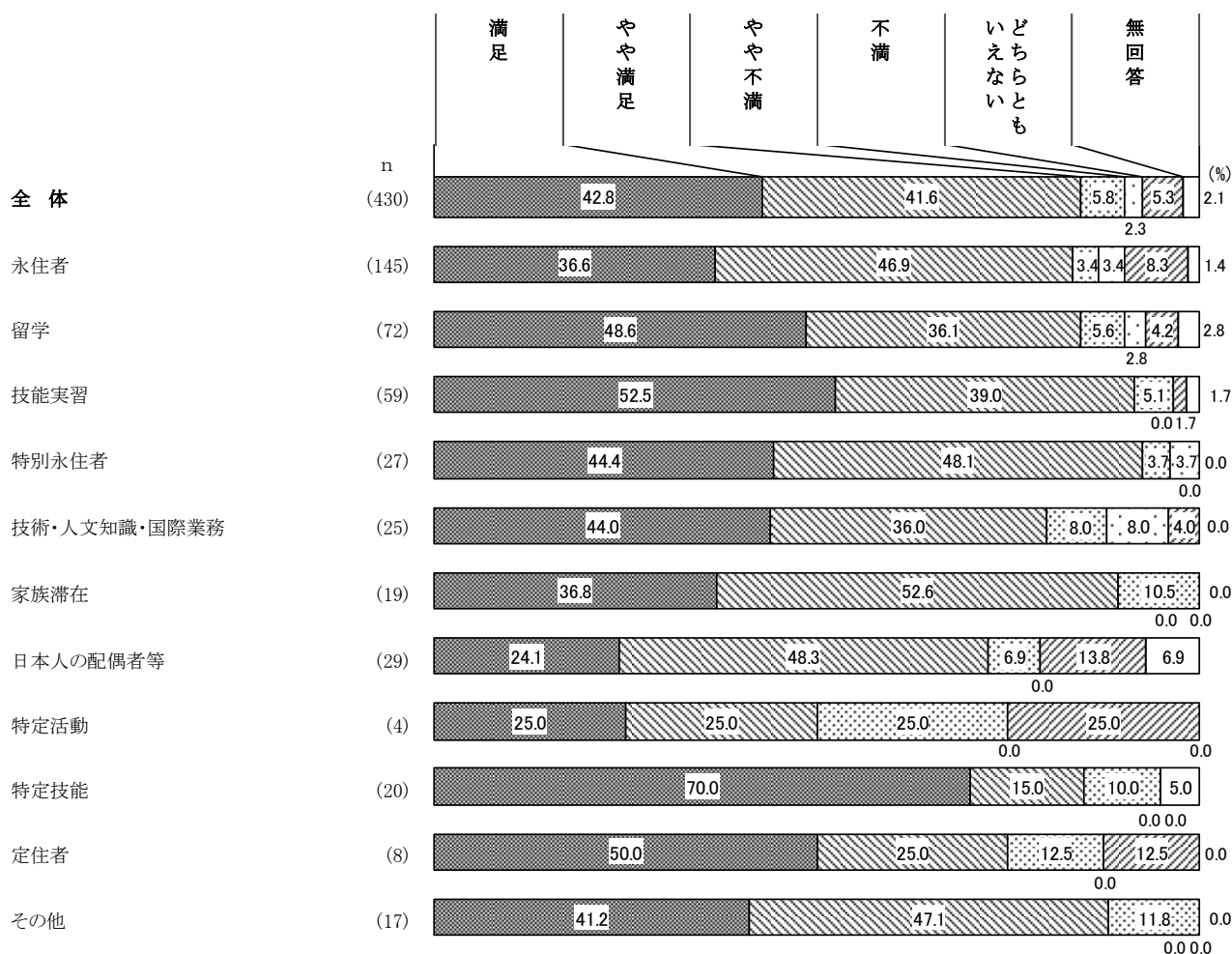
(11) 個別の事柄の満足度



個別の事柄の満足度については、いずれの項目も「満足」が最も多く、4～5割程度となっている。「やや満足」を合わせた《満足》は、『生活情報』『住宅環境』『災害に対する備え』『医療・福祉』で8割を超え、特に『生活情報』では84.4%を占める。

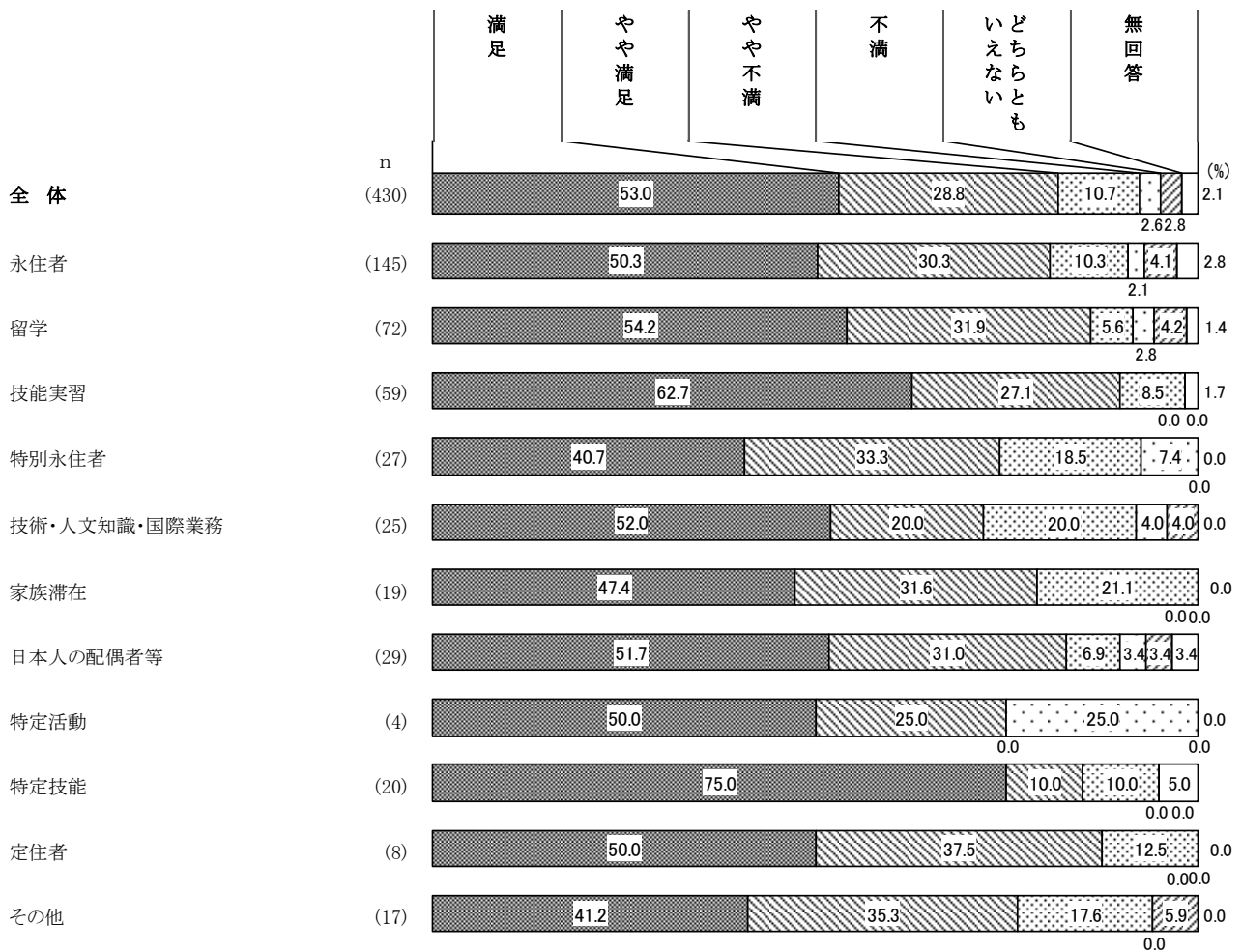
一方、『近所付き合い』については《満足》と回答した人は69.5%とやや少なく、「やや不満」と「不満」を合わせた《不満》と回答した人が13.5%と、ほかの項目よりやや多くなっている。

【在留資格別 個別の事柄の満足度：生活情報】



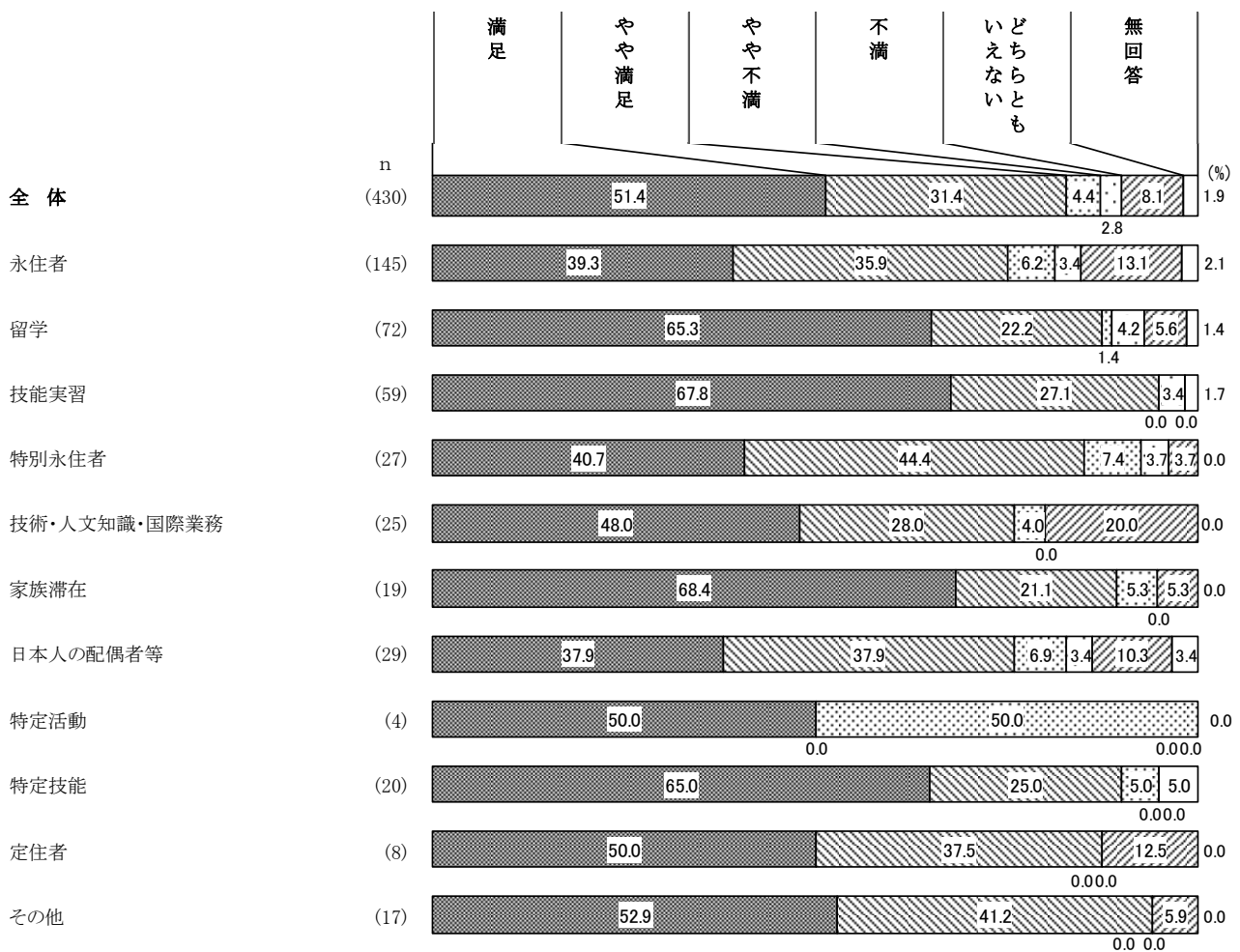
在留資格別の生活情報の満足度は、技能実習、特別永住者で「満足」と「やや満足」を合わせた《満足》は90%を超えている。一方で、日本人の配偶者等で「どちらともいえない」(13.8%)が多くなっており、「満足」(24.1%)と「やや満足」(48.3%)を合わせた《満足》は72.4%と他資格より少なくなっている。また、技術・人文知識・国際業務で「やや不満」(8.0%)と「不満」(8.0%)を合わせた《不満》は16.0%と他資格より多くなっている。

【在留資格別 個別の事柄の満足度：住宅環境】



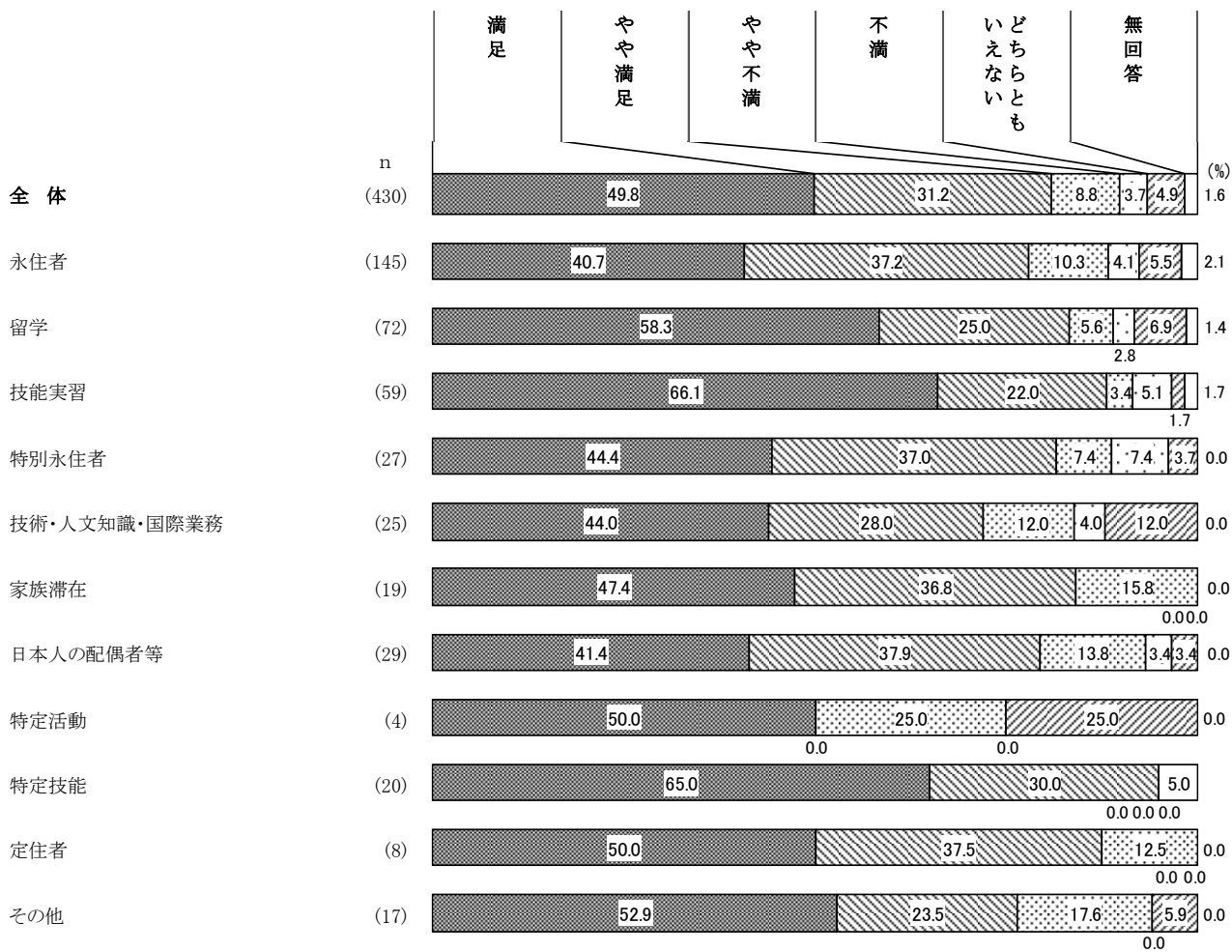
在留資格別の住宅環境の満足度は、技能実習で「満足」(62.7%)と「やや満足」(27.1%)を合わせた《満足》は89.8%と他資格より多くなっている。一方で、特別永住者で「やや不満」(18.5%)と「不満」(7.4%)を合わせた《不満》は25.9%と他資格より多くなっている。また、技術・人文知識・国際業務、家族滞在では「不満」が20%を超えている。

【在留資格別 個別の事柄の満足度：災害に対する備え】



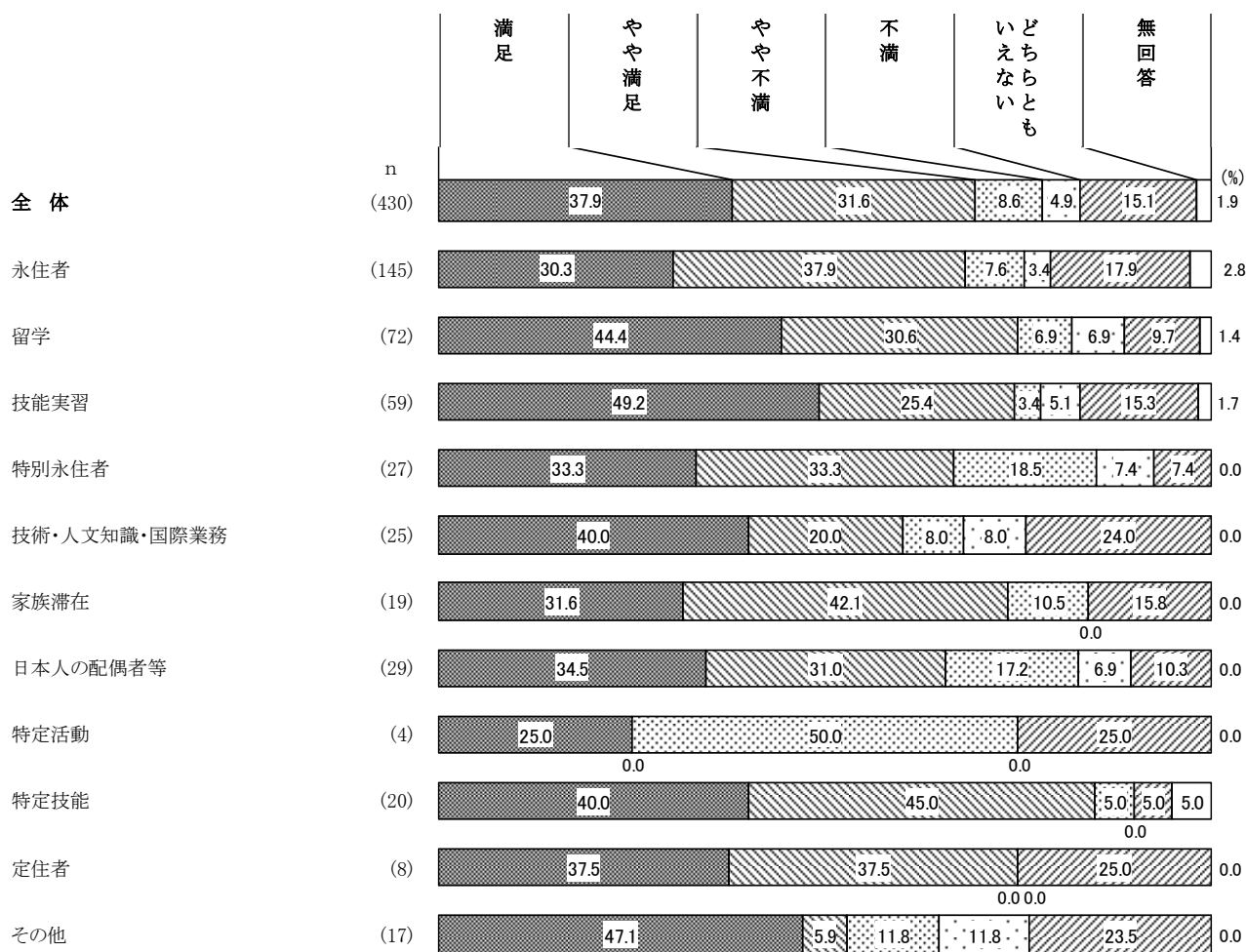
在留資格別の災害に対する備えの満足度は、技能実習で「満足」(67.8%)と「やや満足」(27.1%)を合わせた《満足》は94.9%と他資格より多くなっている。一方で、永住者、技術・人文知識・国際業務、日本人の配偶者等では《満足》は70%台と他資格よりやや低くなっており、技術・人文知識・国際業務では「どちらともいえない」(20.0%)が多くなっている。

【在留資格別 個別の事柄の満足度：医療・福祉】



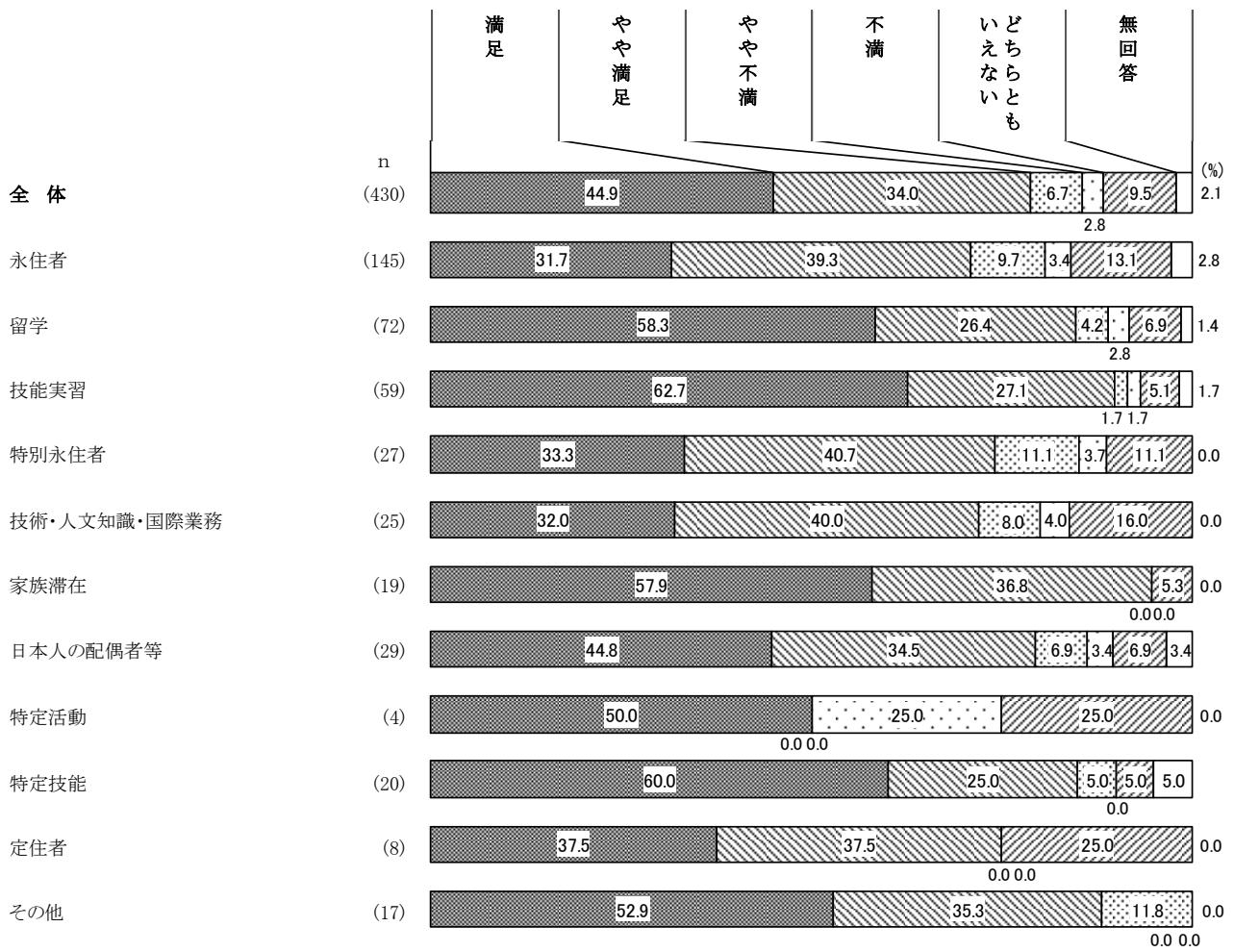
在留資格別の医療・福祉の満足度は、技能実習で「満足」(66.1%)と「やや満足」(22.0%)を合わせた《満足》は88.1%と他資格より多くなっている。一方で、技術・人文知識・国際業務では《満足》は72.0%と他資格よりやや低くなっている。

【在留資格別 個別の事柄の満足度：近所付き合い】



在留資格別の近所付き合いの満足度は、留学、技能実習、家族滞在、特定技能で「満足」と「やや満足」を合わせた《満足》は70%を超えている。一方で、特別永住者、日本人の配偶者等では《不満》が20%台となっている。

【在留資格別 個別の事柄の満足度：県や市町村が提供するサービス】

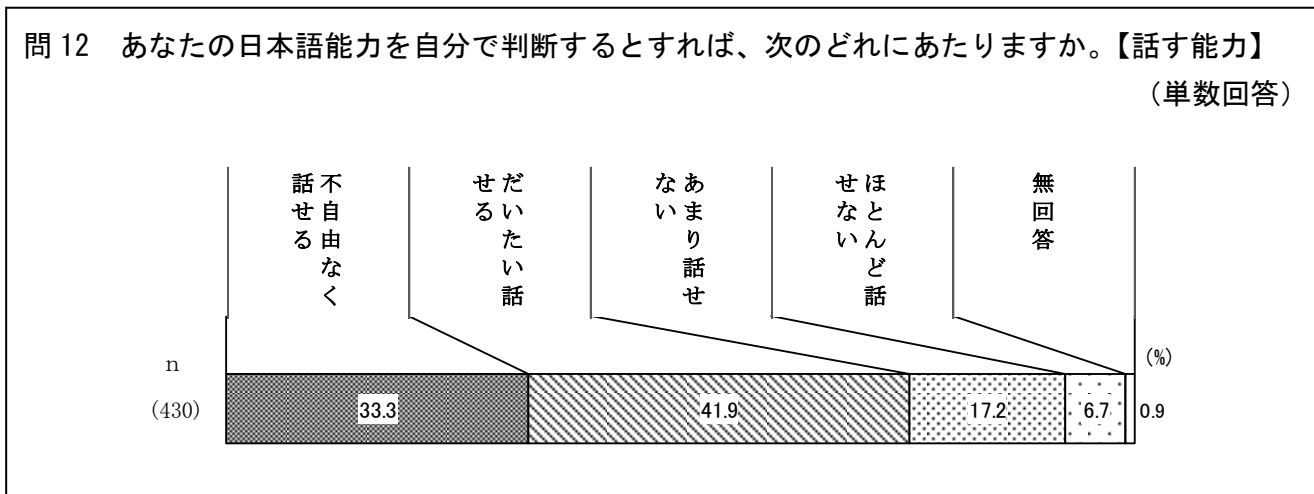


在留資格別の市町村が提供するサービスの満足度は、技能実習で「満足」(62.7%)と「やや満足」(27.1%)を合わせた《満足》は89.8%と他資格より多くなっている。一方で、永住者、特別永住者、技術・人文知識・国際業務では《満足》は70~75%と他資格よりやや低くなっている。

3. 言語

(12) 日本語能力

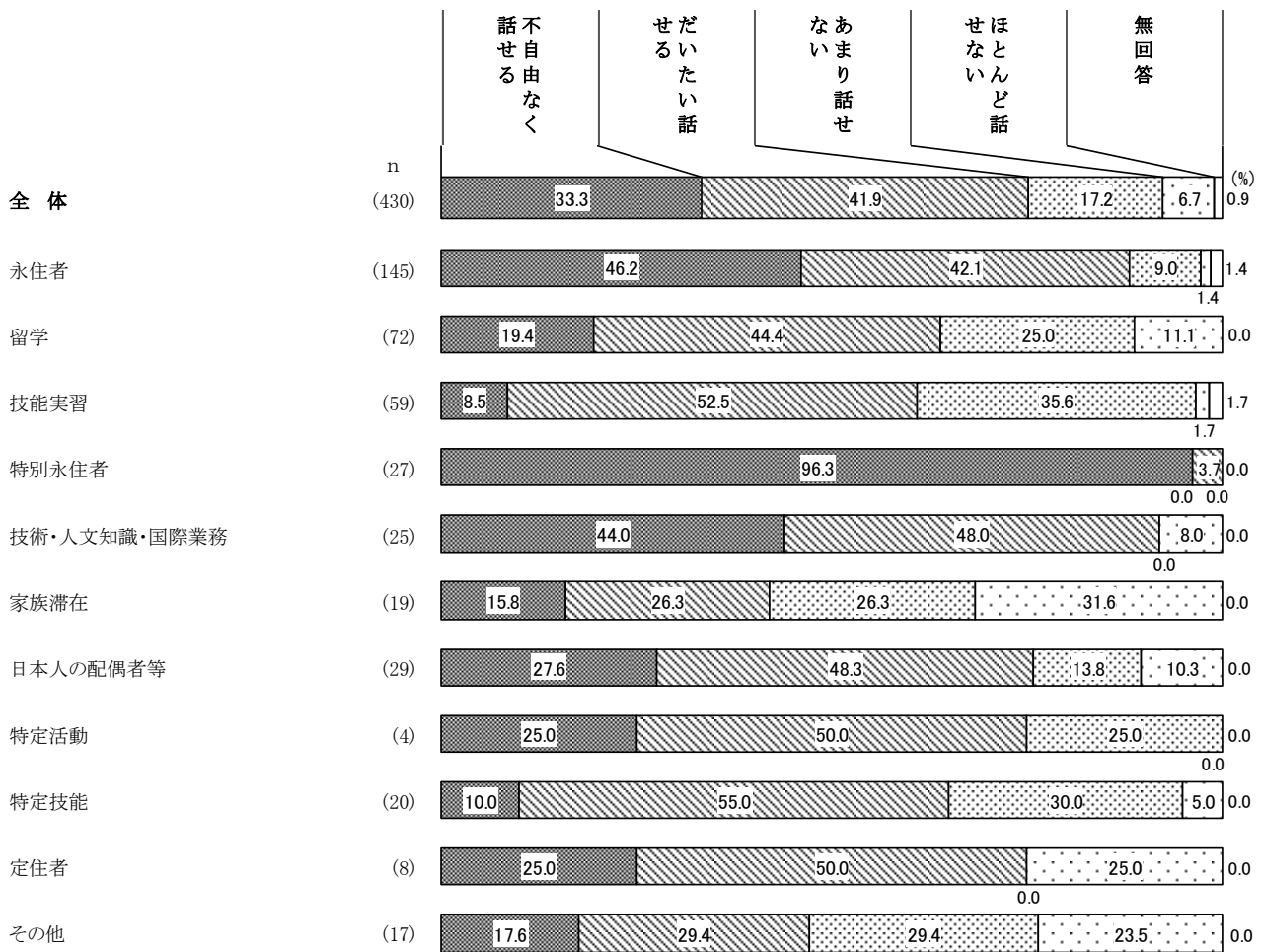
① 話す能力



日本語の話す能力については、「だいたい話せる」が41.9%と最も多く、「不自由なく話せる」(33.3%)と合わせた《話せる》人はと75.2%を占める。

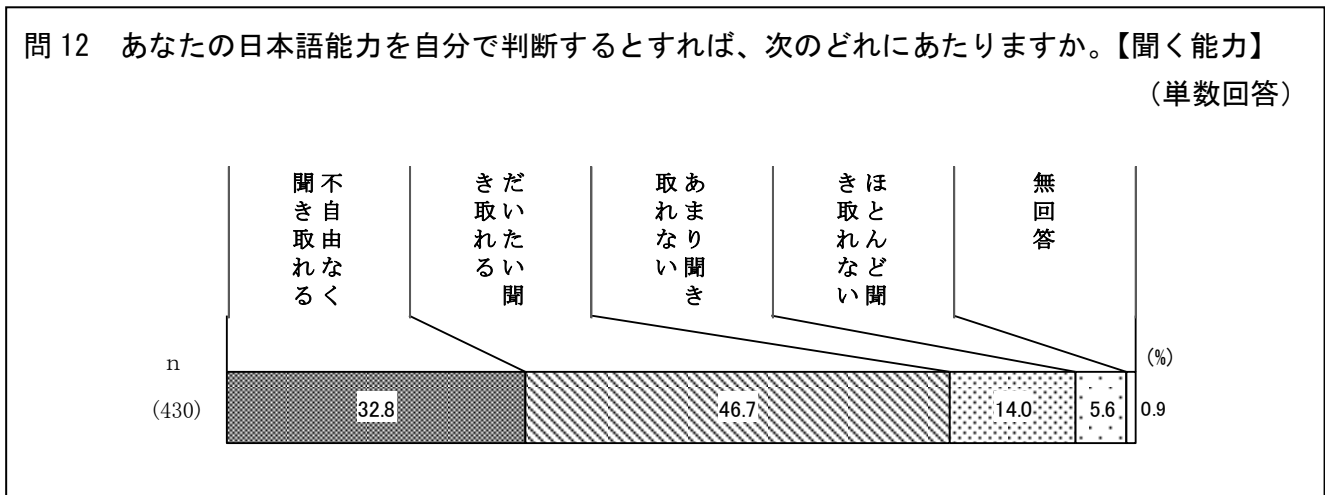
一方、「あまり話せない」(17.2%)と「ほとんど話せない」(6.7%)を合わせた《話せない》人は23.9%となっている。

【在留資格別 話す能力】



在留資格別の日本語の話す能力は、特別永住者で「不自由なく話せる」(96.3%)と「だいたい話せる」(3.7%)を合わせると《話せる》人は100%となっている。このほか永住者、技術・人文知識・国際業務では「不自由なく話せる」と「だいたい話せる」を合わせた《話せる》人は80%を超えている。一方、留学、技能実習、家族滞在、特定技能では低くなっており、家族滞在では「あまり話せない」(26.3%)と「ほとんど話せない」(31.6%)を合わせた《話せない》人は57.9%となっている。

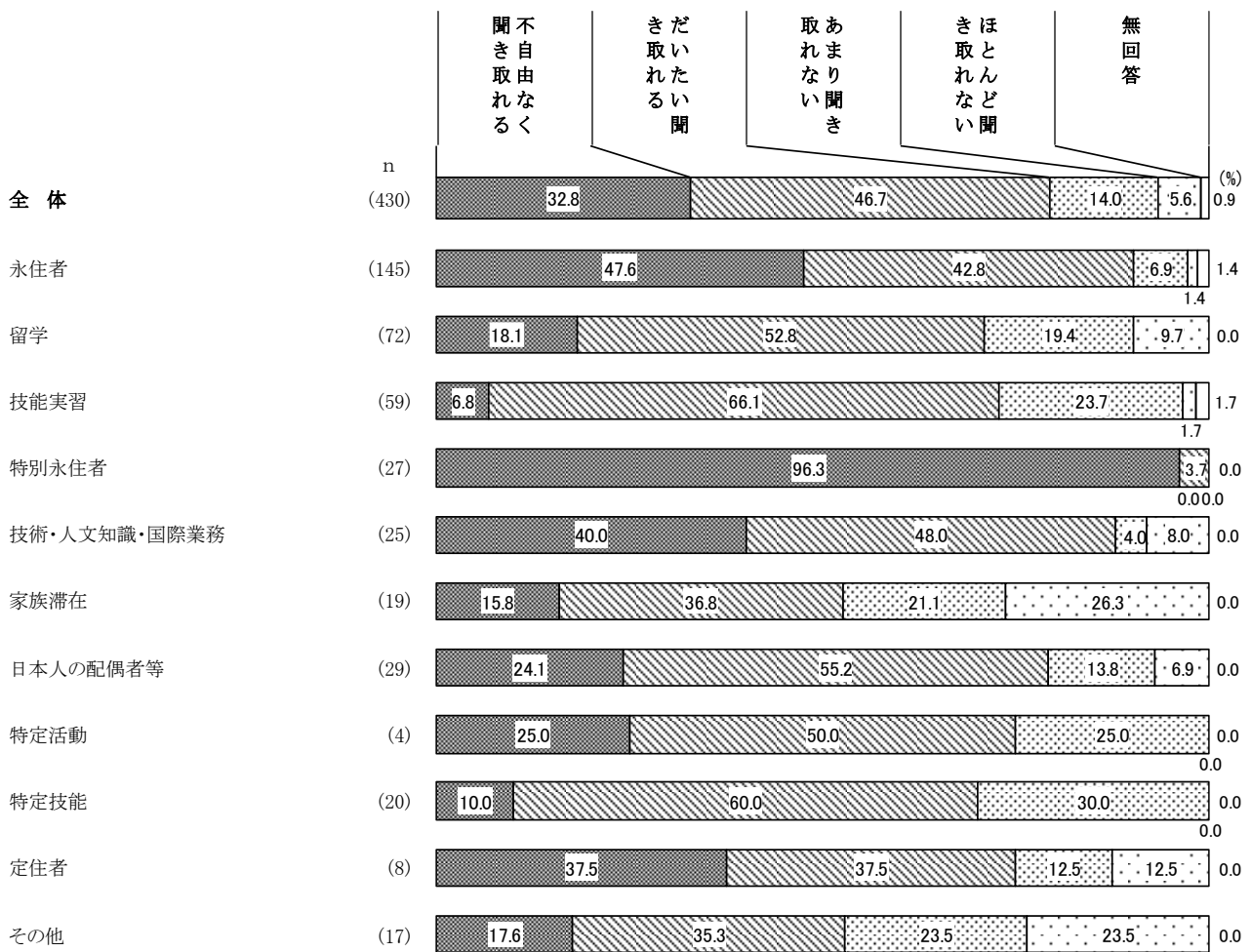
② 聞く能力



日本語の聞く能力については、「だいたい聞き取れる」が46.7%と最も多く、「不自由なく聞き取れる」(32.8%)と合わせた《聞き取れる》人は79.5%を占める。

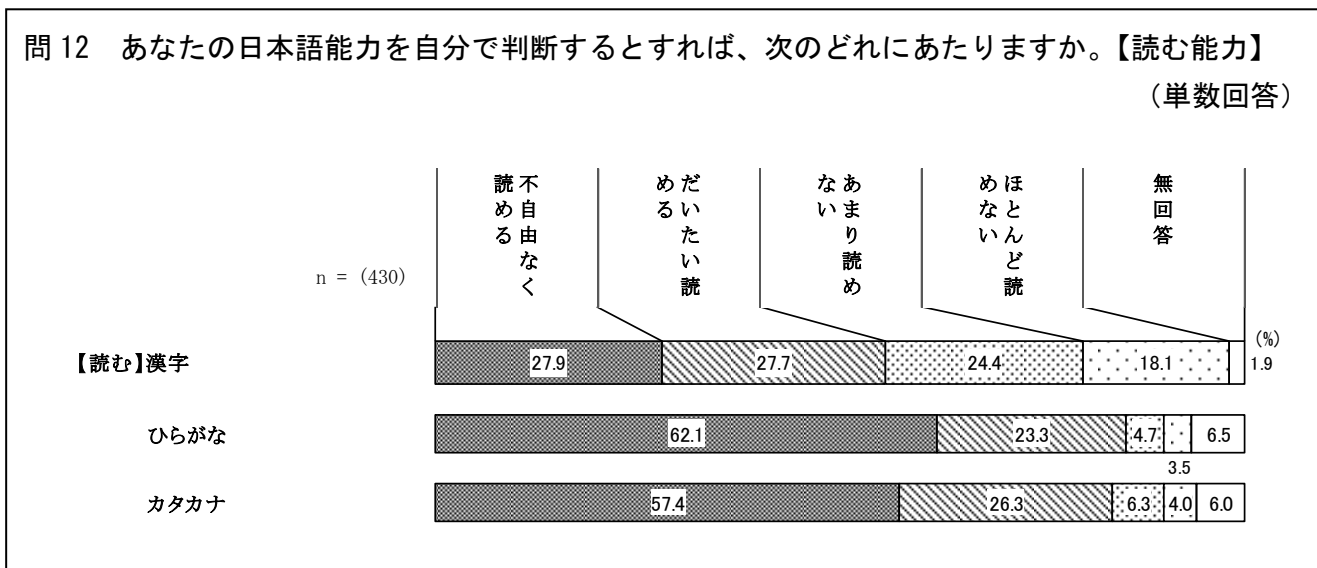
一方、「あまり聞き取れない」(14.0%)と「ほとんど聞き取れない」(5.6%)を合わせた《聞き取れない》人は19.6%となっている。

【在留資格別 聞く能力】



在留資格別の日本語の聞く能力は、特別永住者で「不自由なく聞き取れる」(96.3%)と「だいたい聞き取れる」(3.7%)を合わせると《聞き取れる》人は100%となっている。このほか永住者、技術・人文知識・国際業務では「不自由なく聞き取れる」と「だいたい聞き取れる」を合わせた《聞き取れる》人は85~90%となっている。また、留学、技能実習、日本人の配偶者等、特定技能では《聞き取れる》人は70%台となっている。一方で、家族滞在では《聞き取れる》人は50%台となっており、「あまり聞き取れない」(21.1%)と「ほとんど聞き取れない」(26.3%)を合わせた《聞き取れない》人は47.4%となっている。

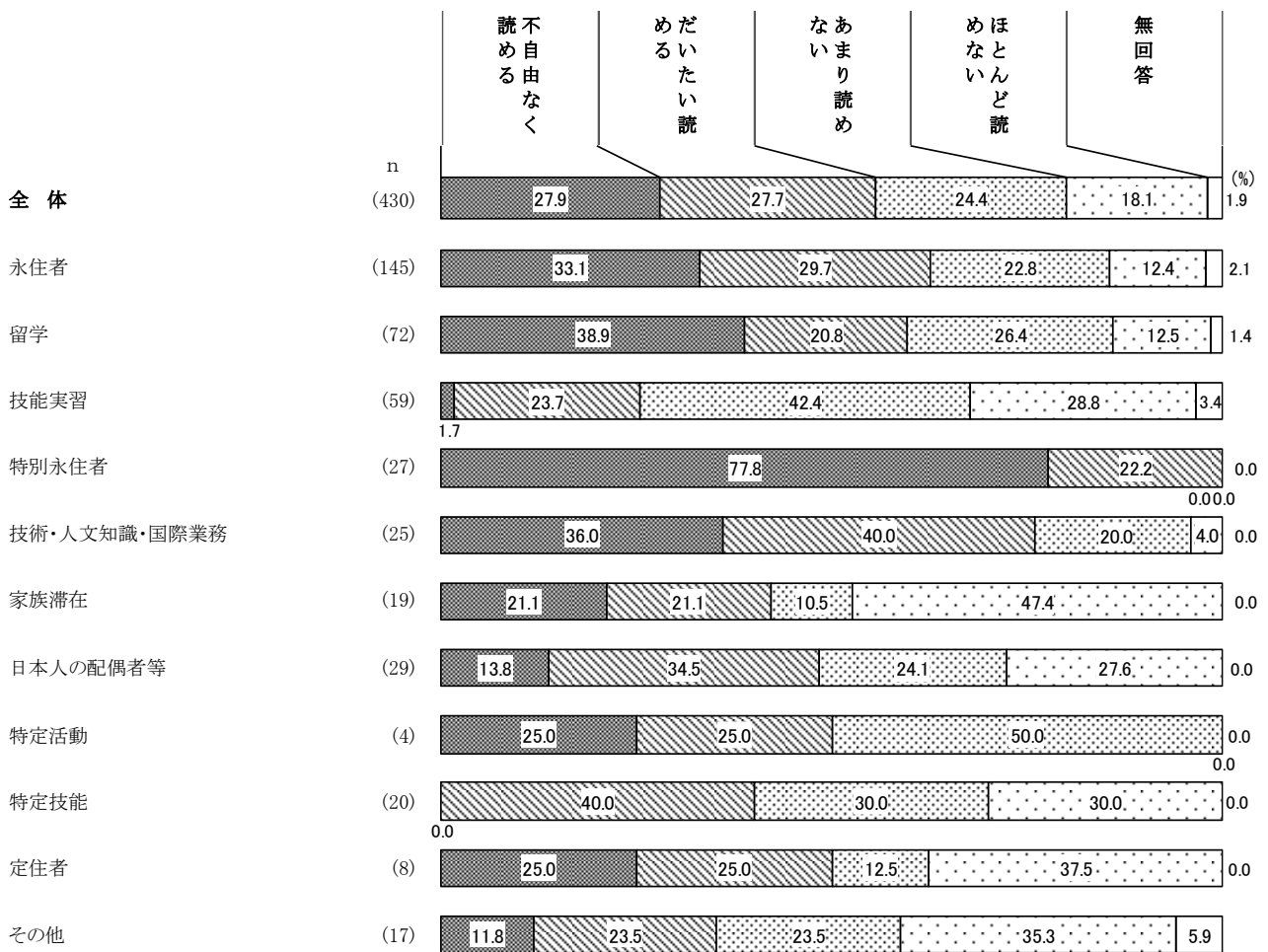
③ 読む能力



日本語の読む能力については、『ひらがな』と『カタカナ』については、「不自由なく読める」が6割前後と最も多く、「だいたい読める」と合わせた《読める》人は8割以上を占める。

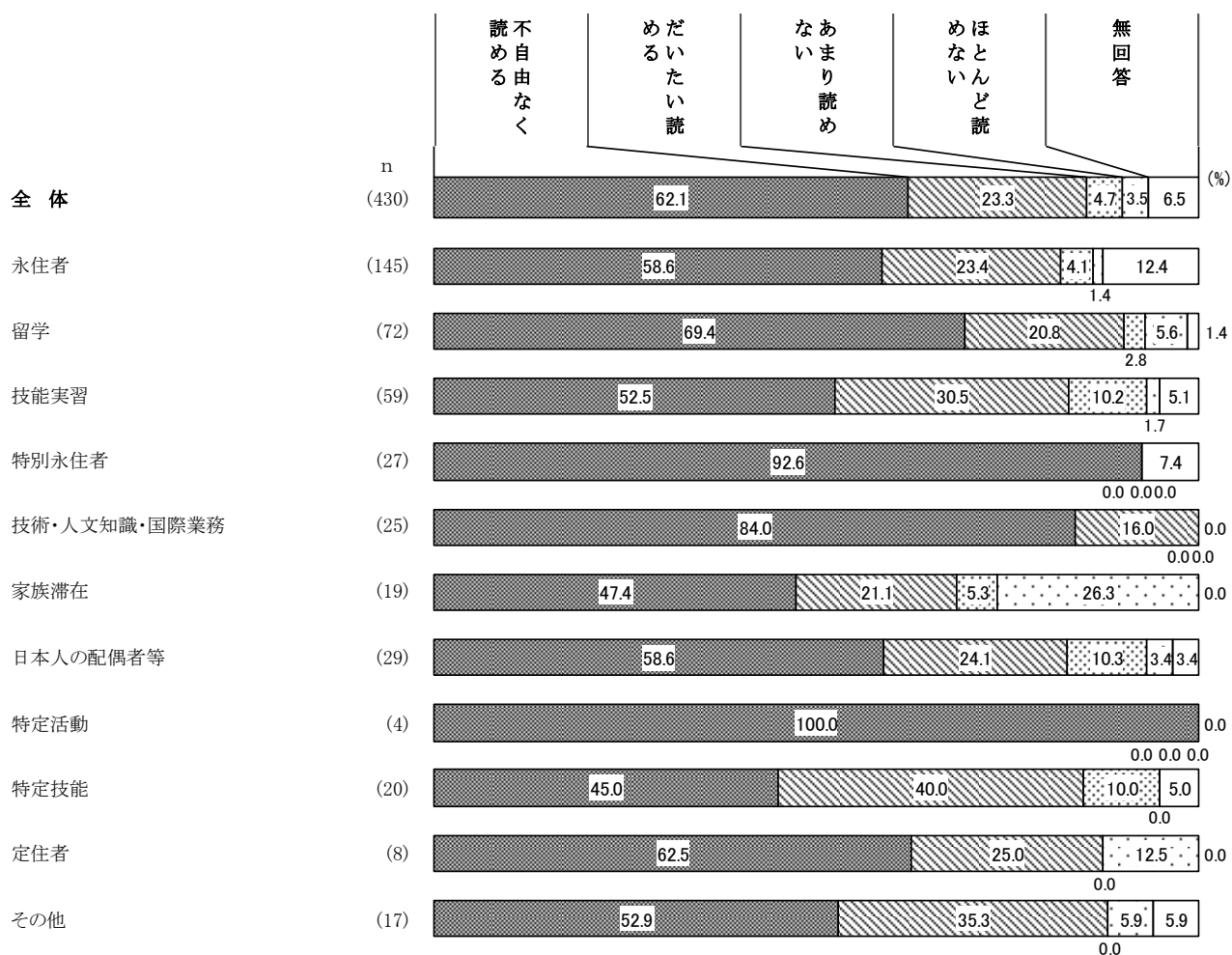
一方、『漢字』については、《読める》人は55.6%にとどまり、「あまり読めない」(24.4%)と「ほとんど読めない」(18.1%)を合わせた《読めない》人は42.5%と多い。

【在留資格別 読む能力：漢字】



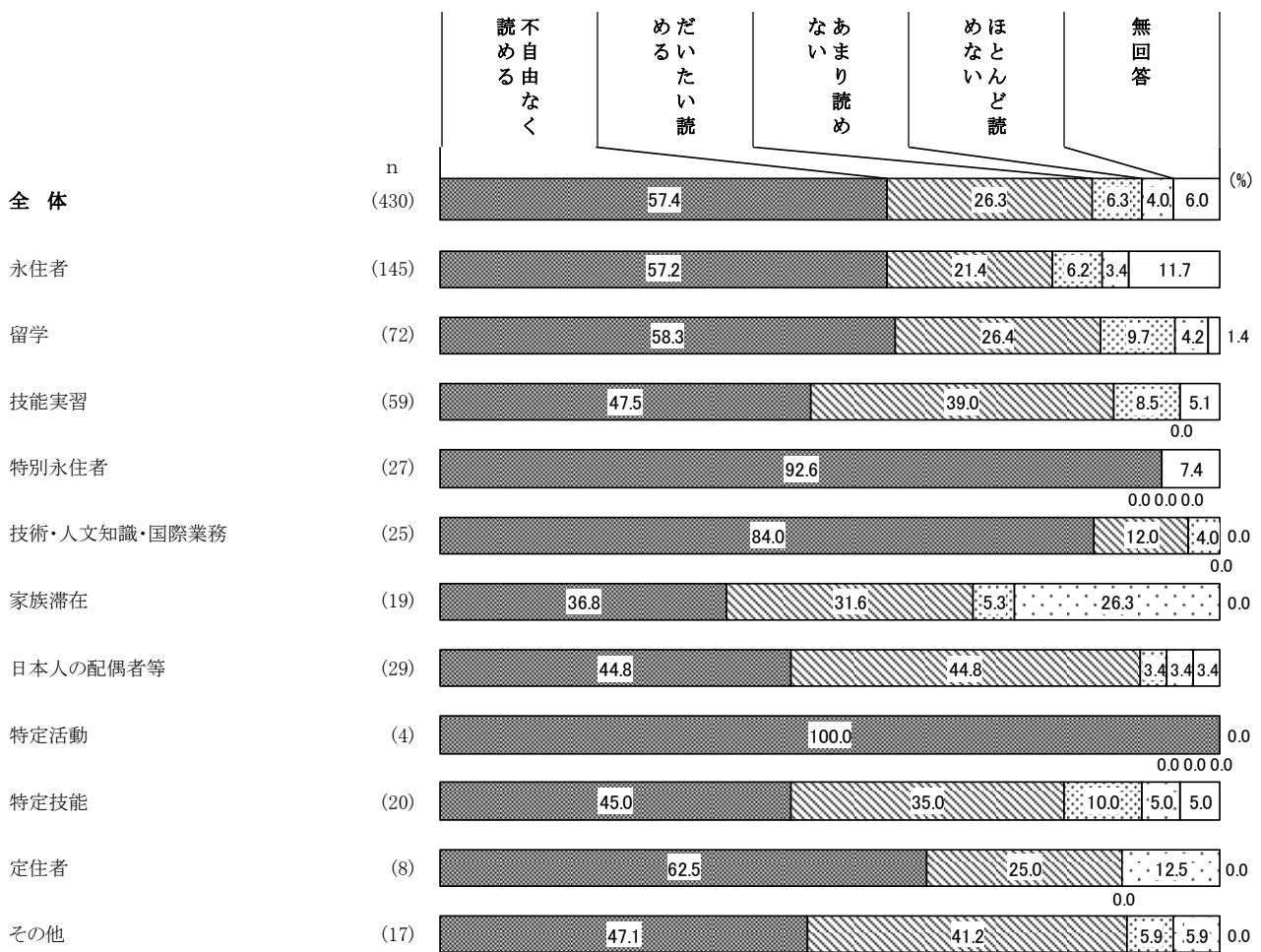
在留資格別の漢字を読む能力は、特別永住者で「不自由なく読める」(77.8%)と「だいたい読める」(22.2%)を合わせた《読める》人は100%となっている。このほか、技術・人文知識・国際業務では《読める》人は70%台、永住者、留学では60%程度となっている。一方で、技能実習、家族滞在、日本人の配偶者等、特定技能では《読める》人は50%未満となっており、技能実習では「不自由なく読める」(1.7%)と「だいたい読める」(23.7%)をあわせた《読める》人は25.4%となっている。

【在留資格別 読む能力：ひらがな】



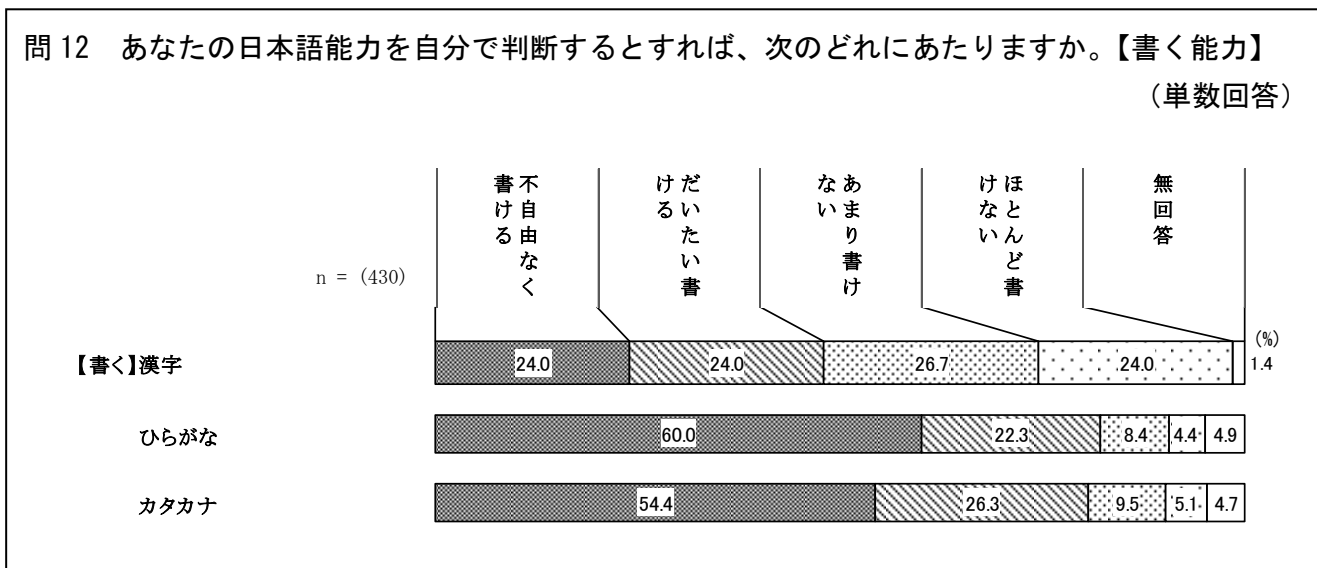
在留資格別のひらがなを読む能力は、留学、特別永住者、技術・人文知識・国際業務で「不自由なく読める」と「だいたい読める」を合わせると《読める》人は90%を超えている。他資格でも《読める》人は概ね80%を超えているが、家族滞在ではやや低くなっており、「あまり読めない」(5.3%)と「ほとんど読めない」(26.3%)を合わせた《読めない》人は31.6%となっている。

【在留資格別 読む能力：カタカナ】



在留資格別のカタカナを読む能力は、特別永住者、技術・人文知識・国際業務で「不自由なく読める」と「だいたい読める」を合わせると《読める》人は90%を超えている。他資格でも《読める》人は概ね80%を超えているが、家族滞在ではやや低くなっており、「あまり読めない」(5.3%)と「ほとんど読めない」(26.3%)を合わせた《読めない》人は31.6%となっている。

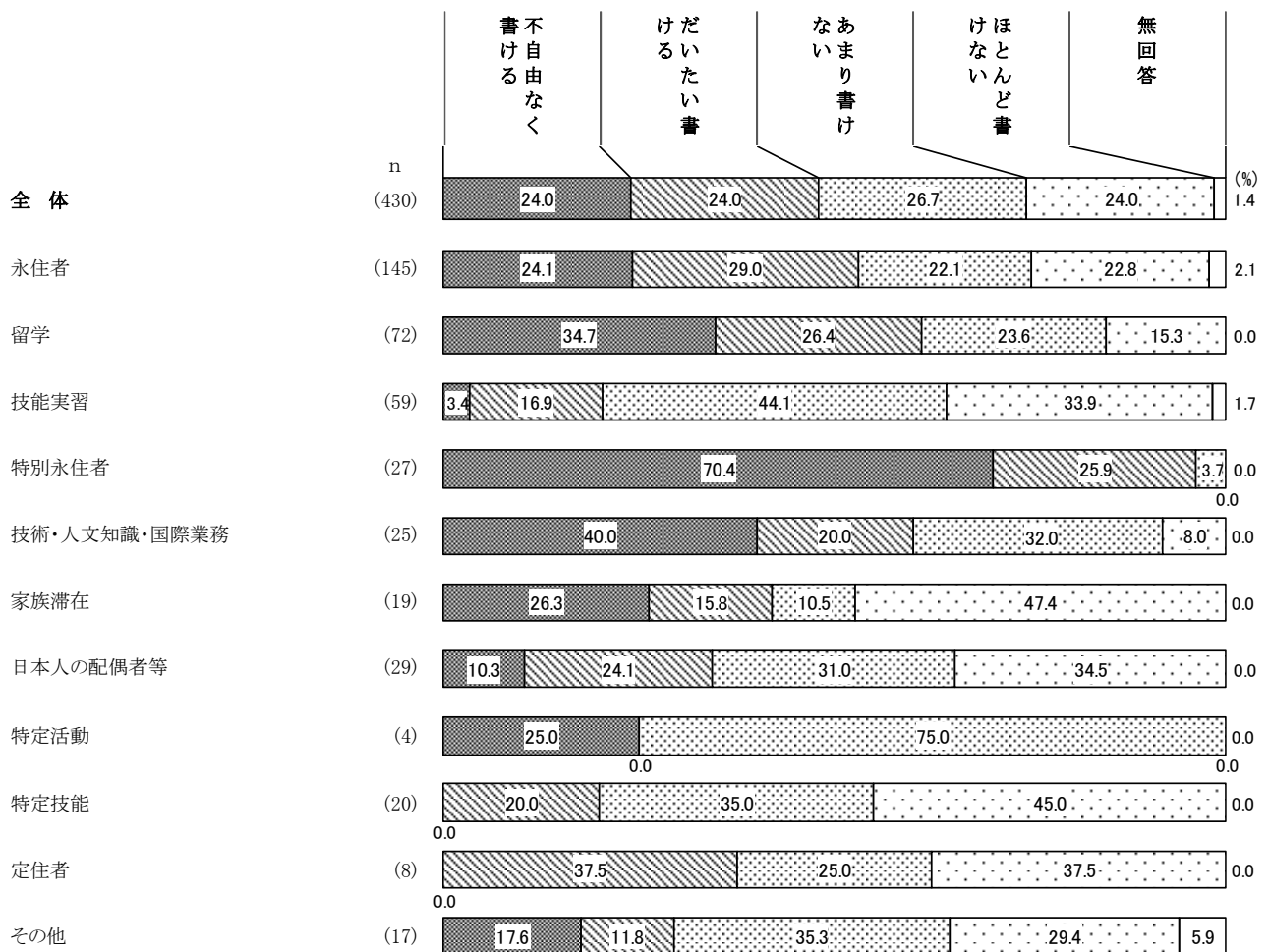
④ 書く能力



日本語の書く能力については、読む能力同様、『ひらがな』と『カタカナ』は、「不自由なく書ける」が6割前後と最も多く、「だいたい書ける」と合わせた《書ける》人は約8割を占める。

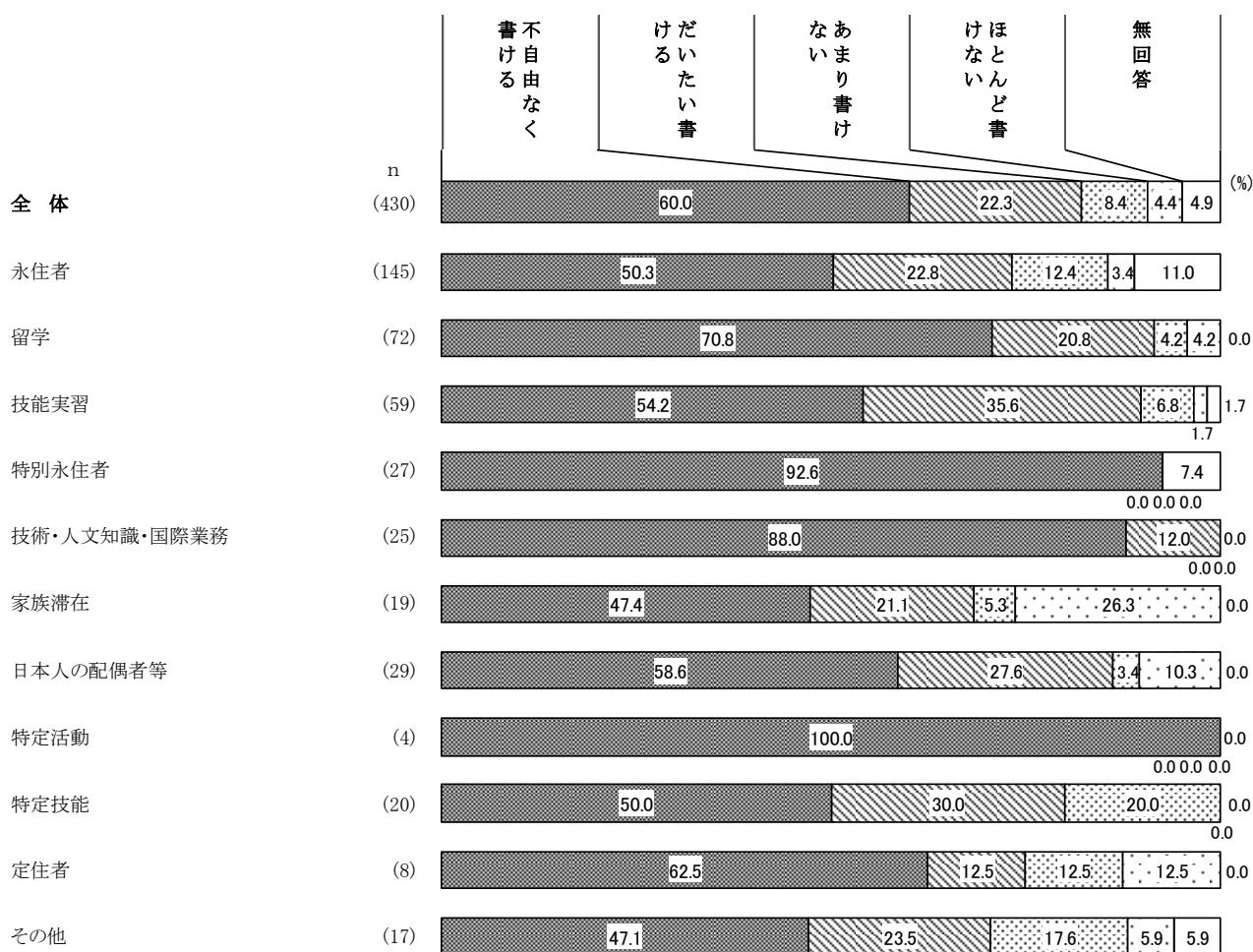
一方、『漢字』については、《書ける》人は48.0%と読む能力より少なく、「あまり書けない」(26.7%)と「ほとんど書けない」(24.0%)を合わせた《書けない》人は50.7%と約半数を占める。

【在留資格別 書く能力：漢字】



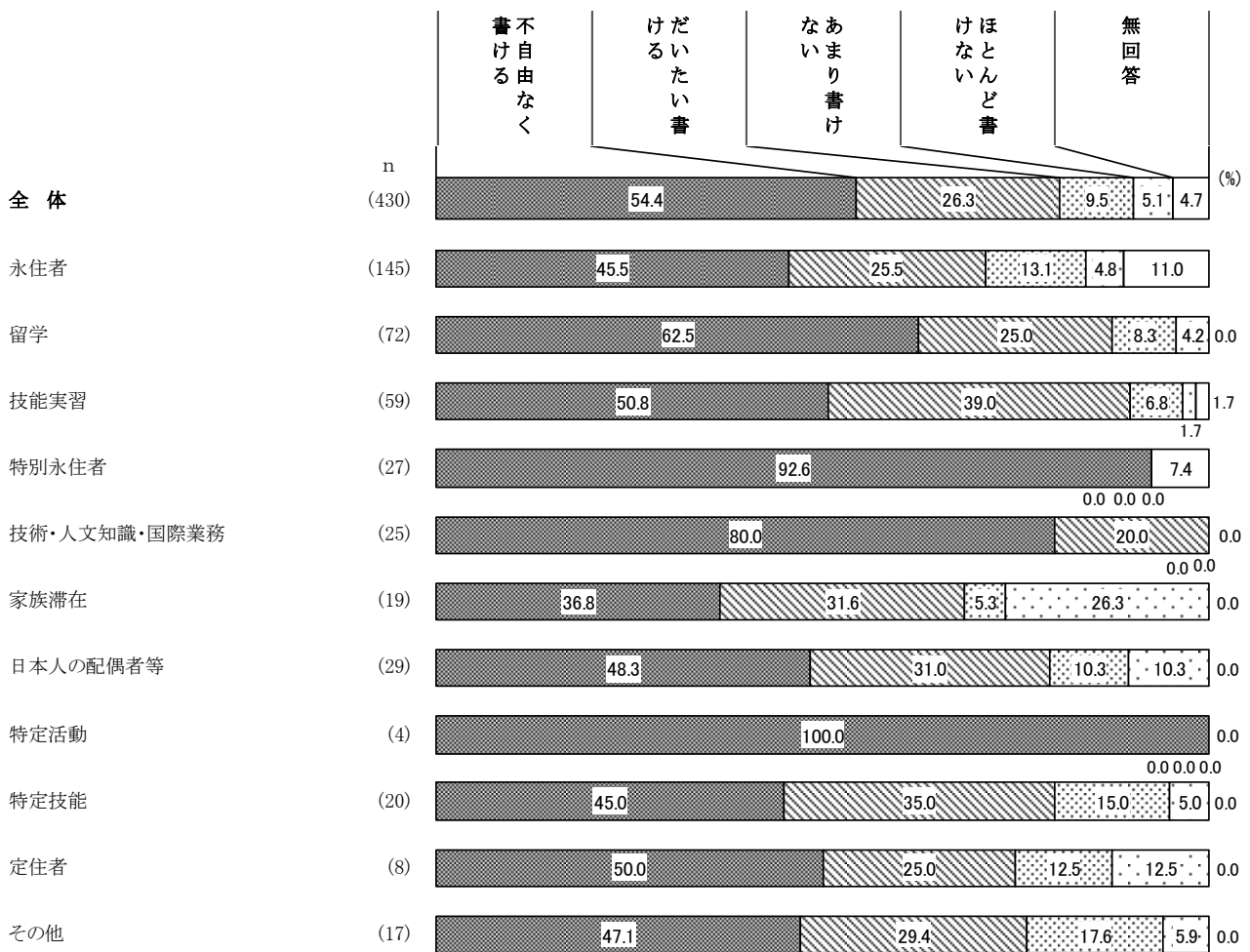
在留資格別の漢字を書く能力は、特別永住者で「不自由なく書ける」(70.4%)と「だいたい書ける」(25.9%)を合わせると《書ける》人は96.3%となっている。このほか、永住者、留学、技術・人文知識・国際業務では《書ける》人は50%を超えている。一方で、技能実習、家族滞在、日本人の配偶者等、特定技能では《書ける》人は50%未満となっており、技能実習では「不自由なく書ける」(3.4%)と「だいたい書ける」(16.9%)を合わせた《書ける》人は20.3%となっている。

【在留資格別 書く能力：ひらがな】



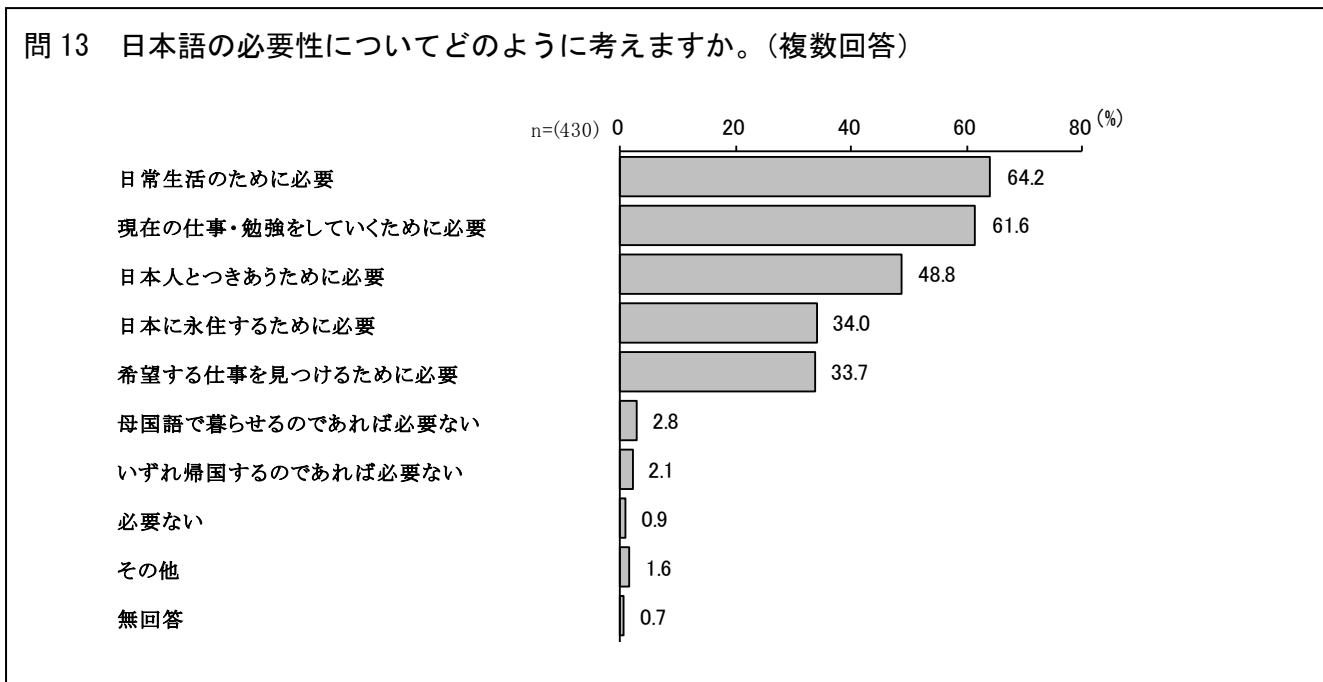
在留資格別のひらがなを書く能力は、留学、特別永住者、技術・人文知識・国際業務で「不自由なく書ける」と「だいたい書ける」を合わせると《書ける》人は90%を超えている。他資格でも《書ける》人は概ね70%を超えているが、家族滞在ではやや低くなっており、「あまり書けない」(5.3%)と「ほとんど書けない」(26.3%)を合わせた《書けない》人は31.6%となっている。

【在留資格別 書く能力：カタカナ】



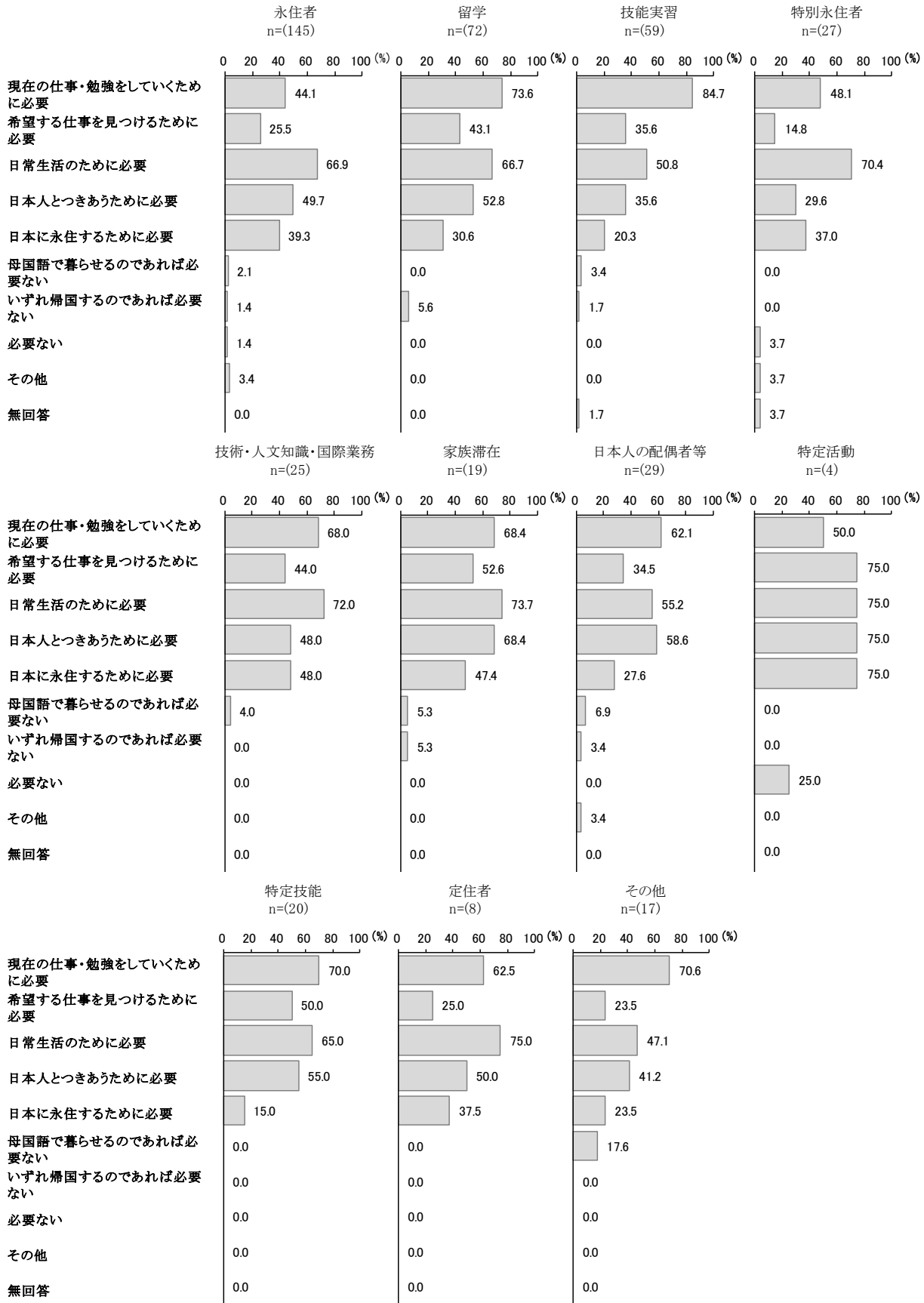
在留資格別のカタカナを書く能力は、特別永住者、技術・人文知識・国際業務で「不自由なく書ける」と「だいたい書ける」を合わせると《書ける》人は90%を超えている。他資格でも《書ける》人は概ね80%を超えているが、家族滞在ではやや低くなっており、「あまり書けない」(5.3%)と「ほとんど書けない」(26.3%)を合わせた《書けない》人は31.6%となっている。

(13) 日本語の必要性



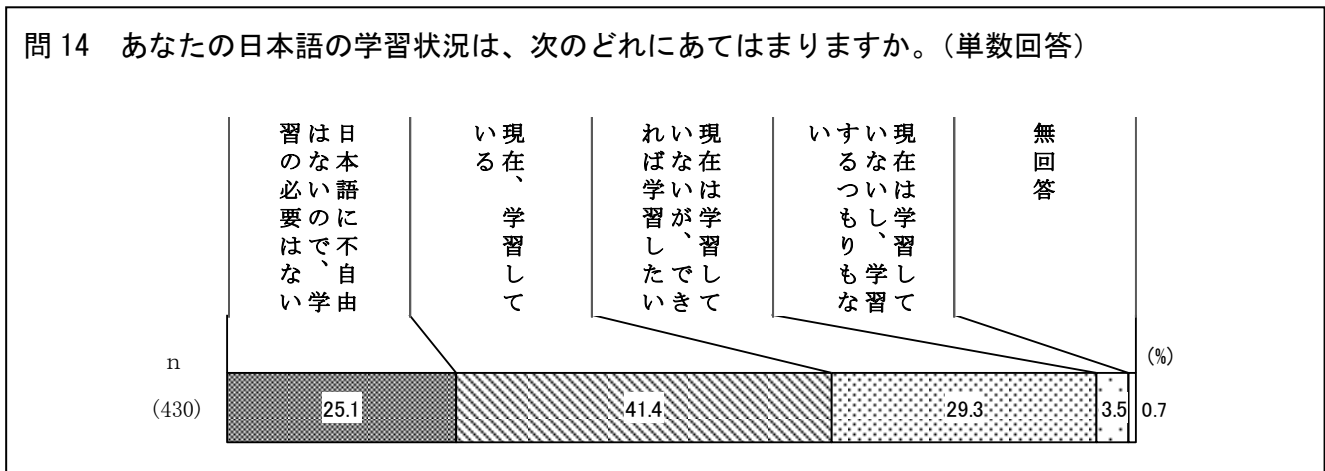
日本語の必要性については、「日常生活のために必要」が64.2%と最も多く、次いで、「現在の仕事・勉強をしていくために必要」も61.6%と多い。以下、「日本人とつきあうために必要」(48.8%)、「日本に永住するために必要」(34.0%)、「希望する仕事を見つけるために必要」(33.7%) などとなっている。

【在留資格別 日本語の必要性】



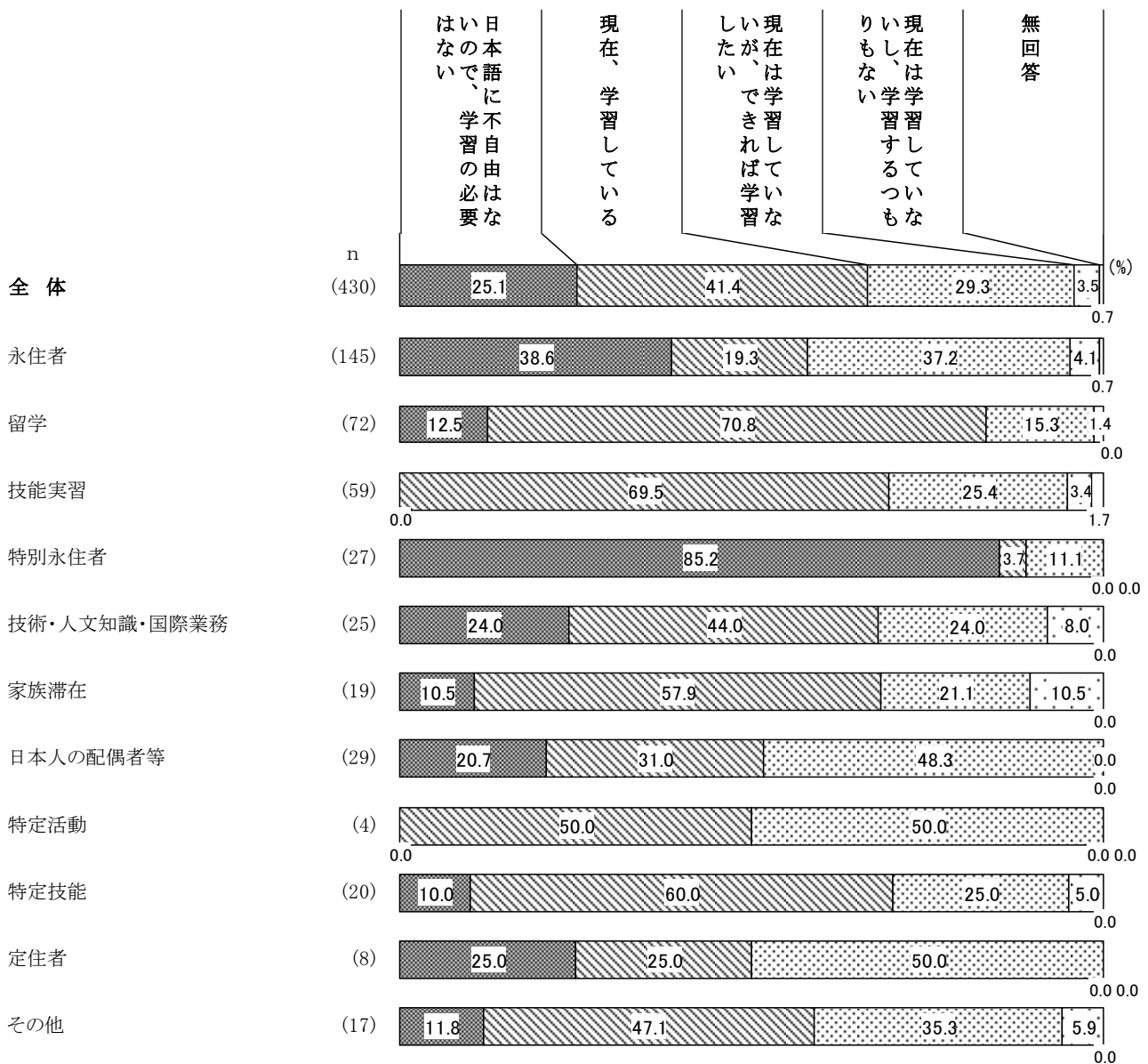
在留資格別の日本語の必要性については、特別永住者、技術・人文知識・国際業務、家族滞在で「日常生活のために必要」が70%を超えている。留学、技能実習、特定技能では「現在の仕事・勉強をしていくために必要」が70%を超えている。また家族滞在では「日本人とつきあうために必要」(68.4%)が他資格より多くなっている。

(14) 日本語の学習状況



日本語の学習状況については、「現在、学習している」が41.4%と最も多く、以下、「現在は学習していないが、できれば学習したい」(29.3%)、「日本語に不自由はないので、学習の必要はない」(25.1%)、「現在は学習していないし、学習するつもりもない」(3.5%)となっている。

【在留資格別 日本語の学習状況】

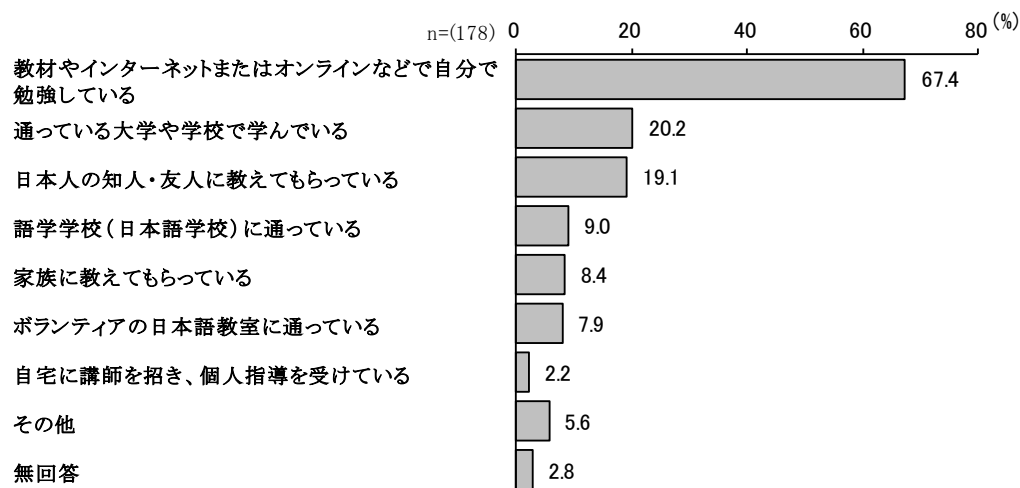


在留資格別の日本語の学習状況については、特別永住者では「日本語に不自由はないので、学習の必要性はない」(85.2%)が他資格より多くなっている。「現在、学習している」は留学、技能実習で70%程度、家族滞在、特定技能では60%程度となっている。「現在は学習していないが、できれば学習したい」は日本人の配偶者では48.3%、永住者では37.2%となっている。家族滞在では「現在は学習していないし、学習するつもりもない」(10.5%)が他資格より多くなっている。

(15) 日本語の学習方法

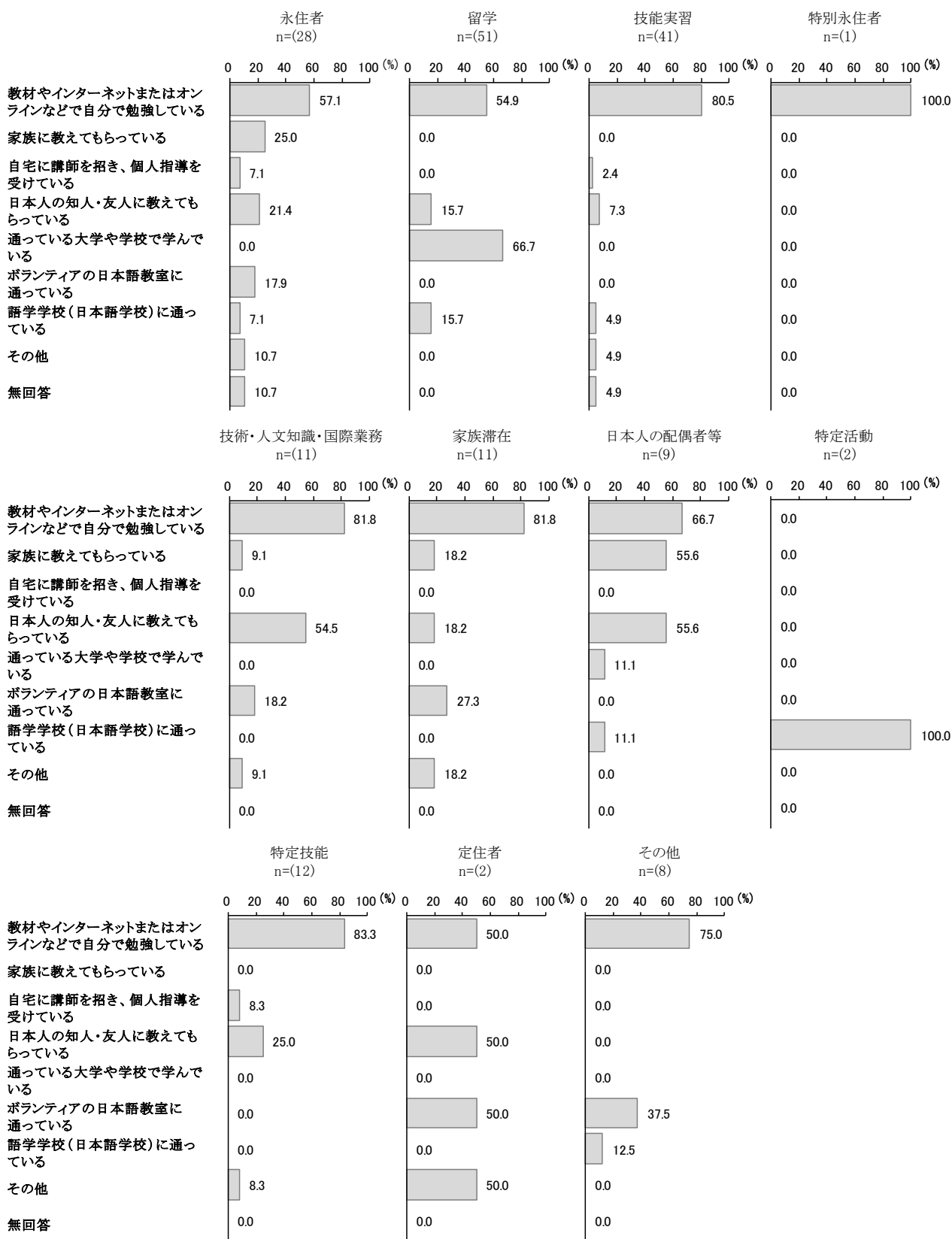
問 15 あなたはどのように日本語を学んでいますか。(複数回答)

※問 14 で「2. 現在、学習している」と回答された方が対象



日本語の学習方法については、「教材やインターネットまたはオンラインなどで自分で勉強している」が 67.4%と最も多い。以下、「通っている大学や学校で学んでいる」(20.2%)、「日本人の知人・友人に教えてもらっている」(19.1%)、「語学学校(日本語学校)に通っている」(9.0%) などとなっている。

【在留資格別 日本語の学習方法】

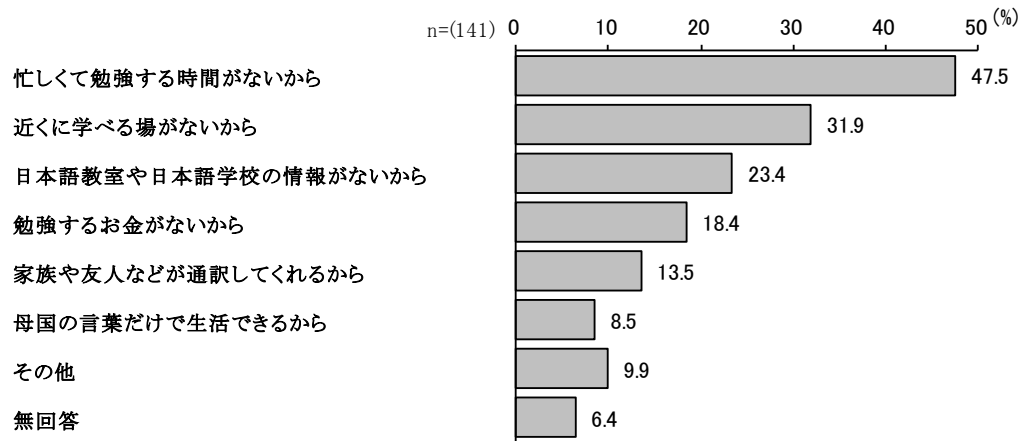


在留資格別の日本語の学習方法については、技能実習、技術・人文知識・国際業務、家族滞在、特定技能では「教材やインターネットまたはオンラインなどで自分で勉強している」が80%を超えている。また、留学では「通っている大学や学校で学んでいる」(66.7%)、技術・人文知識・国際業務では「日本人の知人・友人に教えてもらっている」(54.5%)、日本人の配偶者等では「家族に教えてもらっている」(55.6%)、「日本人の知人・友人に教えてもらっている」(55.6%)が他資格より多くなっている。

(16) 日本語を学習しない理由

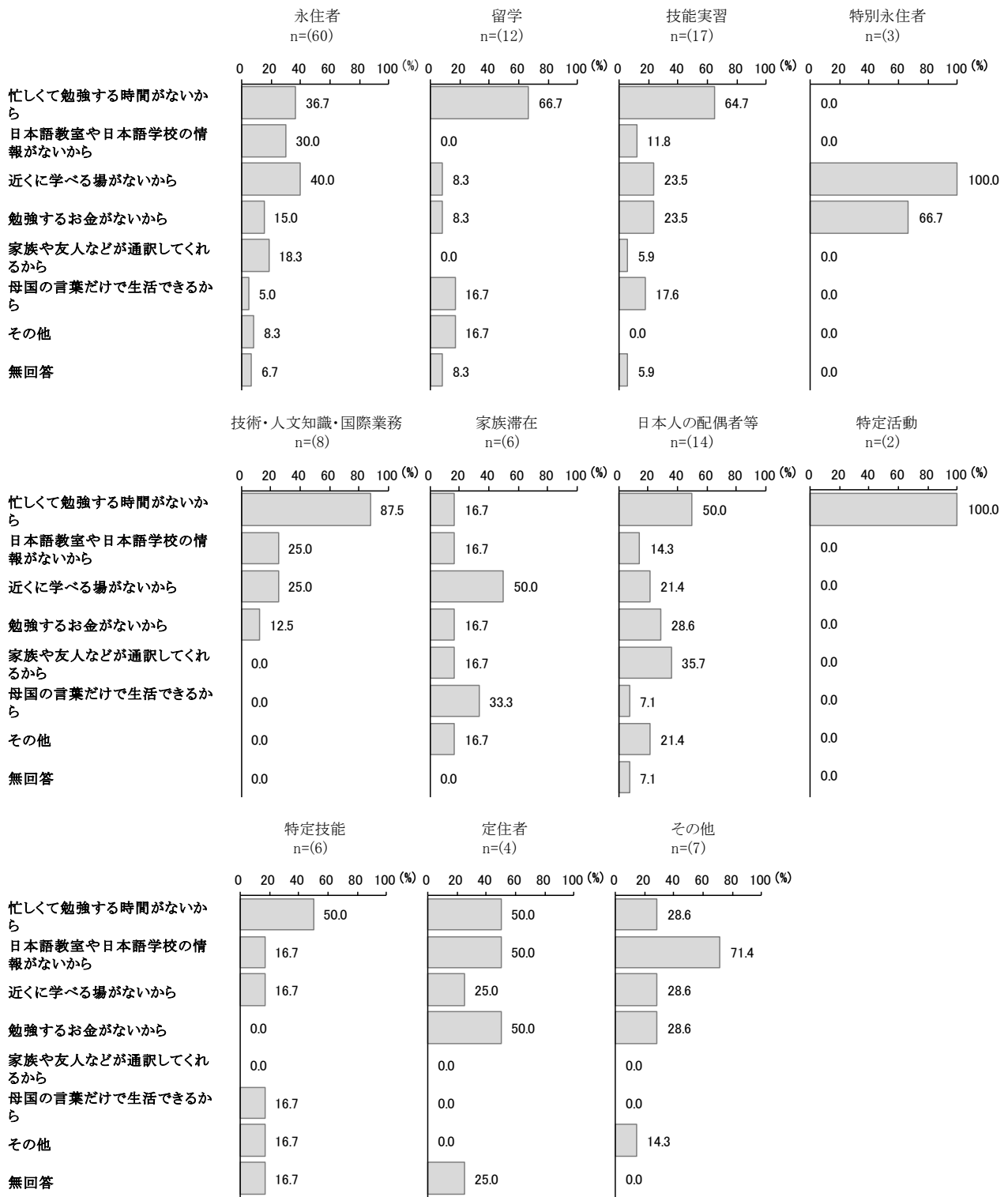
問 16 あなたが日本語を学ばない、学んでいない理由は何ですか。(複数回答)

※問 14 で「3. 現在は学習していないが、できれば学習したい」または「4. 現在は学習していないし、学習するつもりもない」と回答された方が対象



日本語を学習しない理由については、「忙しくて勉強する時間がないから」が 47.5%と最も多く、以下、「近くに学べる場がないから」(31.9%)、「日本語教室や日本語学校の情報がないから」(23.4%)、「勉強するお金がないから」(18.4%) などとなっている。

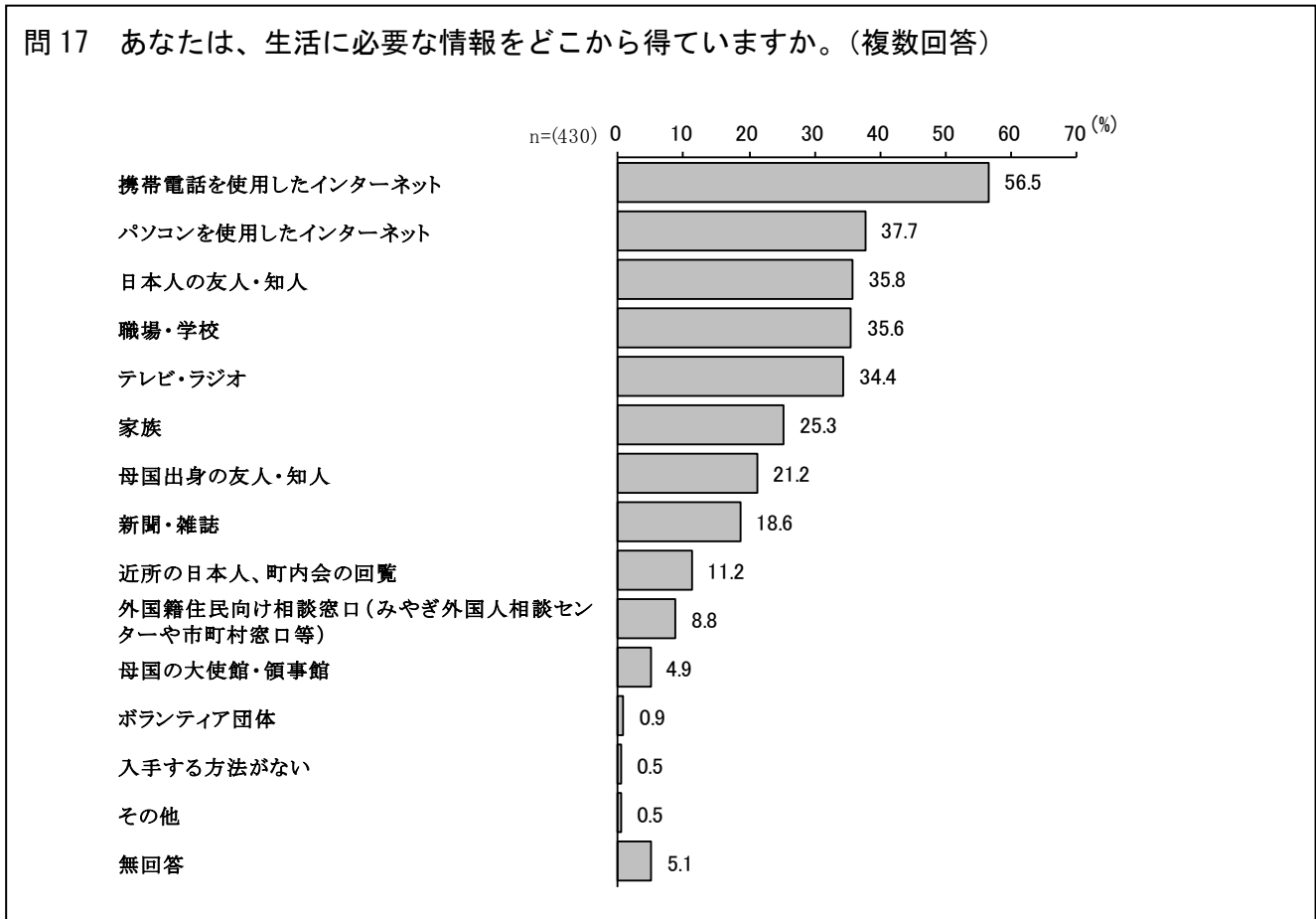
【在留資格別 日本語を学習しない理由】



在留資格別の日本語を学習しない理由については、留学、技能実習、技術・人文知識・国際業務では「忙しくて勉強する時間がないから」が60%を超えている。また、永住者では「日本語教室や日本語学校の情報がないから」(30.0%)、近くに学べる場がないから(40.0%)、家族滞在では「近くに学べる場がないから」(50.0%)、「母国の言葉だけで生活できるから」(33.3%)、日本人の配偶者等では「勉強するお金がないから」(28.6%)、「家族や友人などが通訳してくれるから」(35.7%)が他資格より多くなっている。

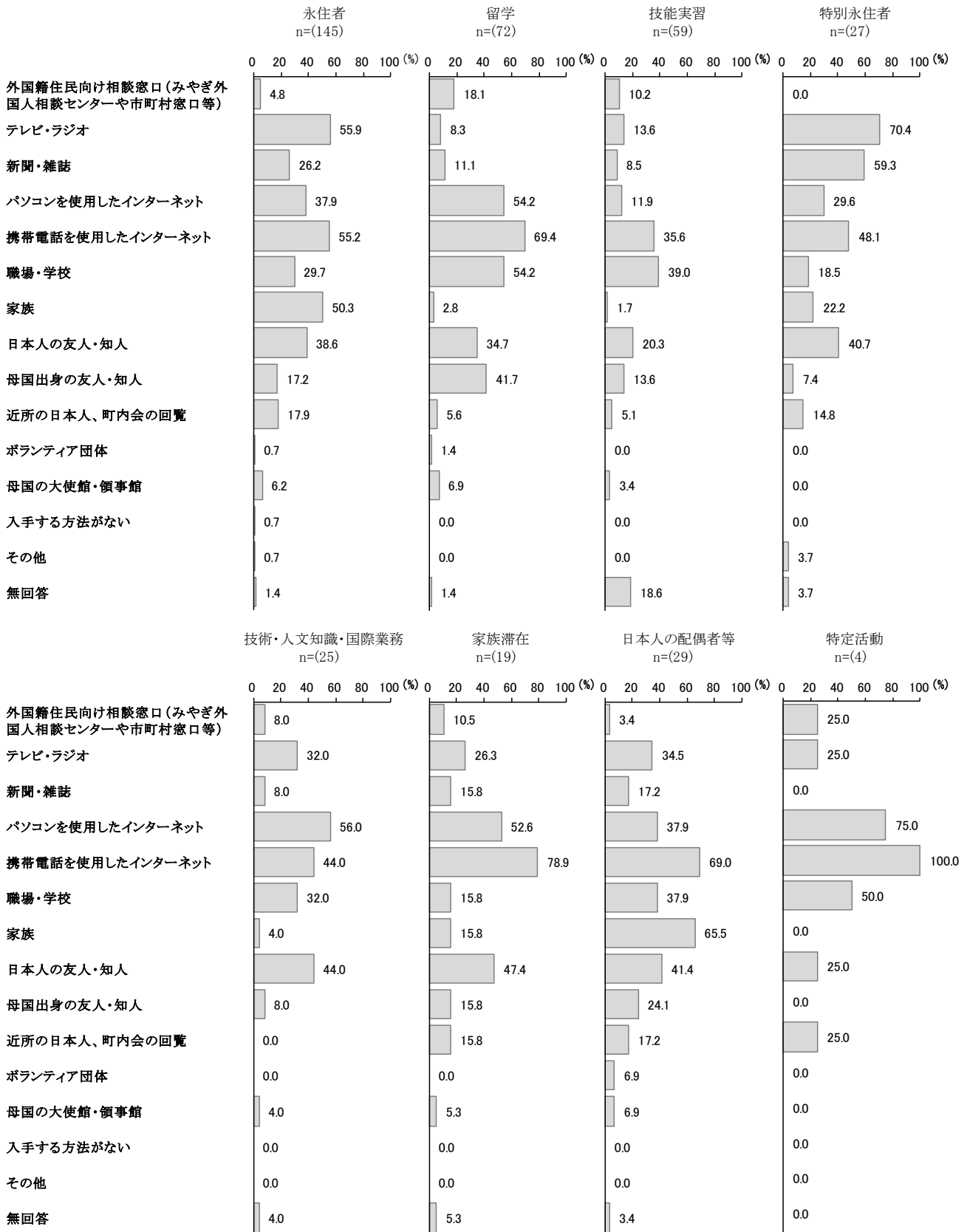
4. 情報

(17) 生活に必要な情報の入手先

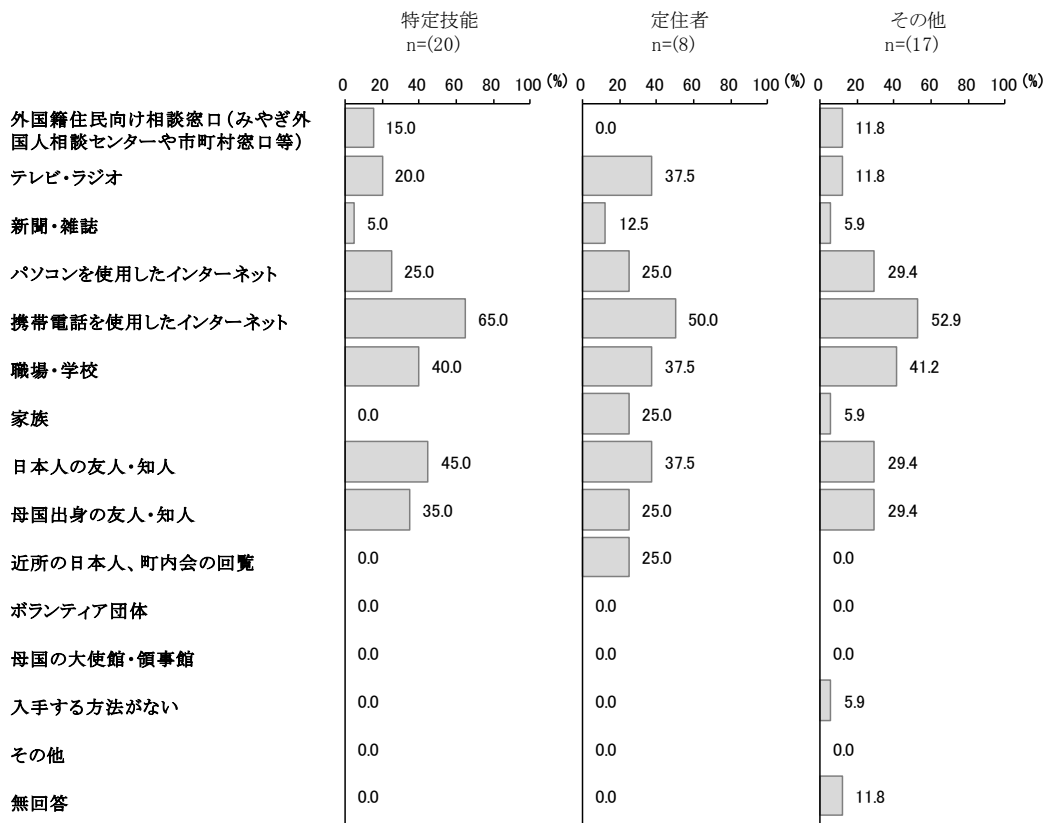


生活に必要な情報の入手先については、「携帯電話を使用したインターネット」が56.5%と最も多く、以下、「パソコンを使用したインターネット」(37.7%)、「日本人の友人・知人」(35.8%)、「職場・学校」(35.6%)、「テレビ・ラジオ」(34.4%) などとなっている。

【在留資格別 生活に必要な情報の入手先 (1/2)】



【在留資格別 生活に必要な情報の入手先 (2/2)】

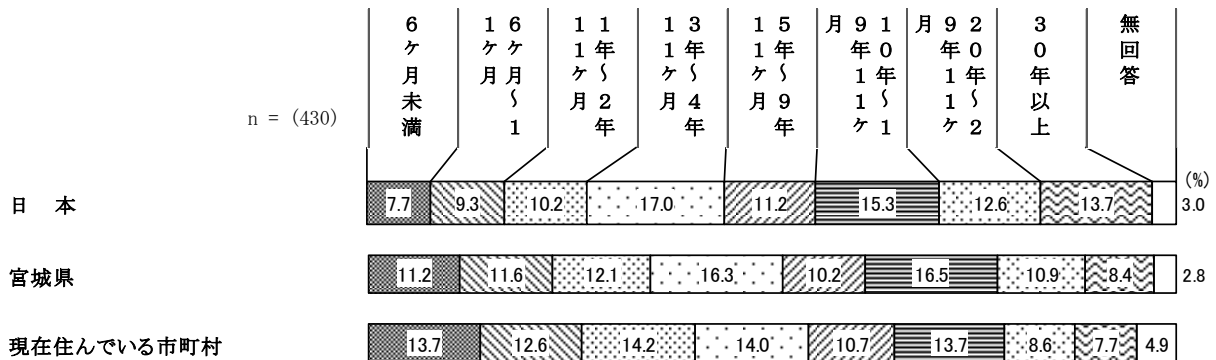


在留資格別の生活に必要な情報の入手先については、永住者、特別永住者では「テレビ・ラジオ」が50%以上、「新聞・雑誌」25%以上と他資格より多くなっている。「携帯電話を使用したインターネット」は、留学、家族滞在、日本人の配偶者等、特定技能では60%を超えている。

5. 居住

(18) 居住年数

問 18 あなたは、通算して日本にどのくらい住んでいますか。また、宮城県、現在住んでいる市町村には、通算して何年間住んでいますか。(単数回答)

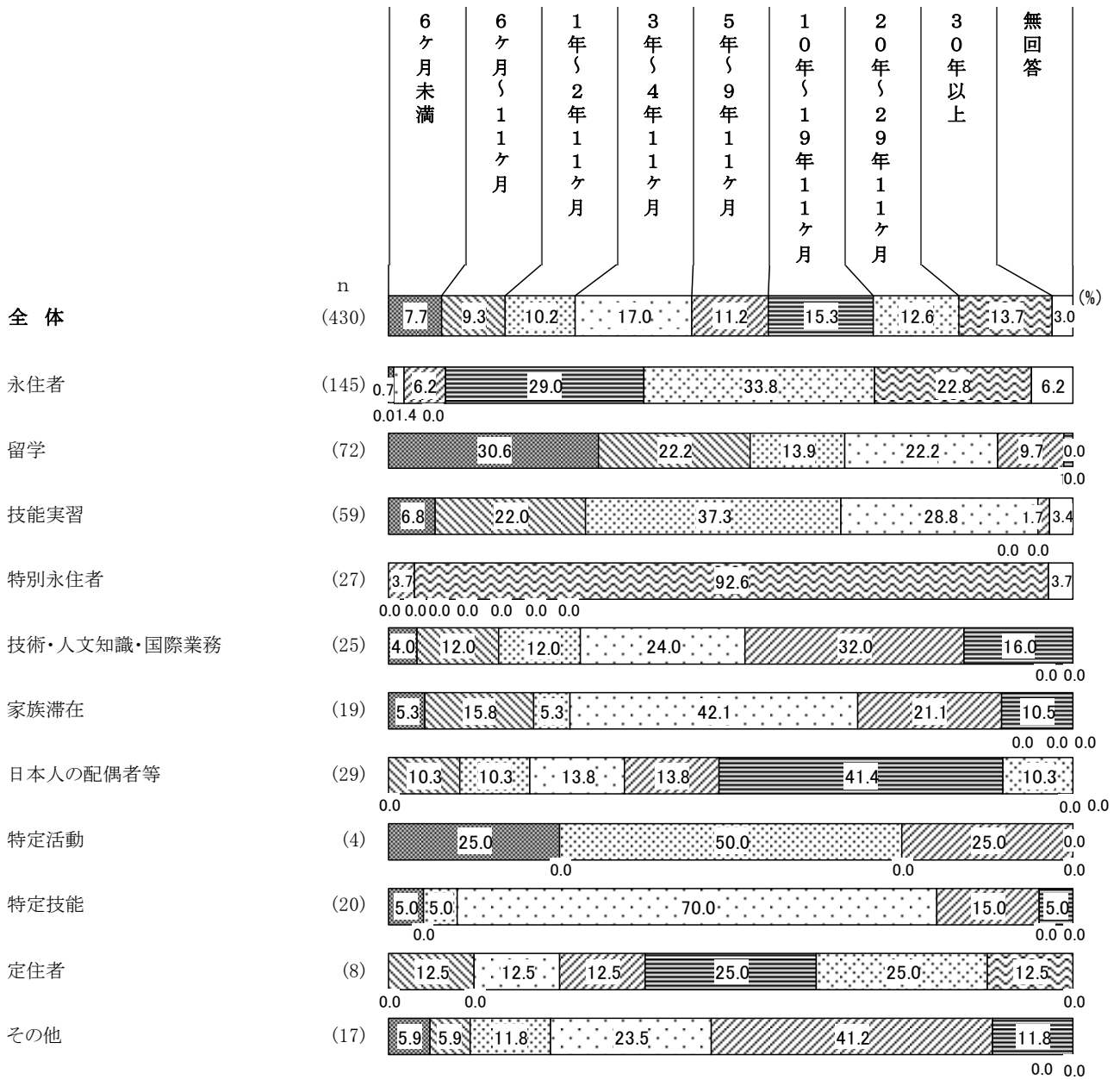


居住年数については、『日本』では、『10年以上』が41.6%と多く、『3年未満』と『3～10年未満』は約3割となっている。

『宮城県』では、『3年未満』と『10年以上』が3割半ばと多く、『3～10年未満』は26.5%となっている。

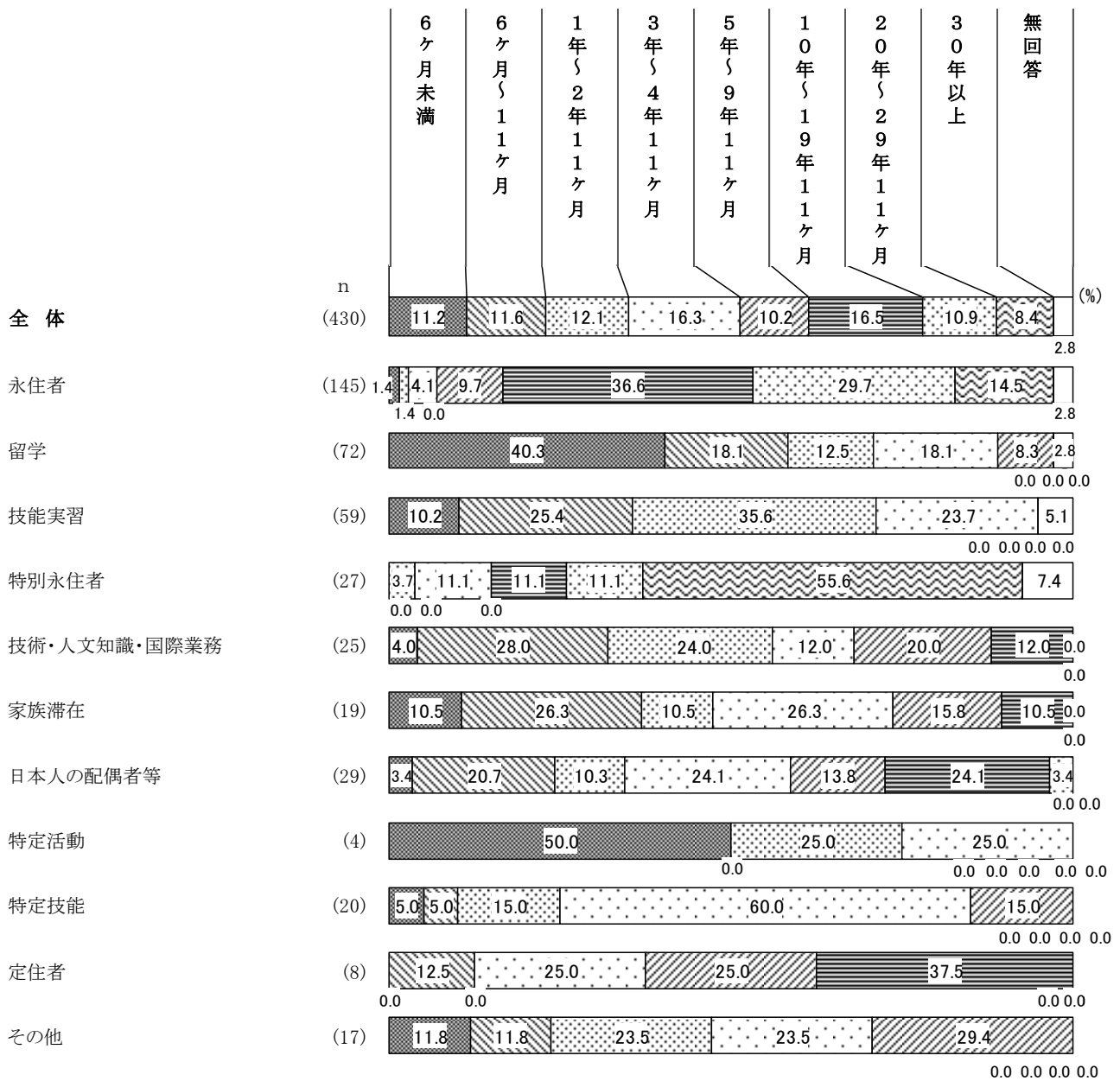
『現在住んでいる市町村』では、『3年未満』が40.5%と多く、『10年以上』は30.0%、『3～10年未満』は24.7%となっている。

【在留資格別 居住年数：日本】



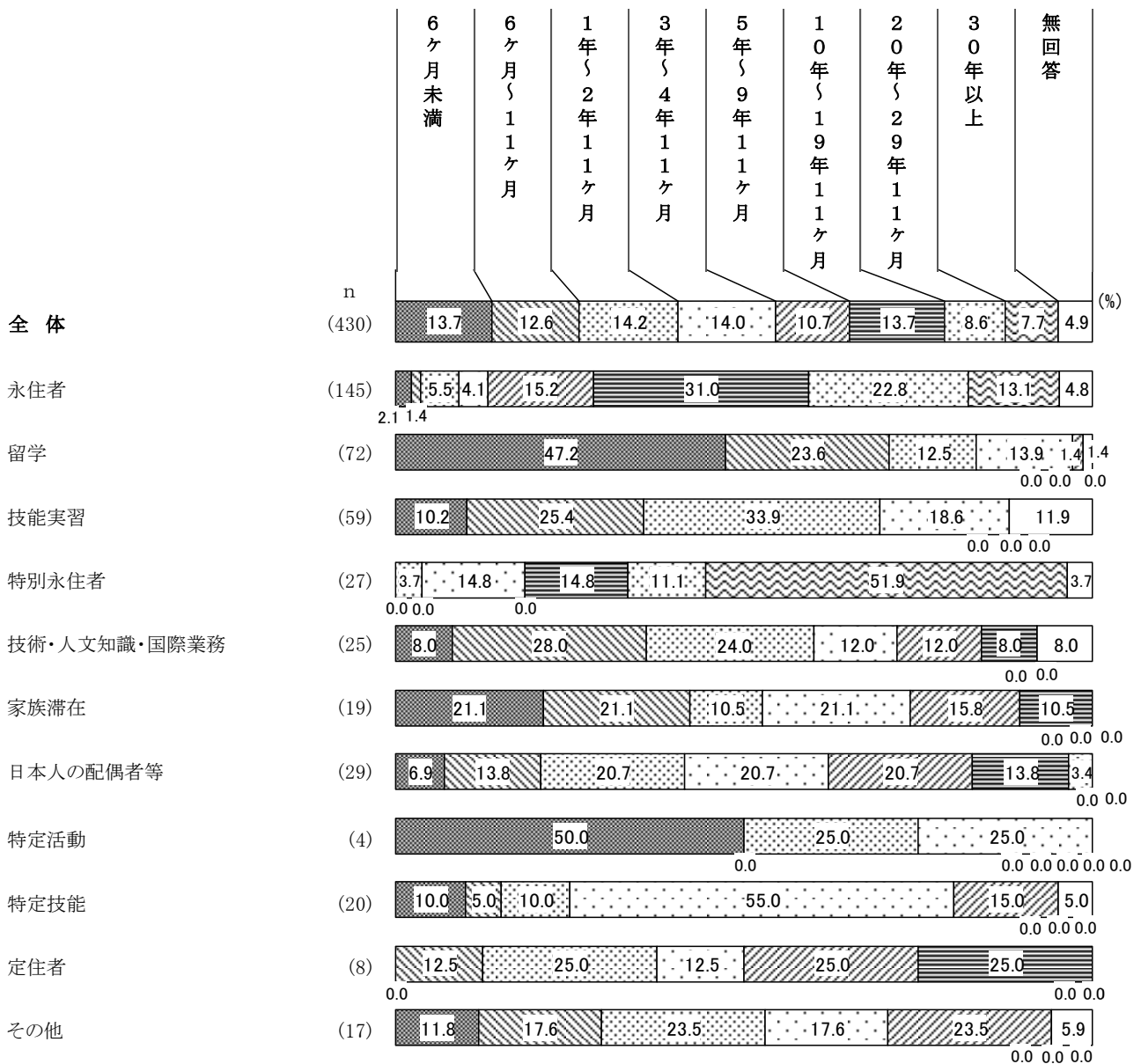
在留資格別の日本の居住年数については、留学、技能実習では「3年未満」が50%台となっている。技術・人文知識・国際業務、家族滞在では「3～10年未満」が50%以上、永住者、特別永住者では「10年以上」が85%以上と他資格より多くなっている。特定技能では「3年～4年11ヶ月」が70.0%と最も多い。

【在留資格別 居住年数：宮城県】



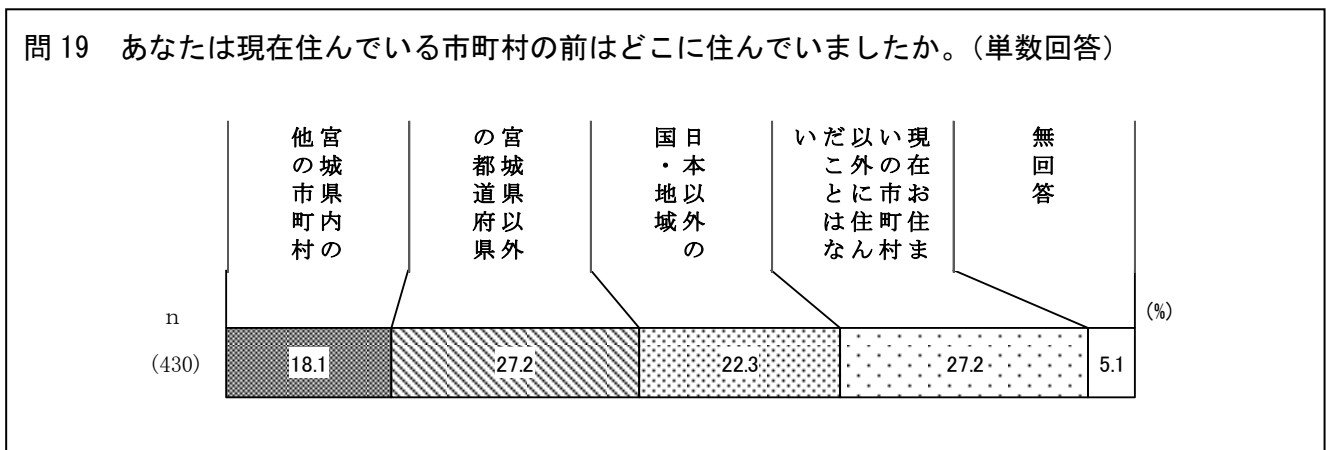
在留資格別の宮城県の居住年数については、留学、技能実習では「3年未満」が70%台となっている。永住者、特別永住者では「10年以上」が75%以上、特定技能では「3年～4年11ヶ月」が60.0%を占め、「3～10年未満」が75.0%と他資格より多くなっている。家族滞在、日本人の配偶者等は、「3年未満」と「3～10年未満」がそれぞれ同程度の割合を占めており、家族滞在では40%台、日本人の配偶者等では30%台となっている。

【在留資格別 居住年数：現在住んでいる市町村】



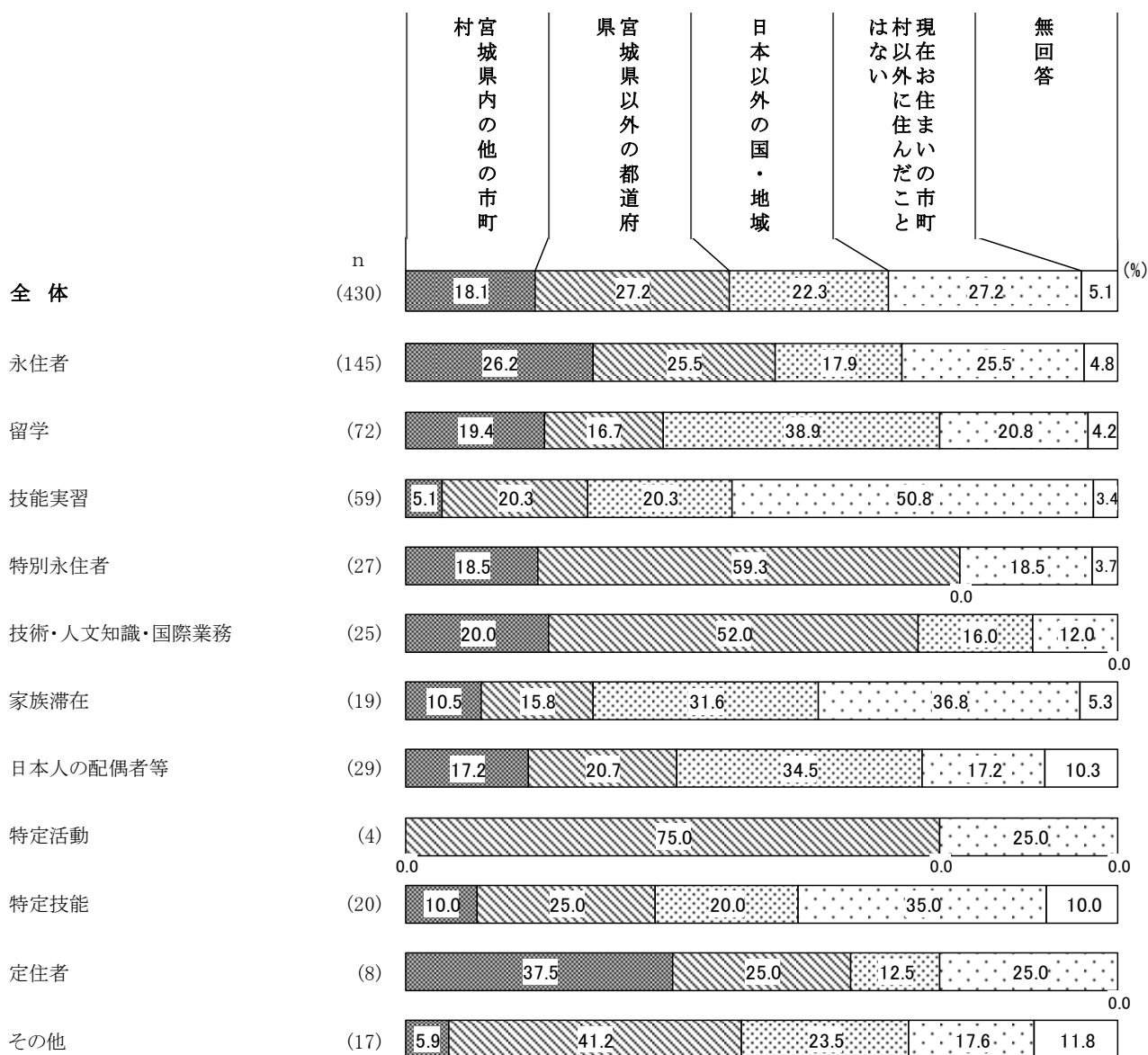
在留資格別の現在住んでいる市町村の居住年数については、永住者では「10年～19年11ヶ月」(31.0%)、留学では「6ヶ月未満」(47.2%)、技能実習では「1年～2年11ヶ月」(33.9%)、特別永住者では「30年以上」(51.9%)、技術・人文知識・国際業務では「6ヶ月～11ヶ月」(28.0%)、特定技能では「3年～4年11ヶ月」(55.0%)が他資格より多くなっている。

(19) 以前の居住地



以前の居住地については、「宮城県以外の都道府県」「現在お住まいの市町村以外に住んだことはない」がともに 27.2%と多く、以下、「日本以外の国・地域」(22.3%)、「宮城県内の他の市町村」(18.1%)となっている。

【在留資格別 以前の居住地】

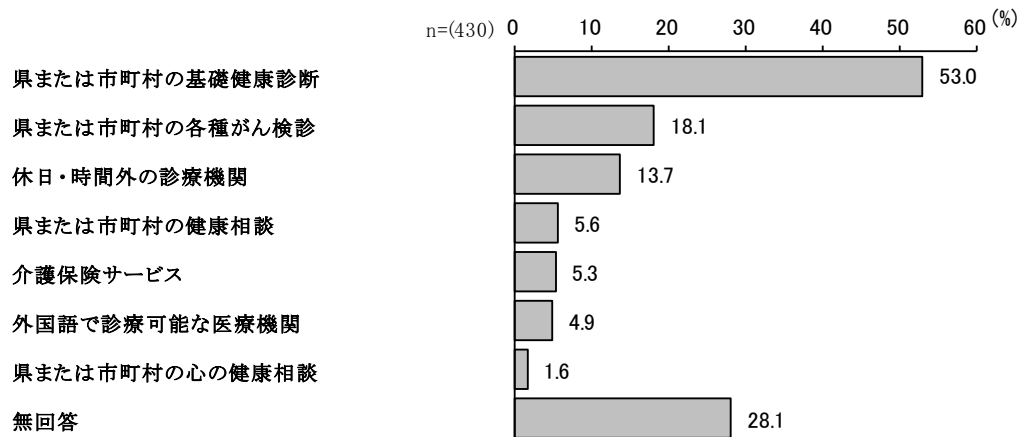


在留資格別の以前の居住地については、永住者では「宮城県内の他の市町村」(26.2%)、留学では「日本以外の国・地域」(38.9%)、技能実習では「現在お住いの市町村以外に住んだことはない」(50.8%)、特別永住者、技術・人文知識・国際業務では「宮城県以外の都道府県」が50%台と他資格より多くなっている。

6. 医療・福祉

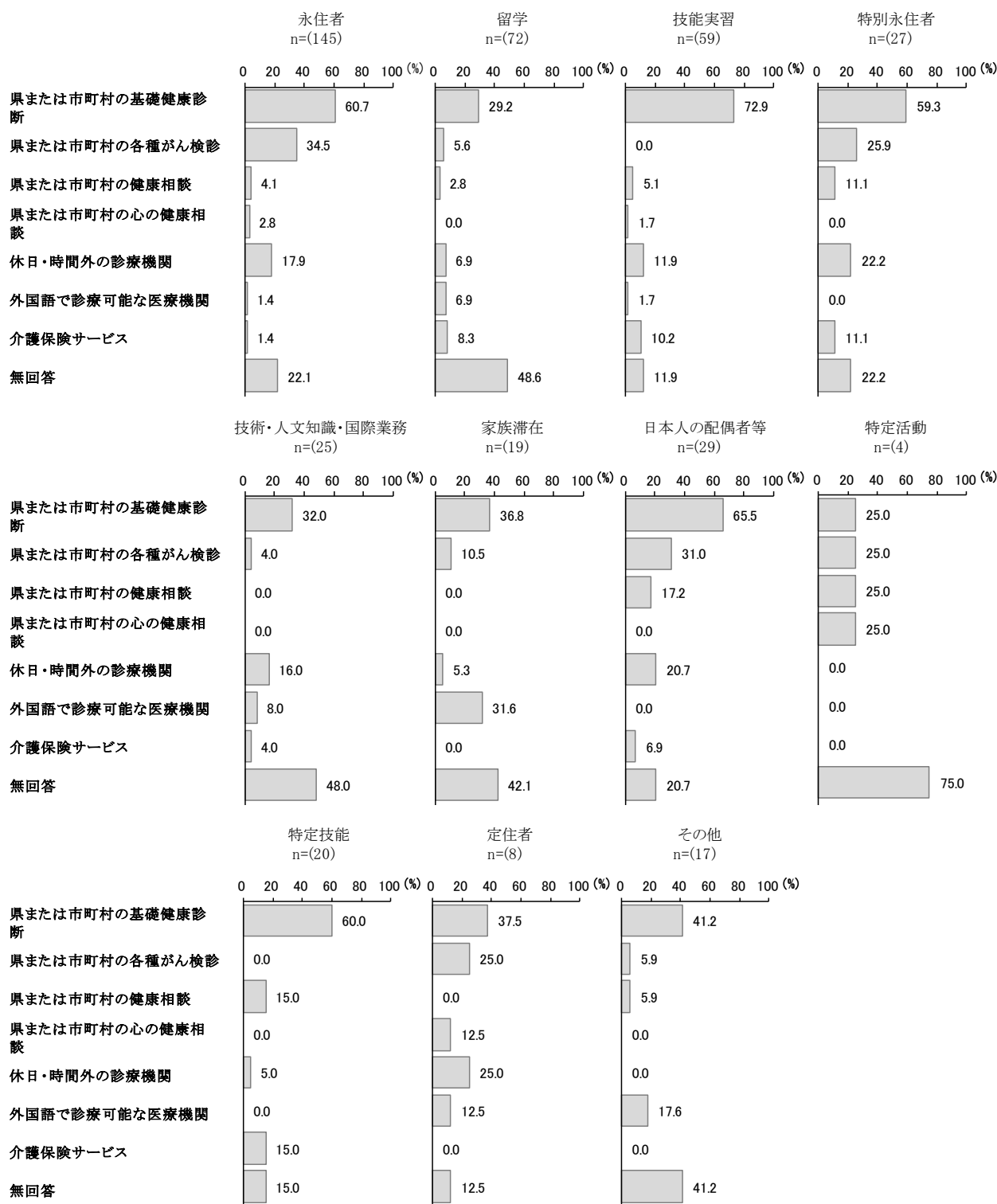
(20) 保健・医療・介護サービスの利用経験

問 20 以下のような保健・医療・介護サービスを利用したことがありますか。(複数回答)



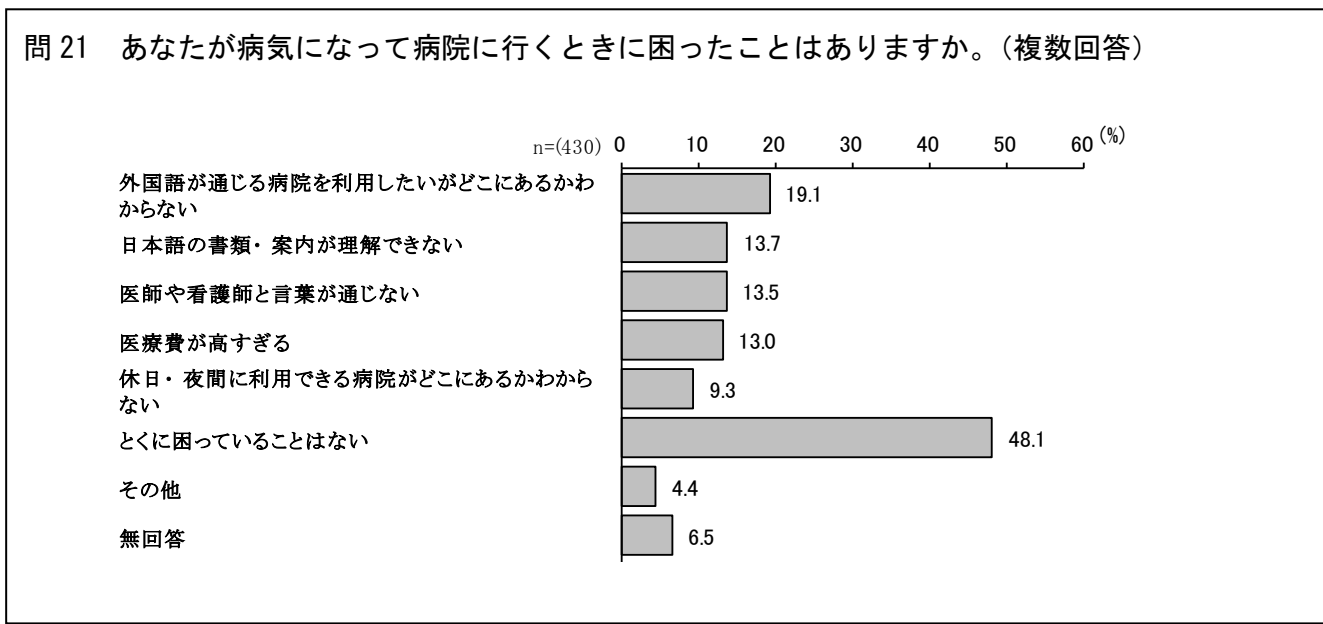
保健・医療・介護サービスの利用経験については、「県または市町村の基礎健康診断」が 53.0%と最も多く、以下、「県または市町村の各種がん検診」(18.1%)、「休日・時間外の診療機関」(13.7%) などとなっている。

【在留資格別 保健・医療・介護サービスの利用経験】



在留資格別の保健・医療・介護サービスの利用経験については、すべての在留資格で「県または市町村の基礎健康診断」が最も多くなっている。次いで、永住者、特別永住者、日本人の配偶者等では「県または市町村の各種がん検診」が多い。また、特別永住者、日本人の配偶者等では「休日・時間外の診療機関」が20%台、家族滞在では「外国語で診療可能な医療機関」が31.6%と他資格より多くなっている。

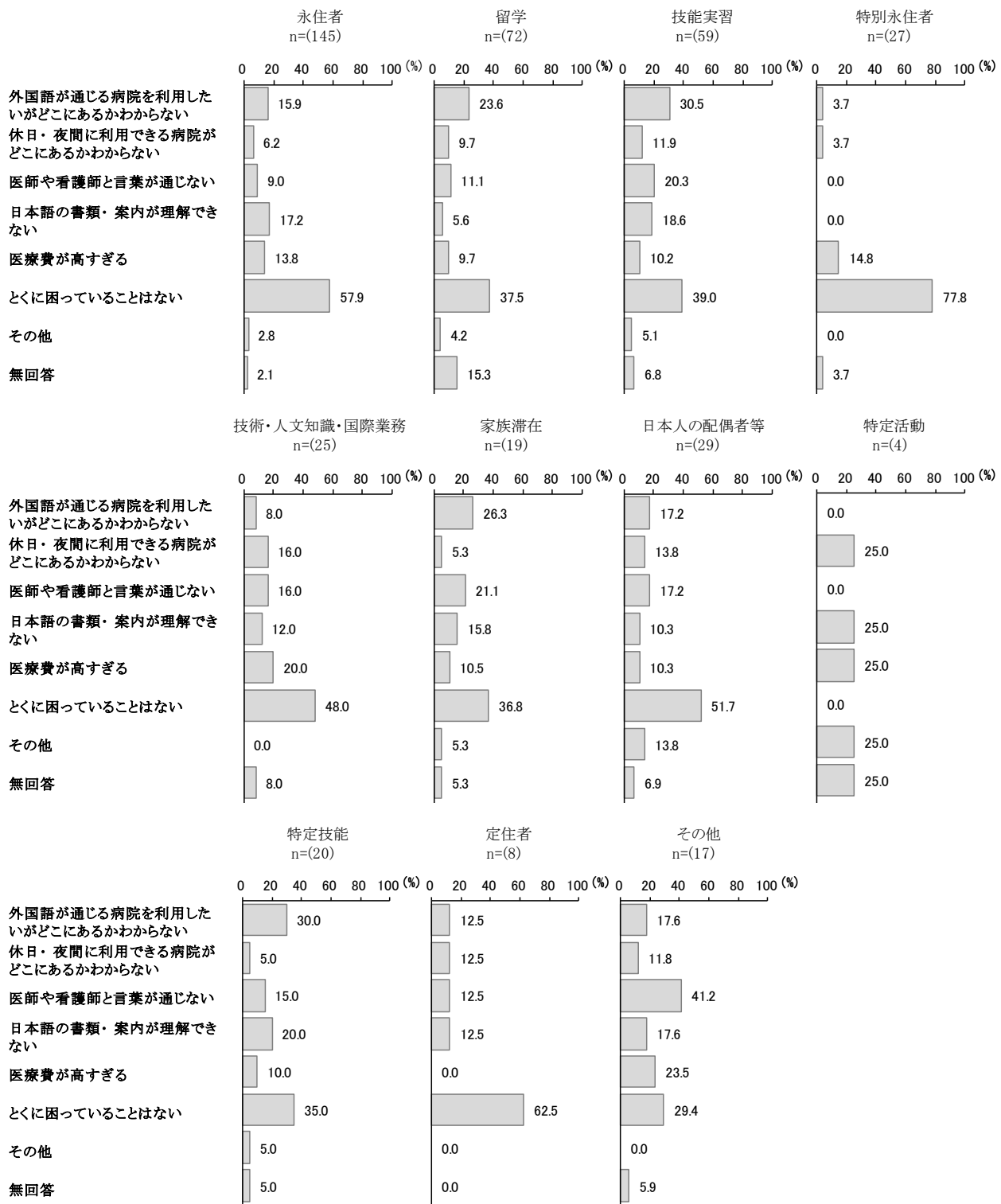
(21) 病院で困った経験



病院での困ったことの経験については、「外国語が通じる病院を利用したいがどこにあるかわからない」が19.1%と最も多く、以下、「日本語の書類・案内が理解できない」(13.7%)、「医師や看護師と言葉が通じない」(13.5%)、「医療費が高すぎる」(13.0%) などとなっている。

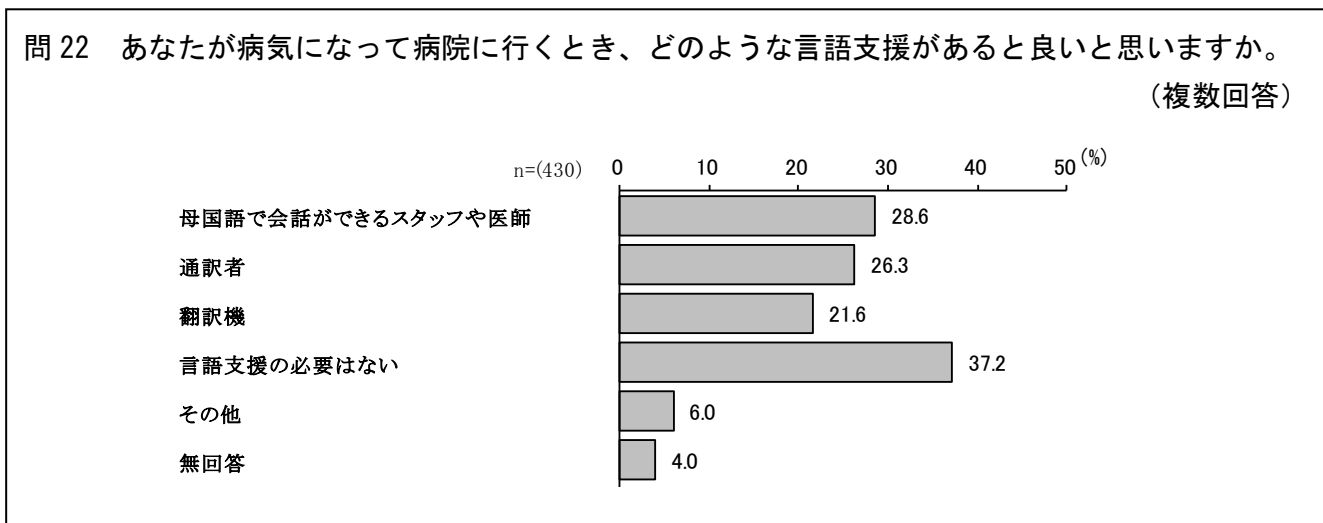
一方、約半数は「とくに困っていることはない」と回答している。

【在留資格別 病院で困った経験】



在留資格別の病院での困ったことの経験については、留学、技能実習、家族滞在、特定技能では「外国語が通じる病院を利用したいがどこにあるかわからない」が最も多く20%を超えている。また、特別永住者、技術・人文知識・国際業務では「医療費が高すぎる」が他資格より多くなっている。

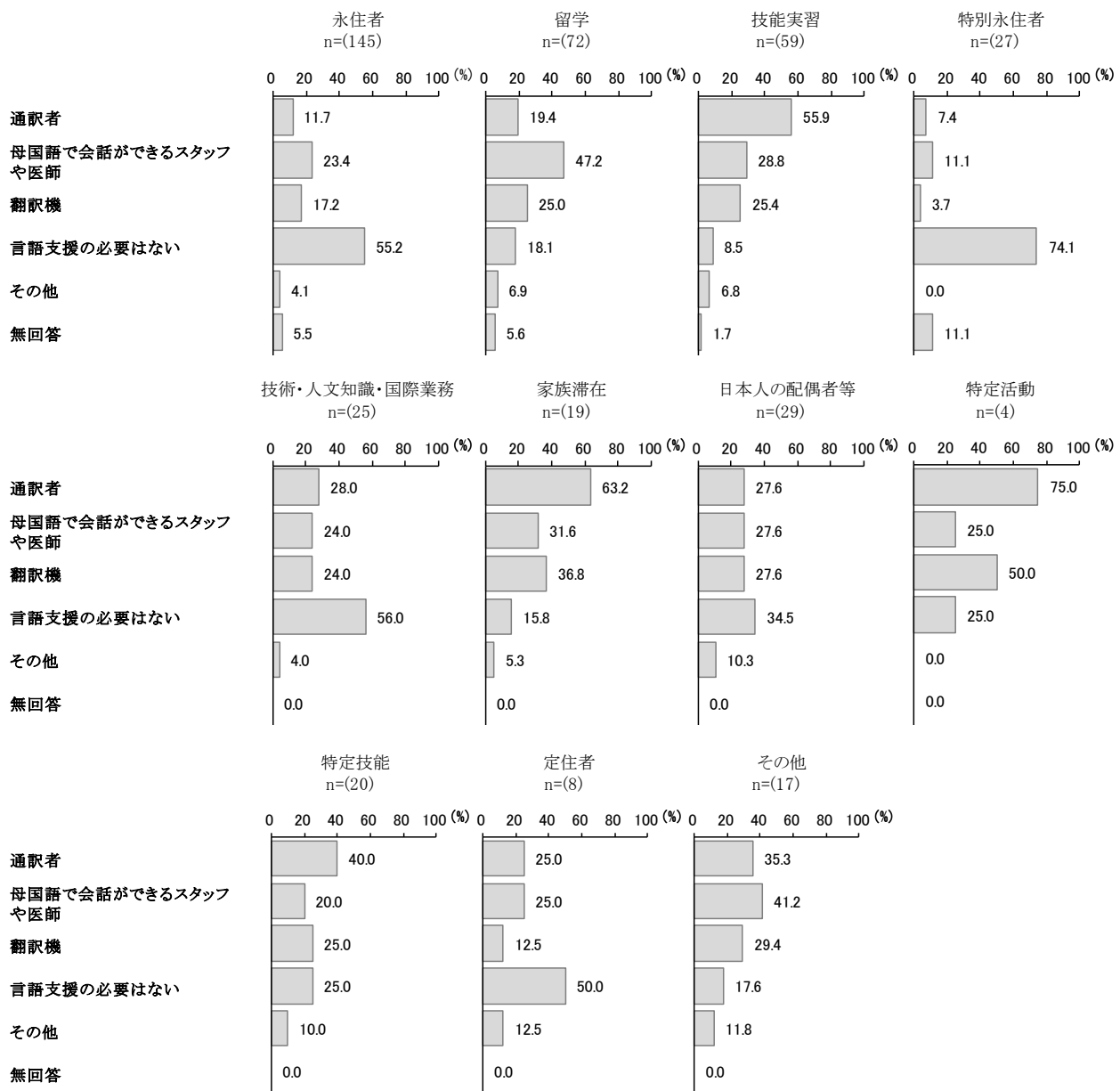
(22) 病院に求める言語支援



病院に求める言語支援については、「母国語で会話ができるスタッフや医師」が 28.6%、「通訳者」が 26.3%、「翻訳機」が 21.6%となっている。

一方、「言語支援の必要はない」は 37.2%となっている。

【在留資格別 病院に求める言語支援】

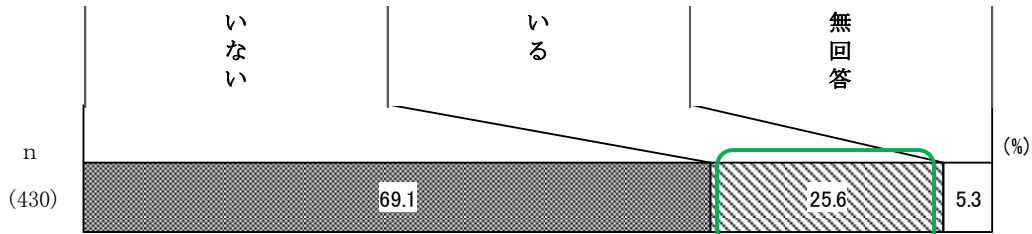


在留資格別の病院に求める言語支援については、留学では「母国語で会話ができるスタッフや医師」(47.2%)となっている。技能実習、家族滞在、特定技能では「通訳者」が40%を超えている。一方、永住者、特別永住者、技術・人文知識・国際業務、日本人の配偶者等では「言語支援の必要はない」が最も多い。

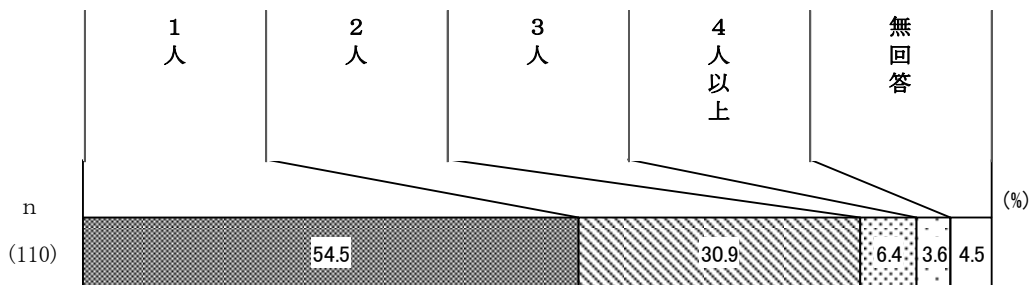
7. 育児・教育

(23) 18歳未満の子どもの有無・年齢

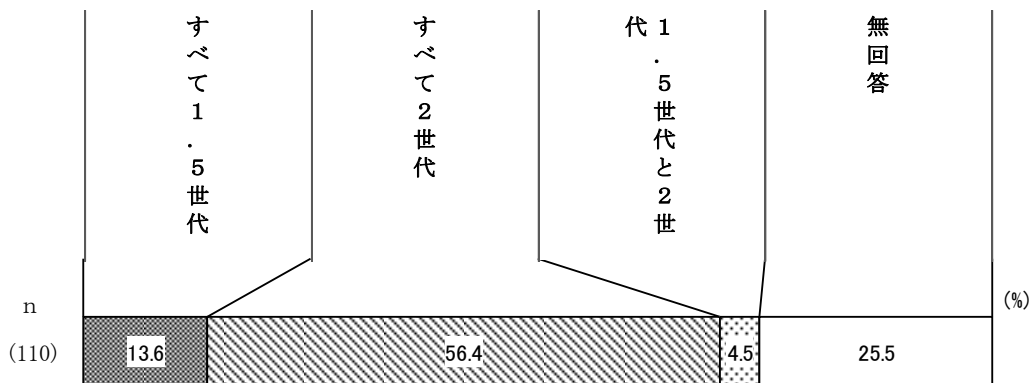
問23 あなたには現在、18歳未満のお子さんがいますか。(単数回答)



【子どもの人数】



【子どもの世代構成】

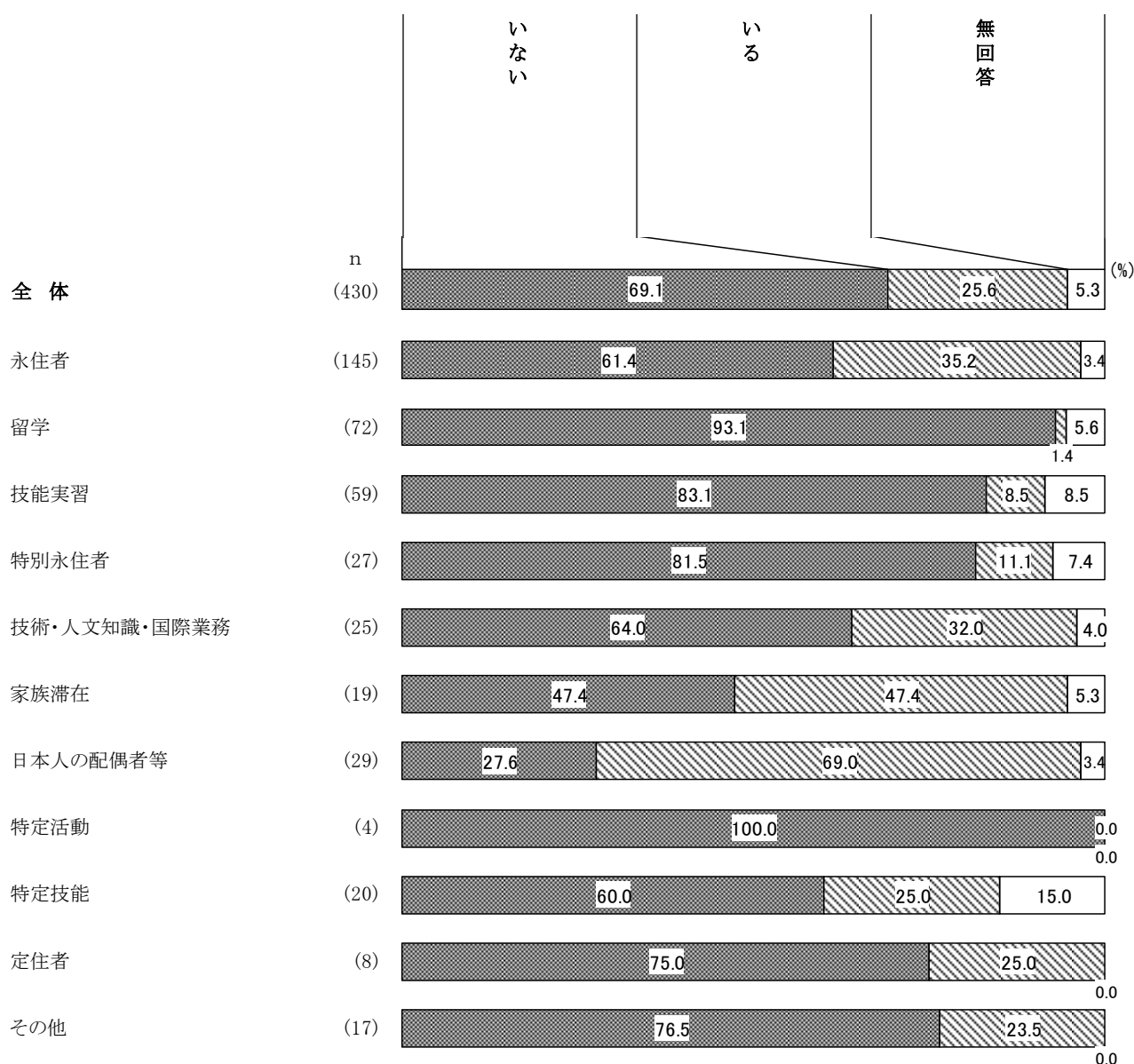


18歳未満の子どもの有無については、「いない」が69.1%と、「いる」(25.6%)を大きく上回っている。

子どもが「いる」人の、子どもの人数については、「1人」が54.5%と最も多く、「2人」が30.9%、「3人」が6.4%となっている。

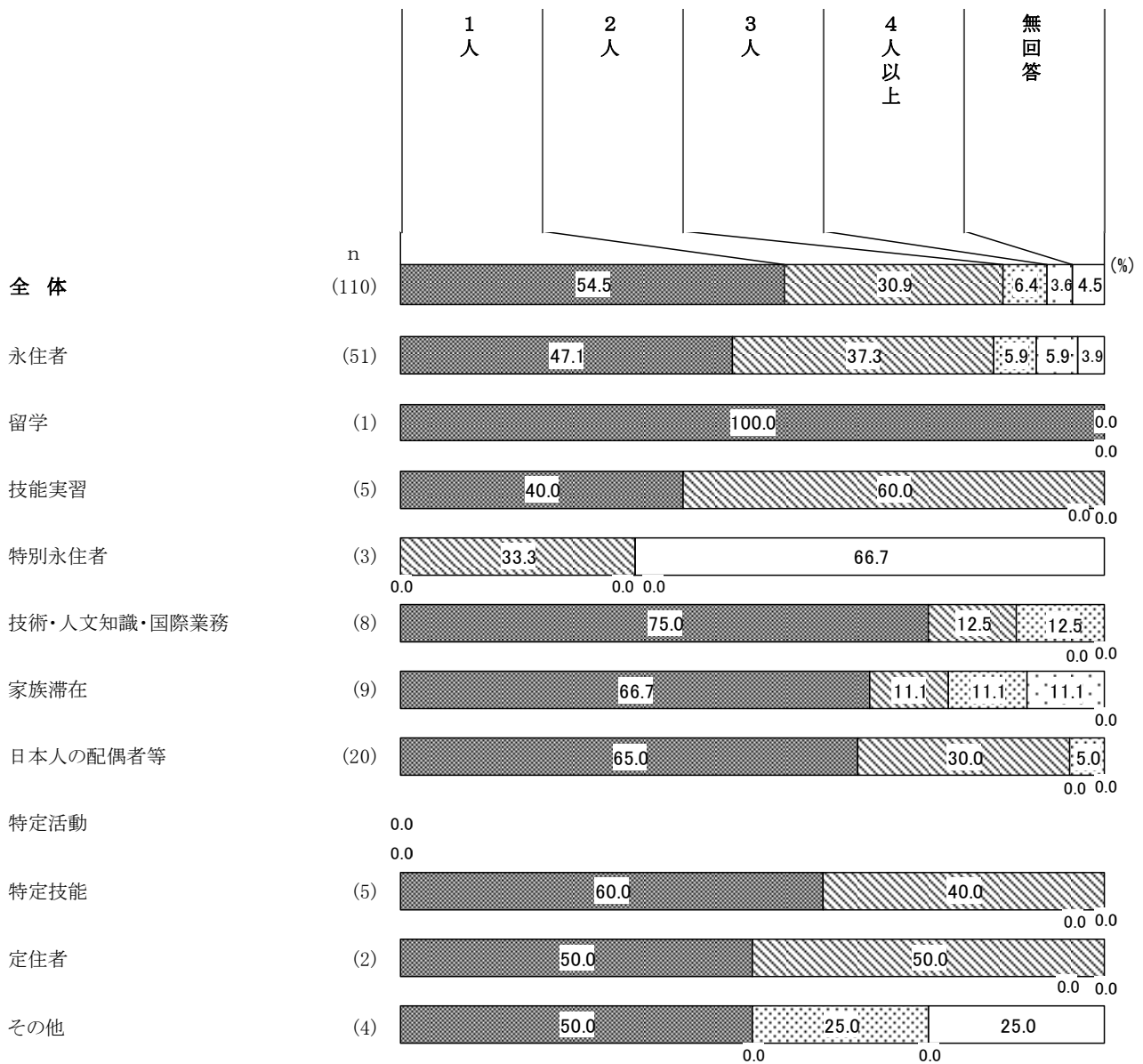
子どもの世代構成は、子どもすべてが日本生まれである「すべて2世代」が56.4%と最も多く、子どもすべてが日本に移住してきた「すべて1.5世代」は13.6%、日本生まれと移住してきた子どもが両方いる「1.5世代と2世代」は4.5%となっている。

【在留資格別 18 歳未満の子どもの有無】



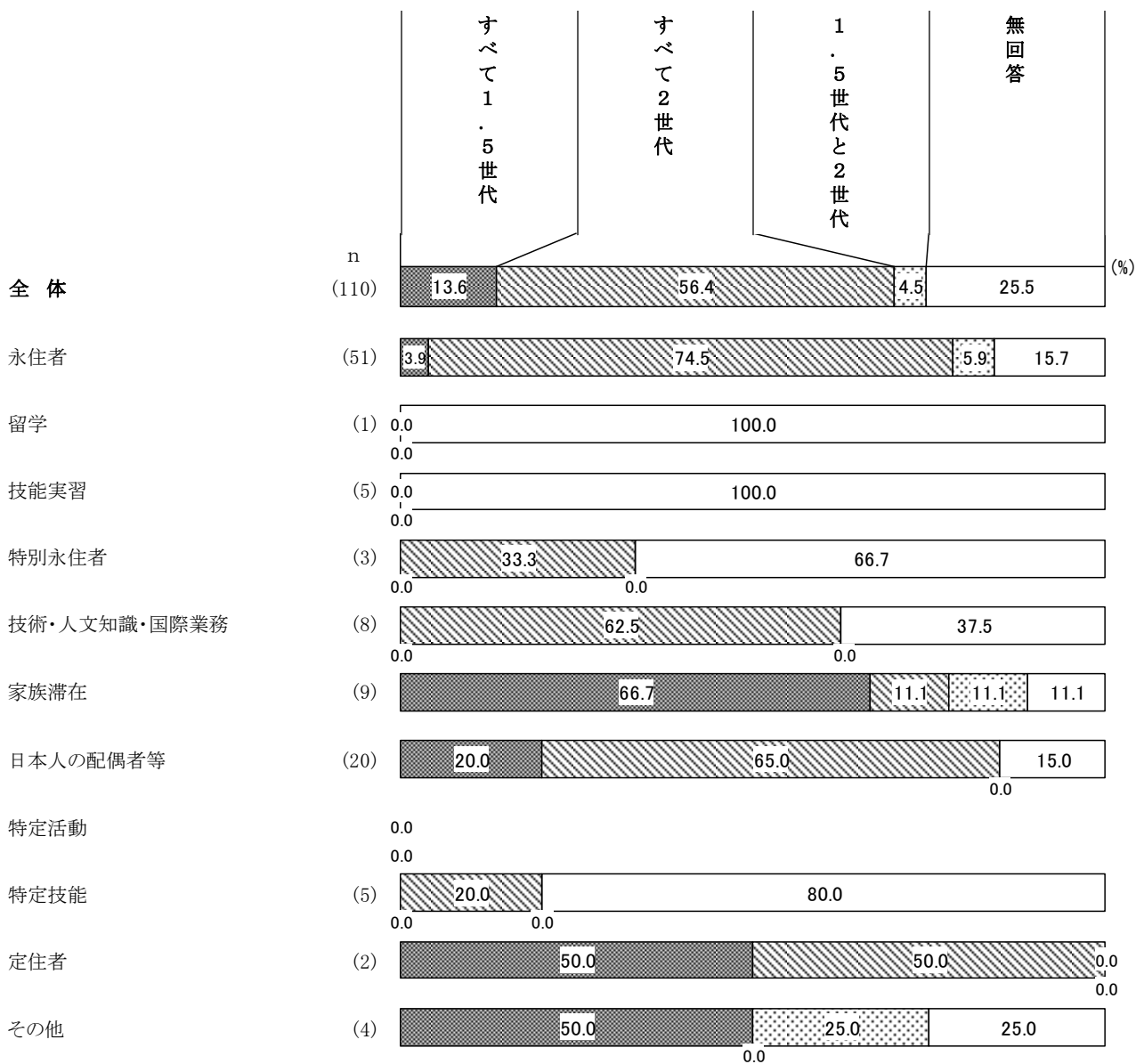
在留資格別の 18 歳未満の子どもの有無については、「いない」の割合が多い一方で、家族滞在では「いない」と「いる」がともに 47.4%と同率の割合、日本人の配偶者等では「いる」が 69.0%となっている。

【在留資格別 子どもの人数】



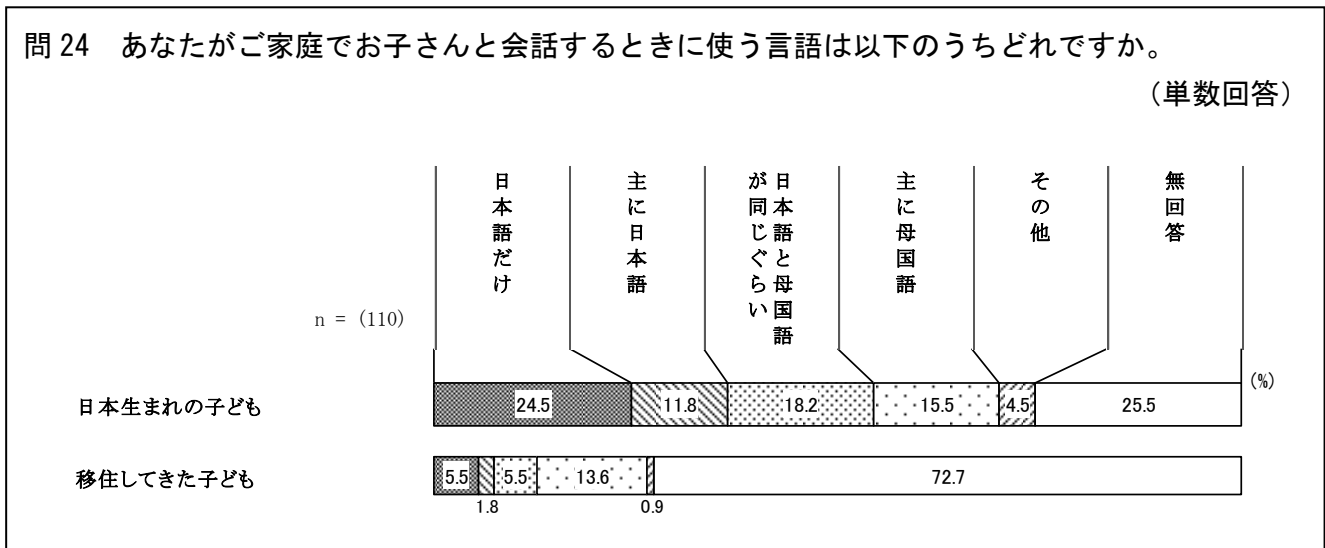
在留資格別の18歳未満の子どもの人数については、「1人」の割合が多く、技術・人文知識・国際業務では75.0%となっている。

【在留資格別 子どもの世代構成】



在留資格別の子どもの世代構成については、永住者、技術・人文知識・国際業務、日本人の配偶者等では「すべて2世代」が60%を超えている。家族滞在では「すべて1.5世代」が66.7%となっている。

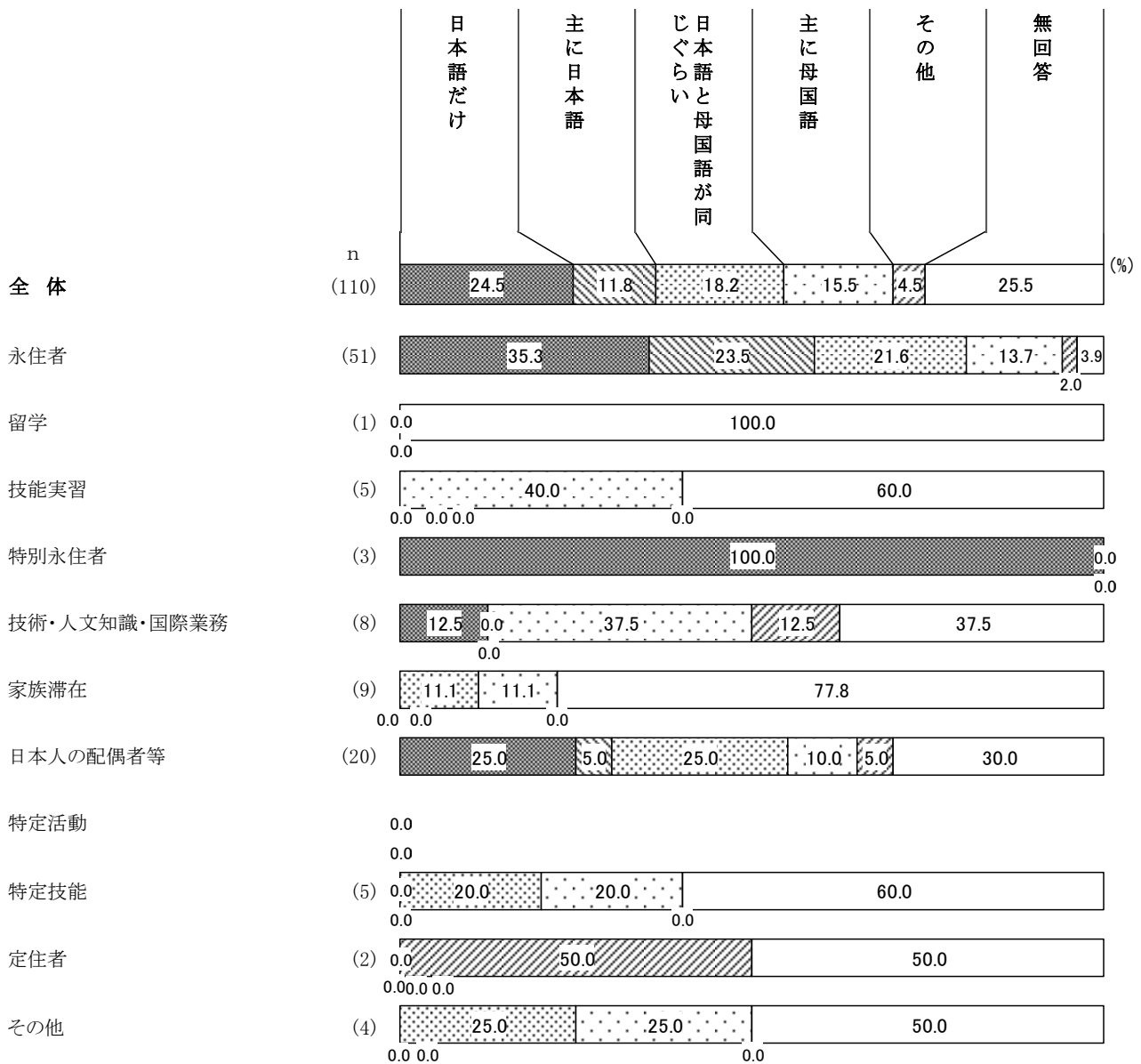
(24) 子どもと会話する言語



子どもと会話する言語については、『日本生まれの子ども』では、「日本語だけ」が 24.5%と最も多く、以下、「日本語と母国語が同じぐらい」(18.2%)、「主に母国語」(15.5%)、「主に日本語」(11.8%)となっている。

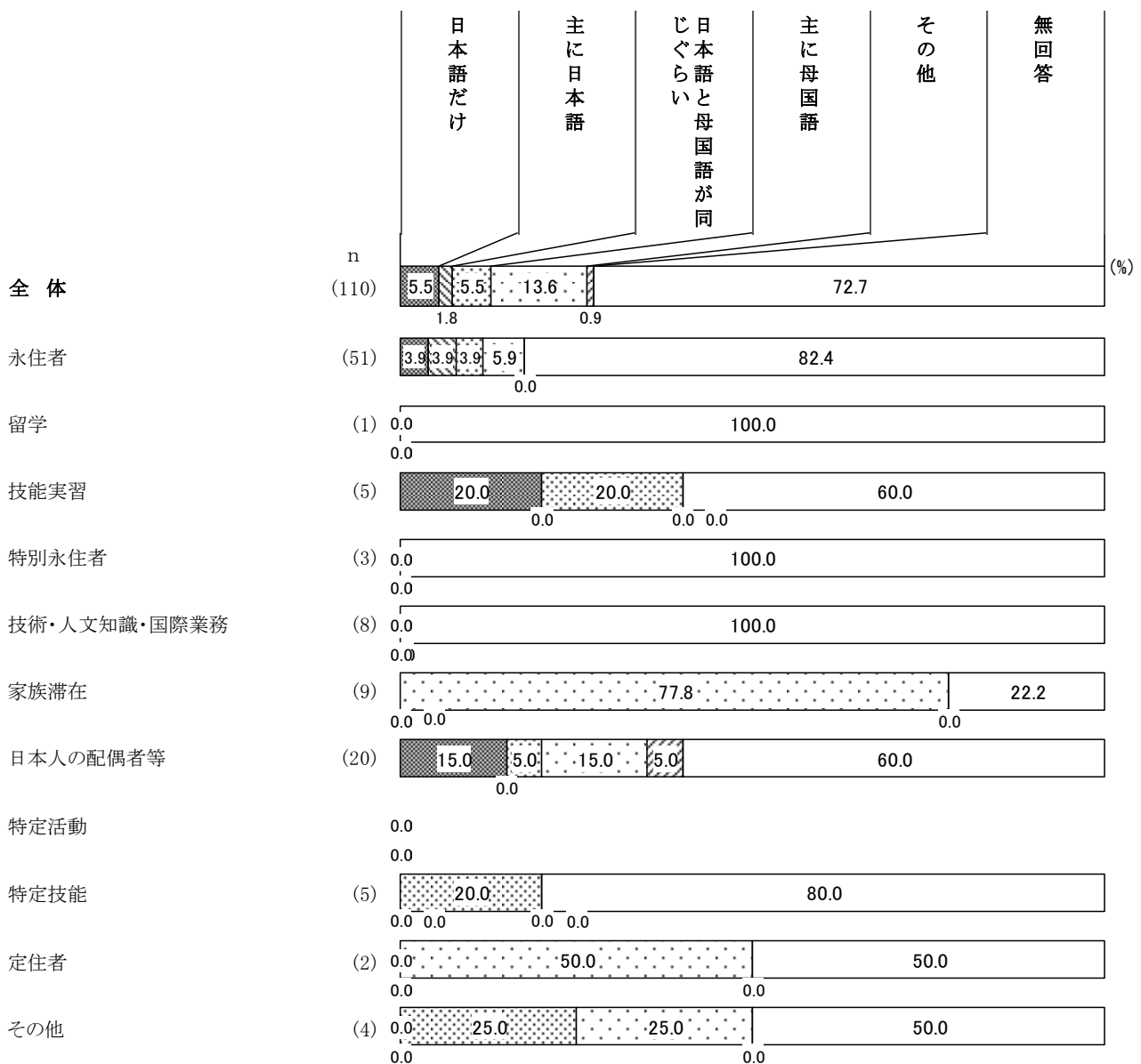
『移住してきた子ども』では、「主に母国語」が 13.6%と最も多く、以下、「日本語だけ」「日本語と母国語が同じぐらい」(ともに 5.5%)、「主に日本語」(1.8%) は 1 割未満にとどまっている。

【在留資格別 子どもと会話する言語：日本生まれの子ども】



在留資格別の日本生まれの子どもと会話する言語については、永住者では「日本語だけ」が35.3%となっている。技能実習、技術・人文知識・国際業務では「主に母国語」が30%を超えている。日本人の配偶者等では「日本語だけ」、「日本語と母国語が同じくらい」がともに25.0%となっている。

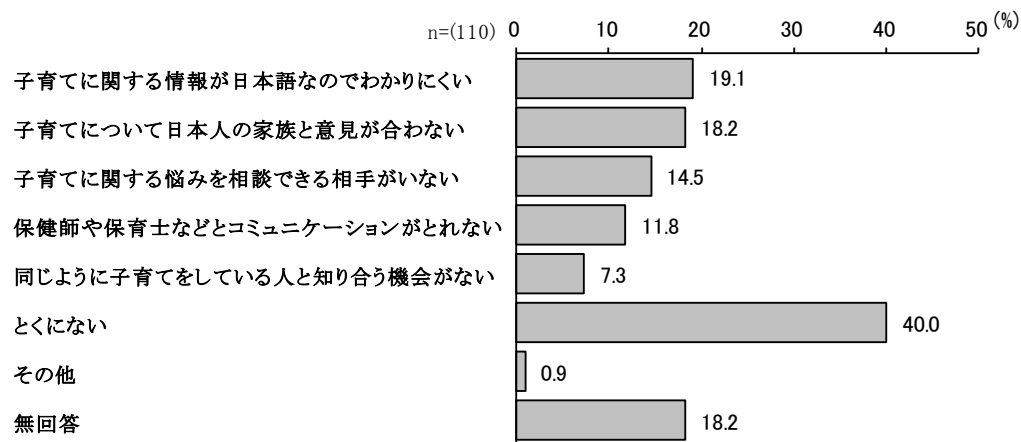
【在留資格別 子どもと会話する言語：移住してきた子ども】



在留資格別の移住してきた子どもと会話する言語については、家族滞在では「主に母国語」が77.8%、技能実習では「日本語だけ」、「日本語と母国語が同じくらい」がともに20.0%、日本人の配偶者等では「日本語だけ」、「主に母国語」がともに15.0%となっている。

(25) 育児で困っていること

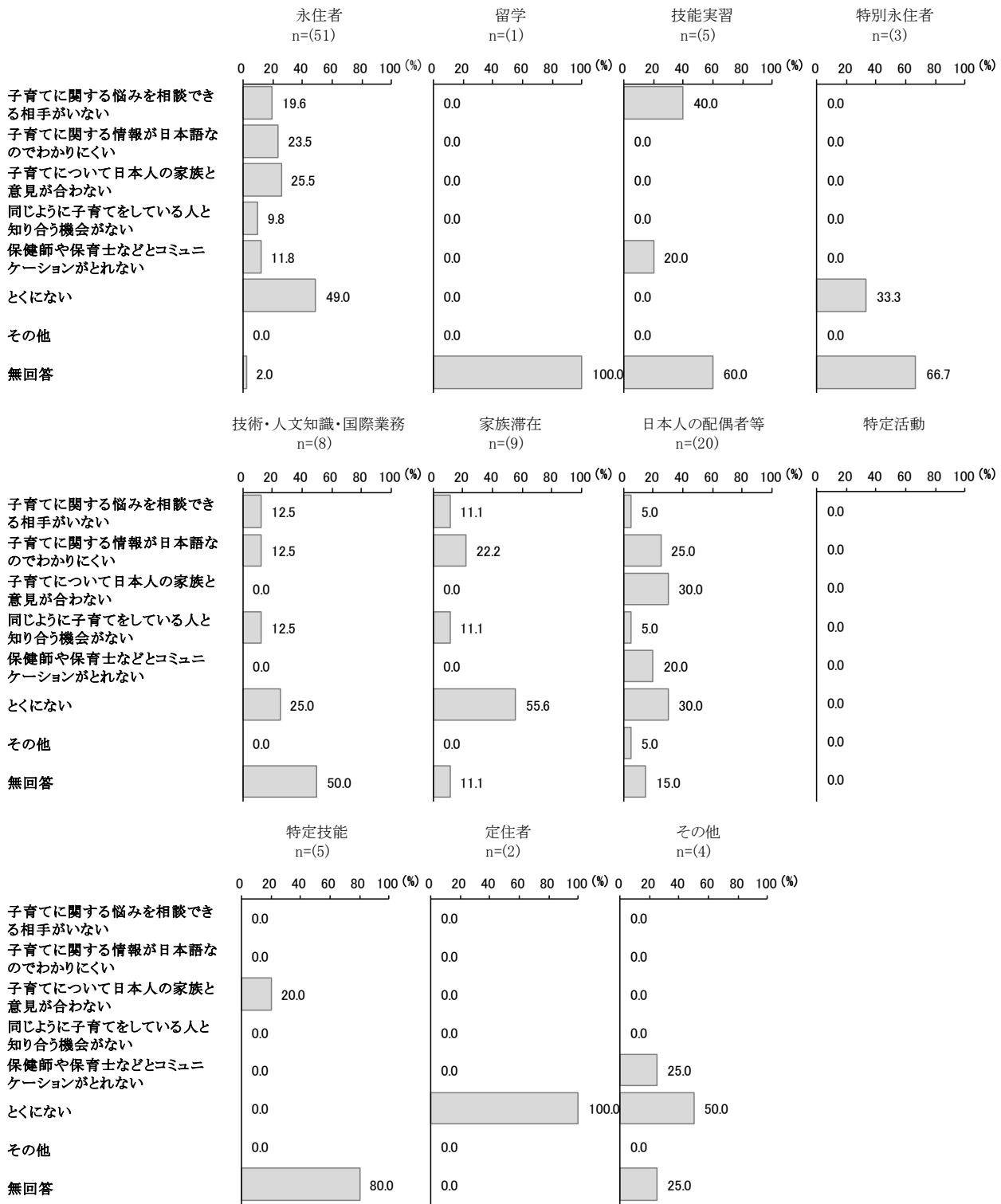
問 25 育児について、以下のようなことで困っていることはありますか。(複数回答)



育児で困っていることについては、「子育てに関する情報が日本語なのでわかりにくい」が 19.1%と最も多く、以下、「子育てについて日本人の家族と意見が合わない」(18.2%)、「子育てに関する悩みを相談できる相手がいない」(14.5%)、「保健師や保育士などとコミュニケーションがとれない」(11.8%) などとなっている。

一方、「とくにない」は 40.0%となっている。

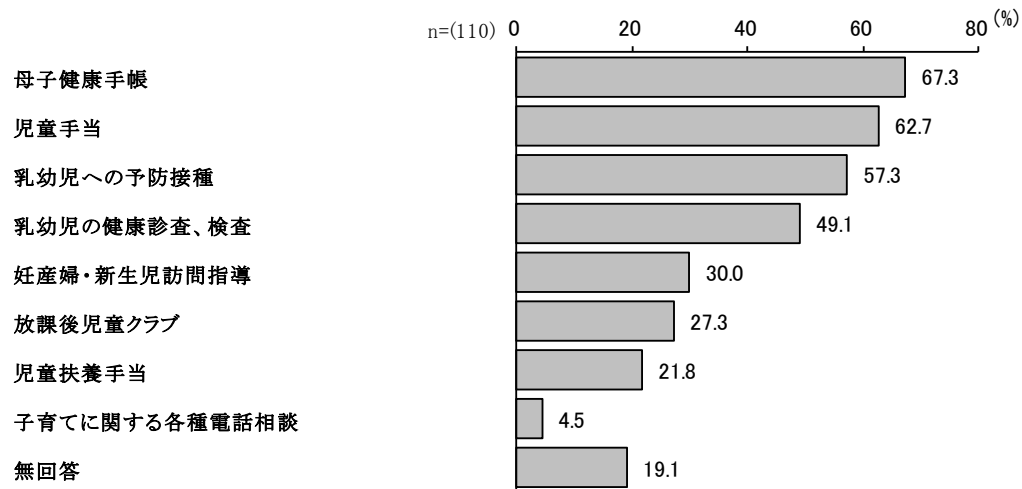
【在留資格別 育児で困っていること】



在留資格別の育児で困っていることについては、技能実習では「子育てに関する悩みを相談できる相手がいない」(40.0%)、日本人の配偶者では「子育てについて日本人の家族と意見が合わない」(30.0%)が他の資格より多くなっている。一方、永住者、技術・人文知識・国際業務、家族滞在では「とくにない」が最も多い。

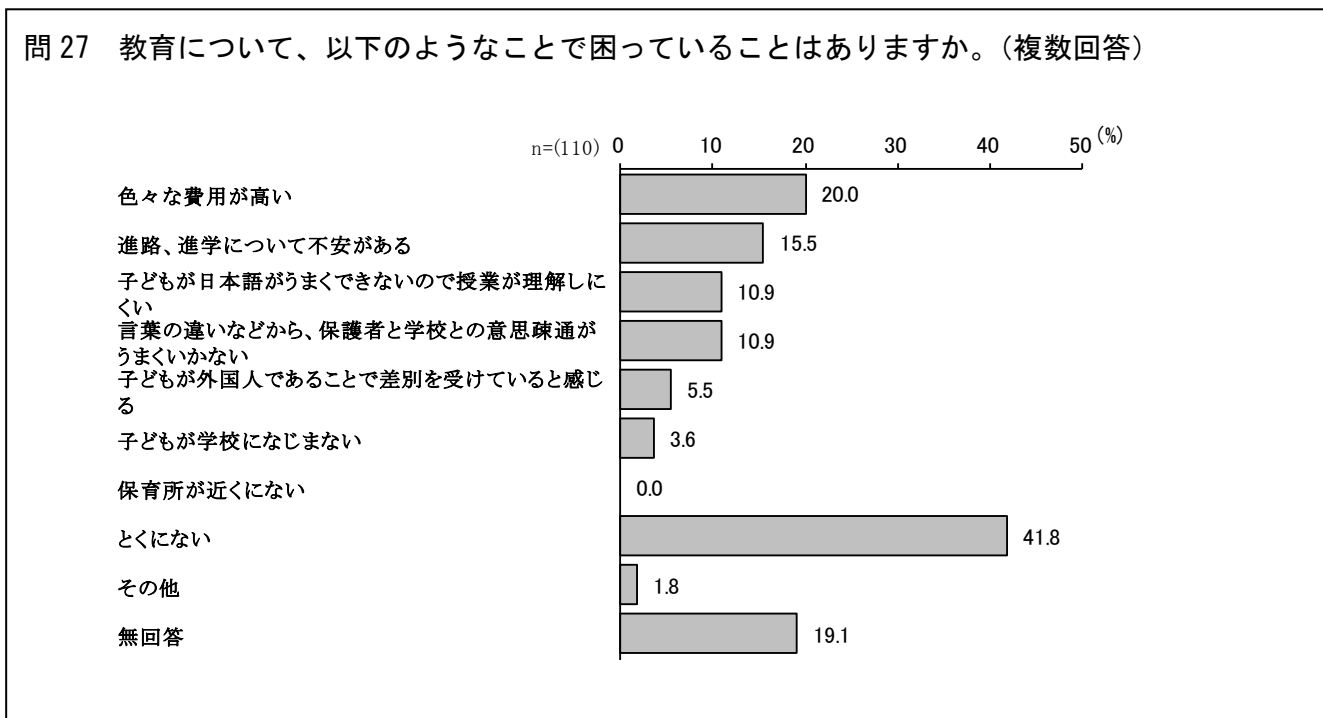
(26) 子育て支援制度の利用経験

問 26 以下のような子育て支援制度を利用したことはありますか。(複数回答)



子育て支援制度の利用経験については、「母子健康手帳」が 67.3%と最も多く、以下、「児童手当」(62.7%)、「乳幼児への予防接種」(57.3%)、「乳幼児の健康診査、検査」(49.1%) などとなっている。

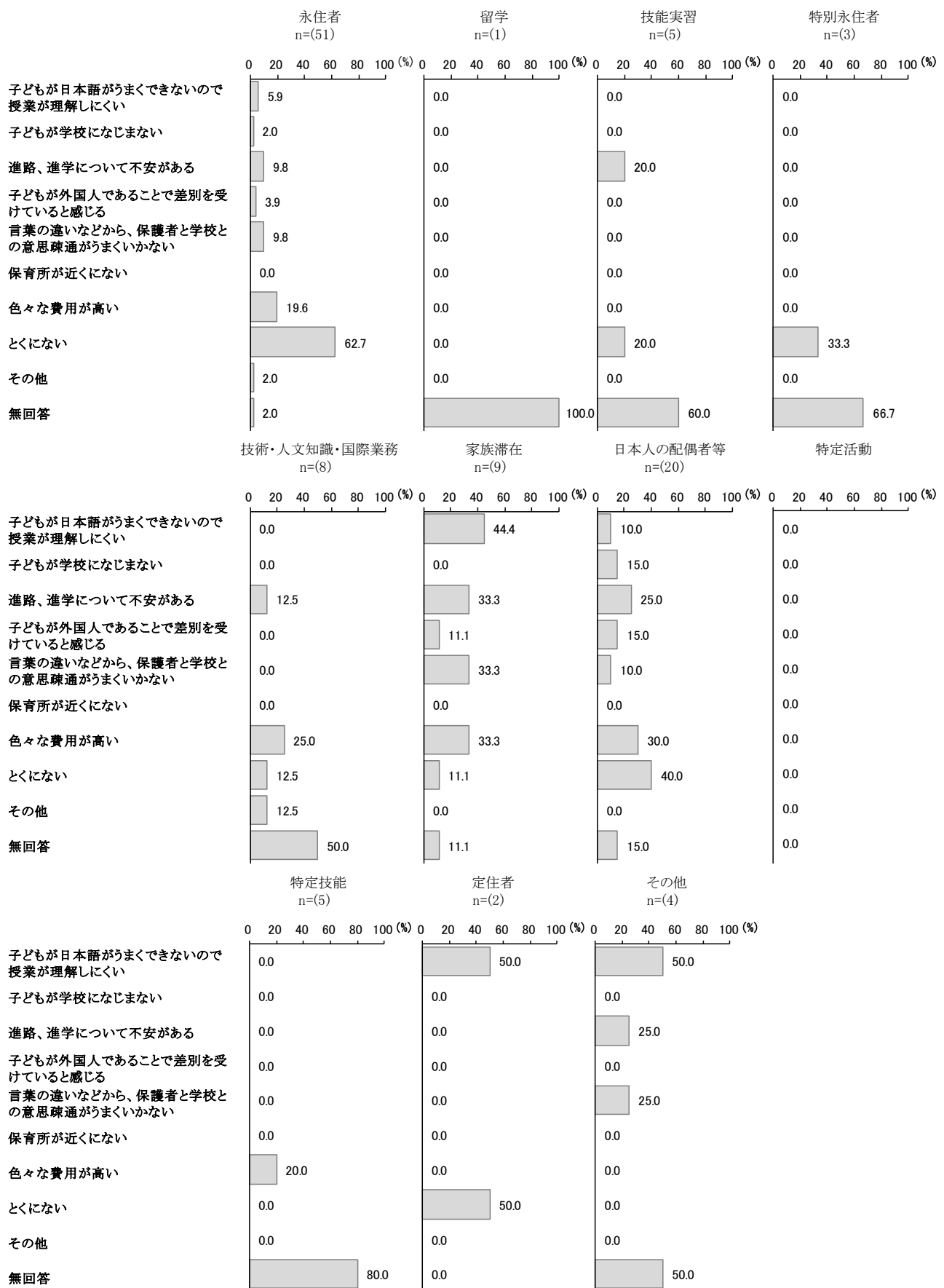
(27) 教育で困っていること



教育で困っていることについては、「色々な費用が高い」が20.0%と最も多く、以下、「進路、進学について不安がある」(15.5%)、「子どもが日本語がうまくできないので授業が理解しにくい」「言葉の違いなどから、保護者と学校との意思疎通がうまくいかない」(ともに10.9%) などとなっている。

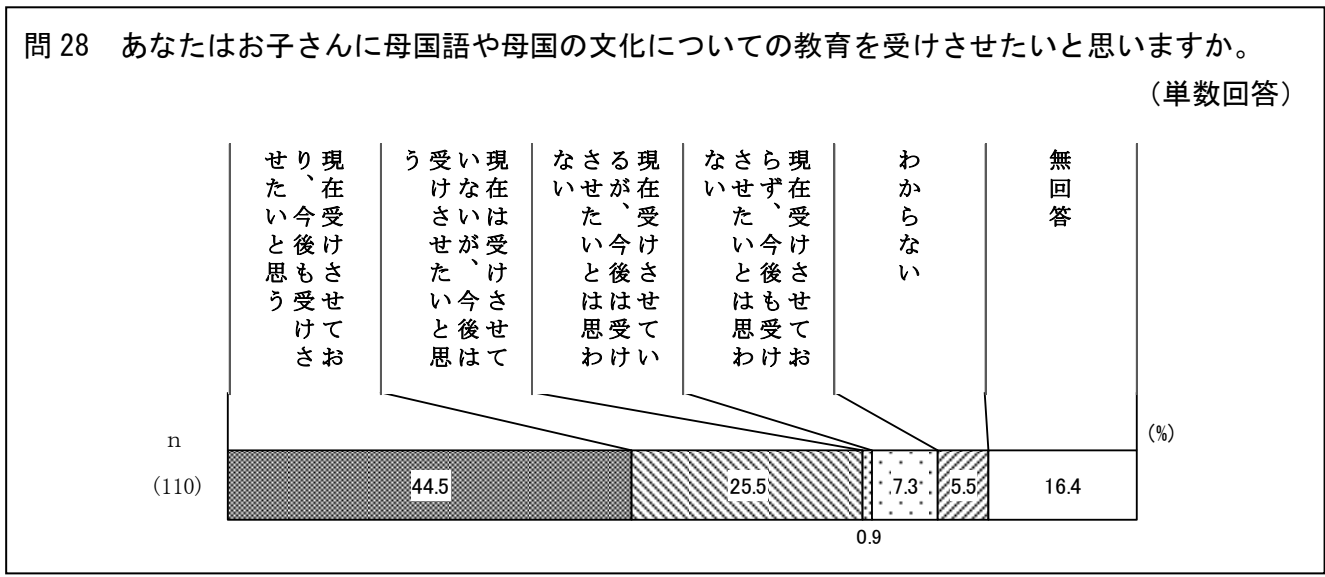
一方、「とくにない」は41.8%となっている。

【在留資格別 教育で困っていること】



在留資格別の教育で困っていることについては、家族滞在では「子どもが日本語がうまくできないので授業が理解しにくい」(44.4%)、「色々な費用が高い」(33.3%)が他資格より多くなっている。

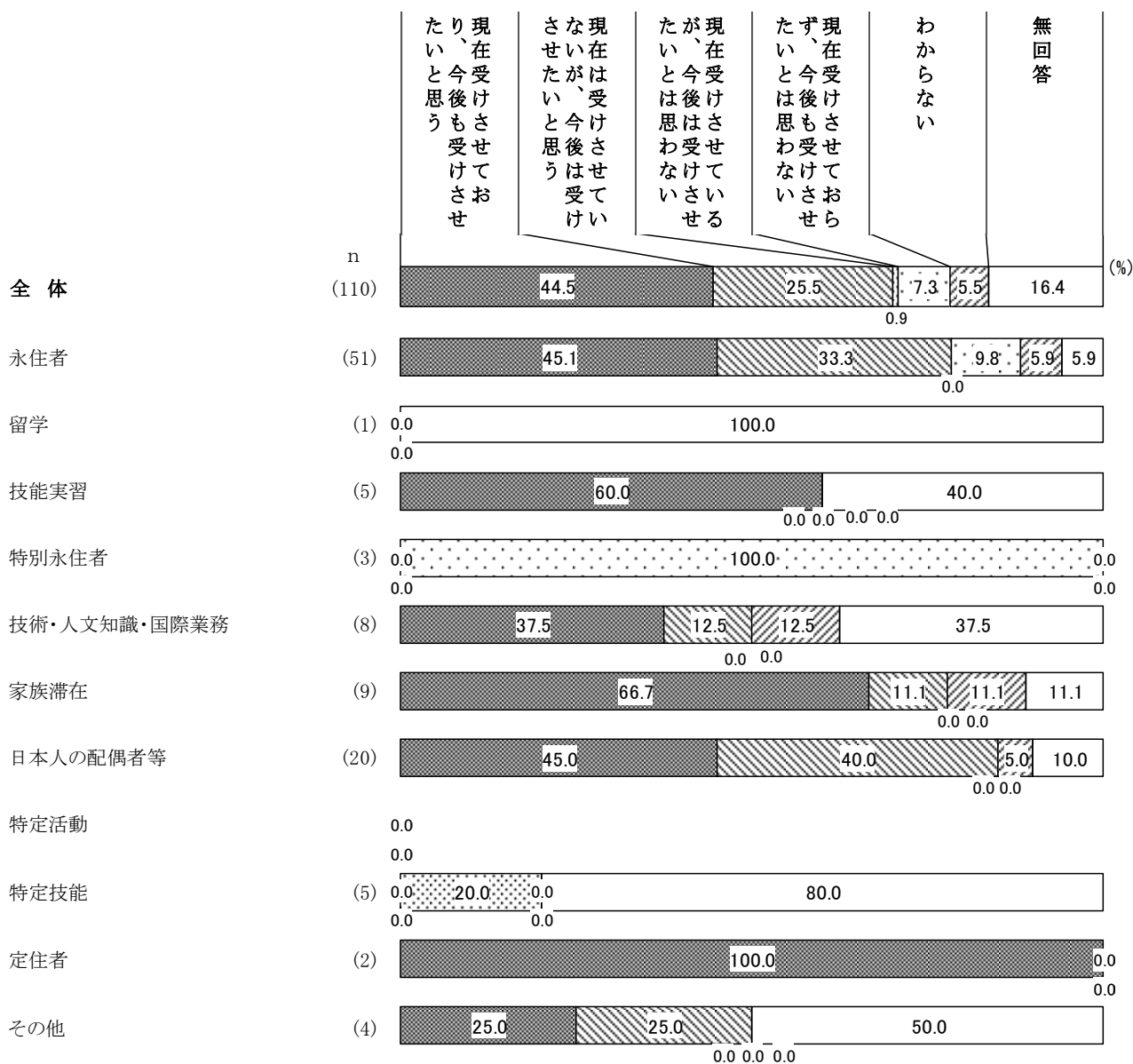
(28) 母国語・母国文化の教育



母国語・母国文化の教育については、「現在受けさせており、今後も受けさせたいと思う」が 44.5%と最も多く、以下、「現在は受けさせていないが、今後は受けさせたいと思う」(25.5%)を合わせた《受けさせたい》は 70.0%を占める。

一方、「現在受けさせておらず、今後も受けさせたいとは思わない」は 7.3%、「現在受けさせているが、今後は受けさせたいとは思わない」は 0.9%である。

【在留資格別 母国語・母国文化の教育】



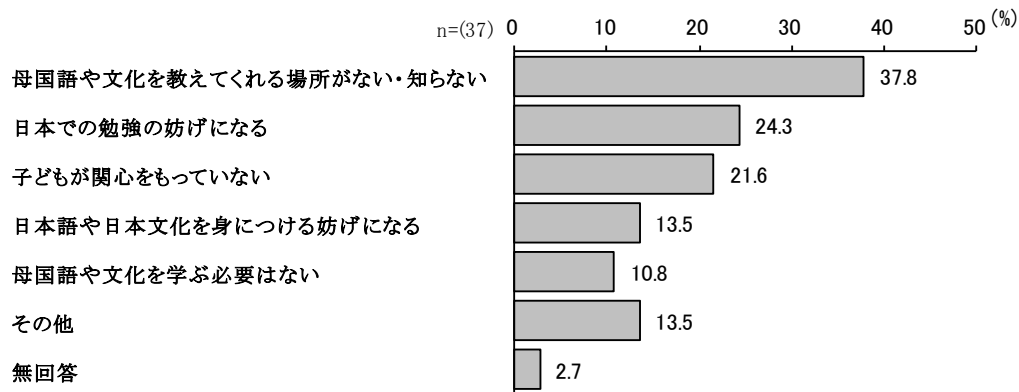
在留資格別の母国語・母国文化の教育については、永住者、技能実習、技術・人文知識・国際業務、家族滞在、日本人の配偶者等では「現在受けさせており、今後も受けさせたいと思う」が30%を超え、特に技能実習、家族滞在では60%以上となっている。また、永住者、日本人の配偶者等では「現在は受けさせていないが、今後は受けさせたいと思う」が30%以上と他資格より多くなっている。

(29) 母国語・母国文化の教育をしていない理由

問 29 現在受けさせていない、あるいは今後受けさせたいとは思わない理由は何ですか。

(複数回答)

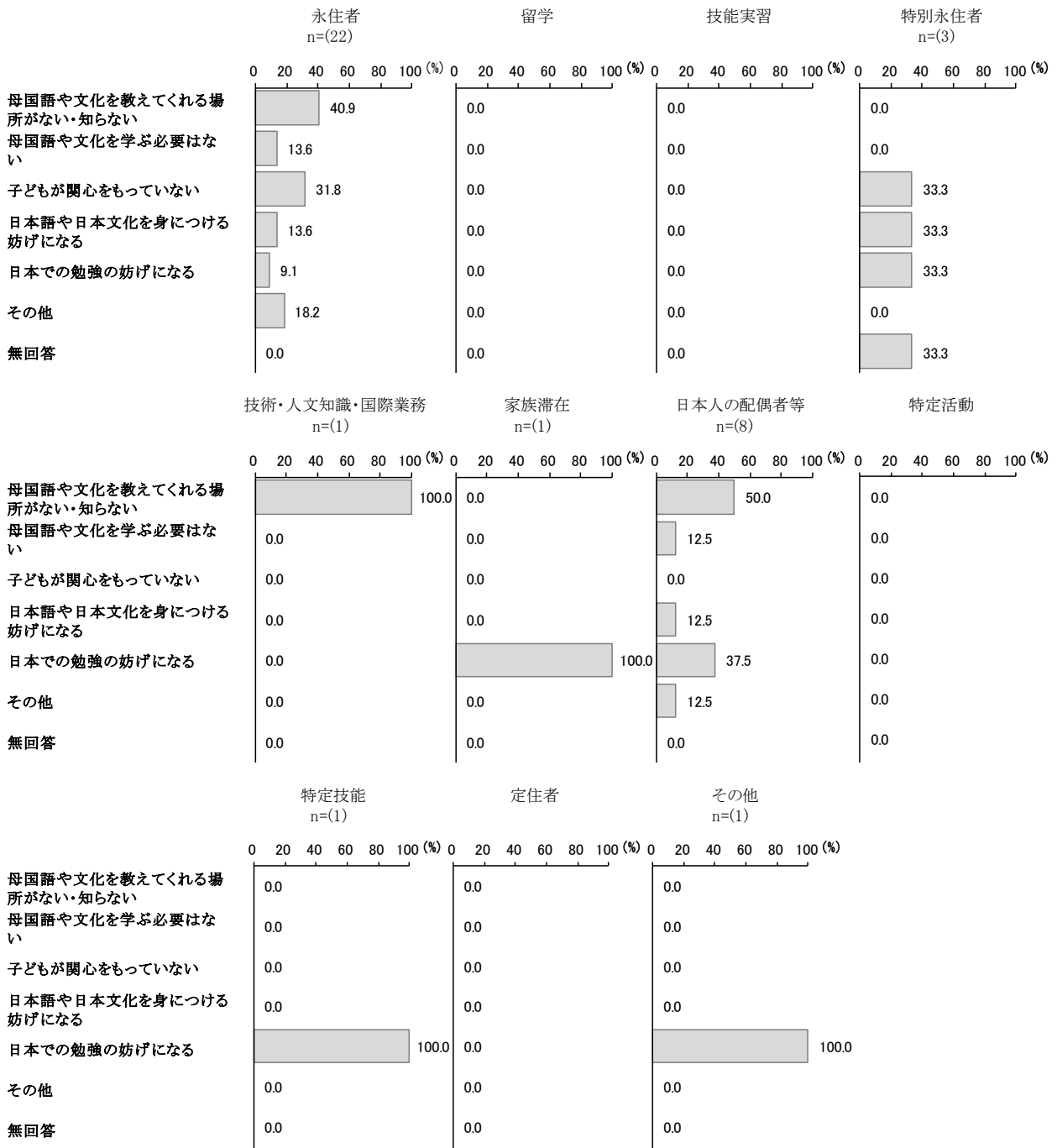
※問 28 で「2. 現在は受けさせていないが、今後は受けさせたいと思う」、「3. 現在受けさせているが、今後は受けさせたいとは思わない」、「4. 現在受けさせておらず、今後も受けさせたいとは思わない」と回答された方が対象



母国語・母国文化の教育を受けさせない理由については、「母国語や文化を教えてくれる場所がない・知らない」が37.8%と最も多く、以下、「日本での勉強の妨げになる」(24.3%)、「子どもが関心をもっていない」(21.6%)、「日本語や日本文化を身につける妨げになる」(13.5%) などとなっている。

一方、「母国語や文化を学ぶ必要はない」は10.8%となっている。

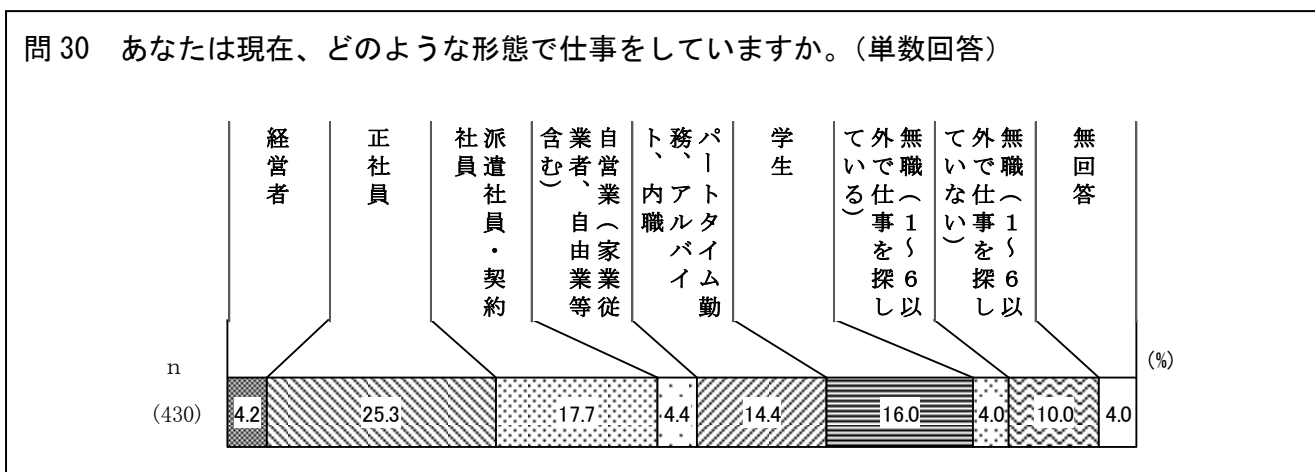
【在留資格別 母国語・母国文化の教育をしていない理由】



在留資格別の母国語・母国文化の教育を受けさせない理由については、永住者、日本人の配偶者等では「母国語や文化を教えてくれる場所がない・知らない」が40%を超えている。

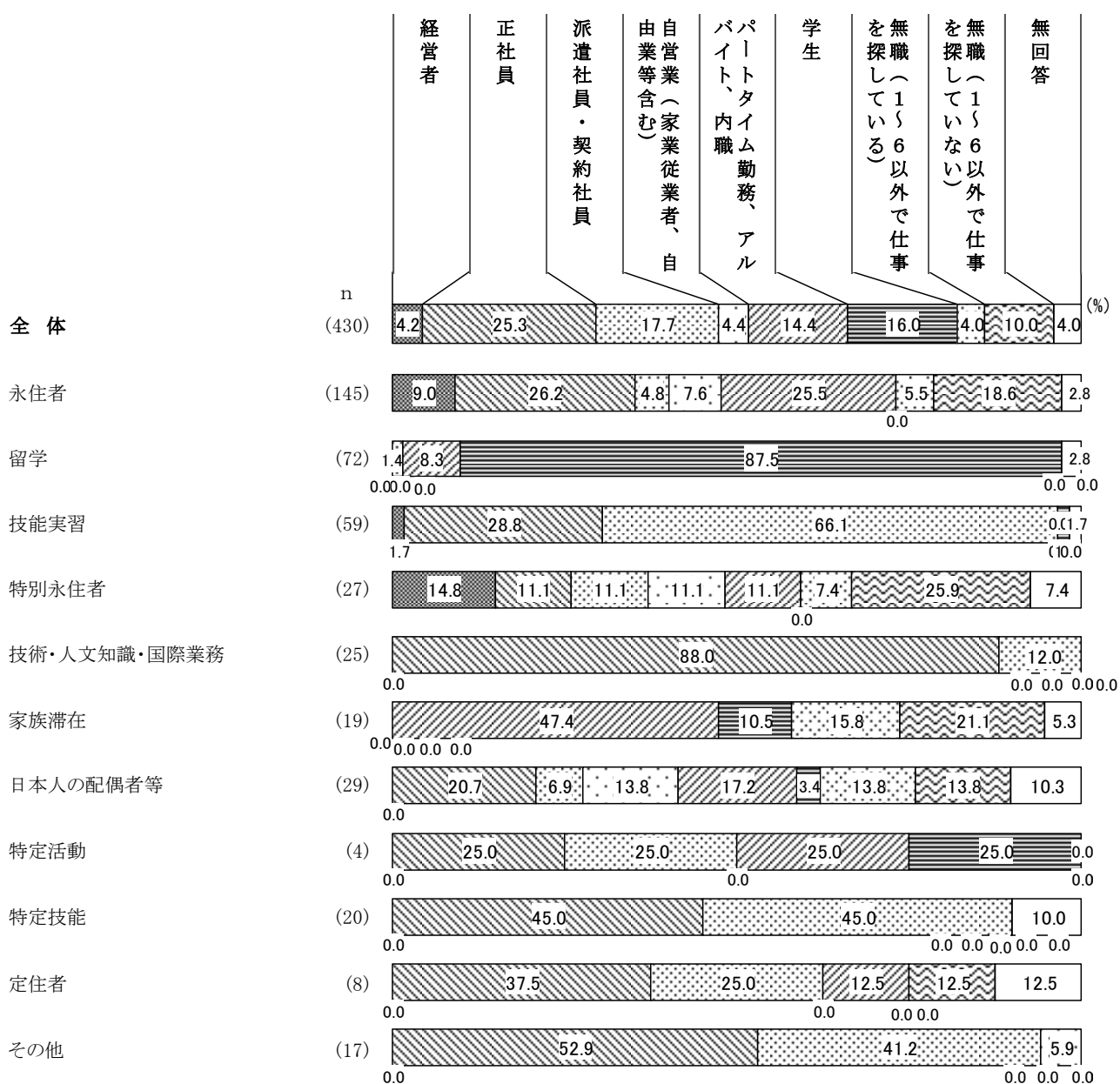
8. 労働

(30) 現在の雇用形態



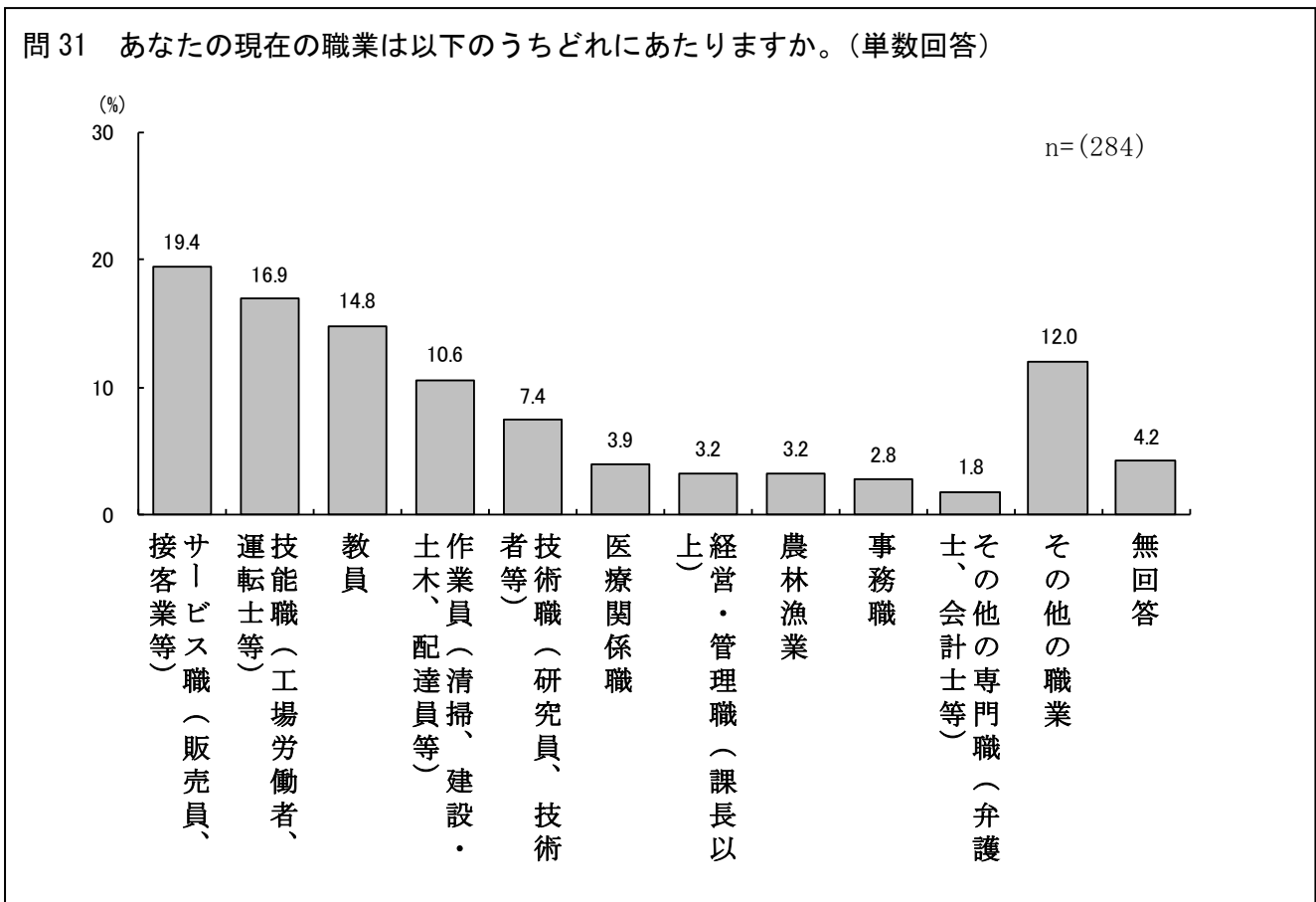
現在の雇用形態については、「正社員」が25.3%と最も多く、以下、「派遣社員・契約社員」(17.7%)、「学生」(16.0%)、「パートタイム勤務、アルバイト、内職」(14.4%) などとなっている。

【在留資格別 現在の雇用形態】



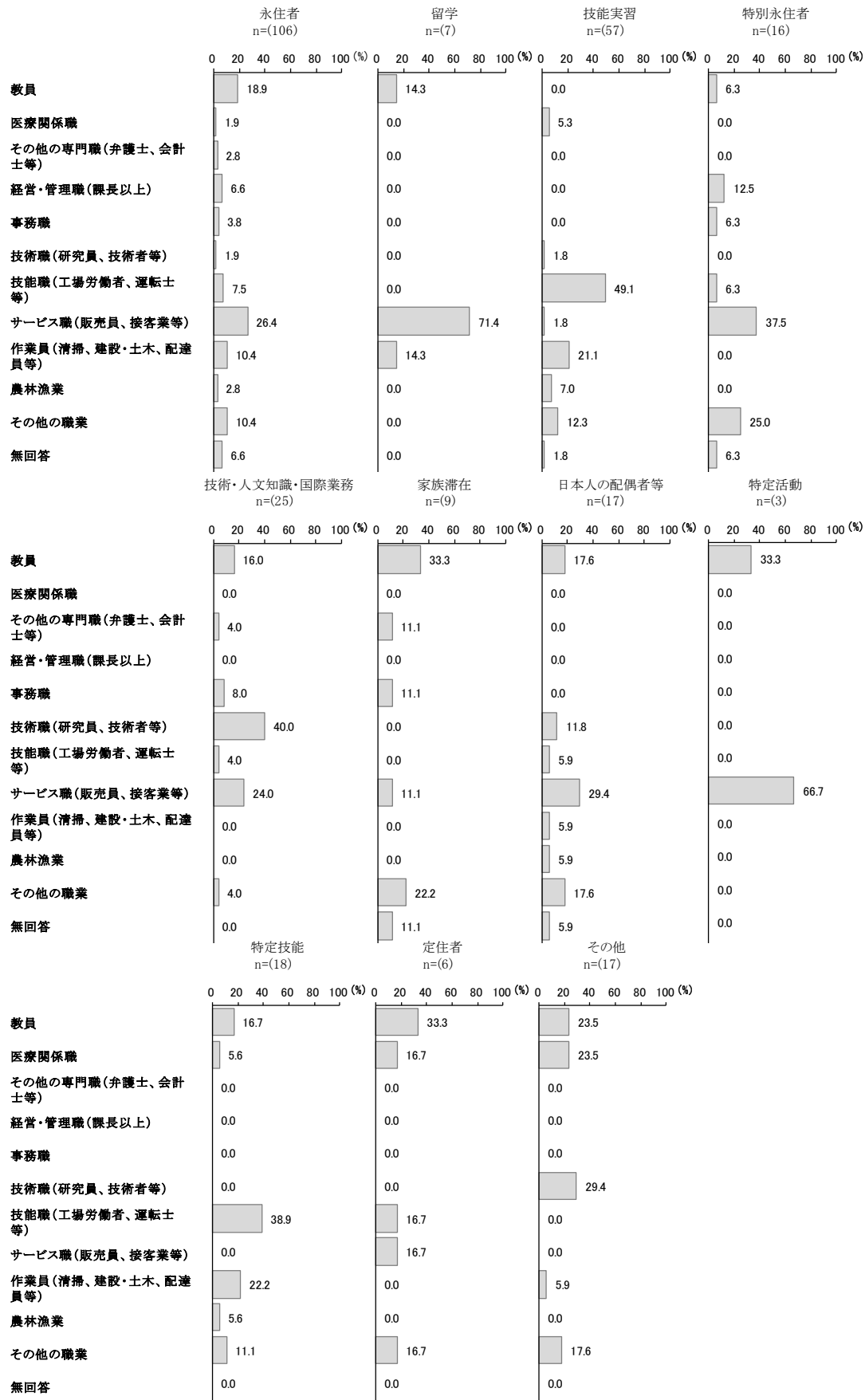
在留資格別の現在の雇用形態については、留学では「学生」(87.5%)、技能実習では「派遣社員・契約社員」(66.1%)、特別永住者では「無職(1〜6以外で仕事を探していない)」(25.9%)、技術・人文知識・国際業務では「正社員」(88.0%)、家族滞在では「パートタイム勤務、アルバイト、内職」(47.4%)が他資格より多くなっている。特定技能では「正社員」、「派遣社員・契約社員」がともに45.0%と同率の割合となっている。

(31) 現在の職業



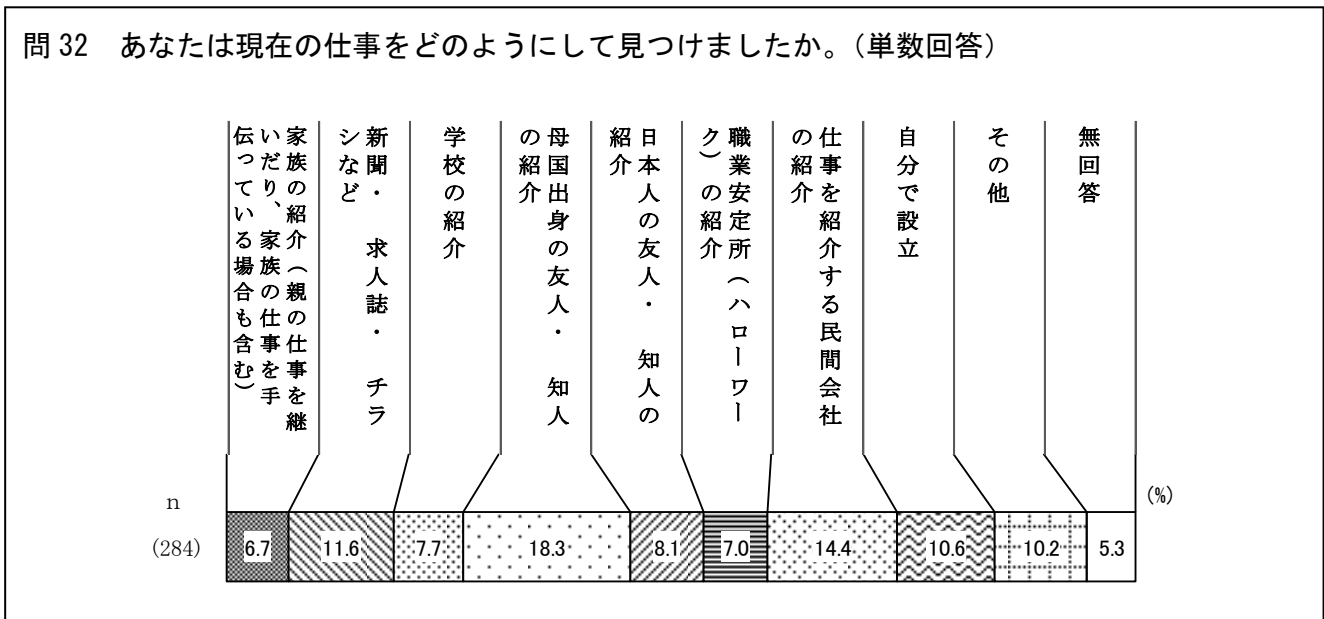
現在の職業については、「サービス職 (販売員、接客業等)」が 19.4%と最も多く、以下、「技能職 (工場労働者、運転士等)」(16.9%)、「教員」(14.8%)、「作業員 (清掃、建設・土木、配達員等)」(10.6%) などとなっている。

【在留資格別 現在の職業】



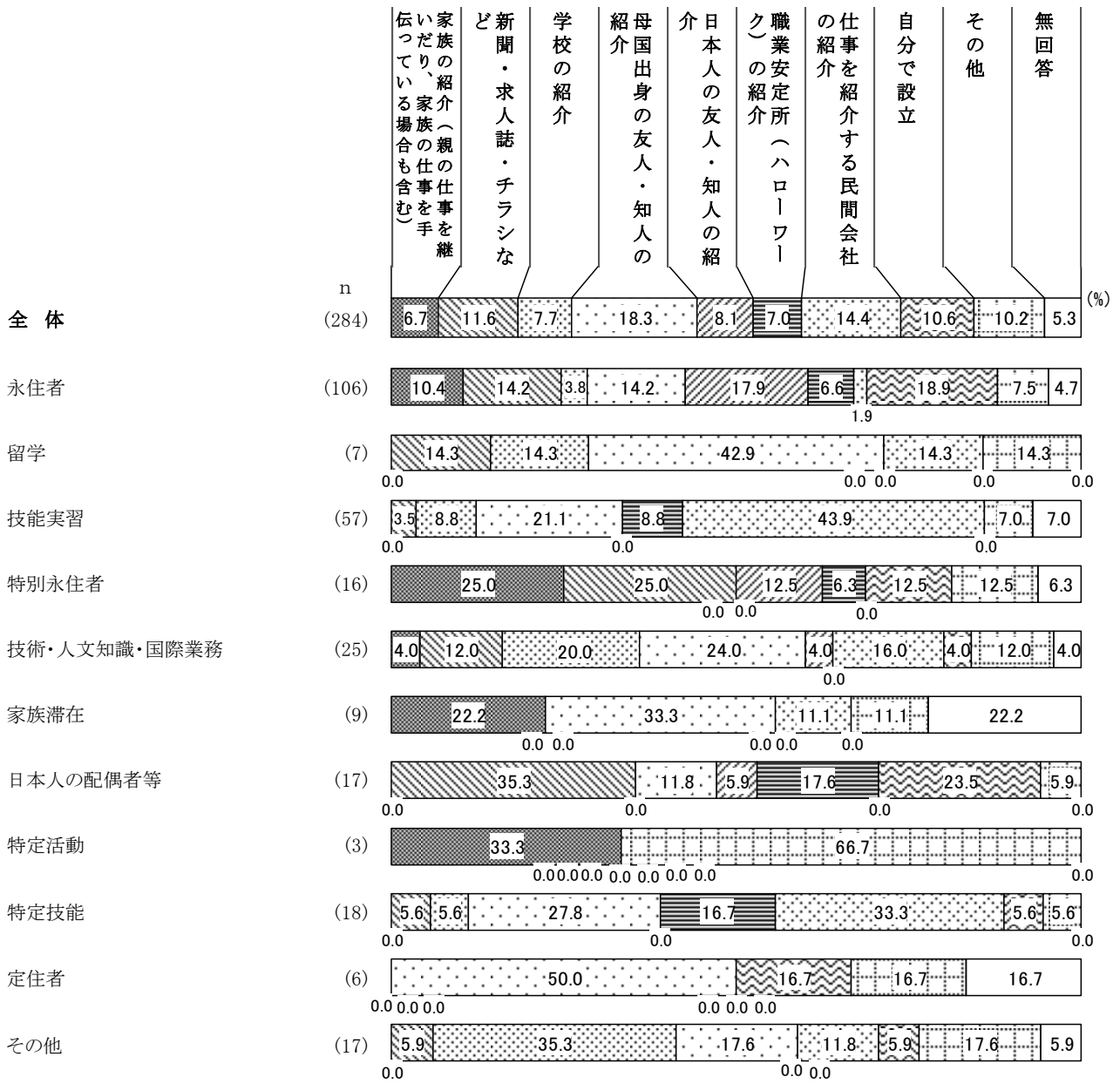
在留資格別の現在の職業については、技能実習、特定技能では「技術職（工場労働者、運転士等）」が30%以上、技術・人文知識・国際業務では「技術職（研究員、技術者等）」が40.0%、永住者、特別永住者では「サービス業（販売員、接客業等）」が20%以上となっている。

(32) 現在の仕事の見つけ方



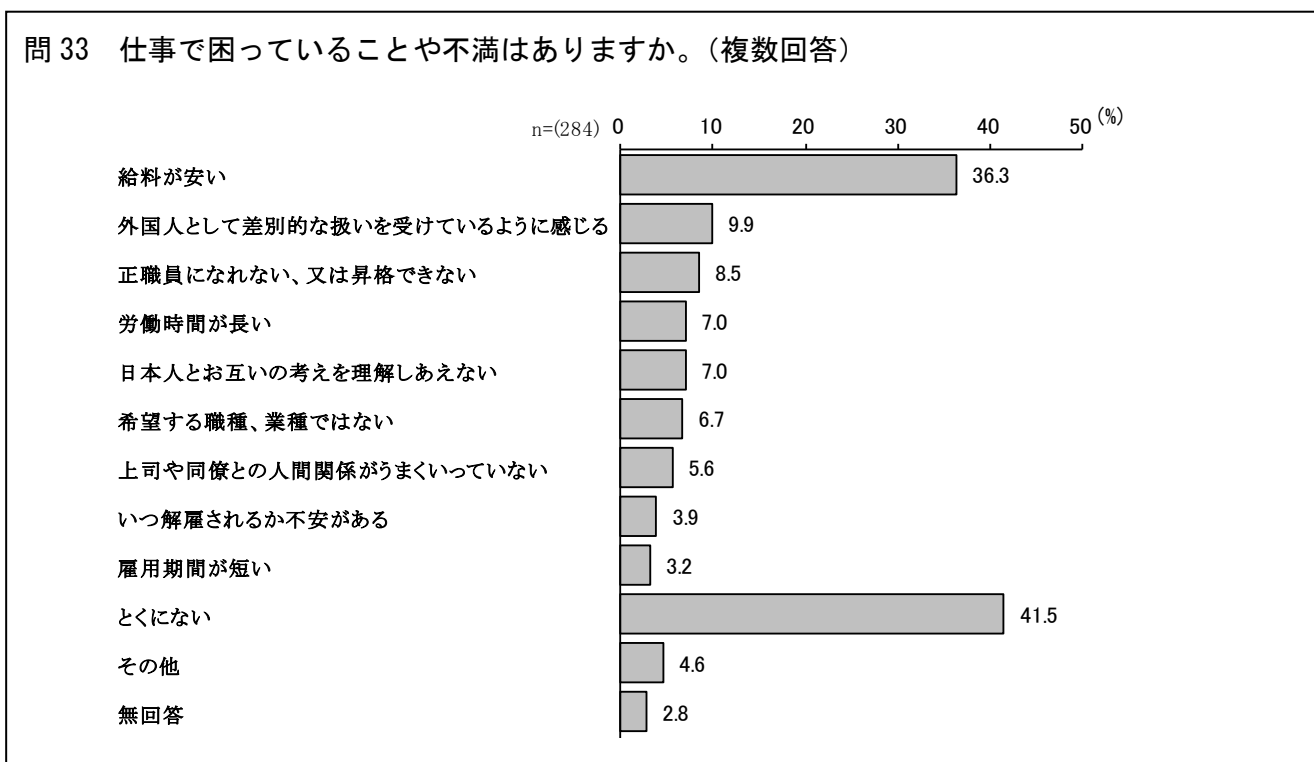
現在の仕事の見つけ方については、「母国出身の友人・知人の紹介」が 18.3%と最も多く、以下、「仕事を紹介する民間会社の紹介」(14.4%)、「新聞・求人誌・チラシなど」(11.6%)、「自分で設立」(10.6%) などとなっている。

【在留資格別 現在の仕事の見つけ方】



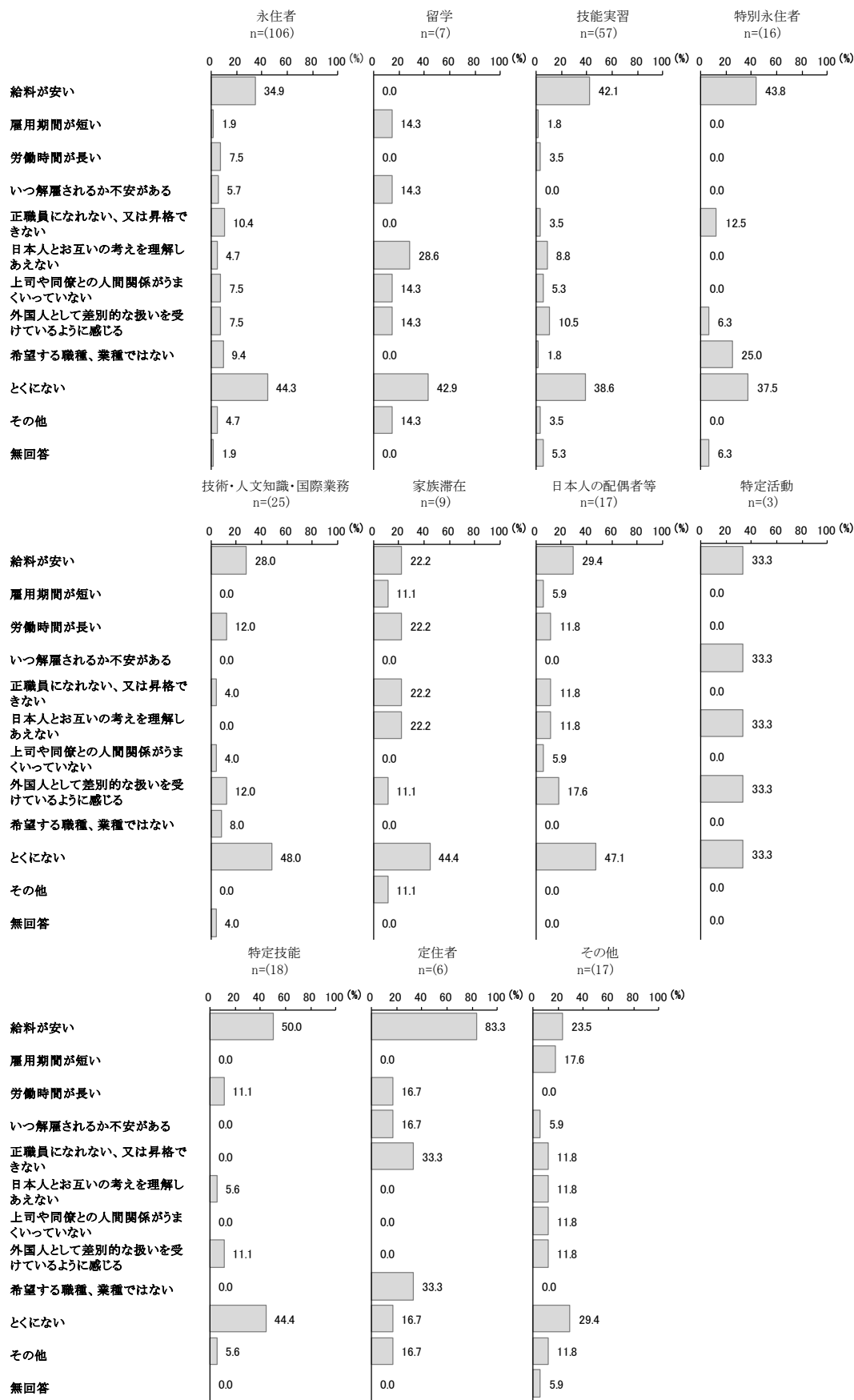
在留資格別の現在の仕事の見つけ方については、永住者では「自分で設立」(18.9%)、技能実習では「仕事を紹介する民間会社の紹介」(43.9%)、技術・人文知識・国際業務では「母国出身の友人・知人の紹介」(24.0%)となっている。

(33) 仕事上の困りごと・不満



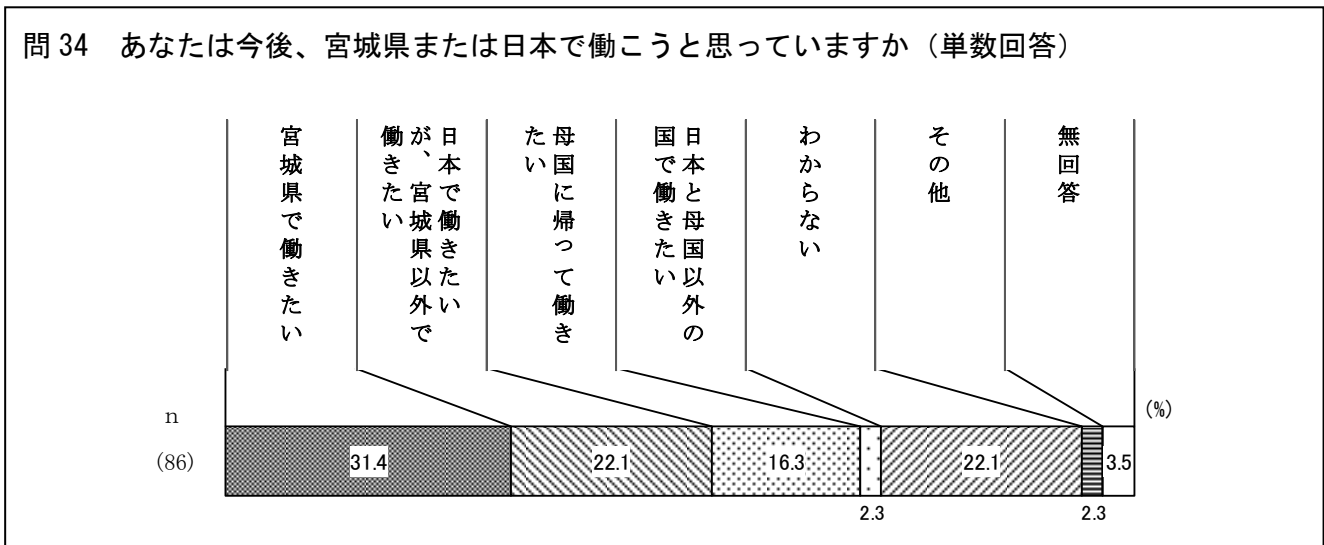
仕事上の困りごと・不満については、「給料が安い」が36.3%と最も多く、以下、「外国人として差別的な扱いを受けているように感じる」(9.9%)、「正職員になれない、又は昇格できない」(8.5%) などとなっている。一方、「とくにない」は41.5%となっている。

【在留資格別 仕事上の困りごと・不満】



在留資格別の仕事上の困りごと・不満については、技能実習では「給料が安い」が 42.1%、永住者、技術・人文知識・国際業務では「とくにない」に次いで「給料が安い」が 20%を超えて多くなっている。

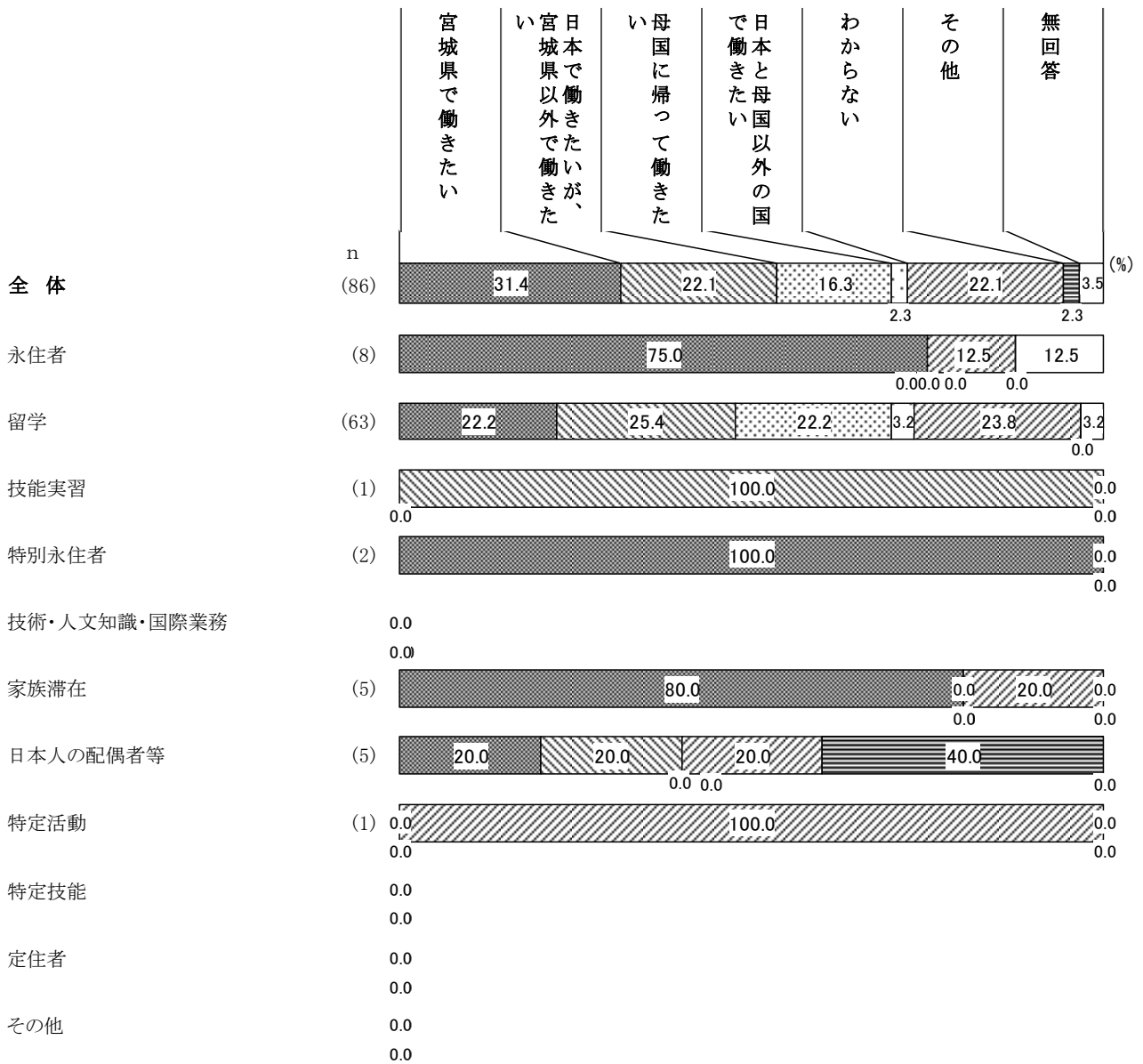
(34) 今後の勤務地



今後の勤務地については、「宮城県で働きたい」が31.4%と最も多く、次いで多い、「日本で働きたいが、宮城県以外で働きたい」（22.1%）と合わせると、「日本で働きたい」人は53.5%となっている。

一方、「母国に帰って働きたい」は16.3%、「わからない」と回答した不特定層は22.1%となっている。

【在留資格別 今後の勤務地】

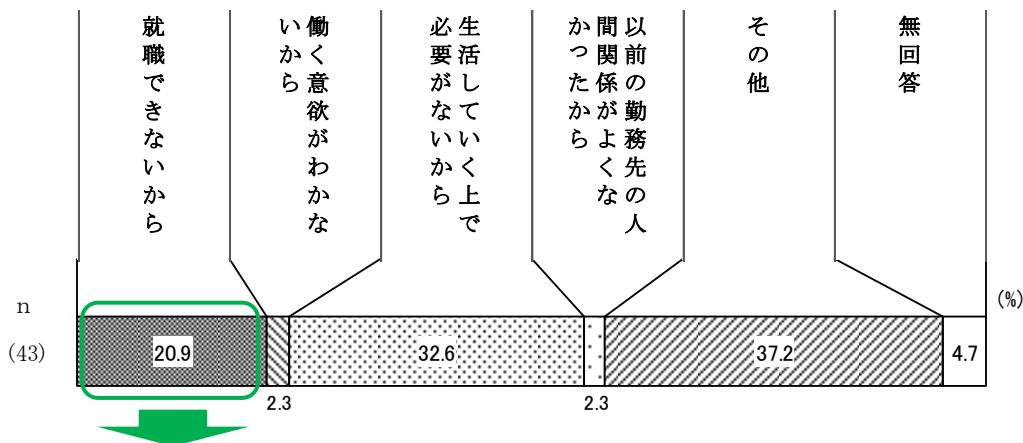


在留資格別の今後の勤務地については、永住者、家族滞在では「宮城県で働きたい」が75%を超えている。留学では「日本で働きたいが、宮城県以外で働きたい」が25.4%と最も多くなっている。

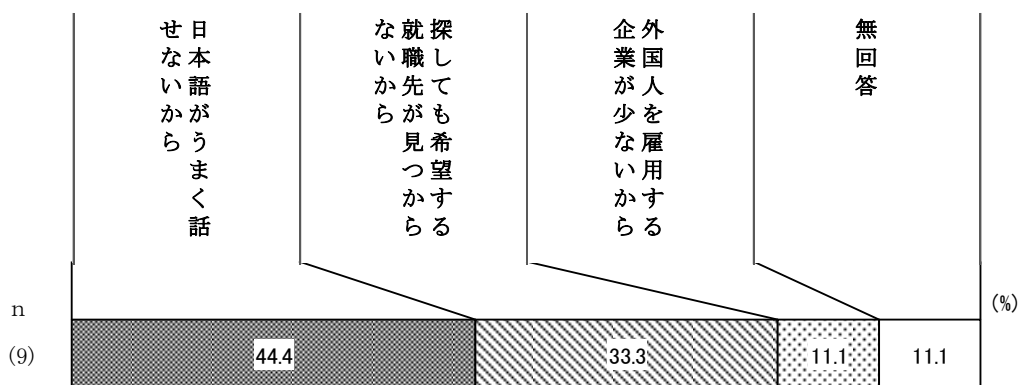
(35) 仕事を探していない理由

問 35 仕事を探していない理由は何ですか。(単数回答)

※問 30 で「8. 無職 (1～6 以外で仕事を探していない)」と回答された方が対象



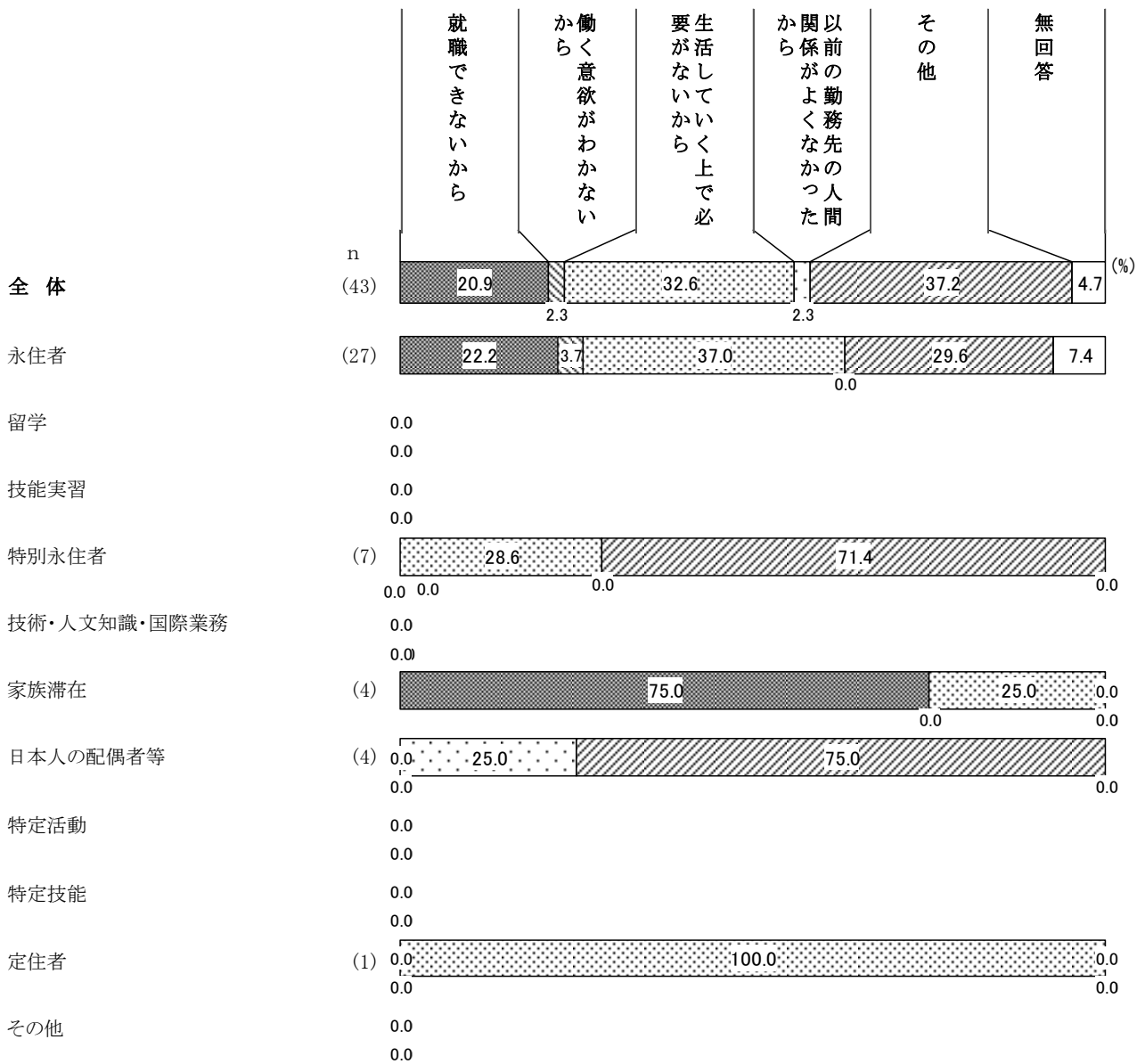
【就職できない理由】



仕事を探していない理由については、「生活していく上で必要がないから」が 32.6%と多いものの、「就職できないから」は 20.9%となっている。

就職できない理由については、「日本語がうまく話せないから」が 44.4%と最も多く、以下、「探しても希望する就職先が見つからないから」(33.3%)、「外国人を雇用する企業が少ないから」(11.1%)となっている。

【在留資格別 仕事を探していない理由】

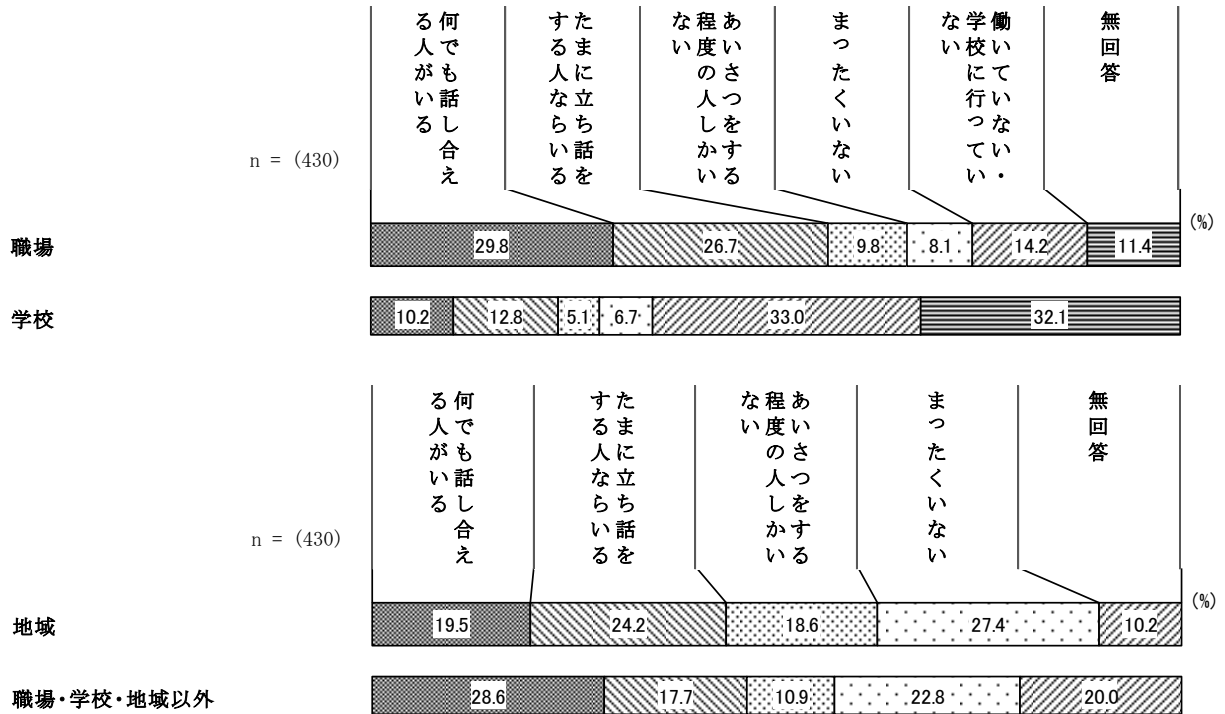


在留資格別の仕事を探していない理由については、永住者では「生活していく上で必要がないから」が37.0%となっている。

9. 社会生活一般

(36) 日本人との付き合い

問 36 現在、あなたには、仲良くしている日本人はいますか。(単数回答)



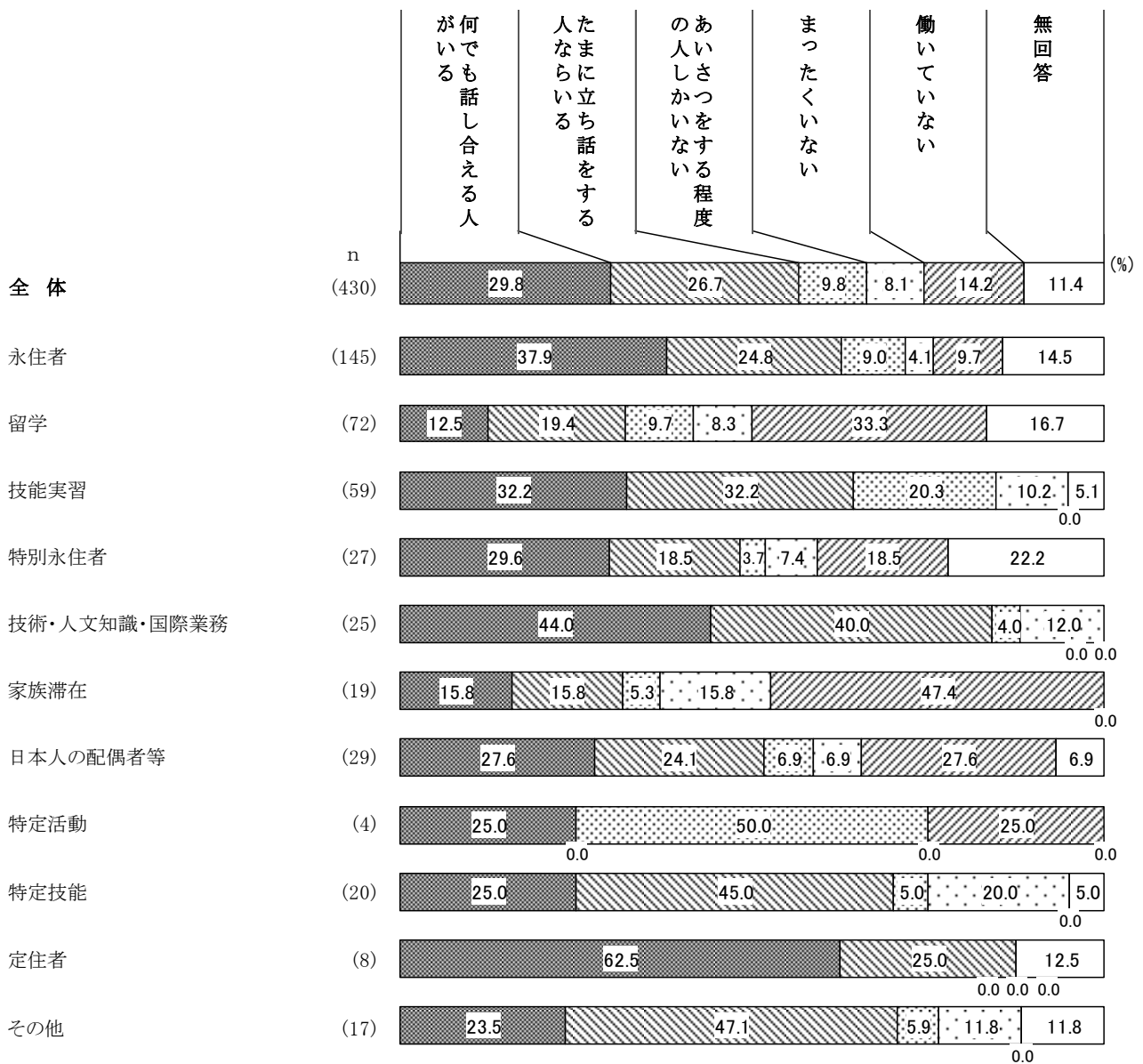
日本人との付き合いについては、『職場』では、「何でも話し合える人がいる」が 29.8%と最も多く、以下、「たまに立ち話をする人ならいる」が 26.7%となっている。

『学校』では、「学校に行っていない」が 33.0%と最も多くなっている。「何でも話し合える人がいる」(10.2%) や「たまに立ち話をする人ならいる」(12.8%) は約 1 割にとどまっている。

『地域』では、「まったくくない」が 27.4%と、他の項目よりも多くなっている。また、「何でも話し合える人がいる」は『職場』『職場・学校・地域以外』より少なく 19.5%にとどまり、「あいさつをする程度の人しかいない」が 18.6%と他の項目より多い。

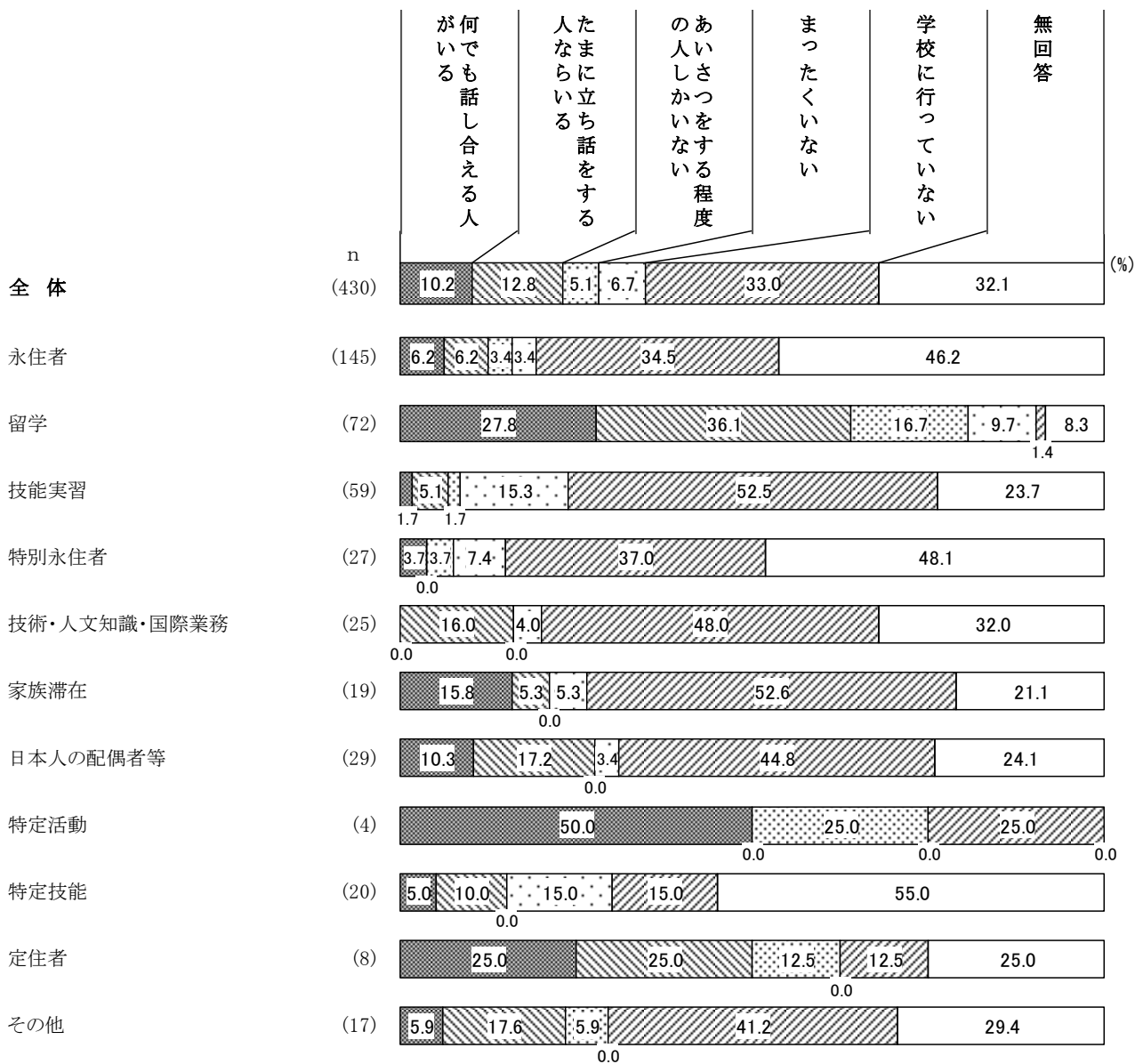
『職場・学校・地域以外』では、「何でも話し合える人がいる」が 28.6%と最も多いものの、「まったくくない」が 22.8%と次いで多くなっている。

【在留資格別 日本人との付き合い：職場】



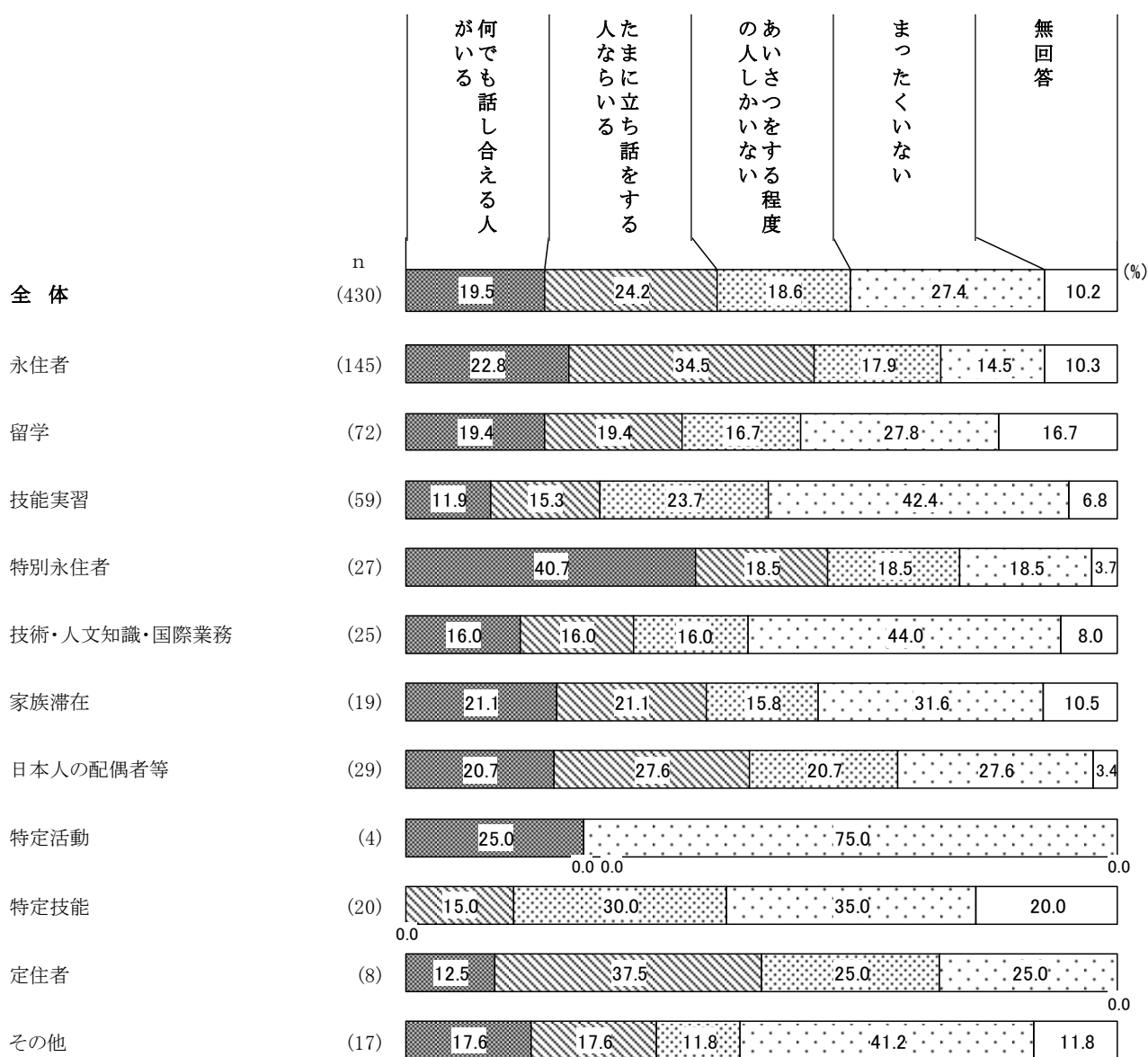
在留資格別の職場での日本人との付き合いについては、永住者、技術・人文知識・国際業務では「何でも話し合える人がある」が40%前後と他資格より多く、家族滞在では「働いていない」(47.4%)、特定技能では「たまに立ち話をする人ならいる」(45.0%)が多くなっている。

【在留資格別 日本人との付き合い：学校】



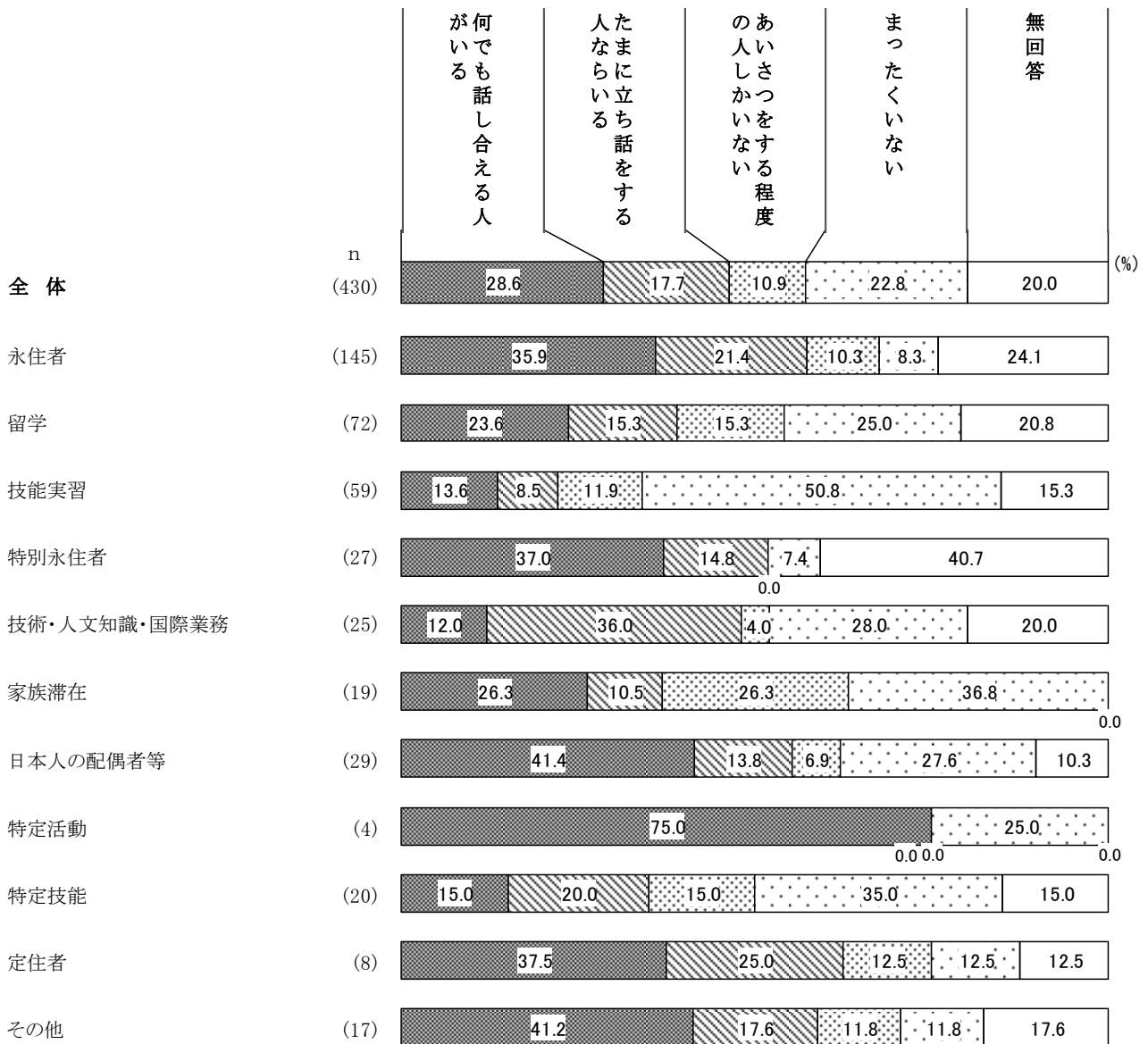
在留資格別の学校での日本人との付き合いについては、留学では「何でも話し合える人がいる」(27.8%) や「たまに立ち話をする人ならいる」(36.1%) が、技能実習、家族滞在では「学校に行っていない」が50%台と他資格より多くなっている。

【在留資格別 日本人との付き合い：地域】



在留資格別の地域での日本人との付き合いについては、永住者では「たまに立ち話をする人ならいる」(34.5%)、特別永住者では「何でも話し合える人がいる」(40.7%)、技能実習、技術・人文知識・国際業務では「まったくいない」が40%台と他資格より多くなっている。

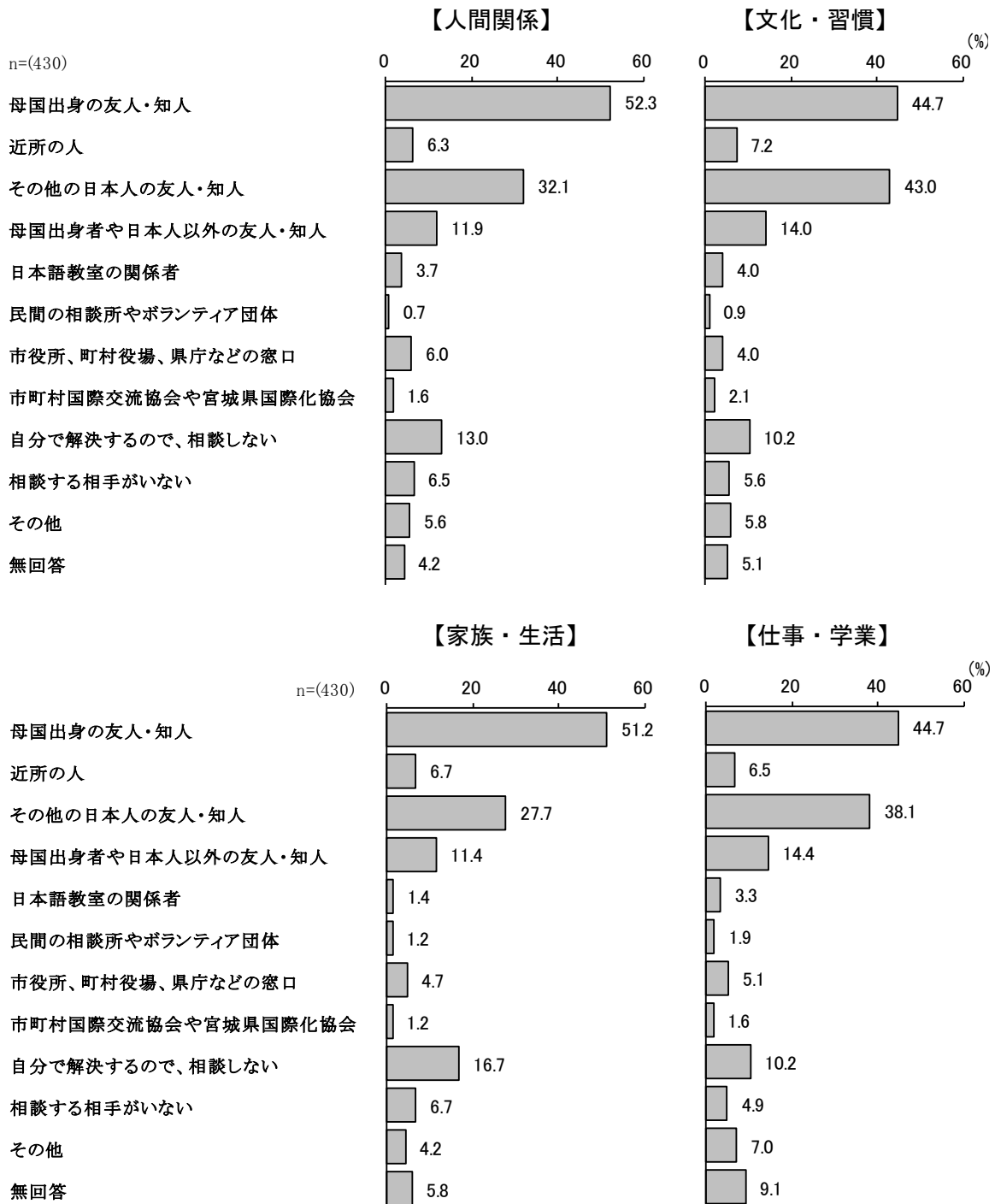
【在留資格別 日本人との付き合い：職場・学校・地域以外】



在留資格別の職場・学校・地域以外での日本人との付き合いについては、技能実習では「まったくいない」(50.8%)、日本人の配偶者等では「何でも話し合える人がある」(41.4%) が他資格より多くなっている。

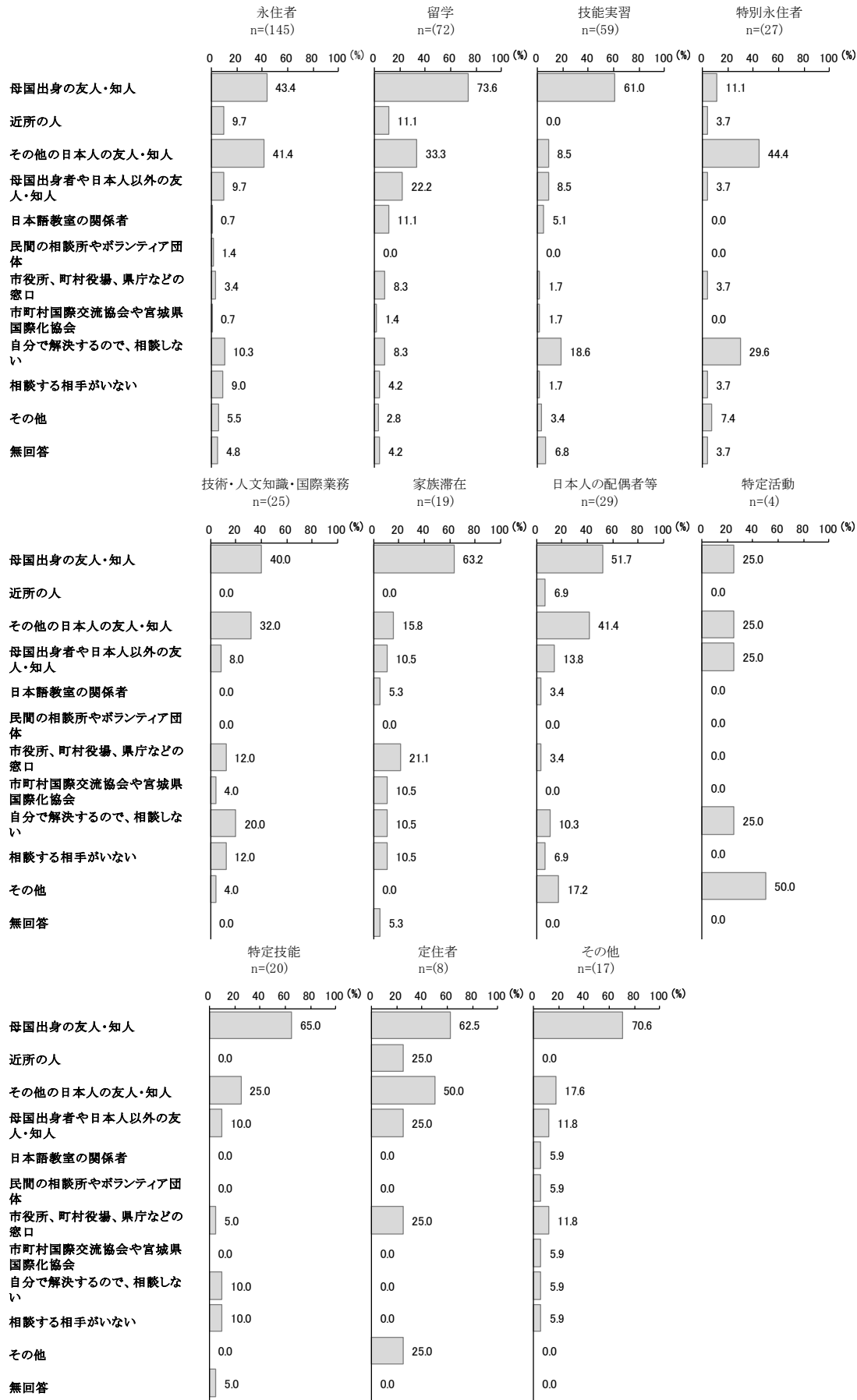
(37) 相談相手

問 37 あなたには、次のようなことで悩んだり困ったりした場合、家族や親戚以外で、誰にまたはどこに相談しようと思いますか。(複数回答)



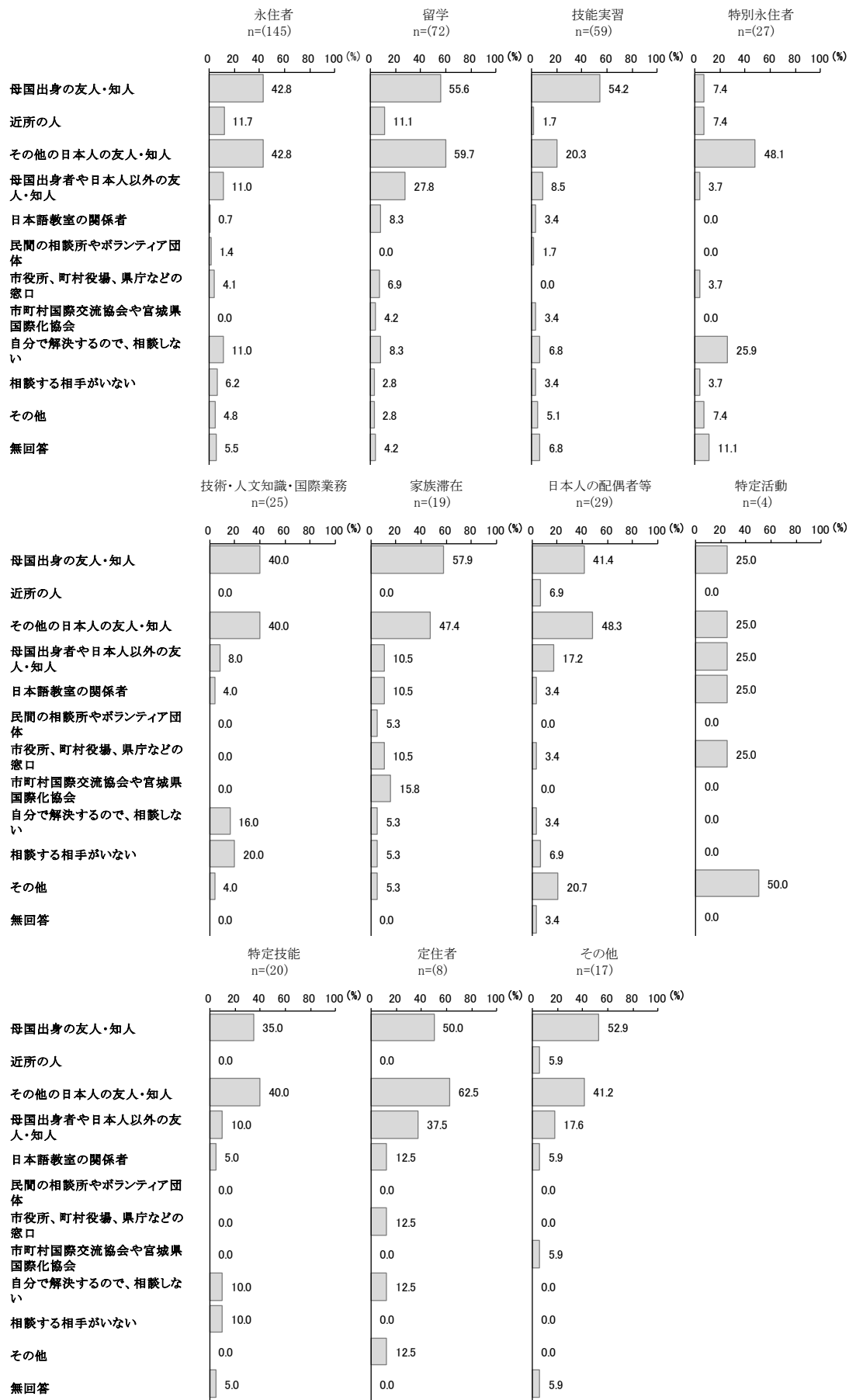
相談相手については、いずれの項目も概ね同傾向で、最も多いのが「母国出身の友人・知人」で、以下、「その他の日本人の友人・知人」、「母国出身者や日本人以外の友人・知人」などとなっている。特に『人間関係』『家族・生活』の2項目では「母国出身の友人・知人」が約半数を占め、『文化・習慣』『仕事・学業』では「その他の日本人の友人・知人」が4割前後と多くなっている。

【在留資格別 相談相手：人間関係】



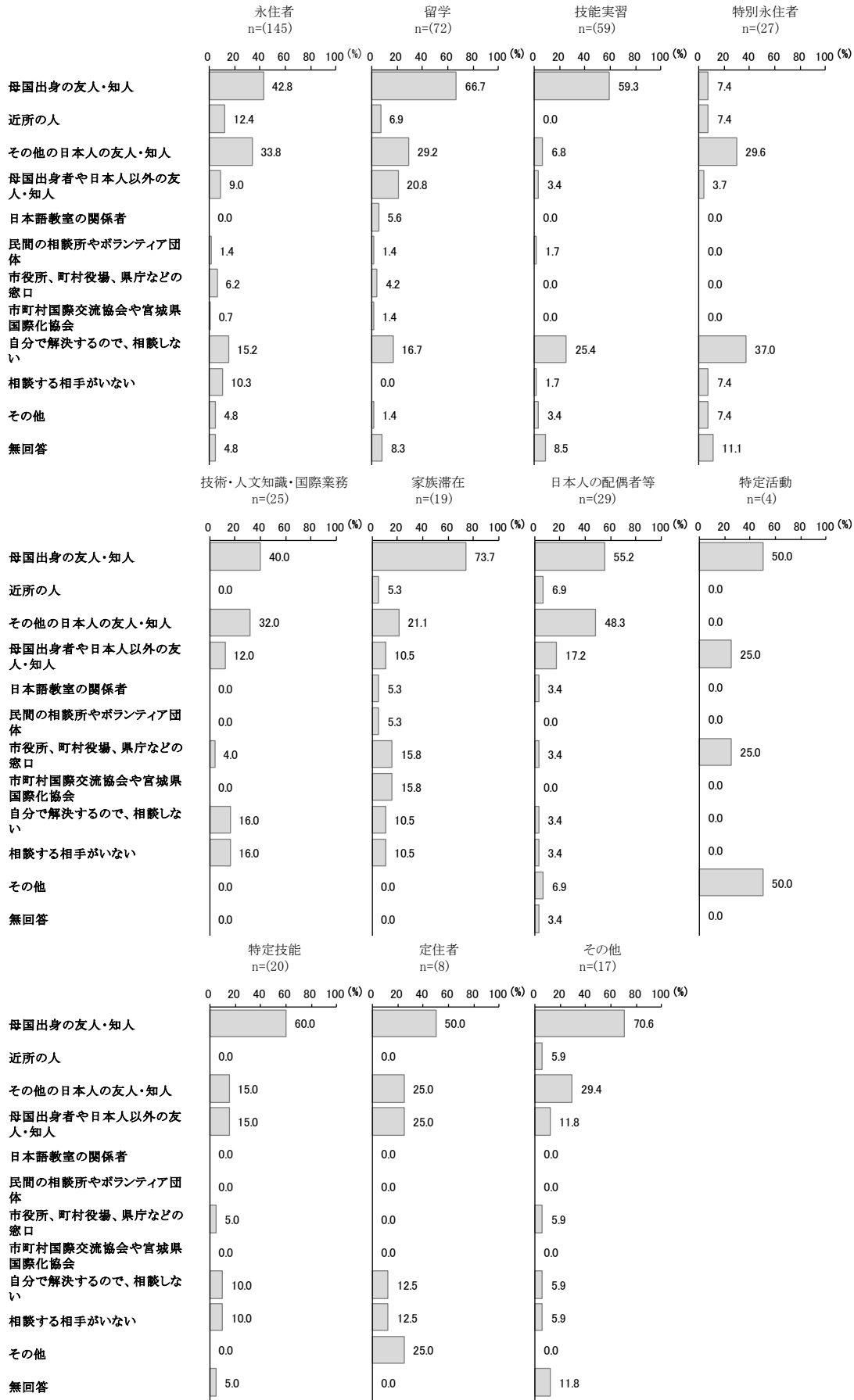
在留資格別の人間関係の相談相手については、永住者、留学、技能実習、技術・人文知識・国際業務、家族滞在、日本人の配偶者等、特定技能では「母国出身の友人・知人」が40%を超えている。一方、特別永住者では「その他の日本人の友人・知人」が44.4%となっている。

【在留資格別 相談相手：文化・習慣】



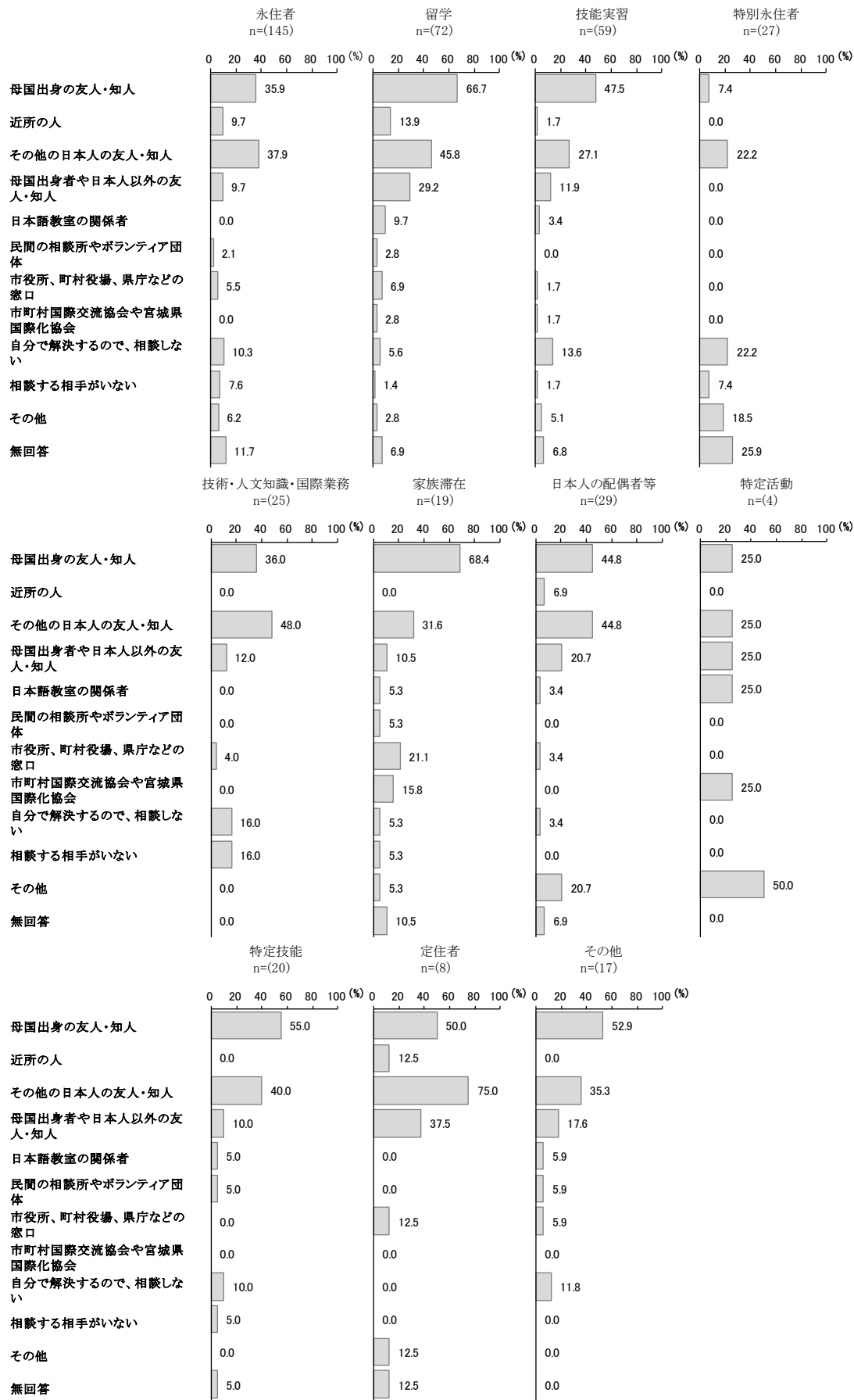
在留資格別の文化・習慣の相談相手については、留学では「その他の日本人の友人・知人」(59.7%)、家族滞在では「母国出身の友人・知人」(57.9%)が他資格より多くなっている。

【在留資格別 相談相手：家族・生活】



在留資格別の家族・生活の相談相手については、家族滞在では「母国出身の友人・知人」(73.7%)、日本人の配偶者等では「その他の日本人の友人・知人」(48.3%)が他資格より多くなっている。

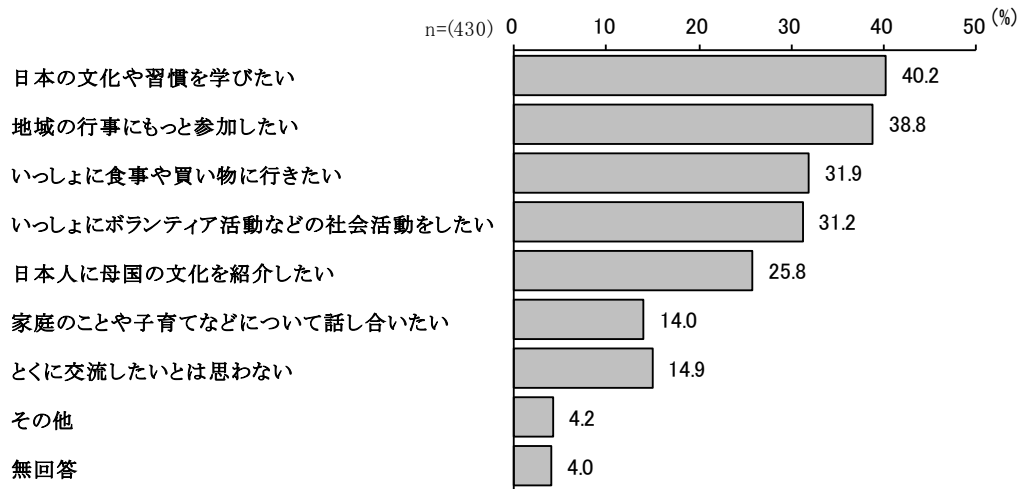
【在留資格別 相談相手：仕事・学業】



在留資格別の仕事・学業の相談相手については、技術・人文知識・国際業務では「その他の日本人の友人・知人」(48.0%)、家族滞在では「母国出身の友人・知人」(68.4%)が他資格より多くなっている。

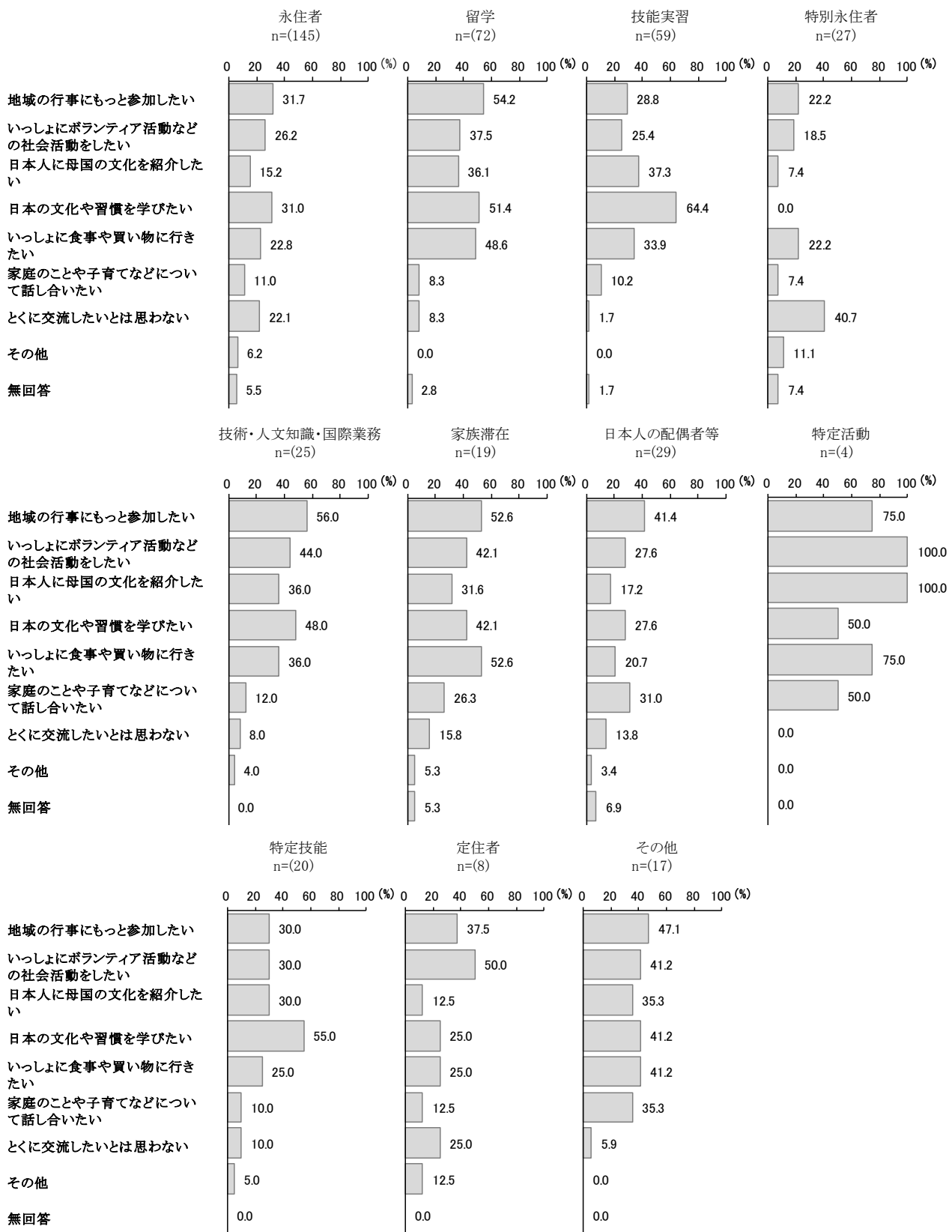
(38) 日本人との交流希望

問 38 あなたは今後、地域の日本人とどのような交流をしたいと思いますか。(複数回答)



日本人との交流希望については、「日本の文化や習慣を学びたい」が40.2%と最も多く、次いで、「地域の行事にもっと参加したい」も38.8%と多くなっている。以下、「いっしょに食事や買い物に行きたい」(31.9%)、「いっしょにボランティア活動などの社会活動をしたい」(31.2%) などとなっている。

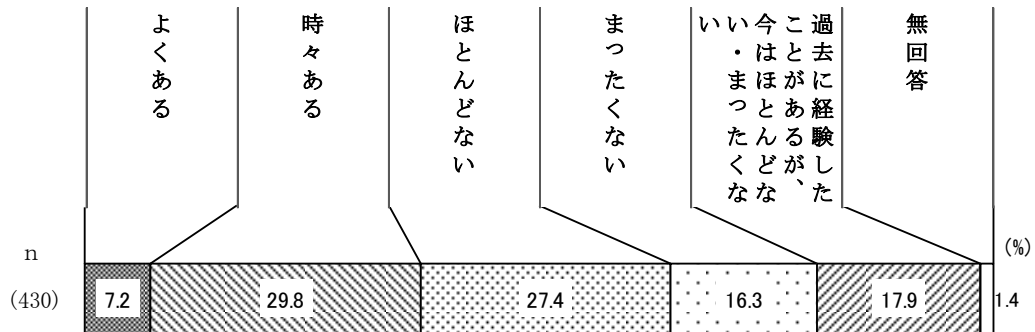
【在留資格別 日本人との交流希望】



在留資格別の日本人との交流希望については、技能実習では「日本の文化や習慣を学びたい」(64.4%)、特別永住者では「とくに交流したいとは思わない」(40.7%)、技術・人文知識・国際業務では「地域の行事にもっと参加したい」(56.0%)、家族滞在では「いっしょに食事や買い物に行きたい」(52.6%)が他資格より多くなっている。

(39) 差別経験

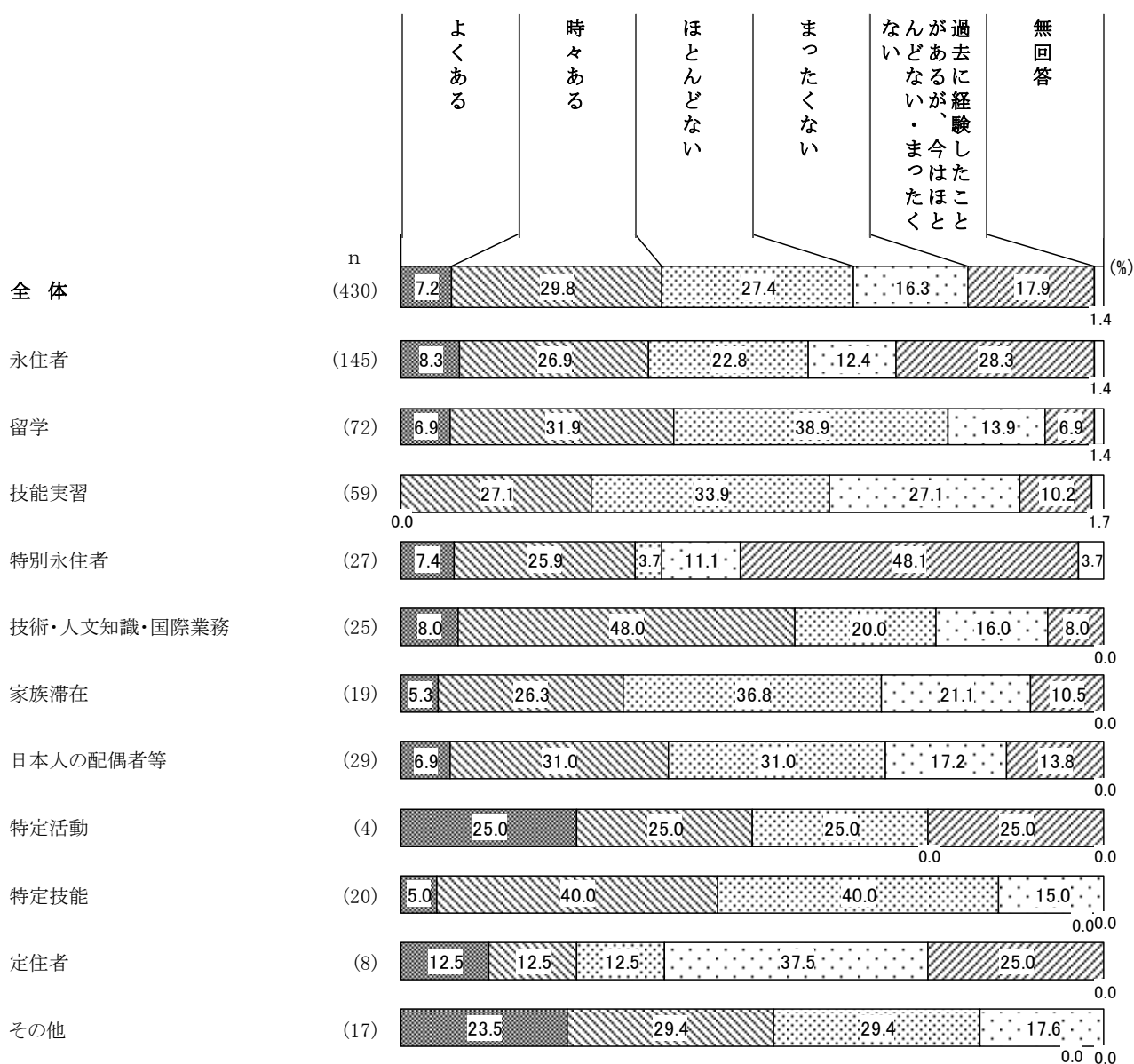
問 39 あなたは生活上、外国人だということはいやな経験やつらい思いをした（している）ことがありますか。（単数回答）



差別経験については、「時々ある」が29.8%と最も多く、「よくある」(7.2%)と合わせた《ある》は37.0%となっている。

一方、「ほとんどない」(27.4%)と「まったくくない」(16.3%)と合わせた《ない》は43.7%で、「過去に経験したことがあるが、今はほとんどない・まったくくない」は17.9%となっている。

【在留資格別 差別経験】

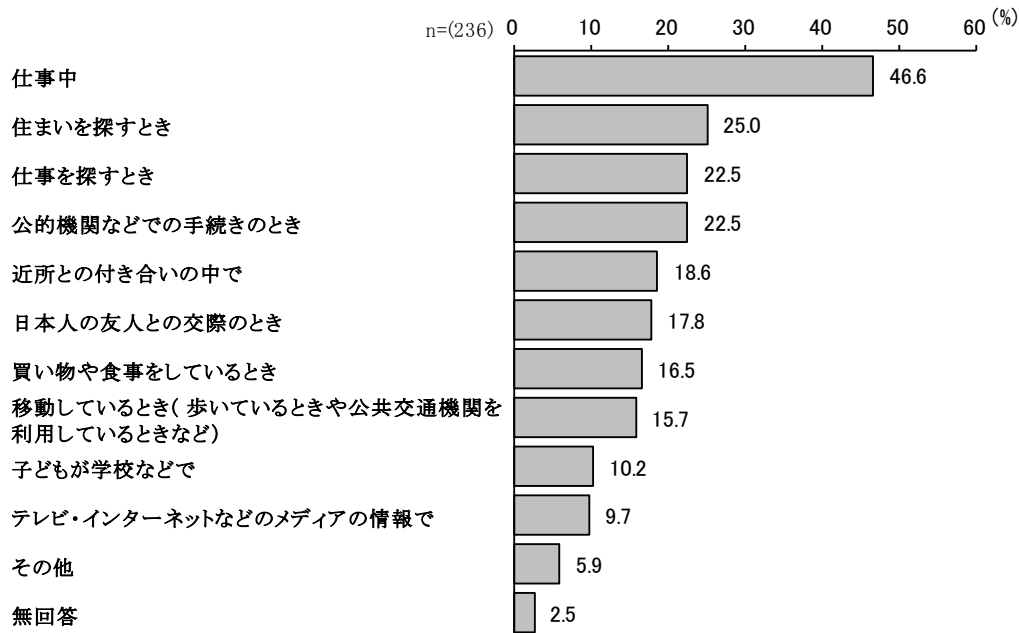


在留資格別の差別経験については、特別永住者では「過去に経験したことがあるが、今はほとんどない・まったくなくない」(48.1%)、技術・人文知識・国際業務では「時々ある」(48.0%)が他資格より多くなっている。特定技能では「時々ある」、「ほとんどなくない」がともに40.0%となっている。

(40) いやな経験、つらい思いの具体的内容

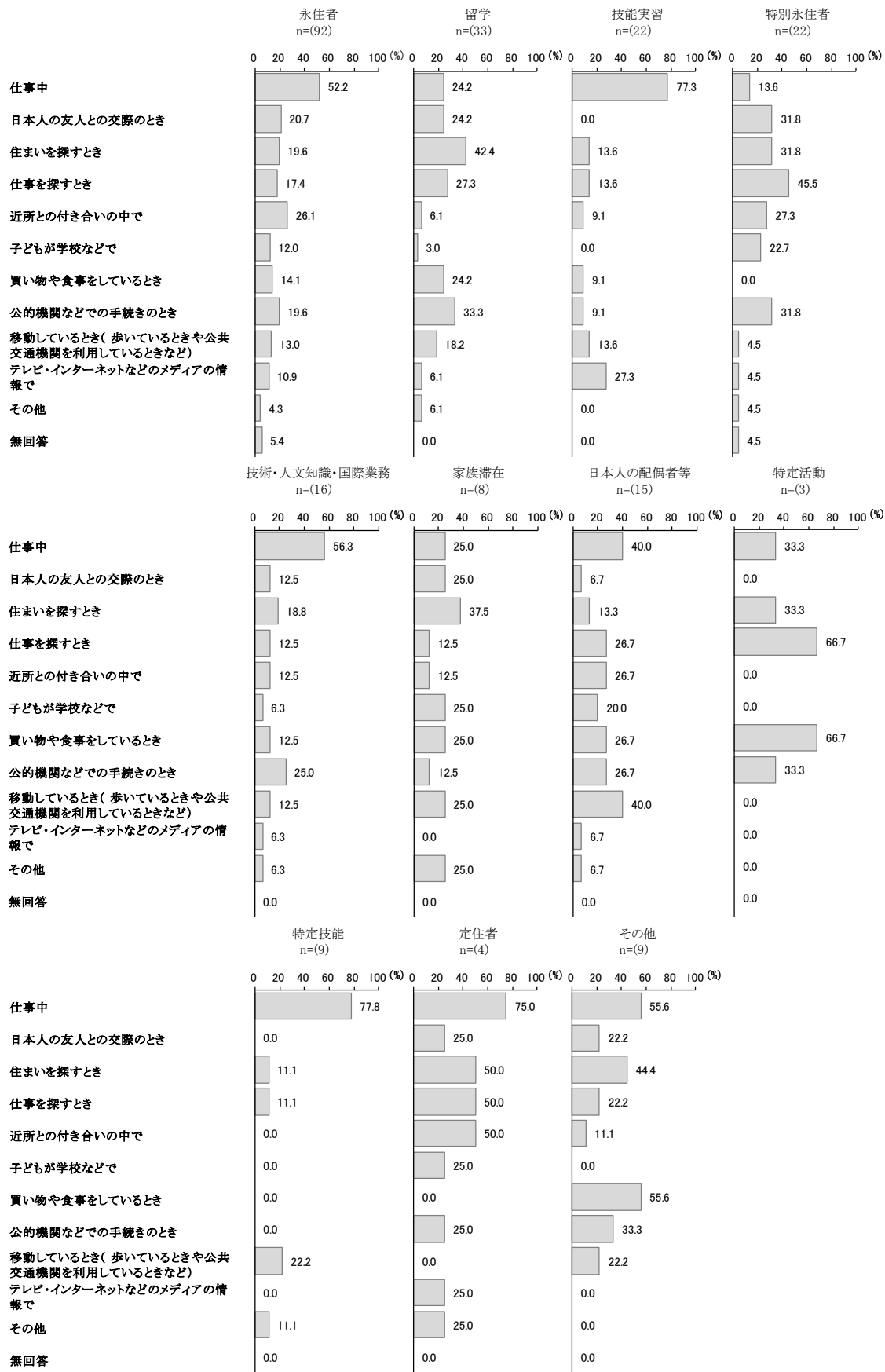
問 40 それほどのよなときに感じましたか。(複数回答)

※問 40 で「1. よくある」「2. 時々ある」「5. 過去に経験したことがあるが、今はほとんどない・まったくない」と回答された方が対象



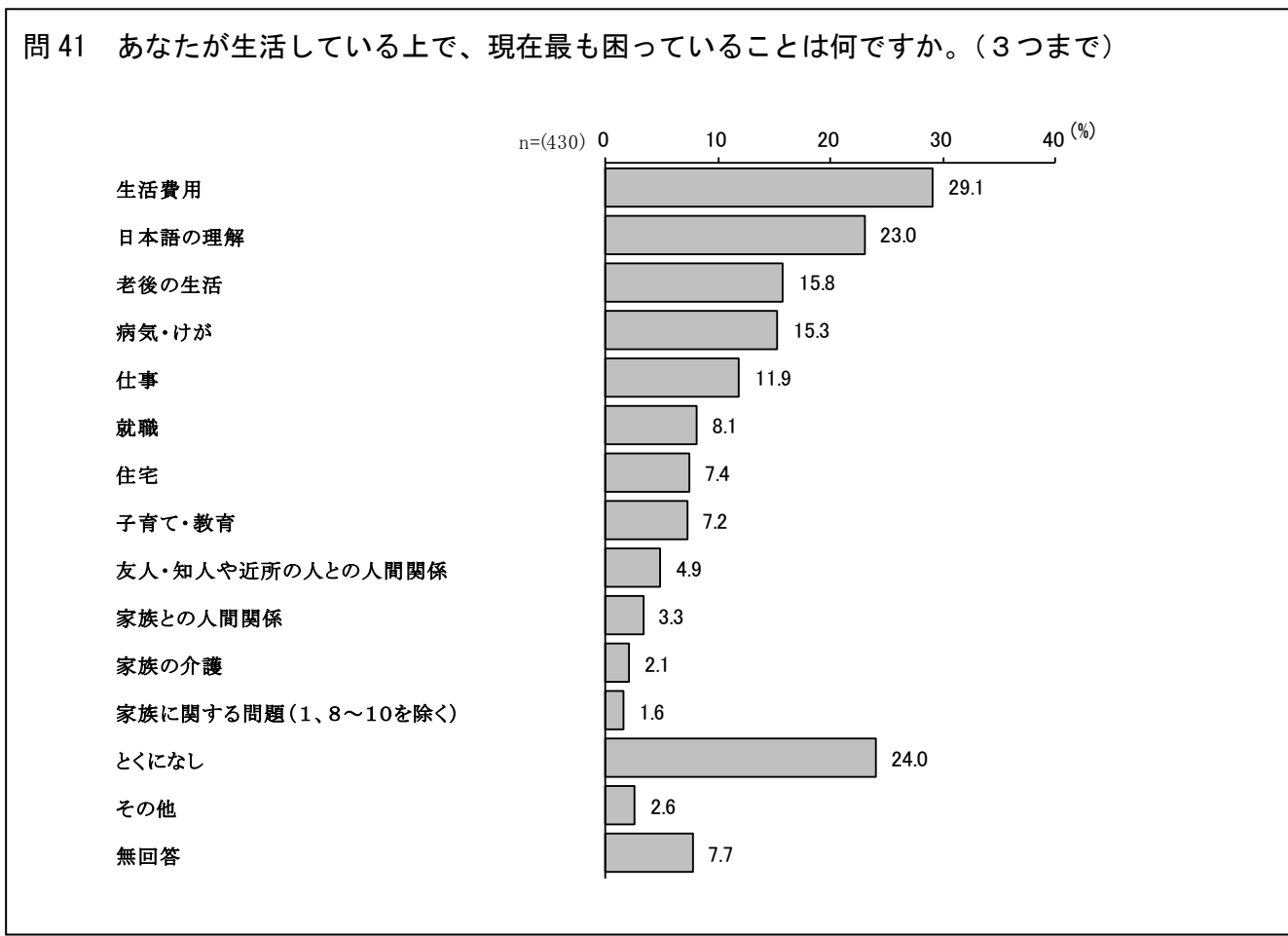
いやな経験、つらい思いの具体的内容については、「工作中」が46.6%と最も多く、以下、「住まいを探すとき」(25.0%)、「仕事を探すとき」「公的機関などでの手続きのとき」(ともに22.5%) などとなっている。

【在留資格別 いやな経験、つらい思いの具体的内容】



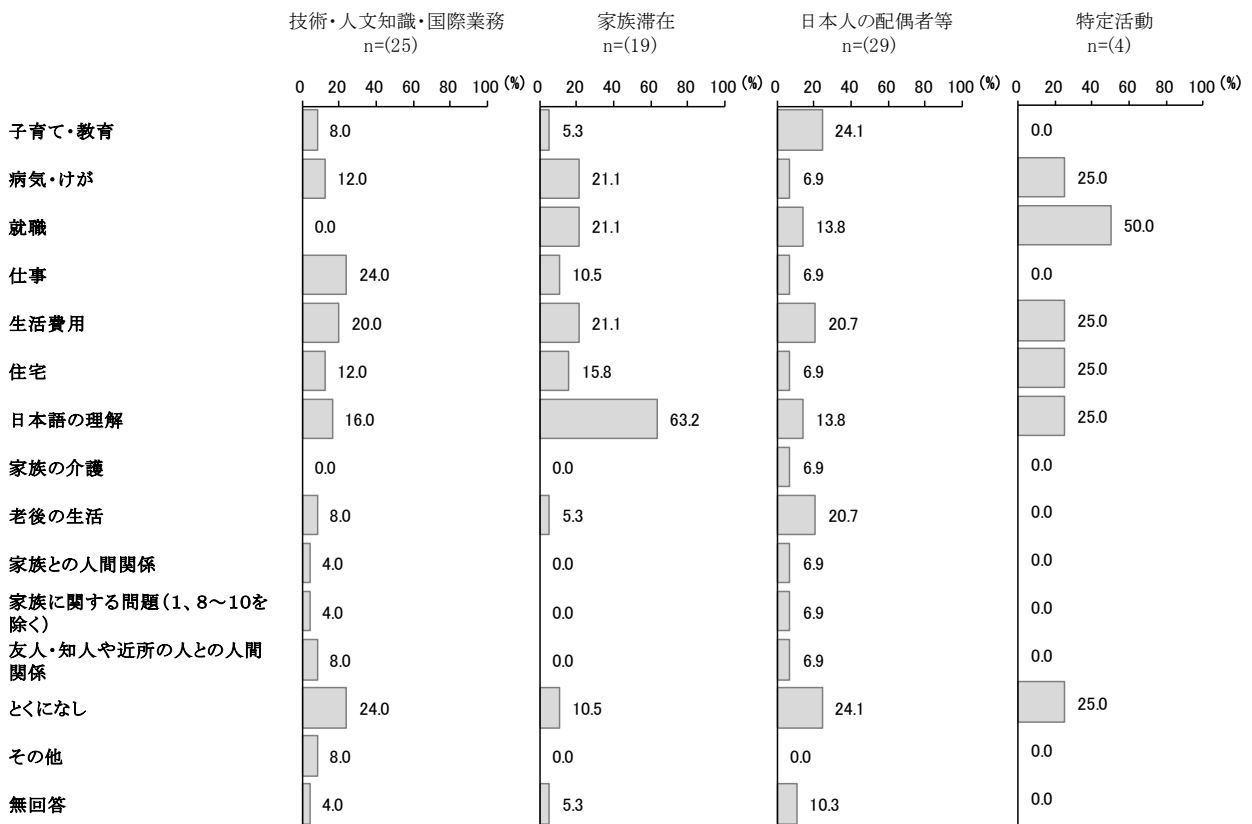
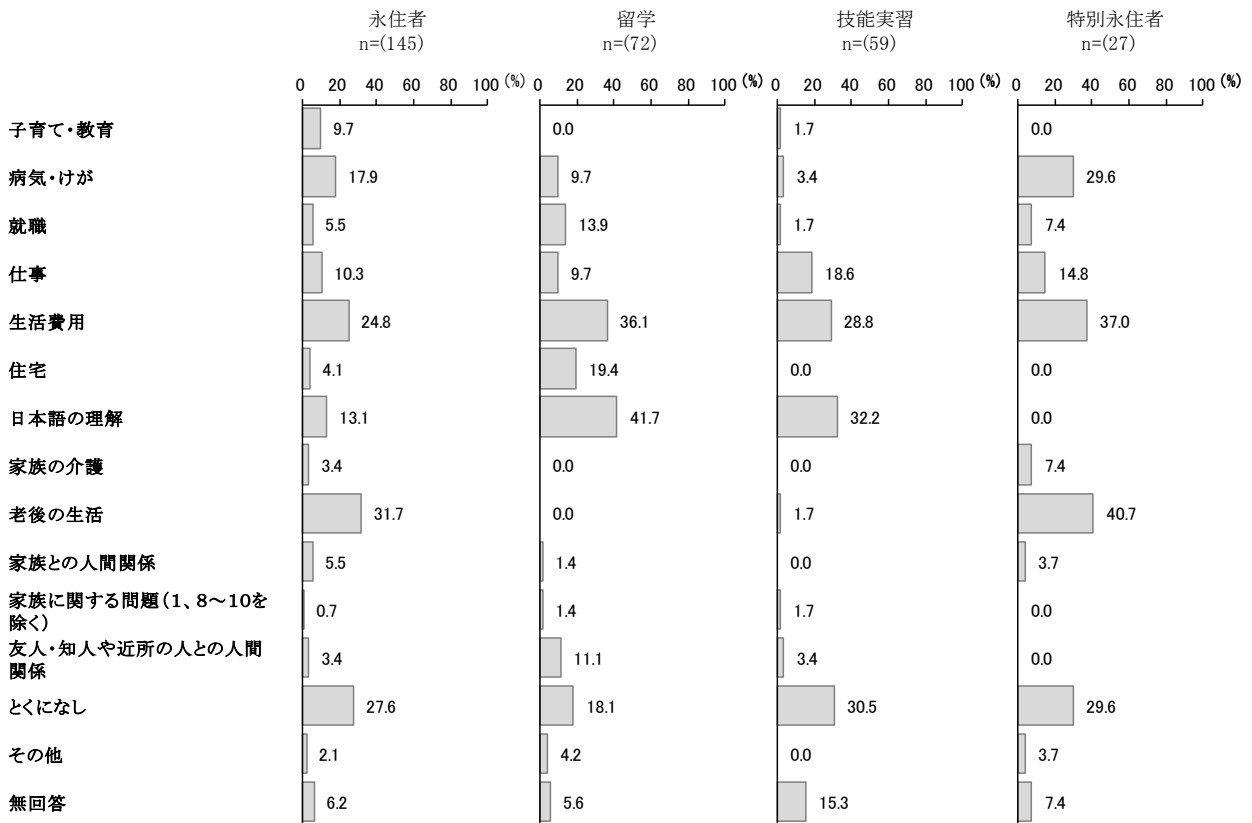
在留資格別のいやな経験、つらい思いの具体的内容については、留学では「住まいを探すとき」(42.4%)、技能実習では「工作中」(77.3%)、特別永住者では「仕事を探すとき」(45.5%)、日本人の配偶者等では「移動しているとき(歩いているときや公共交通機関を利用しているときなど)」(40.0%)が他資格より多くなっている。

(41) 現在困っていること

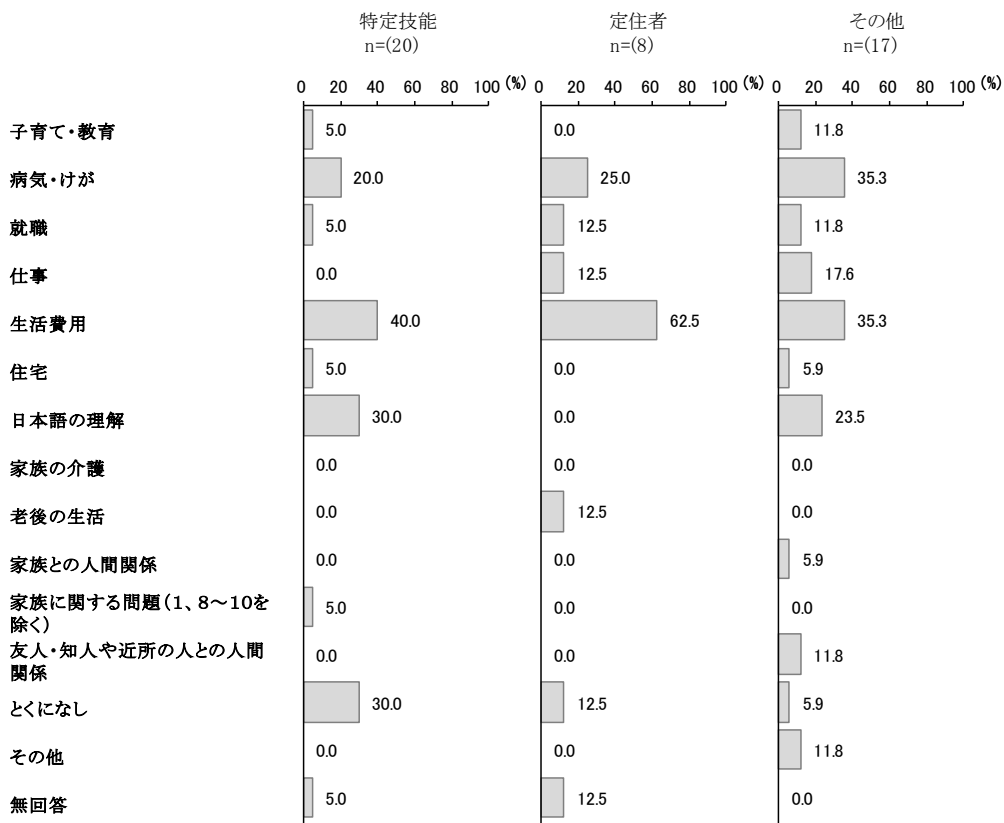


現在困っていることについては、「生活費用」が 29.1%と最も多く、以下、「日本語の理解」(23.0%)、「老後の生活」(15.8%)、「病気・けが」(15.3%)、「仕事」(11.9%) などとなっている。

【在留資格別 現在困っていること (1/2)】



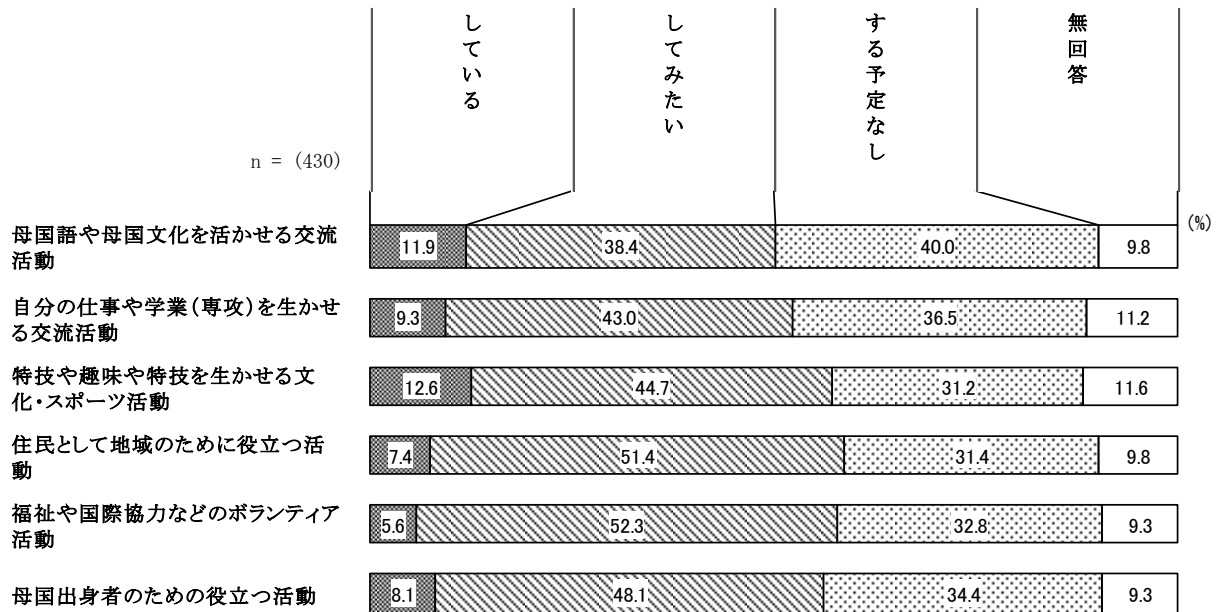
【在留資格別 現在困っていること (2/2)】



在留資格別の現在困っていることについては、永住者、特別永住者では「老後の生活」、留学、技能実習、家族滞在では「日本語の理解」が30%を超えている。技術・人文知識・国際業務では「仕事」(24.0%)、日本人の配偶者等では「子育て・教育」(24.1%)、特定技能では「生活費用」(40.0%)が他資格より多くなっている。

(42) 社会活動

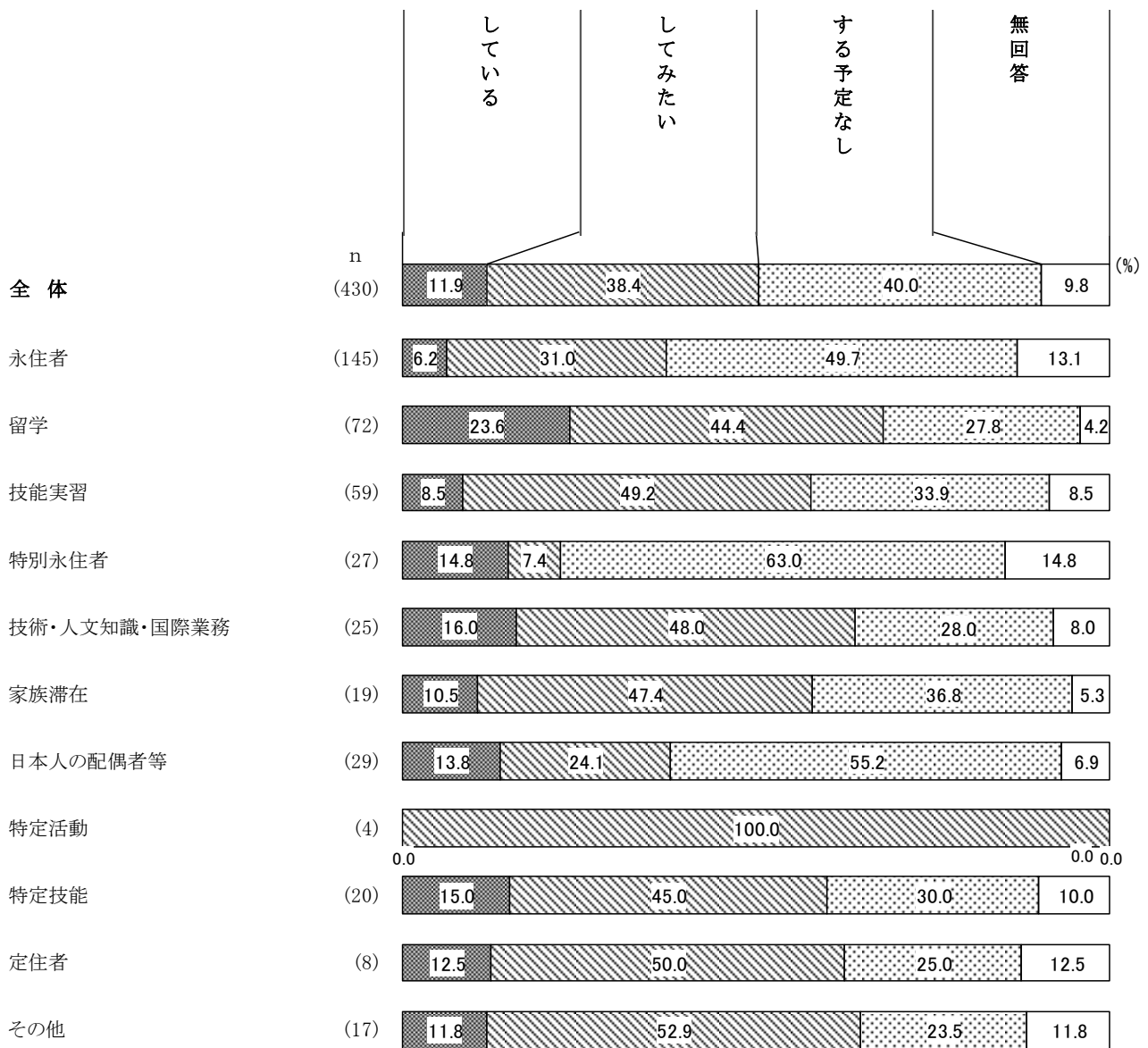
問 42 あなたは、仕事や学業以外で何らかの社会活動をしていますか。またはどのように考えていますか。(単数回答)



社会活動への参加については、いずれの項目も「している」は1割程度にとどまっているが、4~5割が「してみたい」と回答している。特に参加の意向が高いのは、『住民として地域のために役立つ活動』『福祉や国際協力などのボランティア活動』の2項目で約半数を占める。

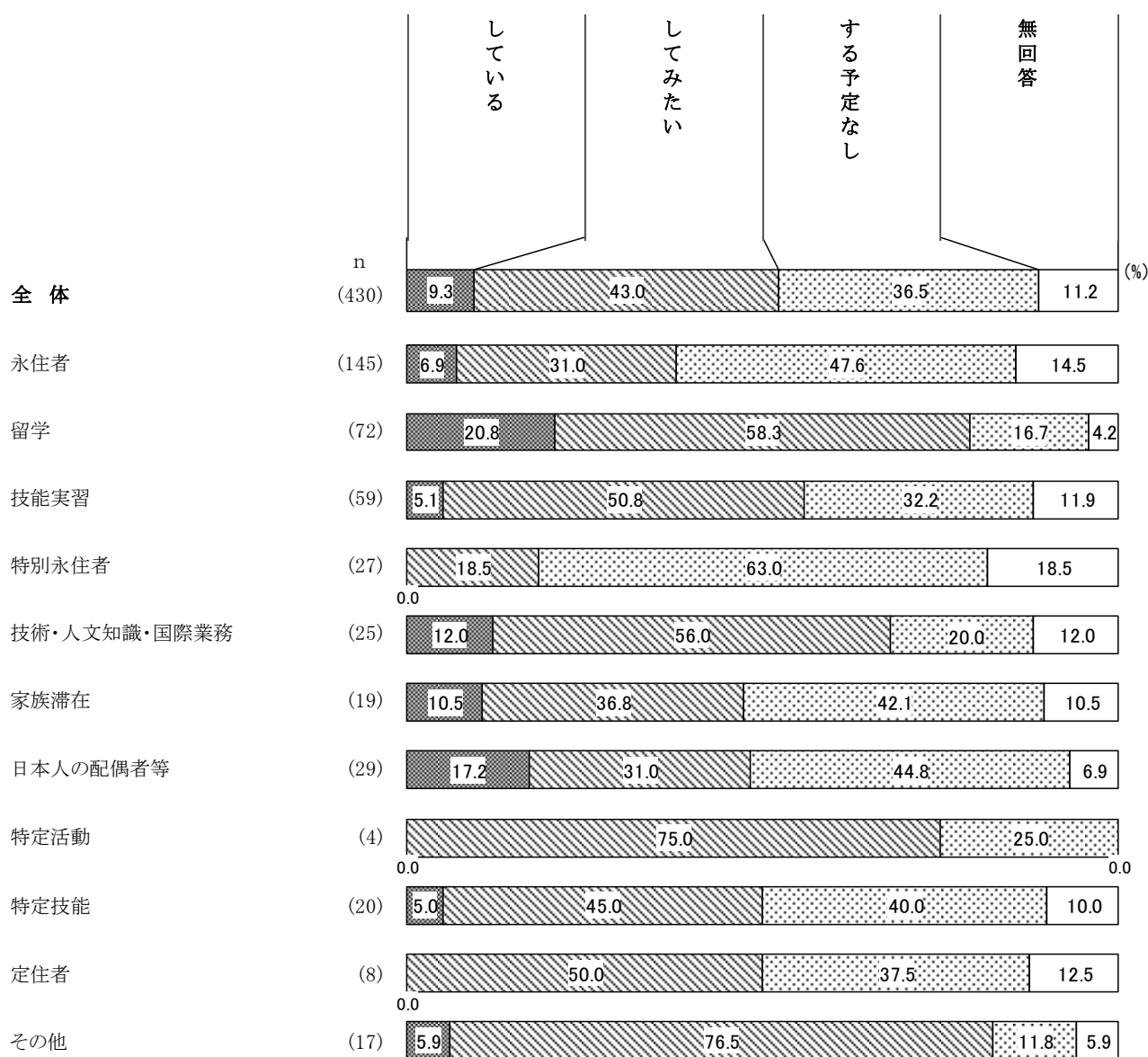
一方、「する予定なし」が多い項目は、『母国語や母国文化を活かせる交流活動』(40.0%)や『自分の仕事や学業(専攻)を生かせる交流活動』(36.5%)となっている。

【在留資格別 社会活動：母国語や母国文化を活かせる交流活動】



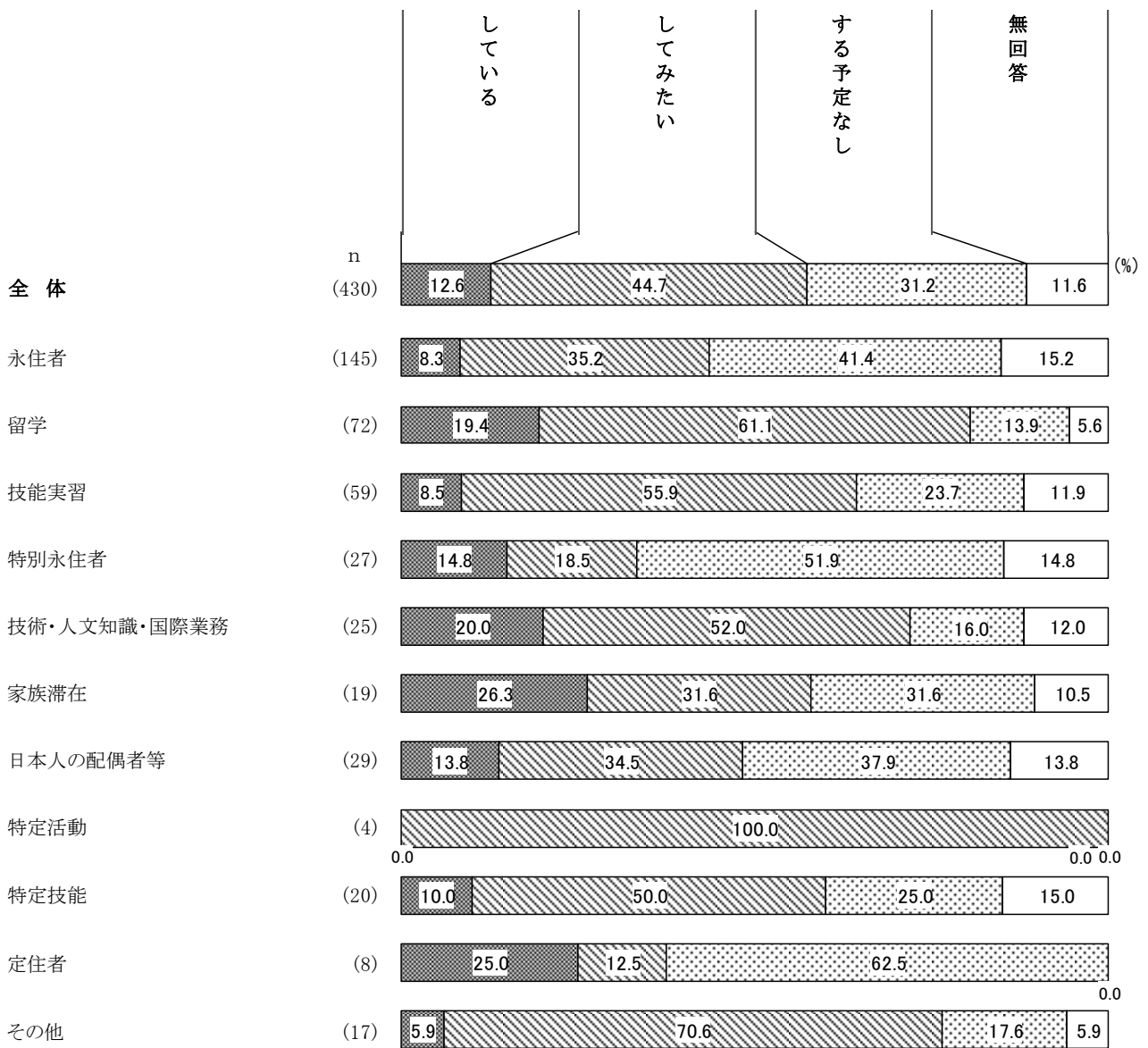
在留資格別の母国語・母国文化を活かせる交流活動での社会活動については、留学、技能実習、技術・人文知識・国際業務、家族滞在、特定技能では「してみたい」が40%台となっている。

【在留資格別 社会活動：自分の仕事や学業（専攻）を生かせる交流活動】



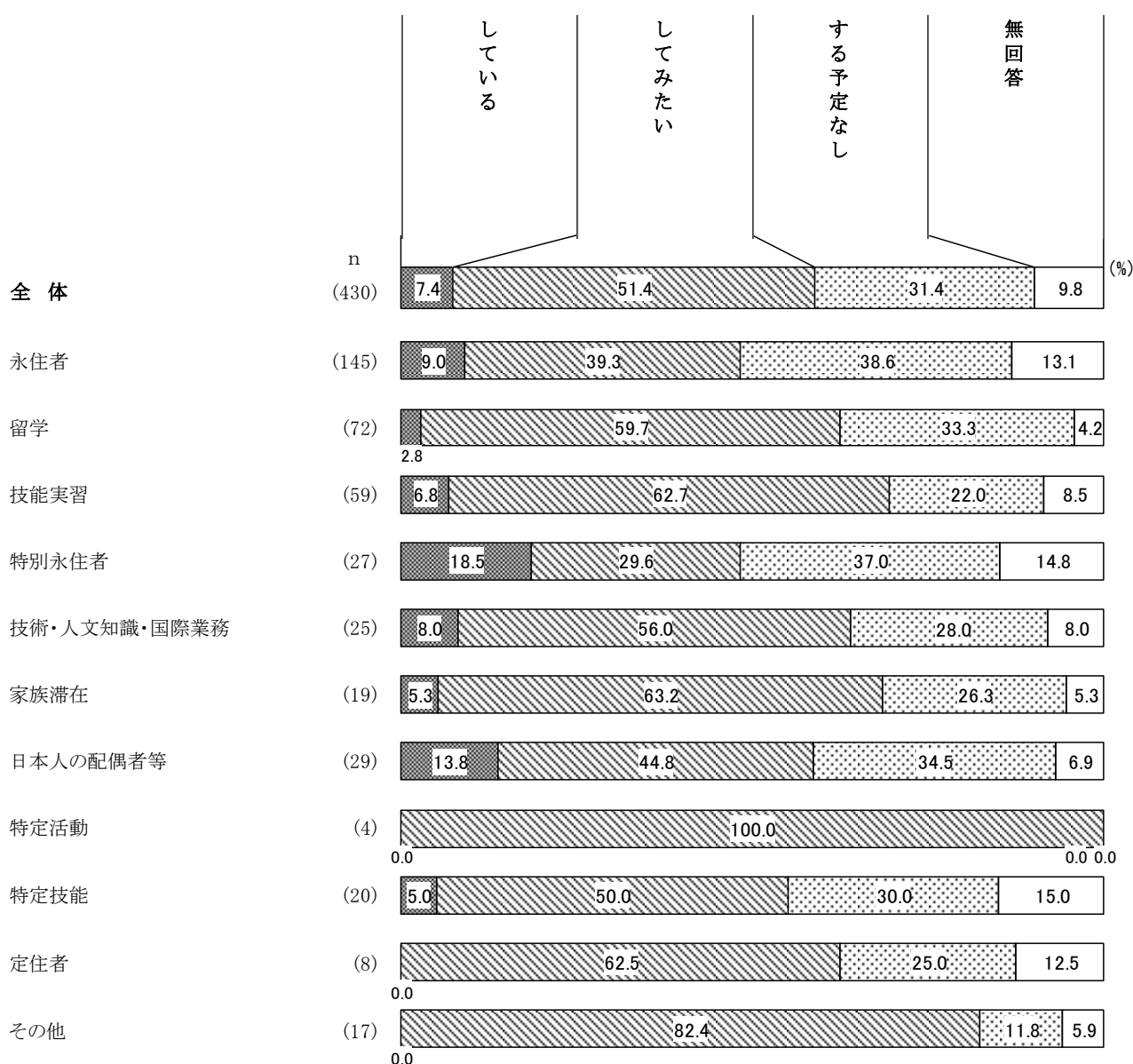
在留資格別の自分の仕事や学業（専攻）を生かせる交流活動での社会活動については、留学、技能実習、技術・人文知識・国際業務では「してみたい」が50%を超えている。

【在留資格別 社会活動：特技や趣味や特技を生かせる文化・スポーツ活動】



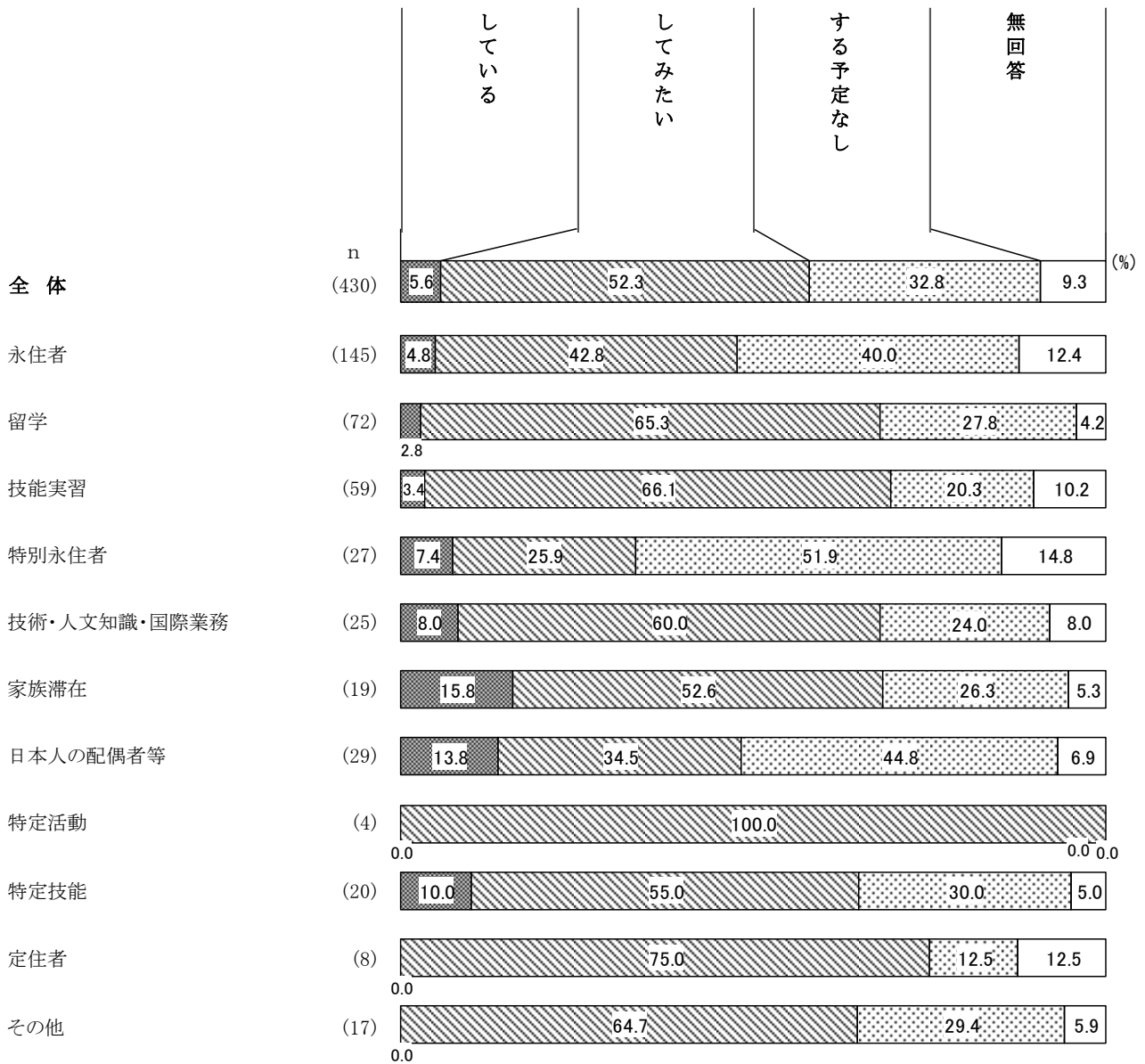
在留資格別の特技や趣味や特技を生かせる文化・スポーツ活動での社会活動については、留学、技能実習、技術・人文知識・国際業務、特定技能では「してみたい」が50%を超えている。

【在留資格別 社会活動：住民として地域のために役立つ活動】



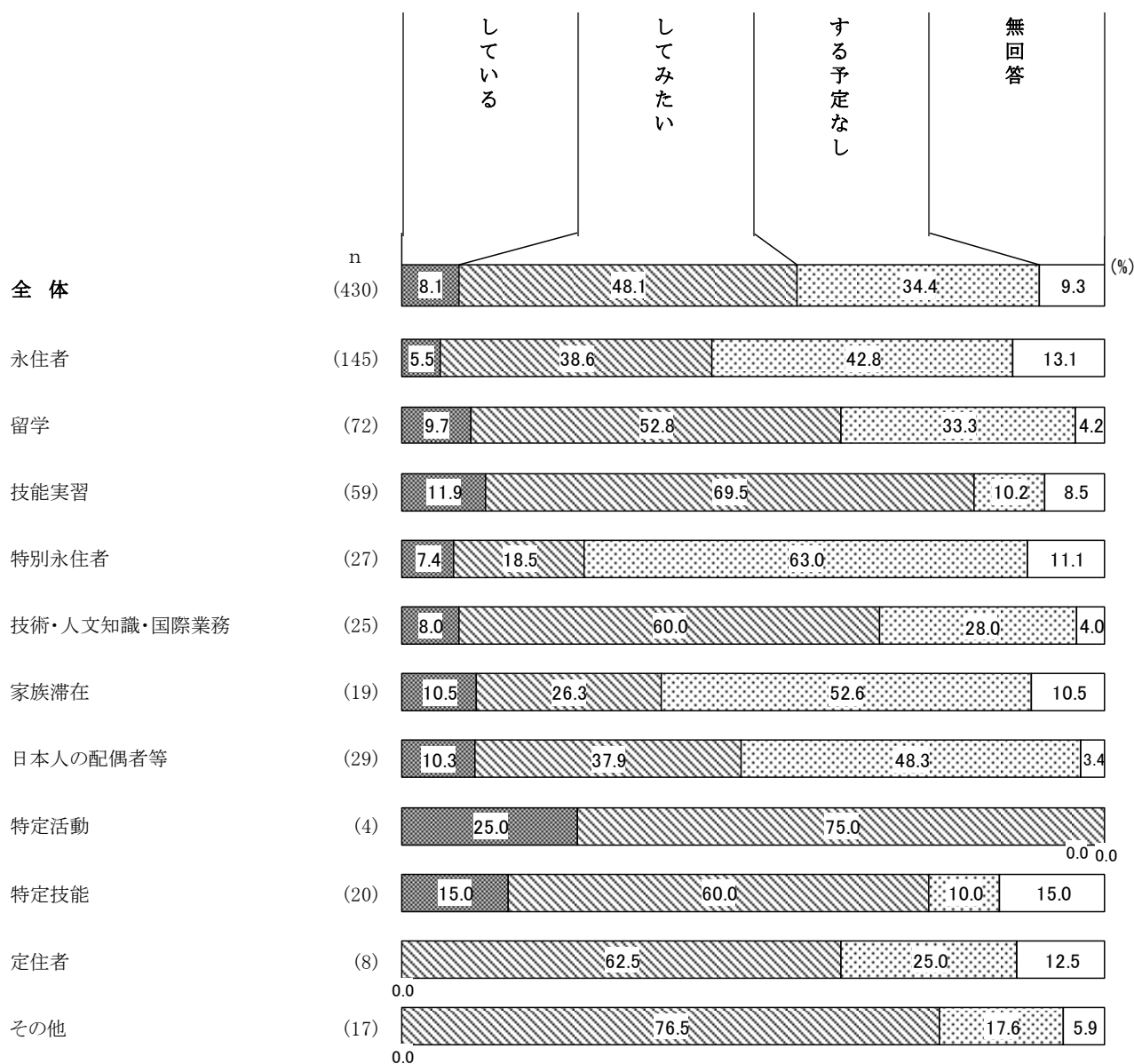
在留資格別の住民として地域のために役立つ活動での社会活動については、留学、技能実習、技術・人文知識・国際業務、家族滞在、特定技能では「してみたい」が50%を超えている。

【在留資格別 社会活動：福祉や国際協力などのボランティア活動】



在留資格別の福祉や国際協力などのボランティア活動での社会活動については、留学、技能実習、技術・人文知識・国際業務、家族滞在、特定技能では「してみたい」が50%を超えている。

【在留資格別 社会活動：母国出身者のための役立つ活動】

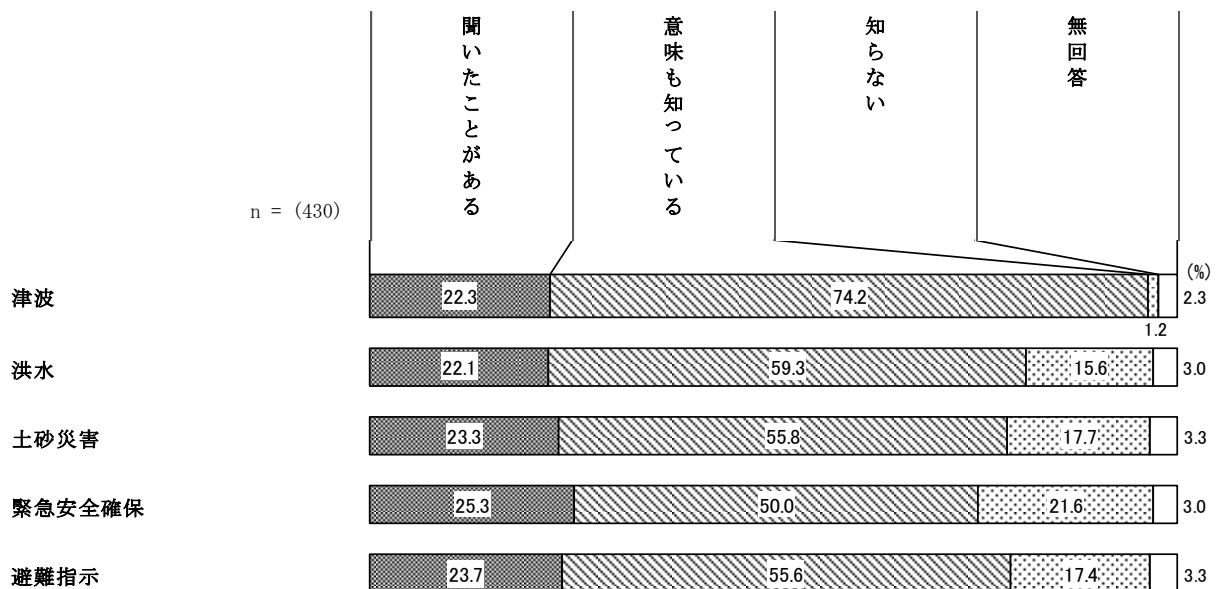


在留資格別の母国出身者のための役立つ活動での社会活動については、留学、技能実習、技術・人文知識・国際業務、特定技能では「してみたい」が50%を超えている。

10. 防災・感染症対策

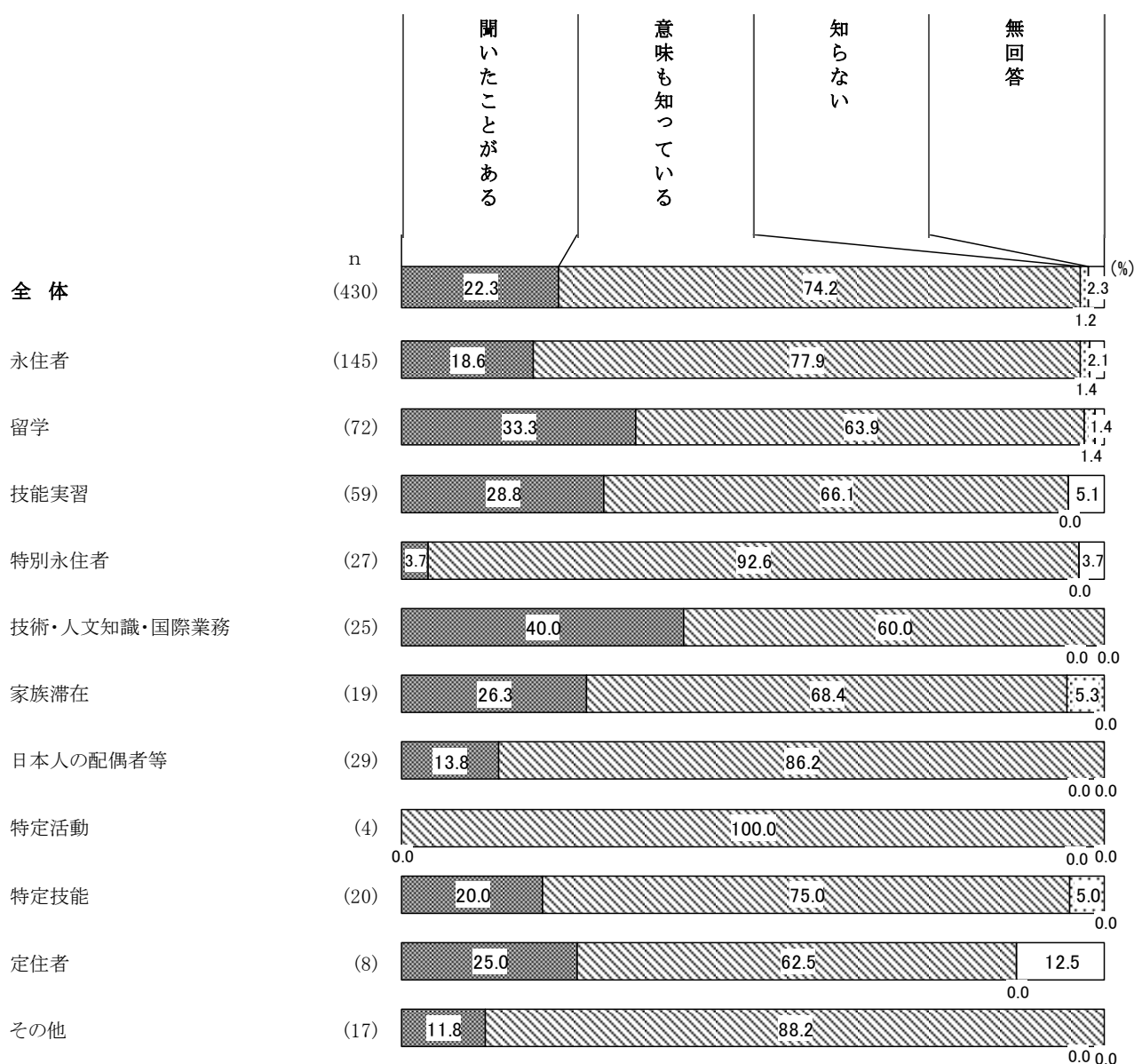
(43) 防災用語についての知識

問 43 『津波』、『洪水』、『土砂災害』、『緊急安全確保』、『避難指示』などの意味を知っていますか。(単数回答)



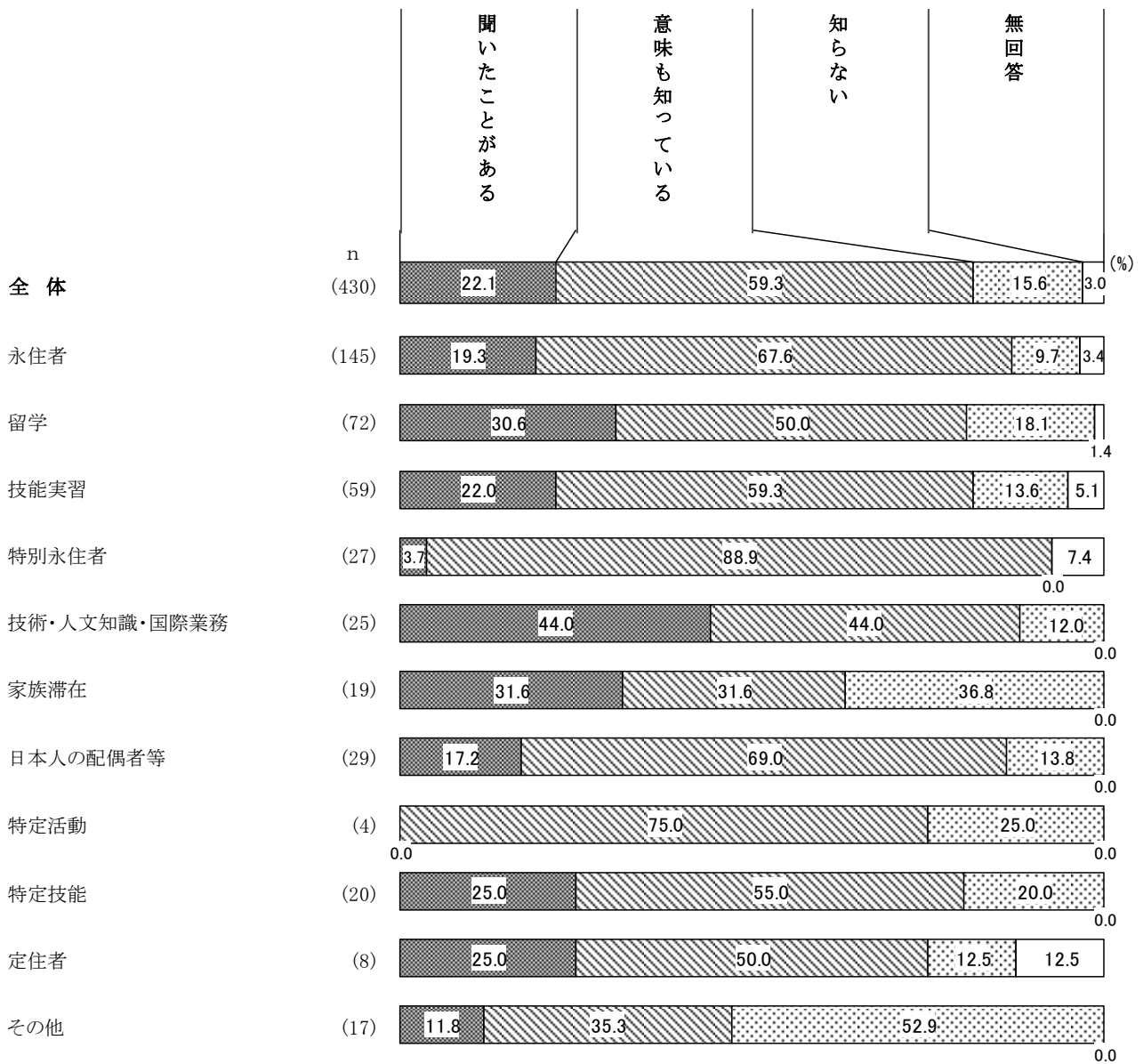
防災用語についての知識については、いずれの項目も「意味も知っている」が最も多く5割以上となっており、特に『津波』では74.2%を占める。「聞いたことがある」については、いずれも2割台となっており、「知らない」については、『津波』以外の項目で2割前後となっている。

【在留資格別 防災用語についての知識：津波】



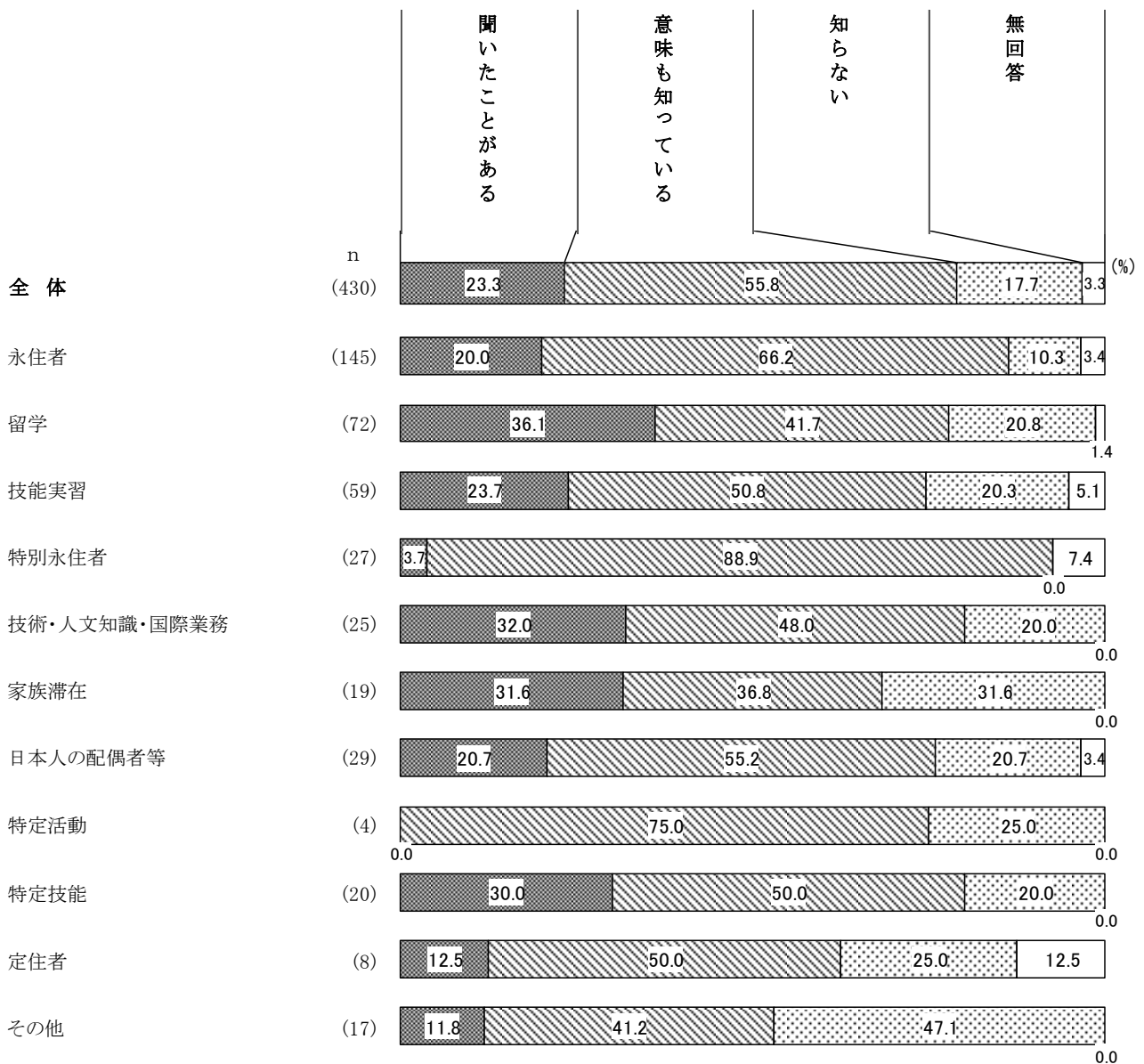
在留資格別の防災用語『津波』の知識については、すべての在留資格で「意味も知っている」が最も多く60%を超えている。

【在留資格別 防災用語についての知識：洪水】



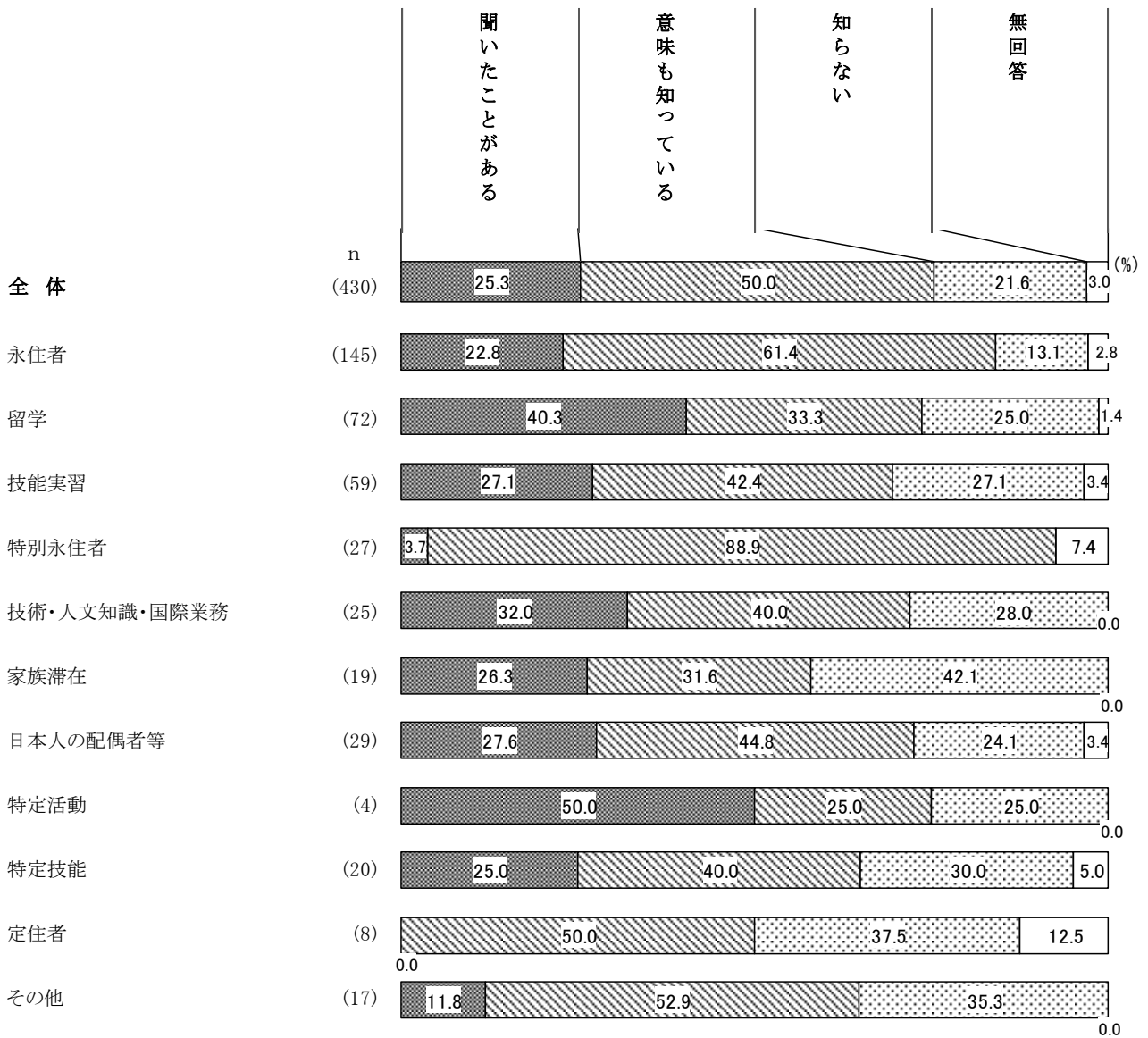
在留資格別の防災用語『洪水』の知識については、技術・人文知識・国際業務では「聞いたことがある」(44.0%)、特別永住者では「意味も知っている」(88.9%)、家族滞在では「知らない」(36.8%)が他資格より多くなっている。

【在留資格別 防災用語についての知識：土砂災害】



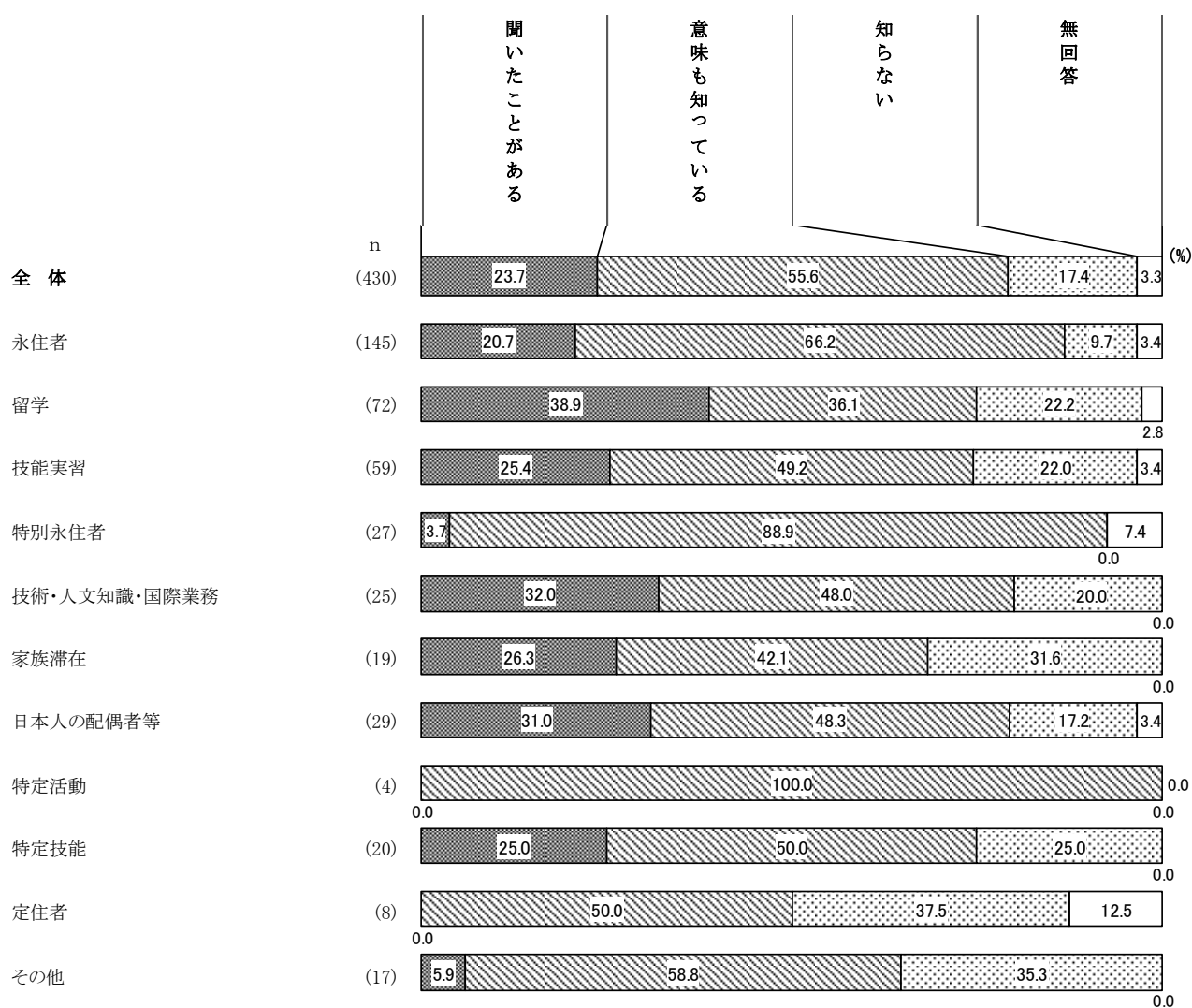
在留資格別の防災用語『土砂災害』の知識については、すべての在留資格で「意味も知っている」が最も多くなっている。また、留学、技術・人文知識・国際業務、家族滞在、特定技能では「聞いたことがある」が30%台と他資格より多くなっている。

【在留資格別 防災用語についての知識：緊急安全確保】



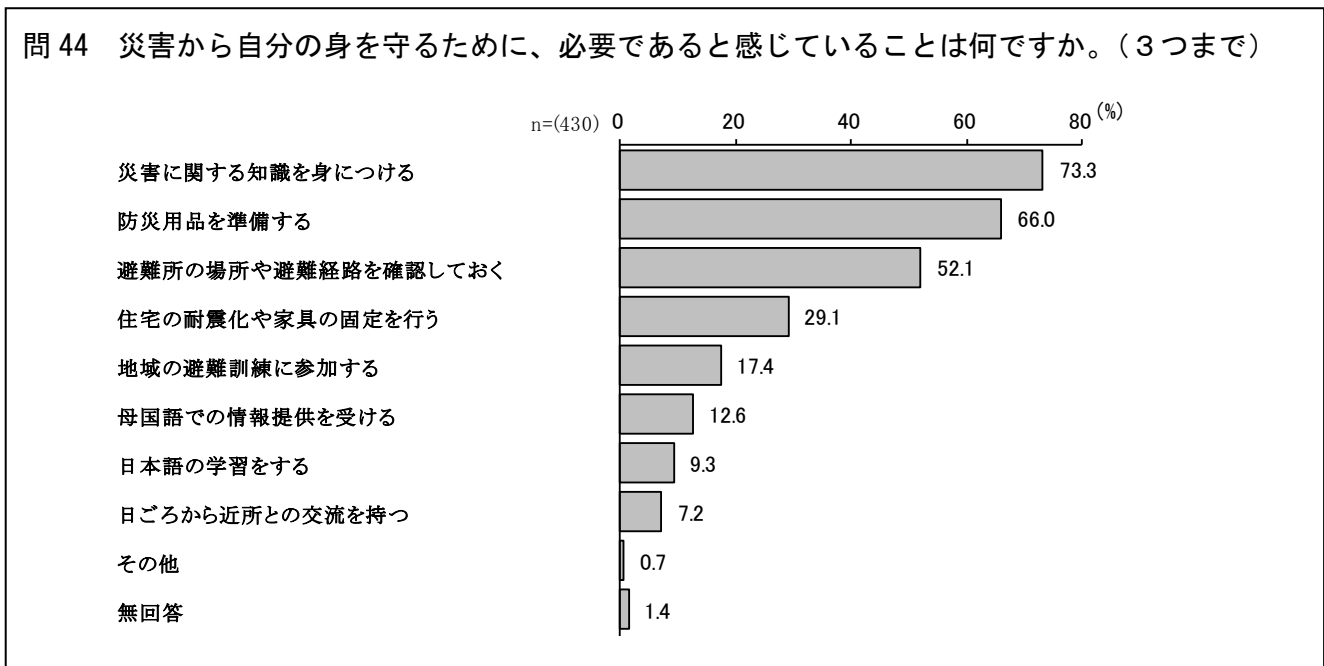
在留資格別の防災用語『緊急安全確保』の知識については、留学では「聞いたことがある」(40.3%)、特別永住者では「意味も知っている」(88.9%)、家族滞在では「知らない」(42.1%)が他資格より多くなっている。

【在留資格別 防災用語についての知識：避難指示】



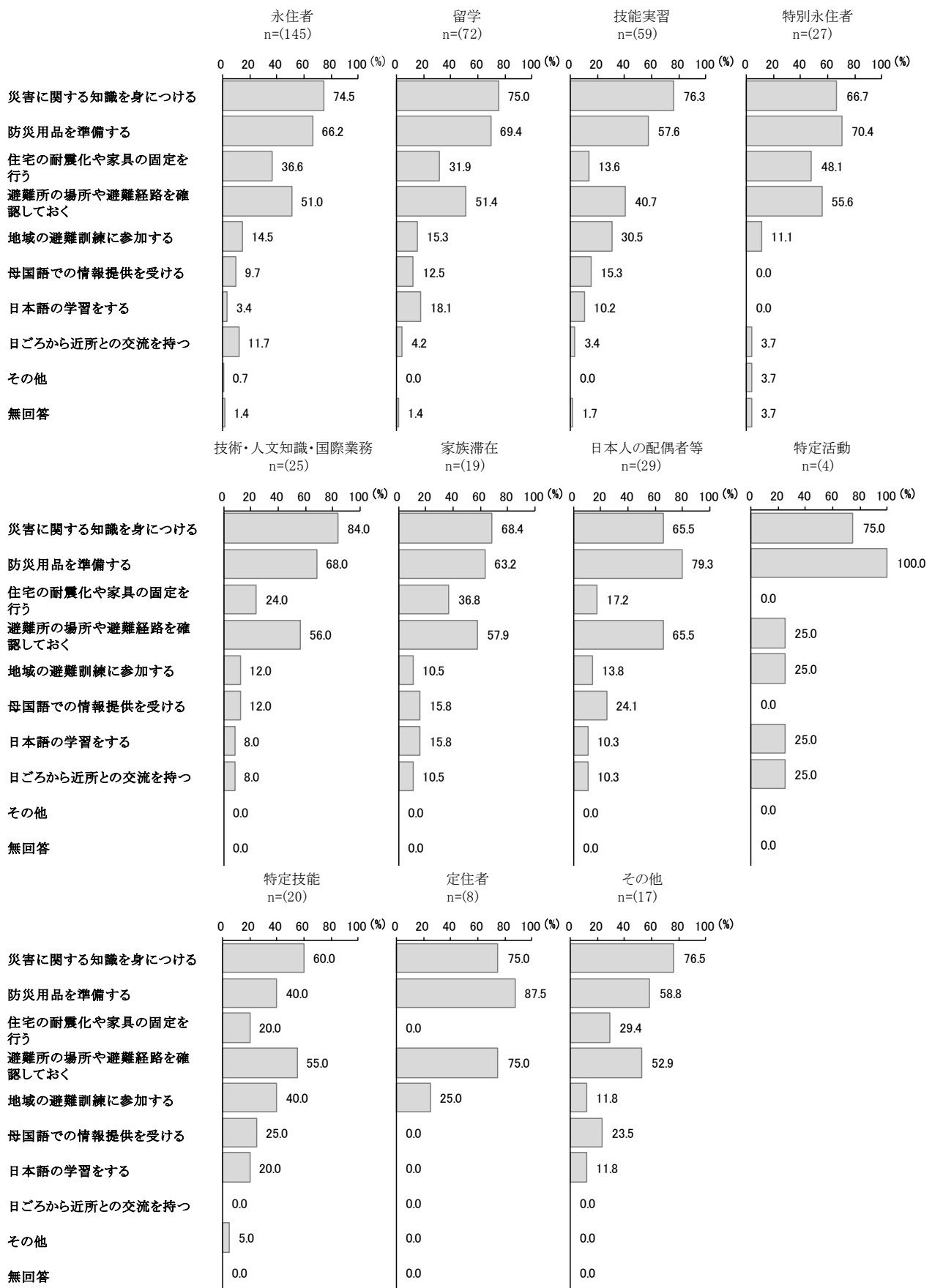
在留資格別の防災用語『避難指示』の知識については、留学では「聞いたことがある」(38.9%)、特別永住者では「意味も知っている」(88.9%)が他資格より多くなっている。

(44) 災害から身を守る方法



災害から身を守る方法については、「災害に関する知識を身につける」が 73.3%と最も多く、以下、「防災用品を準備する」(66.0%)、「避難所の場所や避難経路を確認しておく」(52.1%)、「住宅の耐震化や家具の固定を行う」(29.1%) などとなっている。

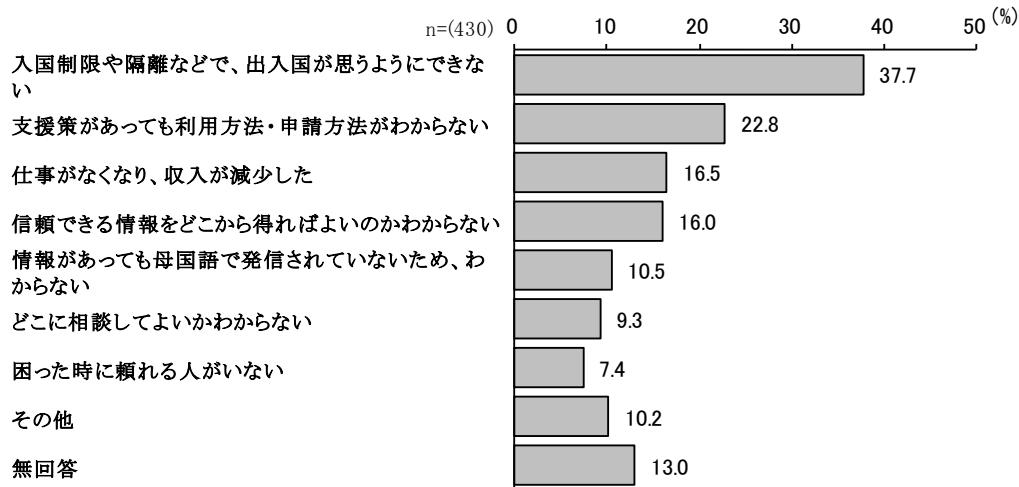
【在留資格別 災害から身を守る方法】



在留資格別の災害から身を守る方法については、技術・人文知識・国際業務では「災害に関する知識を身につける」(84.0%)、日本人の配偶者等では「防災用品を準備する」(79.3%)が他資格より多くなっている。

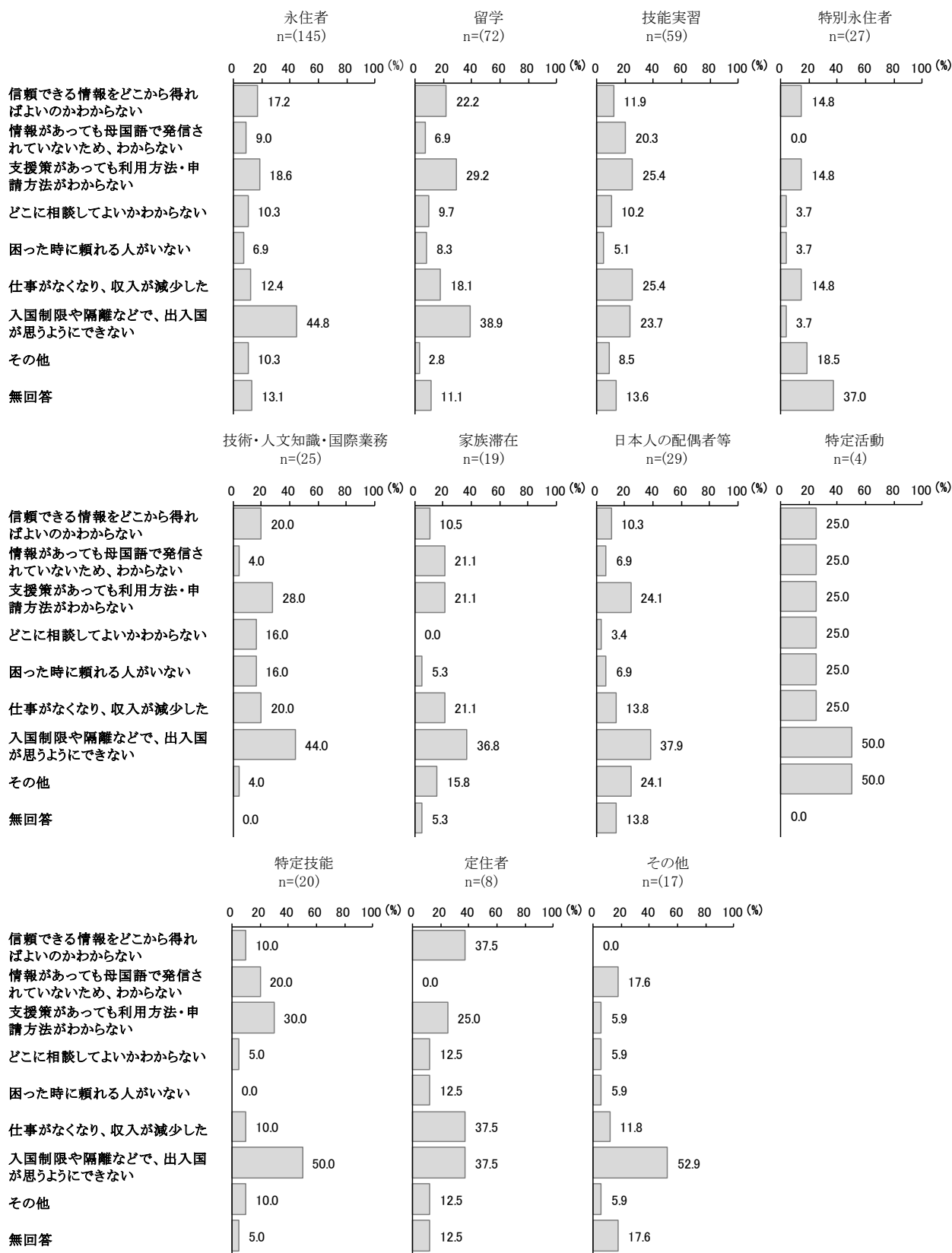
(45) 新型コロナウイルス感染症の影響による困りごと

問 45 新型コロナウイルス感染症の影響で、どのような困りごとがありますか。(複数回答)



新型コロナウイルス感染症の影響による困りごとについては、「入国制限や隔離などで、出入国が思うようにできない」が37.7%と最も多く、以下、「支援策があっても利用方法・申請方法がわからない」(22.8%)、「仕事がなくなり、収入が減少した」(16.5%)、「信頼できる情報をどこから得ればよいかわからない」(16.0%) などとなっている。

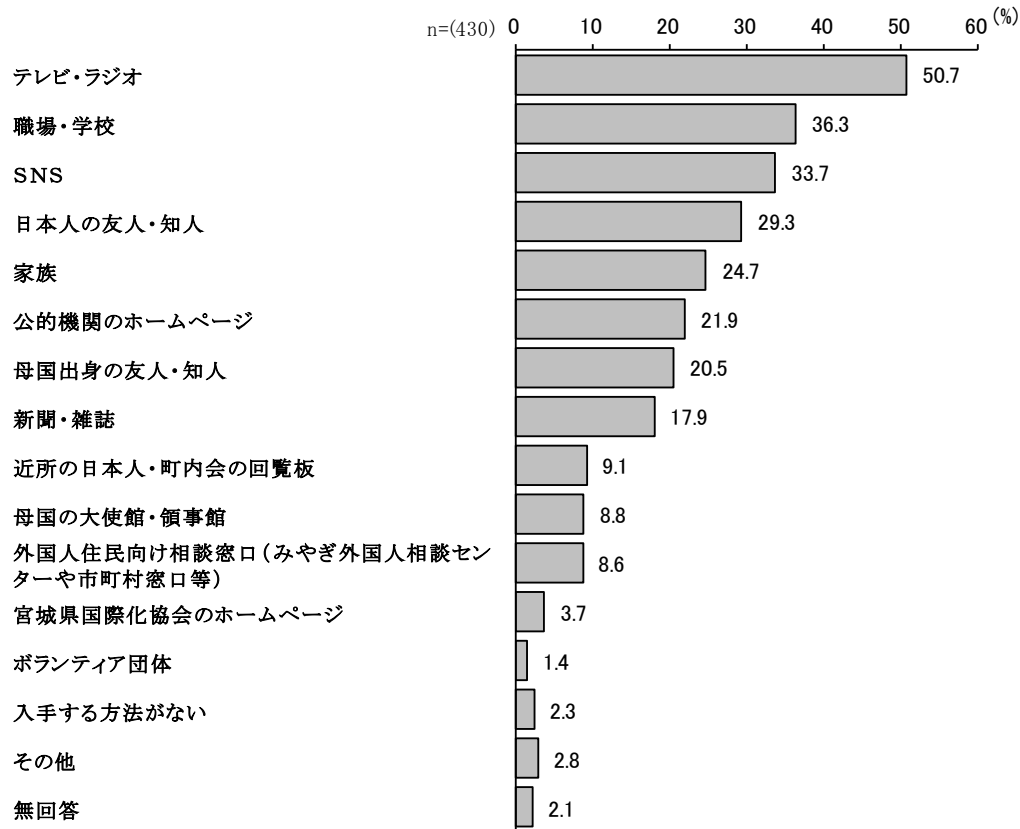
【在留資格別 新型コロナウイルス感染症の影響による困りごと】



在留資格別の新型コロナウイルス感染症の影響による困りごとについては、技能実習では「仕事ができなくなり、収入が減少した」「支援策があっても利用方法・申請方法がわからない」がともに 25.4%と同率の割合になっており、特定技能では「支援策があっても利用方法・申請方法がわからない」(30.0%)や「入国制限や隔離などで、出入国が思うようにできない」(50.0%)が他資格より多くなっている。

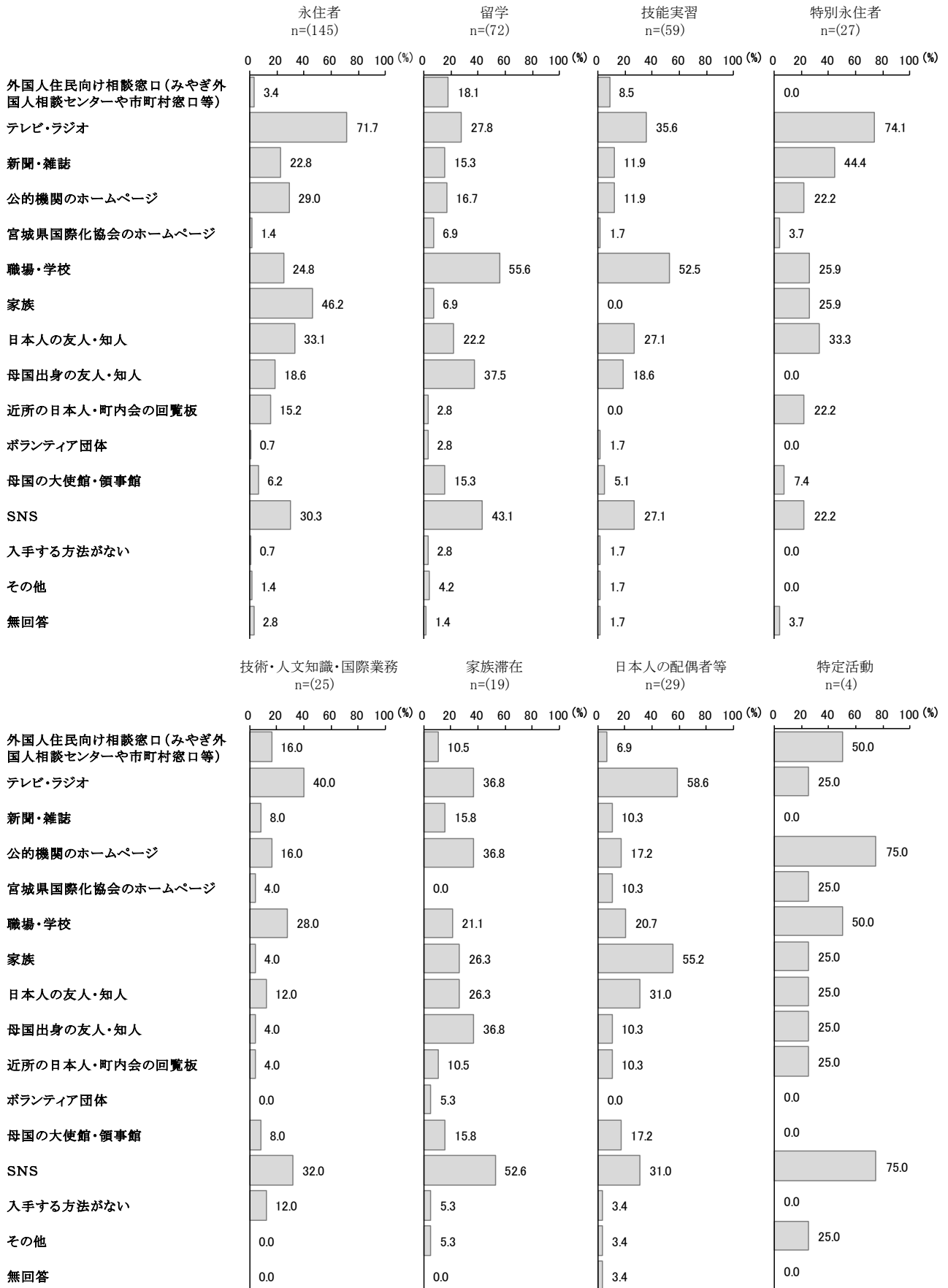
(46) 災害（防災）や感染症（予防・対策）に関する情報の入手先

問 46 あなたは、災害（防災）や感染症（予防・対策）に関する情報をどこから得ていますか。
 （複数回答）

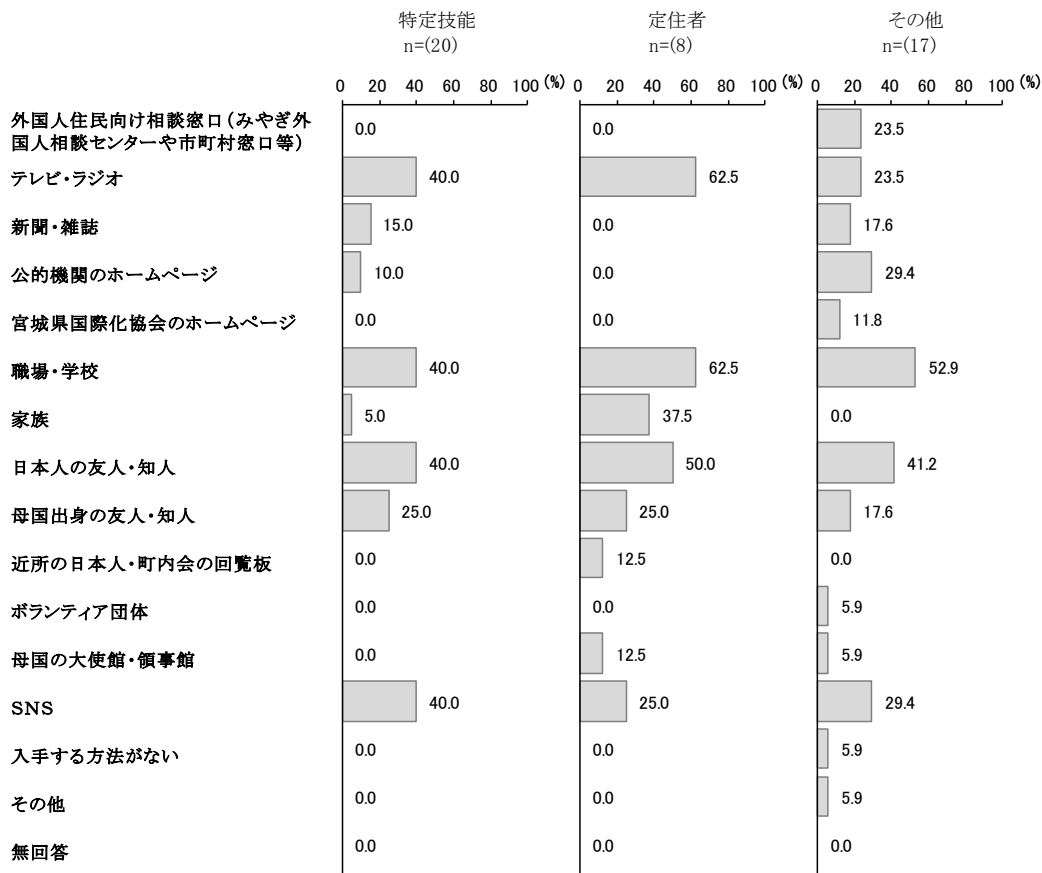


災害（防災）や感染症（予防・対策）に関する情報の入手先については、「テレビ・ラジオ」が50.7%と最も多く、以下、「職場・学校」（36.3%）、「SNS」（33.7%）、「日本人の友人・知人」（29.3%）、「家族」（24.7%）などとなっている。

【在留資格別 災害（防災）や感染症（予防・対策）に関する情報の入手先（1/2）】



【在留資格別 災害（防災）や感染症（予防・対策）に関する情報の入手先（2/2）】

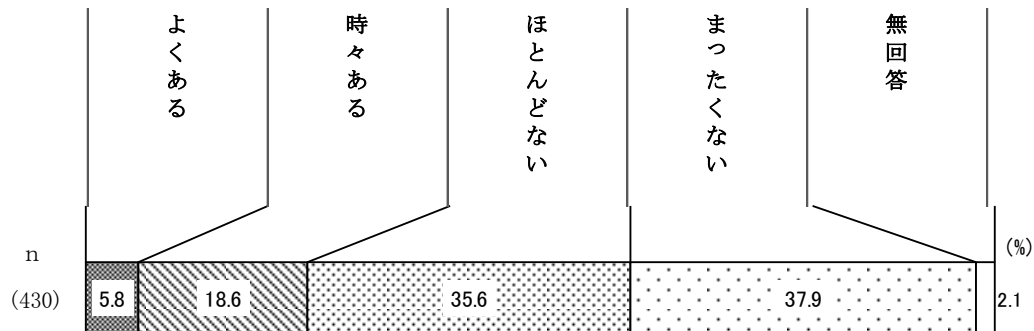


在留資格別の災害（防災）や感染症（予防・対策）に関する情報の入手先については、永住者、特別永住者では「テレビ・ラジオ」が70%台と、留学では「職場・学校」（55.6%）、家族滞在では「SNS」（52.6%）、特定技能では「日本人の友人・知人」（40.0%）が他資格より多くなっている。

11. 行政

(47) 行政施設を利用する上で困ったこと

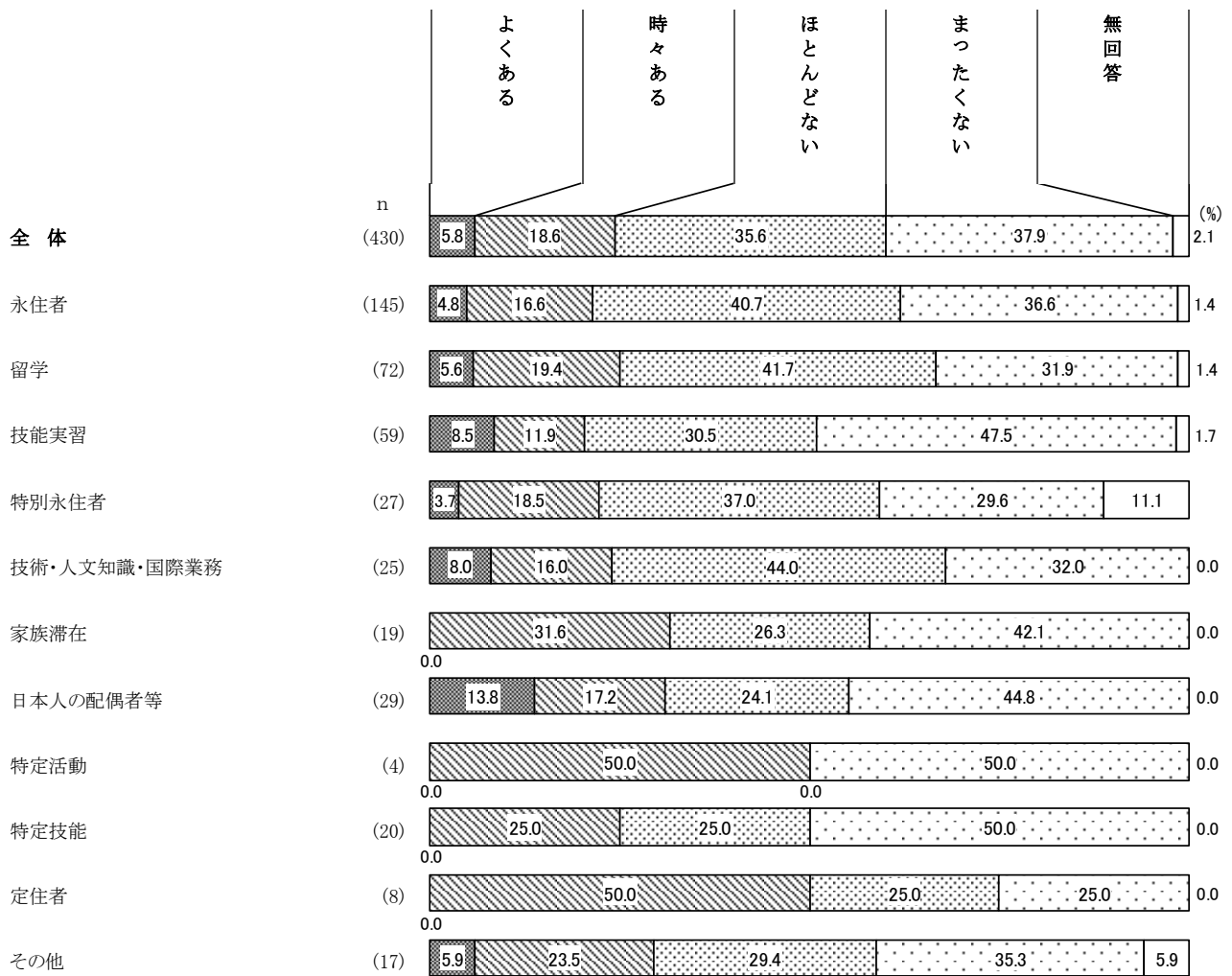
問 47 市役所や町役場、入国管理局などの行政の施設を利用するうえで、困ったことがありますか。(単数回答)



行政施設を利用する上で困ったことについては、「まったくない」が37.9%と最も多く、「ほとんどない」(35.6%)と合わせた《ない》は73.5%を占める。

一方、「よくある」(5.8%)と「時々ある」(18.6%)を合わせた《ある》は24.4%となっている。

【在留資格別 行政施設を利用する上で困ったこと】

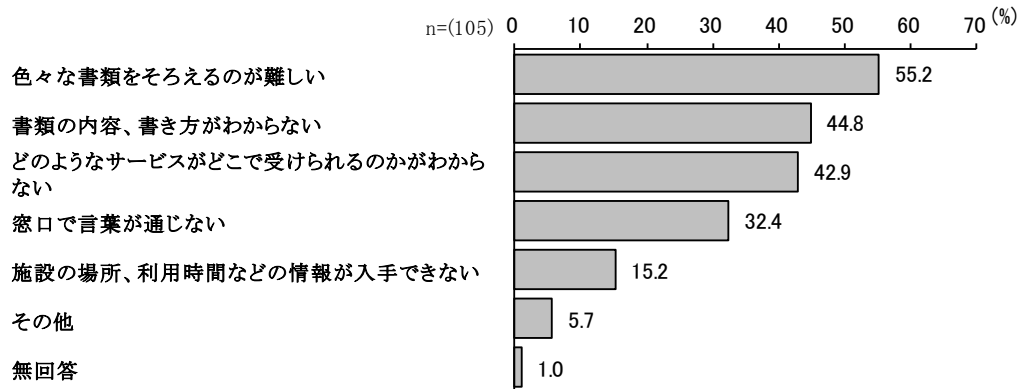


在留資格別の行政施設を利用する上で困ったことについては、「よくある」と「時々ある」を合わせた《ある》が家族滞在、日本人の配偶者等では30%台と他資格より多くなっている。

(48) 行政施設を利用する上でどのような時に困ったと感じたか

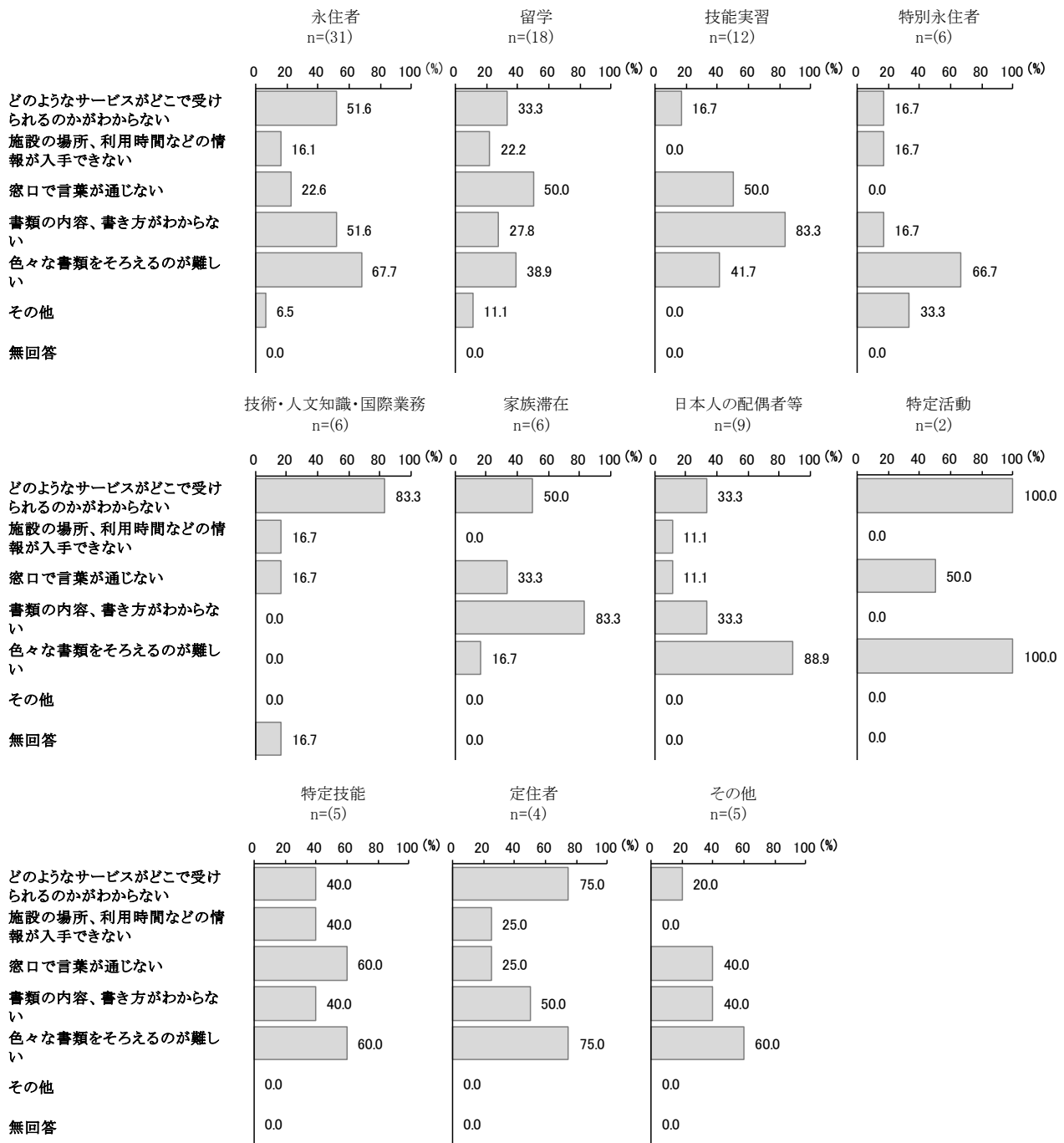
問 48 それはどのようなときに感じましたか。(複数回答)

※ (問 47 で「1. よくある」「2. 時々ある」と回答された方が対象)



どのようなときに困ったと感じたかについては、「色々な書類をそろえるのが難しい」が 55.2%と最も多く、以下、「書類の内容、書き方がわからない」(44.8%)、「どのようなサービスがどこで受けられるのかわからない」(42.9%)、「窓口で言葉が通じない」(32.4%) などとなっている。

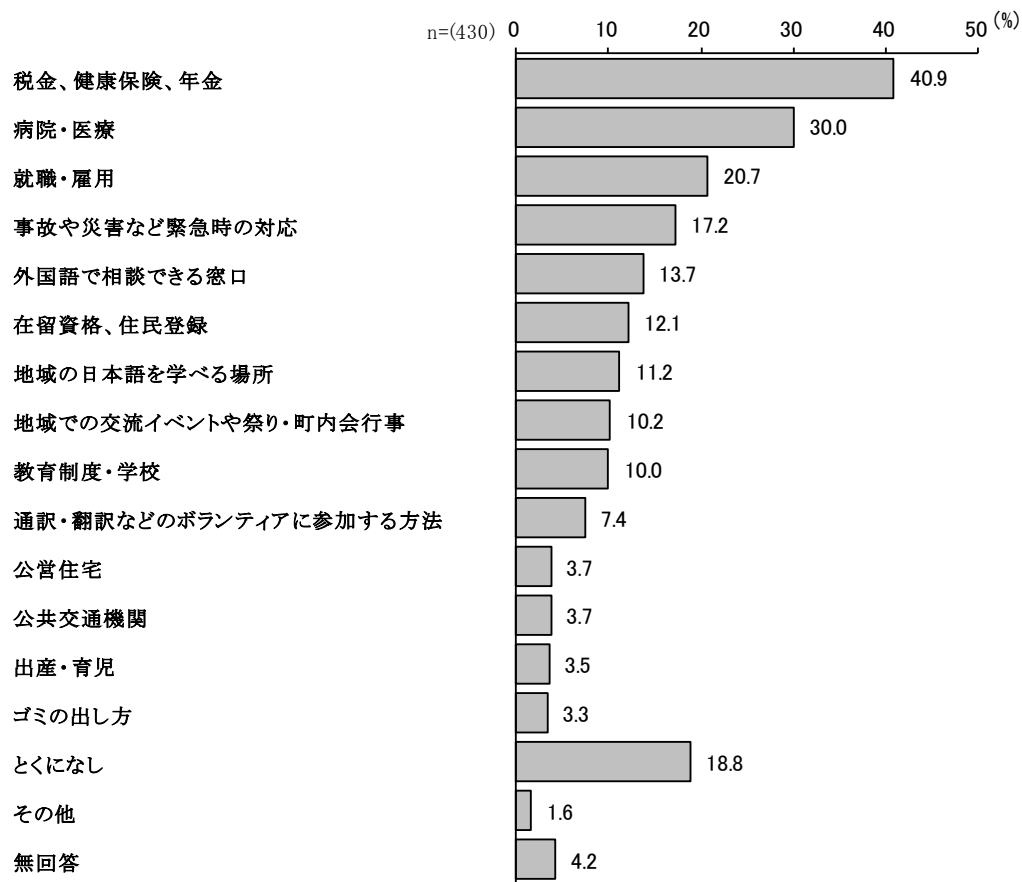
【在留資格別 行政施設を利用する上でどのような時に困ったと感じたか】



在留資格別のどのようなときに困ったと感じたかについては、永住者、特別永住者、日本人の配偶者等、特定技能では「色々な書類をそろえるのが難しい」が60%を超えている。技能実習、家族滞在では「書類の内容、書き方がわからない」が80%を超えており、留学、特定技能では「窓口で言葉が通じない」が50%以上となっている。技術・人文知識・国際業務では「どのようなサービスがどこで受けられるのかがわからない」が83.3%となっている。

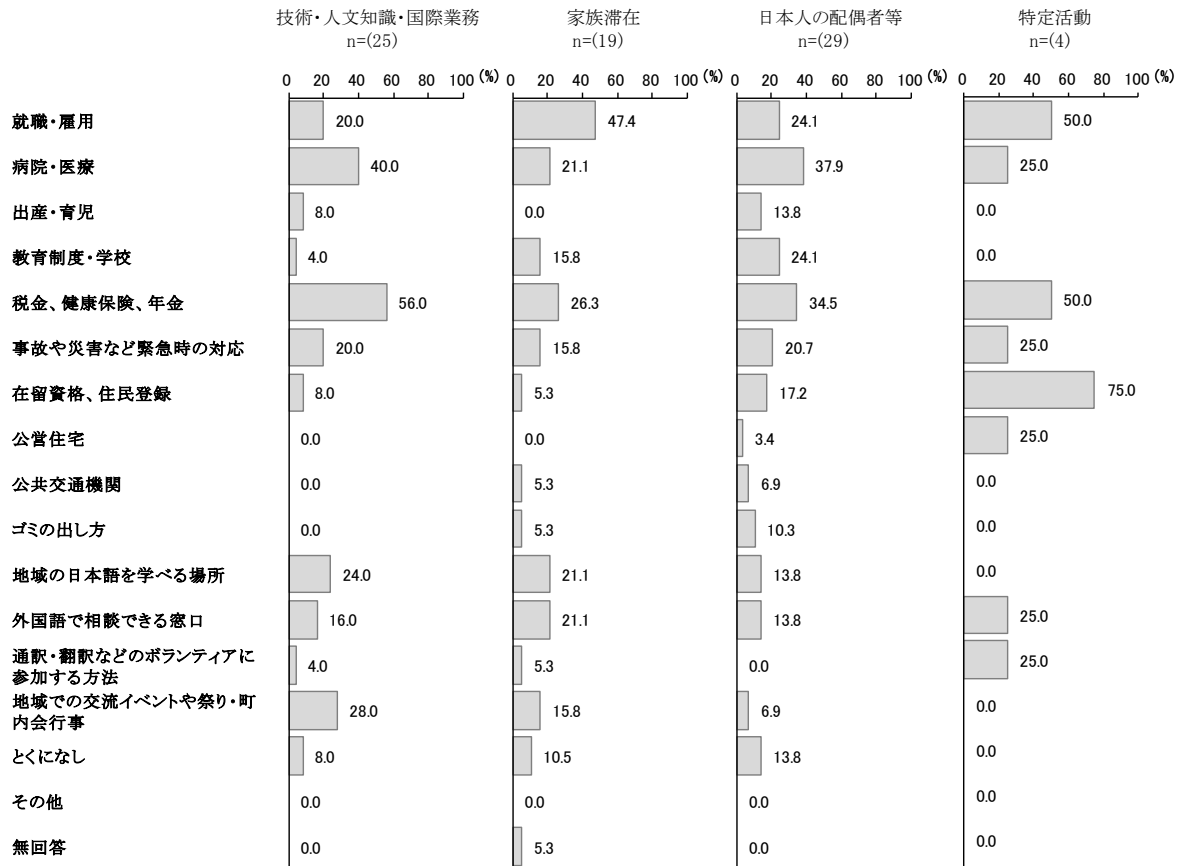
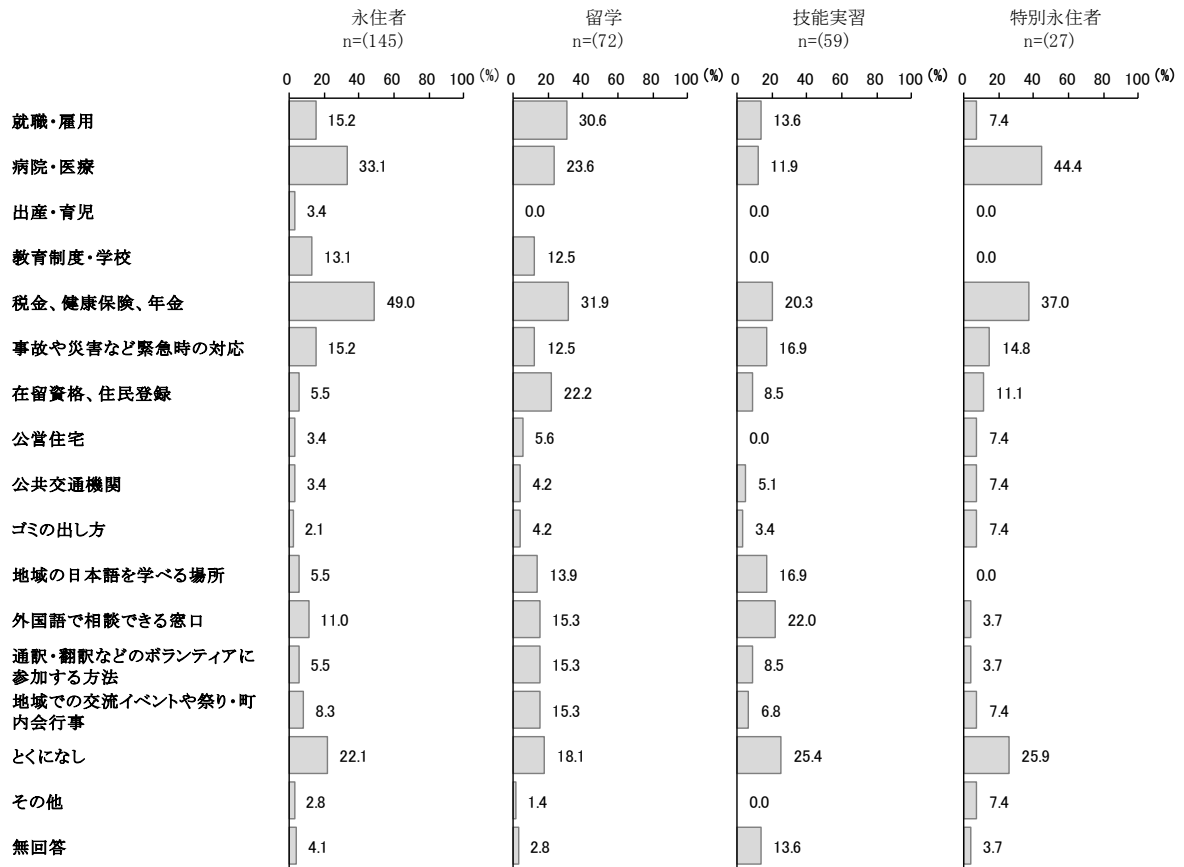
(49) 充実してほしい行政情報

問 49 行政が提供する情報のうち、充実してほしい情報はありますか。(3つまで)

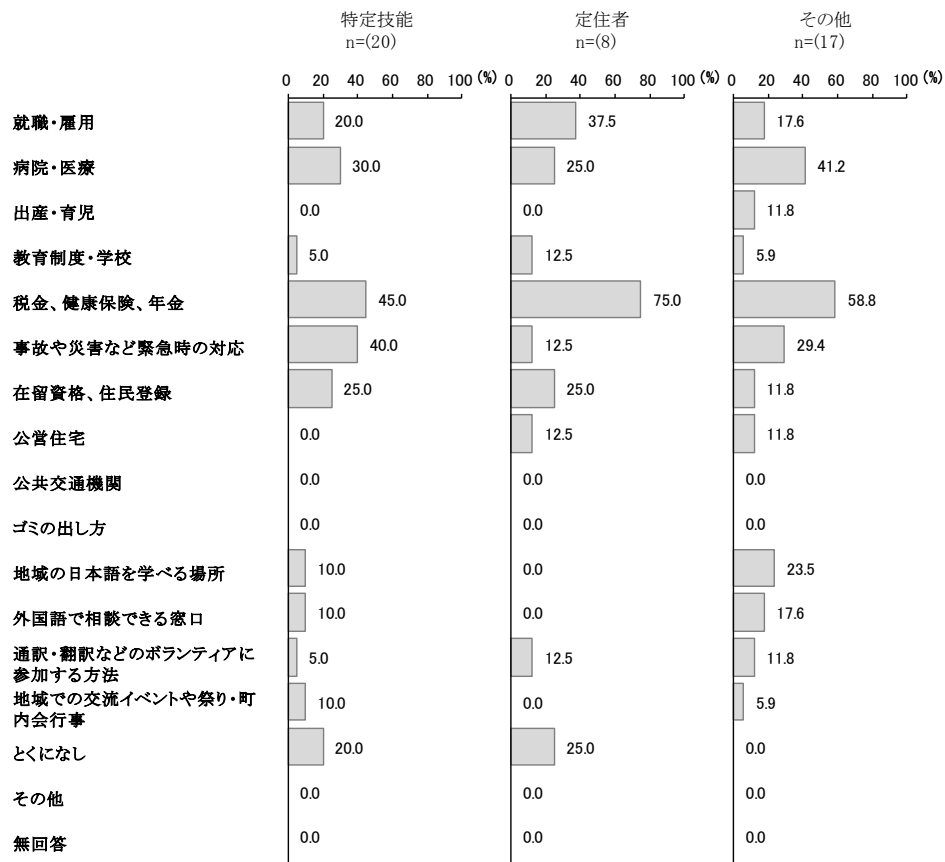


充実してほしい行政情報については、「税金、健康保険、年金」が40.9%と最も多く、以下、「病院・医療」(30.0%)、「就職・雇用」(20.7%)、「事故や災害など緊急時の対応」(17.2%) などとなっている。一方、「とくになし」は18.8%となっている。

【在留資格別 充実してほしい行政情報 (1/2)】



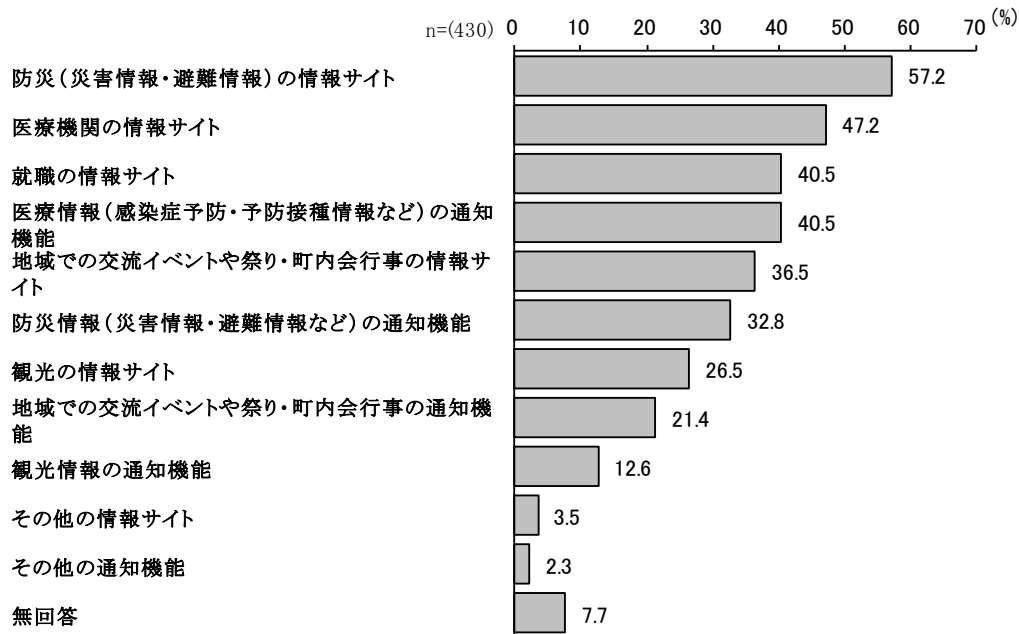
【在留資格別 充実してほしい行政情報（1/2）】



在留資格別の充実してほしい行政情報については、永住者、留学、技術・人文知識・国際業務、特定技能では「税金、健康保険、年金」、特別永住者、日本人の配偶者等では「病院・医療」が30%を超えている。技能実習では「外国語で相談できる窓口」(22.0%)、家族滞在では「就職・雇用」(47.4%)が最も多くなっている。

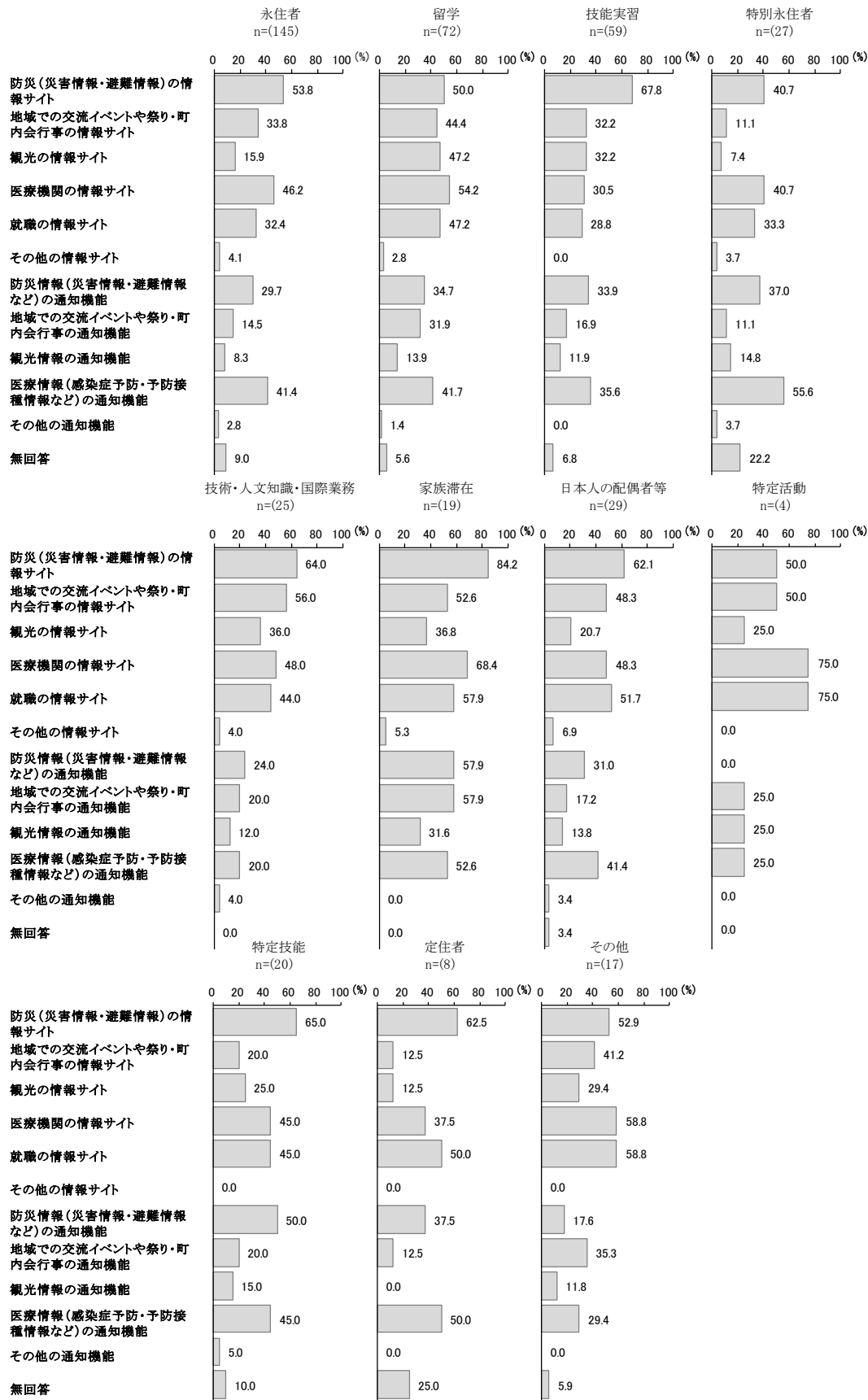
(50) 「外国人住民向け情報発信プラットフォーム」に求める情報や機能

問 50 宮城県では、外国人住民に必要な情報を届けるため、「外国人住民向け情報発信プラットフォーム（外国語対応）」の設置を検討しています。あなたは、「外国人住民向け情報発信プラットフォーム」に、どのような情報や機能があると便利だと思いますか。（複数回答）



「外国人住民向け情報発信プラットフォーム」に求める情報や機能については、「防災（災害情報・避難情報）の情報サイト」が 57.2%と最も多く、以下、「医療機関の情報サイト」（47.2%）、「就職の情報サイト」「医療情報（感染症予防・予防接種情報など）の通知機能」（ともに 40.5%）、「地域での交流イベントや祭り・町内会行事の情報サイト」（36.5%）などとなっている。

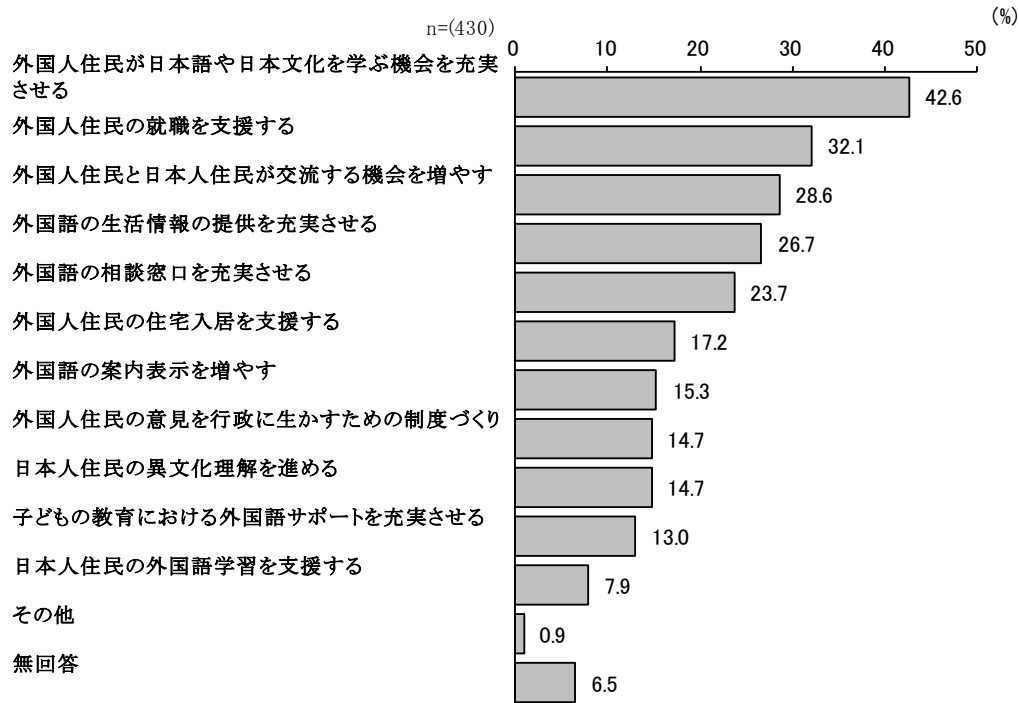
【在留資格別 「外国人住民向け情報発信プラットフォーム」に求める情報や機能】



在留資格別の「外国人住民向け情報発信プラットフォーム」に求める情報や機能については、留学では「医療機関の情報サイト」(54.2%)、特別永住者では「医療情報(感染症予防・予防接種情報など)の通知機能」(55.6%)が他資格より多くなっている。また、永住者、技能実習、技術・人文知識・国際業務、家族滞在、日本人の配偶者等、特定技能では「防災(災害情報・避難情報)の情報サイト」が50%を超えている。

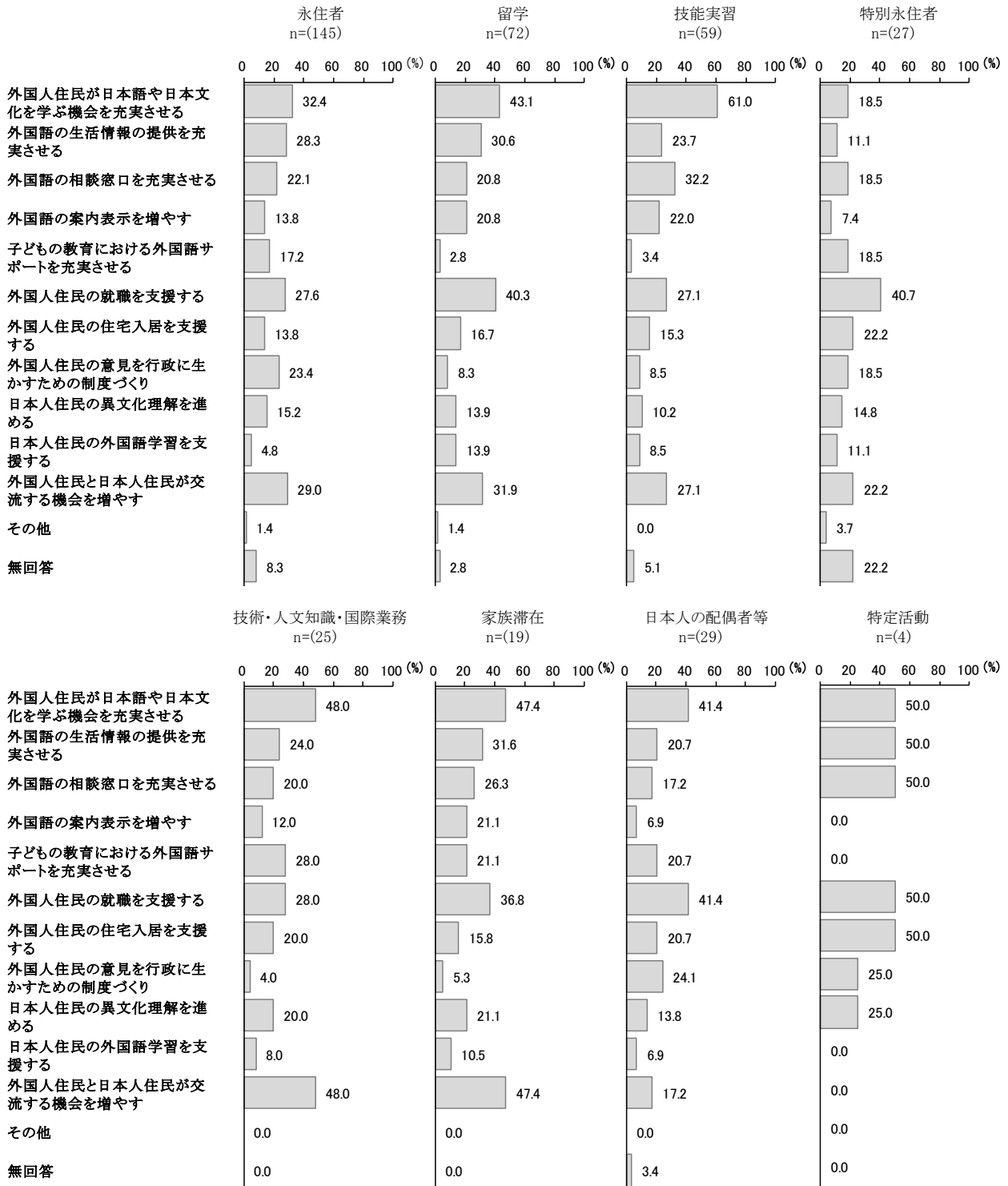
(51) 行政に求めること

問 51 外国人住民にとって暮らしやすいまちになるためには、行政はどのようなことをすればよいと思いますか。(3つまで)

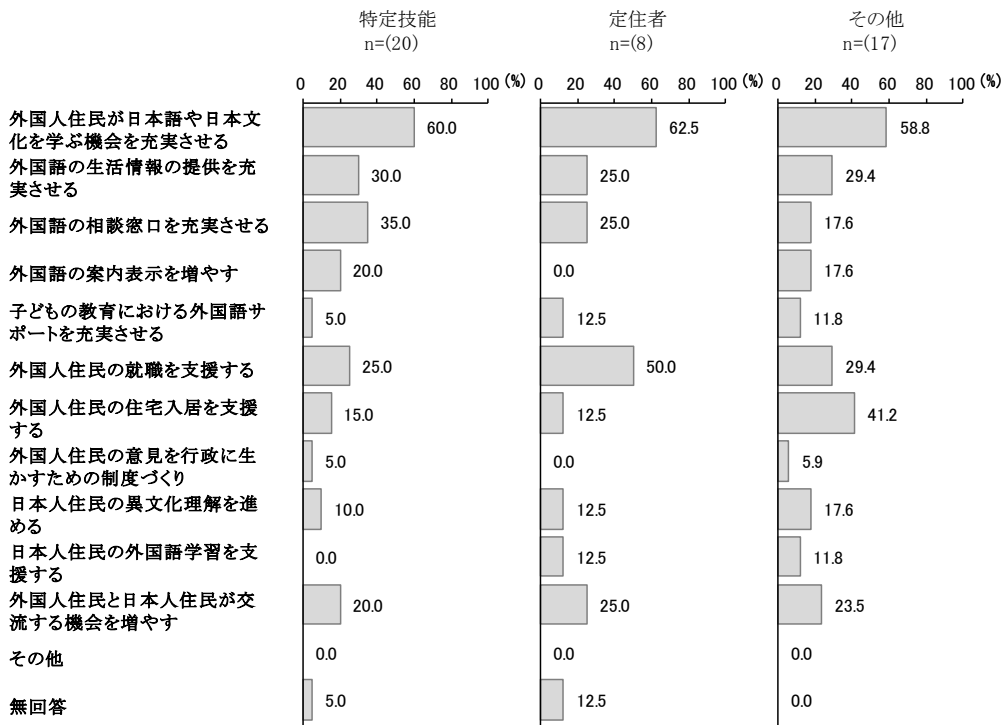


行政に求めることについては、「外国人住民が日本語や日本文化を学ぶ機会を充実させる」が 42.6%と最も多く、以下、「外国人住民の就職を支援する」(32.1%)、「外国人住民と日本人住民が交流する機会を増やす」(28.6%)、「外国語の生活情報の提供を充実させる」(26.7%)、「外国語の相談窓口を充実させる」(23.7%) などとなっている。

【在留資格別 行政に求めること (1/2)】



【在留資格別 行政に求めること (2/2)】



在留資格別の行政に求めることについては、技能実習、特定技能では「外国人住民が日本語や日本文化を学ぶ機会を充実させる」が60%を超えている。特別永住者では「外国人住民の就職を支援する」(40.7%)、技術・人文知識・国際業務では「外国人住民が日本語や日本文化を学ぶ機会を充実させる」と「外国人住民と日本人住民が交流する機会を増やす」がともに48.0%と同率の割合となっている。

【参考資料】

1. 自由意見一覧

問8 今後の居住予定その他

問1 国籍	問1国籍 13.その他	問4 年齢	問7 在留資格	問7在留資格 11.その他	問8 今後の居住予定 6.その他
その他	ベルギー	30歳代	日本人の配偶者等		母国との間を一定期間ごとに往復する
中国		20歳代	留学		大学院はアメリカに行き、就職は東京かも
中国	中華民国	30歳代	留学		母国との間を一定期間ごとに往復する。
その他	オーストラリア	40歳代	日本人の配偶者等		オーストラリアのものを整理しに1~2年戻る必要があり、それから戻って住みます。
フィリピン		30歳代	その他	インストラクター	仕事の安定度による。
米国		40歳代	永住者		日本とフィリピン
韓国		40歳代	永住者		母国に残っている子供のため、母国への定期的な行き来。
ネパール		40歳代	家族滞在		私は時々自分の国を訪れます

問15 日本語の学習方法その他

問1 国籍	問1国籍 13.その他	問4 年齢	問7 在留資格	問7在留資格 11.その他	問15 日本語の学習方法 8.その他
韓国		60歳代	永住者		本、新聞など読みながら、知らない単語が出ると、辞書をひきながら、メモを取っています。すぐ忘れませんが。
その他	ミャンマー	20歳代	技能実習		会社の中
台湾		20歳代	技術・人文知識・国際業務		会社からの授課
韓国		50歳代	定住者		日常生活やTVなどで単語とか表現などを勉強している。
インドネシア		20歳代	技能実習		職場
米国		50歳代	永住者		本を読む
その他	カナダ	40歳代	永住者		オンラインで個人指導を受けている。

問16 日本語を学習しない理由 その他

問1 国籍	問1国籍 13.その他	問4 年齢	問7 在留資格	問7在留資格 11.その他	問16日本語を学習しない理由その他
フィリピン		60歳代	永住者		コロナでだいじょうぶか？しんばい
中国		20歳代	その他	医療	ある程度できる
その他	ブータン	20歳代	その他	介護	学べる場がないと自宅では勉強できない
米国		50歳代	日本人の配偶者等		十分なやる気がない。能力に落ち込んでいる。自分は出来損ないと感じる。
米国		20歳代	家族滞在		学ぼうとした... 日本語はとても難しい。
その他	カナダ	70歳代	永住者		無気力、先送り、学んだり、前に私の英語力を向上させようと一生懸命努力した後に覚えておいたりすることができない
タイ		50歳代	日本人の配偶者等		私は時々身体的および精神的な問題を抱えています(パニック障害)。
フィリピン		30歳代	特定技能		実際、言葉は面白いと思います。私の頭が働いてくれないだけです。すみません。
中国		20歳代	留学		学校では英語を使っているから
韓国		60歳代	特別永住者		日本の学校に通ったので
韓国		60歳代	永住者		日本語だけでなく、日本の文化慣習、料理などを学べるところがあれば...と思います。
その他	Germany	20歳代	留学		語学クラスは非常に集中的で時間がかかりすぎて、他の学習と並行して行う自信がありません。
中国		50歳代	永住者		内容的に自分に合った教室がない

問17 生活に必要な情報の入手先その他

問1 国籍	問1国籍 13.その他	問4 年齢	問7 在留資格	問7在留資格 11.その他	問17 生活に必要な情報の入手先 14.その他
韓国		60歳代	永住者		市政だより

問21 病院での困った経験その他

問1 国籍	問1国籍 13.その他	問4 年齢	問7 在留資格	問7在留資格 11.その他	問21 病院での困った経験 7.その他
フィリピン		60歳代	永住者		そうごびょういんにいくのになんでしょうかいじょうがいの？
韓国		60歳代	永住者		困っていることは、日本人と同じです→休日など診料が大変、交通便など。
タイ		30歳代	日本人の配偶者等		コロナ感染時に、近くに徒歩で行ける病院が無かった。
中国		20歳代	留学		病院に行くために、便利な交通手段がない
インドネシア		20歳未満	技能実習		行ったことはありません。
米国		30歳代	日本人の配偶者等		病院/診療所はしばしば「満員」であるか、新しい患者を拒否します。私の母国は医療サービスを拒否するという概念はありません。医療系は、手頃な価格ですが、私は助けを得るのが心配です。
その他	エストニア	30歳代			過剰な高齢者が大量の待ち行列を作り、タイムリーに援助を受けることがほとんど不可能になっています。私は働いて税金を払っています。彼らはしません。これは解決する必要があります。
フィリピン		30歳代	特定技能		病院を受診していない
インドネシア		20歳代	技能実習		私は日本にいる間に病院へ行ったことはありません。
韓国		60歳代	永住者		韓国人なので日本語が分からないと思って人のことを馬鹿にする。
ベトナム		20歳代	技能実習		医者に行ったことがない
その他	Germany	20歳代	留学		病気になっていない
その他	フランス	20歳代	留学		病院は行ったことはありません。
ベトナム		20歳代			あまり行かないけど、よくインターネットで話題になっています。日本での病院のやり方、受け取り方などは『カタイ』、『同じこと』です
その他	カナダ	30歳代	特定活動		まだ行ったことないが言語について(1,3,4)に不安を感じます

問22 病院に求める言語支援その他

問1 国籍	問1国籍 13.その他	問4 年齢	問7 在留資格	問7在留資格 11.その他	問22 病院に求める言語支援 5.その他
その他	ベルギー	30歳代	日本人の配偶者等		英語で話せるスタッフや医師
タイ		40歳代	留学		英語の情報
その他	ポーランド	20歳代	その他	文化活動、化学の研究	英語が話せる、スタッフ・医師
その他	スウェーデン	20歳代	留学		英語が話すことができること
その他	カナダ	70歳代	永住者		特別な言語サービスの需要は期待していません。しかし、どんな助けも大歓迎です
その他	イタリア	30歳代	留学		最低限の英語サポート
その他	モンゴル	30歳代			時々言葉のサポートが欲しいです。でも、訳をささやいてくれる人の中には(9割)、それが私の言うことと少し違っていたりします。ささやいている人は私たちの立場になってくれているはずではありません。
フィリピン		30歳代	特定技能		英語が話せる医師
フィリピン		50歳代	永住者		誰なら英語を話せるのか・・・日本語を理解するのが難しい時があります。
中国		40歳代	永住者		病院でうまくコミュニケーション取れない時に、電話によるサポートが欲しいです。
その他	Germany	20歳代	留学		英語を話すスタッフ/素晴らしい医師
その他	Germany	20歳代	留学		英語を話すスタッフ/英語の情報
その他	スイス	30歳代	永住者		紙じゃなくて、オンラインフォームの方が簡単です
パキスタン		30歳代	その他		英語でサポートする必要がある

問25 育児で困っていること その他

問1 国籍	問1国籍 13.その他	問4 年齢	問7 在留資格	問7在留資格 11.その他	問25 育児で困っていること 7.その他
韓国		50歳代	永住者		相談できるどころが有っても、やくにたたない

問27 教育で困っていること その他

問1 国籍	問1国籍 13.その他	問4 年齢	問7 在留資格	問7在留資格 11.その他	問27 教育で困っていること 9.その他
米国		30歳代	永住者		いじめだけ

問29 母国語・母国文化の教育をしていない理由その他

問1 国籍	問1国籍 13.その他	問4 年齢	問7 在留資格	問7在留資格 11.その他	問29 母国語・母国文化の教育をしていない理由 6.その他
韓国		30歳代	永住者		まだ理解するには年齢が低いと思ったので上の子から徐々に初めます。
その他	ブラジル	30歳代	永住者		今は若すぎ

問32 現在の職業の見つけた方法その他

問1 国籍	問1国籍 13.その他	問4 年齢	問7 在留資格	問7在留資格 11.その他	問32 現在の職業の見つけた方法 9.その他
中国		50歳代	永住者		夫の手つだい
朝鮮		70歳代	特別永住者		父の友人
韓国		60歳代	永住者		公募によって
タイ		40歳代	特定技能		今の会社と交流のあるタイの会社からの派遣
中国		20歳代	その他	医療	そのまま大学に残った
タイ		30歳代	永住者		スマホ ネット
その他	ベラルーシ	40歳代	永住者		インターネット
タイ		30歳代	技能実習		今の会社と交流のあるタイの会社からの派遣
フィリピン		20歳代	定住者		自分で専門学校を受験し、合格して入学した。その後、国家試験に合格し、入社した。
その他	モンゴル	40歳代	日本人の配偶者等		以前正社員だった所でパートになった。
韓国		50歳代	特別永住者		パソコン
その他	イギリス	20歳代	その他	JETプログラム、外国語講師	JETプログラム
米国		30歳代	日本人の配偶者等		インターネット
その他	カナダ	30歳代	家族滞在		オンライン家庭教師サイト
米国		50歳代	永住者		公募
米国		70歳代	永住者		直接聞いた。
その他	カナダ	70歳代	永住者		教育におけるネットワーキング コミュニティ
その他	モンゴル	30歳代			博士号を取得し、その同じ大学で仕事をもらいました。
その他	イギリス	40歳代	技術・人文知識・国際業務		社内広告。
フィリピン		30歳代	その他	インストラクター	フィリピンの日本大使館。
その他	インド	20歳代	技術・人文知識・国際業務		インターネット
中国		20歳代	特定活動		アルバイトサイト
その他	イギリス	30歳代	永住者		インターネット
ベトナム		20歳代			ベトナムの子会社から日本に転勤されています。
その他	カナダ	30歳代	特定活動		インターネット
フィリピン		30歳代	永住者		インターネット

問33 仕事上の困りごと・不満その他

問1 国籍	問1国籍 13.その他	問4 年齢	問7 在留資格	問7在留資格 11.その他	問33 仕事上の困りごと・不満 11.その他
韓国		60歳代	永住者		自分しだいです
韓国		50歳代	永住者		一度、空席になると次が見つげづらい
韓国		50歳代	定住者		いくら日本語を話せても、言葉のカベはある。
米国		30歳代	日本人の配偶者等		給与があがらない
その他	カナダ	70歳代	永住者		前に働いていたところは辞めさせられました。70歳以上になったからです。大学での契約は65～71歳の教員には提示されません。
フィリピン		40歳代	永住者		勤務時間は一律
フィリピン		30歳代	その他	インストラクター	英語教師としてであっても、長期滞在するには日本語力が求められる。
その他	イタリア	30歳代	その他	教授	日本国外にいる家族を訪ねる日数が限られます。
フィリピン		30歳代	特定技能		困難を経験しなかった
中国		40歳代	家族滞在		現在の仕事に満足しています。時間的にも自由で、時給も悪くありません。
ベトナム		20歳代	技能実習		労働時間がいつも6時間、7時間で少ない。(もっと働きたい)
ベトナム		20歳代	技能実習		しごとたいへん
ベトナム		20歳代	留学		仕事で2回給料を払わないです

問35 1.就職できない理由その他

問1 国籍	問1国籍 13.その他	問4 年齢	問7 在留資格	問7在留資格 11.その他	問35 1.就職できない理由
韓国		70歳代	永住者		年齢
その他	デンマーク	60歳代	永住者		修行に来ている
韓国		70歳代	特別永住者		体調不良
韓国		70歳代	特別永住者		施設入居中のため
フィリピン		30歳代	日本人の配偶者等		2人目の子供が自閉症です
韓国		30歳代	日本人の配偶者等		現在は子供が小さくて勤務するのが難しい状況。サポートしてくれる家族がないため、子供がもう少し大きくなるまでは勤務が難しい。
韓国		60歳代	永住者		年のせいで

問37 相談相手【A.人間関係】

問1 国籍	問1国籍 13.その他	問4 年齢	問7 在留資格	問7在留資格 11.その他	問37 相談相手 【A.人間関係】
フィリピン		60歳代	永住者		そうだんするのにながて
中国		60歳代	永住者		職場
その他	ベルギー	30歳代	日本人の配偶者等		夫
その他	ミャンマー	20歳代	技能実習		会社の人
その他	デンマーク	60歳代	永住者		配偶者
フィリピン		20歳代	定住者		専門学校教師
韓国		70歳代	特別永住者		施設職員
韓国		30歳代	特別永住者		夫
韓国		50歳代	定住者		教会の牧師
フィリピン		50歳代	永住者		家族
その他	ミャンマー	30歳代	技能実習		会社の人
米国		30歳代	日本人の配偶者等		インターネットの友達
その他	ドイツ	60歳代	永住者		インターネット
米国		70歳代	永住者		日本人の妻
その他	イギリス	40歳代	技術・人文知識・国際業務		私は個人的な関係を持っていません。
中国		20歳代	留学		netで
		30歳代	日本人の配偶者等		家族

問37 相談相手【B.文化・習慣】

問1 国籍	問1国籍 13.その他	問4 年齢	問7 在留資格	問7在留資格 11.その他	問37 相談相手 【B.文化・習慣】
その他	ベルギー	30歳代	日本人の配偶者等		夫
その他	デンマーク	60歳代	永住者		配偶者
フィリピン		20歳代	定住者		専門学校の教師
韓国		70歳代	特別永住者		施設職員
韓国		30歳代	特別永住者		夫
その他	モンゴル	40歳代	技能実習		職場
フィリピン		50歳代	永住者		家族
米国		30歳代	日本人の配偶者等		インターネットの友達
その他	イングランド	30歳代	家族滞在		インターネット/ ニュースで調べる
米国		70歳代	永住者		日本人の妻
中国		20歳代	技術・人文知識・国際業務		オンラインお問い合わせ
韓国		60歳代	永住者		夫
韓国		40歳代	永住者		配偶者
		30歳代	日本人の配偶者等		家族

問37 相談相手 【C.家族・生活】

問1 国籍	問1国籍 13.その他	問4 年齢	問7 在留資格	問7在留資格 11.その他	問37 相談相手 【C.家族・生活】
韓国		70歳代	永住者		身内
その他	ベルギー	30歳代	日本人の配偶者等		夫
その他	デンマーク	60歳代	永住者		配偶者
韓国		50歳代	永住者		日本に在住の妹と相談する。
その他	ベラルーシ	40歳代	永住者		なやむことによって、だれにもはなしできないときもあります
フィリピン		20歳代	定住者		専門学校の教師
韓国		70歳代	特別永住者		施設職員
韓国		30歳代	特別永住者		夫
韓国		50歳代	定住者		教会の牧師
米国		70歳代	永住者		日本人の妻
韓国		60歳代	永住者		夫

問37 相談相手 【D.仕事・学業】

問1 国籍	問1国籍 13.その他	問4 年齢	問7 在留資格	問7在留資格 11.その他	問37 相談相手 【D.仕事・学業】
中国		50歳代	永住者		夫
その他	ロシア	50歳代	永住者		配偶者
韓国		40歳代	永住者		ハローワーク
その他	ドイツ	20歳未満	留学		先生
その他	ベルギー	30歳代	日本人の配偶者等		夫
その他	ミャンマー	20歳代	技能実習		会社の人
その他	ベラルーシ	40歳代	永住者		主人
その他	イギリス	30歳代	特別永住者		会社
フィリピン		20歳代	定住者		専門学校の教師
韓国		70歳代	特別永住者		施設職員
韓国		30歳代	特別永住者		夫
フィリピン		50歳代	永住者		家族
米国		30歳代	日本人の配偶者等		インターネットの友達
米国		50歳代	永住者		国の役所
米国		70歳代	永住者		日本人の妻
その他	エストニア	30歳代			ボス、同僚
米国		40歳代	日本人の配偶者等		インターネット、妻・同僚

問38 日本人との交流希望その他

問1 国籍	問1国籍 13.その他	問4 年齢	問7 在留資格	問7在留資格 11.その他	問38 日本人との交流希望 8.その他
米国		30歳代	永住者		ひまじかんがない。
その他	ロシア	50歳代	永住者		普通に生活できれば良い。
韓国		80歳以上	特別永住者		自然体
韓国		60歳代	永住者		退職して、時間的余裕ができれば考えます。
その他	デンマーク	60歳代	永住者		寺に来る人と交流します
台湾		20歳代	技術・人文知識・国際業務		ゲームと一緒にやりたい
フィリピン		20歳代	定住者		仕事が忙しく、交流をしたくてもあまり時間が取れない。
中国		40歳代	技術・人文知識・国際業務		時間がある際には社会活動したい
米国		50歳代	日本人の配偶者等		自分を理解してくれ、自分の好きなものが好きで、時間をともに過ごしたいという友人が欲しい。

問40 差別経験した状況その他

問1 国籍	問1国籍 13.その他	問4 年齢	問7 在留資格	問7在留資格 11.その他	問40 差別経験した状況 11.その他
韓国		50歳代	永住者		テレビ ニュースの報道
韓国		30歳代	永住者		自分が日本にきたばかりの時
韓国		50歳代	特別永住者		書類選考の求人で通ったことがない
その他	ドイツ	20歳代	留学		夜遊びに行くとき
韓国		30歳代	日本人の配偶者等		区役所、銀行、ビザ申請などで最初からタメ口で話す職員が時々いる。
ネパール		40歳代	家族滞在		みんなが国際語を話さないので
中国		20歳未満	家族滞在		小、中学校で
韓国		30歳代	特別永住者		高校在学中の頃、馬鹿な同級生に国籍の事で侮辱された時。
中国		20歳代	留学		バイト先での嫌がらせ

問41 現在困っていることその他

問1 国籍	問1国籍 13.その他	問4 年齢	問7 在留資格	問7在留資格 11.その他	問41 現在困っていること 14.その他
朝鮮		70歳代	特別永住者		年で仕事もコロナ禍で生活が心配
台湾		20歳代	技術・人文知識・国際業務		住民税が高い
その他	スウェーデン	20歳代	留学		日本人は話すのが早すぎる
米国		50歳代	日本人の配偶者等		アメリカにいる家族に会うための旅行をする余裕がないので、悲しくなります。
その他	カナダ	70歳代	永住者		70歳以上でセミリタイアを余儀なくされる
フィリピン		30歳代	留学		勉強
その他	インド	20歳代	技術・人文知識・国際業務		インフレーション
中国		30歳代	その他	教授	孤独
中国		20歳代	留学		学習、健康管理

問45 新型コロナウイルス感染症による困りごとその他

問1 国籍	問1国籍 13.その他	問4 年齢	問7在留資格	問7在留資格 11.その他	問45 新型コロナウイルス感染症による困りごと 8.その他
米国		30歳代	永住者		直ることが長いだけ
その他	ドイツ	20歳未満	留学		マスクで人間関係が難しくなった
韓国		50歳代	特別永住者		発熱が出ておしえてくれた病院でうけいれてもらえなかった。
韓国		50歳代	永住者		ニュースで情報をみても、なかなか実情がわからない。
中国		20歳代	永住者		生活費用たかくなる。
韓国		30歳代	永住者		ひとり親の場合子どもをあずける場所がない。
米国		30歳代	日本人の配偶者等		私は妊婦でコロナにかかりました。コロナにかかった妊婦への支援がもっとあればと思います。でも品物の箱をもらいました。有り難うございます。
米国		40歳代	日本人の配偶者等		私の方で認識が不足していたために、私の妻は関連する全ての問題に対応するよう強いられました。もっと英語での情報に触れられてサポートがあればと思います。
フィリピン		30歳代	日本人の配偶者等		私が働いている場所は閉鎖されました
フィリピン		30歳代	技能実習		日本で働くための早期のフライト予定を保留している
中国		30歳代	家族滞在	家族滞在	受診のしにくさ 言葉の壁
韓国		60歳代	永住者		一日も早く仙台～仁川の路線が再開されることを望む。
韓国		60歳代	永住者		仙台⇄ソウル再開をのぞんでいます

問46 災害(防災)や感染症(予防・対策)に関する情報の入手先

問1 国籍	問1国籍 13.その他	問4 年齢	問7 在留資格	問7在留資格 11.その他	問46 災害(防災)や感染症(予防・対策)に関する情報の入手先 15.その他
その他	ロシア	50歳代	永住者		母国発信のインターネット
米国		50歳代	日本人の配偶者等		電話での政府の警告。ツイッター
その他	ドイツ	20歳代	留学		大学
その他	モンゴル	30歳代			インターネットで探す
その他	イタリア	30歳代	その他	教授	政府からのメッセージ
その他	エストニア	30歳代			Google、保守的なメディア
中国		30歳代	家族滞在	家族滞在	MIA主催の防災訓練。
中国		20歳代	留学		yahooの天気予報 / 防災情報
米国		70歳代	永住者		インターネットニュース

問48行政施設で困ったことがある。どのようなときに感じたか

問1 国籍	問1国籍 13.その他	問4 年齢	問7 在留資格	問7在留資格 11.その他	問48行政施設で困ったことがある。どのようなときに感じたか 6.その他
韓国		70歳代	特別永住者		出入国管理局など遠すぎる
中国		20歳代	留学		書類の電子化デジタル化が必要、手続きが複雑で時間がかかる。
韓国		50歳代	永住者		移動する時
韓国		30歳代	永住者		聞かないと教えてくれない。
その他	Germany	20歳代	留学		スタッフは英語を話さないことが多いため、コミュニケーションが難しい

問49 充実してほしい行政情報その他

問1 国籍	問1国籍 13.その他	問4 年齢	問7 在留資格	問7在留資格 11.その他	問49 充実してほしい行政情報 16.その他
韓国		20歳未満	家族滞在		奨学金制度

問50「外国人住民向け情報発信プラットフォーム」に求める情報等

問1 国籍	問1国籍 13.その他	問4 年齢	問7 在留資格	問7在留資格 11.その他	問50 「外国人住民向け情報発信プラットフォーム」に 求める情報や機能 6. その他の情報サイト	問50 「外国人住民向け情報発信プラットフォーム」に 求める情報や機能 11.その他の通知機能
韓国		60歳代	永住者		住宅	

問51 外国人が暮らしやすくなるために行政に求めること

問1 国籍	問1国籍 13.その他	問4 年齢	問7 在留資格	問7在留資格 11.その他	問51 外国人が暮らしやすくなるために行政に求めること 12.その他
その他	Germany	20歳代	留学		区役所での手続きを英語で詳しく案内

問52 自由記述

問1 国籍	問1国籍 13.その他	問4 年齢	問7 在留資格	問7在留資格 11.その他	問52 自由記述
中国		40歳代	永住者		公民館に中国語のわかる人がいてほしい。
韓国		70歳代	永住者		根強い差別意識の解消(少しづつ、少しづつ)
フィリピン		60歳代	永住者		さほどこまってはいませんが、もよりのバスでいのくるバスのだいいすはすくないです。まちにでたいときのこうつうきかんとしてよくつかっています。ちかてつきのきょうりはマンションからあるのでバスが、うんでんじかんをふやせばたすかります。せんだいはすきなまちです。ふゆはさむいけど。ありがとうございます。
中国		40歳代	永住者		町村役場の人も外国人差別しないほしいです
中国		60歳代	永住者		仙台市はすみやすい。大好きな都市です。
韓国		60歳代	永住者		早く仙台発仁川着アジアナ飛行機が飛ぶようお願いいたします。
韓国		40歳代	永住者		20才の時に日本に帰化したかったんですけど親に反対され断念しました。韓国籍でいるメリットがまったくないためモヤモヤしています。こういうアンケートも私としてはなんかモヤモヤしますが、暇だったので記入してみました！
韓国		60歳代	永住者		仕事がしたい
台湾		50歳代	永住者		市町村の財政によって受けられる福祉はかなり違ってしますので、不公平だと感じた事があります。また、税金をはじめ、医療費は高いと思ってます。更に、今年に入って電気代などが高騰化になり、減税や補助などがあれば助ると思えます。(難しいと思えますが…!!)
フィリピン		30歳代	永住者		県、市、区等の外国人の雇用。をぜひお願いします。
中国		30歳代	永住者		物価が高いです！そのわりに給料が低いです。どにかしてほしいです！
韓国		60歳代	特別永住者		仙台空港の国際線(韓国行き)が一日でもはやく再開してほしいです
韓国		70歳代	特別永住者		在日2世で行政面医療面においても差別的待遇を受ける事はありません。むしろ、小さい時に行政的援助を一時受けたことがあります。唯、学校卒業時に就職差別を受けたことがあります。(現在は、それほどではないと思えますが。)相対的に日本に住んで良かったのではないかと。日・韓のスポーツ対抗では日本を応援していますよ。
韓国		50歳代	特別永住者		物価が高い。収入を上げてほしい。私が高校20代の時は差別されやな思いをしたが今は以前ほどなくなったように思います。子供たちも友達がたくさんいるしとてもいい国だと思います。
韓国		50歳代	永住者		収入がかわらずにいる生活の中で物価高が本当に生活にひびいており、病院に通院するにしても、買物をするにしても、生活に使う金額がとても大きい。食材1つにも、日用品にしても買いひかえがつついており、生活する上で不安ばかりがつのって行く日常です。行政の力でせめて日常必需品など価格をおさえてくれる事を願います。
その他	ミャンマー	60歳代	永住者		今まで日本に生活して本当にありがとございました。今はなにも困っていないので、これからもよろしくおねがいします。日本は世界一の国です。
中国		20歳代	永住者		生活費用たかくなって電気代とか全部たかくなって、困っています。
韓国		40歳代	永住者		仙台市の市営住宅を最っと充実してほしい。外国人は優先的に入居させてほしい。
フィリピン		70歳代	永住者		病氣と COVID-19 パンデミック、これが私の日常生活の問題です。非常に恐れています。
韓国		60歳代	特別永住者		私は2020年に脳梗塞を発症してしまい左半身麻痺となってしまった。障害の壁と国籍の壁とひとり親の壁(別居生活15年)三つ背負って生きて行かなくてはならない。正直かなり辛い、生まれたのは東京で、育ったのも東京で言葉にはなんの不自由もない。しかし高次脳機能障害が酷く(歩行困難なため)行政の手続きなどかなり大変な思いをしている。せめて郵便などで行う事が出来ればとても助かります。(外国人登録証明書の切り替えなど)現在は宮城障害者職業能力開発校にてパソコンの訓練を受けながら仕事を探しています。韓国語は一切話せないなので戸籍謄本を取りに領事館など行くのは一日がかりとなり大変です。※区役所でマイナンバーカードを身分証として提示すると「外国人登録証明書」と言われる。※コンビニで課税証明書を取ると通称名の記載がされない、マイナンバーカードの便利さを感じない。
中国		40歳代	永住者		今の生活環境に満足しています。特にほしいはありません。
韓国		30歳代	永住者		もっと子どもにたいして、色々取り組んで欲しい。そして、住宅入居するゆえで、もっと設備をととのえて欲しい。
韓国		50歳代	永住者		①外国人が誠実に働ける場所を支援してほしい。②市・町・村で行政機の窓口で働く人々が不親切なので親切に教育が必要だ。ありがとうございました。
韓国		50歳代	特別永住者		大和町に本屋が見当たらないため、図書室ではなく図書館を設置してほしい。

問52 自由記述

問1 国籍	問1国籍 13.その他	問4 年齢	問7 在留資格	問7在留資格 11.その他	問52 自由記述
フィリピン		40歳代	永住者		コレカラノコドモノガッコウ、コウコウ、ダイガクトオカネシンパイデス
パキスタン		50歳代	永住者		提出できるような実際の問題はありません。なので、問題や課題に直面したときには、近くの政府や行政に話すつもりです。
米国		70歳代	永住者		助けてくれる友人がいるので私は大丈夫です。青葉区役所に支援を求めて行くと、皆さん非常に親切です。
その他	アイルランド	20歳代	永住者		地域で、外国でのイベントを推進して、誰もがお祭りなどを知っているようにしたら素晴らしいだろう。
米国		50歳代	永住者		こちらのアンケートは感謝しております。どうもありがとうございます！
米国		30歳代	永住者		あらゆる場所でより多くの英語スピーカーが必要です（特に 銀行、病院、国内のショッピングセンター、店舗などで）。英語の情報をもっと必要です。
その他	カナダ	70歳代	永住者		私が日々の生活で主に困っているのは経済的なことです。私は健康で幸福で、日本の私立大学で語学教員としての仕事もできました。しかしながら、この「制度」では大学講師は65～71歳になると、その後は契約を認められないという規則になっています。これは日本人と外国人の両方の教員に適用されます。私の日本の年金はほとんどありません。私のカナダの年金は非常に少額で、20%課税されています。商品や電気、「灯油」、その他の物の価格上昇により生活がさらに難しくなっています。永住する外国人として、私は特別な扱いは期待しません。私は日本での生活に満足しています。カナダへは、インフレやその他の問題により戻ることができません。私の家は日本です。ここは暮らすのに良い国です。今回の調査に感謝します。
フィリピン		40歳代	永住者		特にないです。ありがとうございます。
フィリピン		40歳代	永住者		みやぎけんでパスポートしんせいできるように
フィリピン		60歳代	永住者		私は在宅しているだけで年長なので、とにかく健康であり、自分の年齢にあった仕事が見つかるよう祈っています。私の年金は自分の必需品には妥当ではありません。ここ宮城県に住む我々外国人への目配りと配所に感謝します。
フィリピン		50歳代	永住者		私の夫が亡くなってから、私は特に特別な子供がいるので、日々の暮らしに苦勞しています。全ての税金とその他の請求に支払いを行うのは、私にとって本当に大変です。私の給料は日々のニーズを維持するのに十分ではありません。高い価格は実に負担です。亡くなった夫は私たちに小さな資産を残しましたが(土地)、場所が理由で誰も購入の興味を持ちません。もし売れるのであれば、税金を下げてもらえると非常に助かります。自分の母国に戻ることを計画していますが、子ども達だけ残すことはできません。彼らはまだ安定しておらず、私たちが家族から離れずに生き残るよう、住民負担の大半について政府が答えてくれることをさらに期待しています。よろしくお祈りします。
米国		40歳代	永住者		不安や鬱、産後鬱といった精神医療の問題で、人々にもっと選択肢があればと思います。またLGBTQの人々に対する一層の認識と支援があればと思います。最後に、政府が外国人や若者を雇用し、外国人が抱える問題を支援するよう文化的観点から日本人に認識させることを願っています。政府の職員は親切ですが非効率なことが多く、外国人のニーズを理解していません。よろしくお祈りします。
中国		60歳代	永住者		車を持っておらず、自転車でしか通えないので、家の近くで良い仕事が見つけたいです。
韓国		60歳代	特別永住者		特にないが、やっと外国人の存在が認められ、意見を言えるようになったが、もう少し早くこのような機会を設けてくれたら良いと思う。
韓国		60歳代	永住者		1. 外国人なので、公営住宅の保証人が必要ですが、親戚も保証人になってくれないので残念です。また、大病院に入院して手術するとき、家族以外の保証人が必要で非常に困った経験があります。 2. 結婚して最初に日本に来たとき、外国人証明書を作成する際に本国の氏名で作りました。現在まで私と子供との姓が異なる点が残念です。永住権を持って30年生活してきましたが、今からでも子供と同じ姓にしたいです。姓が異なる関係で色々な面で不便です。
韓国		50歳代	永住者		仕事を探しています。掃除や工場などで仕事をしたいです。
韓国		60歳代	永住者		自分自身の国、私が暮らしているところが自分の国だと思います。宮城県に来て地震(津波)が発生し、すべての状況が変わってしまい、そのせいで病気にもなり、人生を生きることが無意味に。最初は病気を治そうと歯を食いしばって一生懸命に努力しましたが、人間に対する失望が非常に大きいです。動物(犬、猫)のほうが人間よりも上。人間不信。医者は信用できず完全に×。患者を自分たちの餌にして束縛して弄んでいる。言いたいことは多いが、この問題は国連で扱う問題のレベル。外国人だからと見下す。見掛け倒し。何も考えずに苛めた人間は忘れてしまうだろうが、苛められた当事者は死ぬまで忘れることができない。
韓国		40歳代	永住者		生活で困難な点、疑問点などを相談できる外国人相談センターがどこにあるのかまったく分からない。あったとしても遠ければ、訪れるのは難しいだろう。近くの地域に相談センターがあったら良いと思う。

問52 自由記述

問1 国籍	問1国籍 13.その他	問4 年齢	問7 在留資格	問7在留資格 11.その他	問52 自由記述
韓国		50歳代	永住者		移住者2世以降の世代には日本国籍取得を簡単にして欲しいと強く要望します。
中国		50歳代	永住者		永住者や長期滞在者である外国住民に選挙権を与えてほしい
韓国		50歳代	特別永住者		日本で生まれて、日本の教育で育った在日韓国人2世です。外国人に対しての様々な取り組みを試みる事がありがたく思いました。ただ、仕事から日本人の学生さん達と接する機会が多く、日本人の学生さん達は県外からいらして、宮城県で就職もしたいが、お給料も安く、住宅手当等も全額では無いので東京で就職するしかないと言って、宮城県を離れて行かれます。外国人に住み良くして下さるのも有り難いですが、宮城県に日本の子供達が住みやすい制度を考えて頂きたい次第です。
その他	スイス	30歳代	永住者		このアンケートはとても良いです。ありがとうございました！
フィリピン		40歳代	永住者		母国語で何でも相談できるようなサービスが欲しい
韓国		30歳代	特別永住者		こういう事にあまり詳しく無い為特に言う事はありませんがアンケート調査お疲れ様です。頑張ってください。
韓国		80歳以上	永住者		本人(80歳台)の代理で回答しています。義母は高齢ですが、体も脳もしっかりしており、河北新報を読んだり手紙を書いたりもできます。日本生まれで日本の教育を受け、韓国に行ったことは一度も無く、韓国語は殆ど分かりません。国籍が韓国というだけで、日本名でネイティブな日本人として不自由なく暮らしています。こういう状況の特別永住者は事前に推定できるのではないのでしょうか。せつかくのアンケートが無駄になりませんように。無作為抽出の前段階に問題があると思います。
フィリピン		30歳代	永住者		他の人種の人々、特に日本語を話せない人々に親切にしてください。
米国		70歳代	永住者		特に不満はありません。仙台、宮城の生活を楽しんでいます。
フィリピン		30歳代	永住者		正社員として働いています。なぜ私の給与等から一定の額の税金が引かれているのかわからず、日本の税金に混乱しています。給与明細をもらって税金が引かれていると書かれていますが、私は漢字が読めないで、それを理解できないことがストレスです。できれば政府に、税金について理解できるようにする取り組みをしてほしいです。例えば、税金について英語で解説したパンフレットを作り、入社前に、個人の給与から税金が引かれる可能性のあるものをわかるようにしてほしいです。ありがとうございます。

2. アンケート調査票

令和4年度
宮城県多文化共生アンケート調査

（様式用紙）

県政の推進につきましては、日頃ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
このアンケートは、宮城県が、外国人住民の皆様の日常生活の状況やお考え、ご意見を把握し、国籍や民族などの違いに関わらず、県民の皆様が安心して暮らせる多文化共生（※）の社会づくりを進めるために実施するものです。
つきましては、お忙しいところお手数をかけますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年11月

宮城県知事 村井 嘉浩

調査対象者（外国人住民）
宮城県内にお住まいの18歳以上の外国人住民の方 1,900人
（住民基本台帳等から無作為に抽出させていただいております）

調査回答の方法
紙（本紙）またはインターネットのどちらから1つで回答してください。
①紙（アンケート用紙）に直接記入する
アンケート用紙は日本語版と外国語版の2種をお送りしています。ご回答は、どちらか1種を使用しただけ、使用したアンケート用紙のみ封筒の返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函してください（切手は不要です）。
②WEBページで回答する
右側にあるQRコードを読み取り、画面上で回答してください。
（※日本語のみ対応しています）

その他
12月26日（月）までに、郵便ポストに投函またはWEB回答をお願いします。
なお、調査は無記名で行い、アンケート結果はすべて統計的に処理しますので、ご回答いただく皆様にご迷惑をおかけすることはありません。



お問い合わせ先
宮城県経済商工観光部国際政策課
電話：022-211-2972
E-mail：kokusai@bref.miyagi.jp

「多文化共生」とは…
国籍、民族等の異なる人々が、互いに文化的背景等の違いを認め、人権を尊重し、地域社会の対等な構成員として共に生きることを意味しています。

1 あなたご自身についてお聞きします

問1 あなたの国籍は次のどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 中国	2. 韓国	3. 朝鮮	4. ベトナム
5. ネパール	6. ライビオン	7. 米国	8. インドネシア
9. 台湾	10. タイ	11. ハンガリー	12. ハンガリー
13. その他（国名：_____）			

問2 あなたが住んでいる市町村はどこですか。市町村名を記入してください。

市町村名 _____

問3 あなたの性別を教えてください。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 男 2. 女 3. 答えたくない

問4 あなたの年齢は以下のどれにあてはまりますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 20歳未満	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代
5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳代	8. 80歳以上

問5 あなたは結婚していますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. している（配偶者の国籍：_____）	3. していないが、死別又は離別した
2. していない	

問6

現在あなたと同居している人はいいますか。 次のうち、あてはまる方すべての番号に○をつけ、それぞれ()の 中に人数を記入してください。また、同居者の国籍について人数、国名 を記入してください。

- 1. 配偶者 2. 子ども ()人 3. 父親・母親 ()人
4. 祖父母 ()人 5. 孫 ()人
6. その他の親族(兄弟姉妹を含む) ()人
7. 友人・知人 ()人 8. ひとり暮らし
国籍: a. 日本 ()人
b. 自分と同じ国籍 ()人
c. その他の国籍 ()人(国名:)

問7

あなたの在留資格は以下のどれですか。 あてはまる番号に○をつけてください。

- 1. 永住者 2. 留学 3. 技能実習 4. 特別永住者
5. 技術・人文知識・国際業務 6. 家族滞在
7. 日本人の配偶者等 8. 特定活動 9. 特定技能
10. 定住者 11. その他 ()

問8

あなたは今後どれくらい、宮城県または日本に住もうと思っていますか。 あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

- 1. ずっと宮城県に住み続ける
2. 日本には永住するが、宮城県からは転出する
3. 日本には永住するが、宮城県に住み続けるかわからない
4. 将来は日本を離れる
5. 日本を離れるかどうかかわからない
6. その他(例: 母国との間を一定期間ごとに往復する、など)
(具体的に:)

問9

あなたは日本国籍を取得しようと思っていますか。 あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

- 1. 取得する 2. 取得しない 3. わからない

問10

2 日常生活についてお聞きします

お住まいの地域の日常生活について、総合的に、どのように感じてい ますか。あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

- 1. 満足 2. やや満足 3. やや不満
4. 不満 5. どちらともいえない

問11

日常生活に関する次の個別の事柄について、どのように感じていま すか。あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

Table with 2 columns: 生活情報 (Life Information) and 満足度 (Satisfaction Level). Rows include 住宅環境, 災害に対する備え, 医療・福祉, 近所付き合い, 県や市町村が提供するサービス.

3 げんご 言語についてお聞きします

あなたの日本語能力を自分で判断するとすれば、次のどれにあたりませんか。あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

問12

A 話す	1. 不自由なく話せる	2. だいたい話せる	
	3. あまり話せない	4. ほとんど話せない	
B 聞く	1. 不自由なく聞き取れる	2. だいたい聞き取れる	
	3. あまり聞き取れない	4. ほとんど聞き取れない	
C 読む	[漢字]	1. 不自由なく読める	2. だいたい読める
	[ひらがな]	3. あまり読めない	4. ほとんど読めない
	[カタカナ]	1. 不自由なく読める	2. だいたい読める
		3. あまり読めない	4. ほとんど読めない
D 書く	[漢字]	1. 不自由なく書ける	2. だいたい書ける
	[ひらがな]	3. あまり書けない	4. ほとんど書けない
	[カタカナ]	1. 不自由なく書ける	2. だいたい書ける
		3. あまり書けない	4. ほとんど書けない

問13

日本語の必要性についてどのように考えますか。あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてください。

1. 現在の仕事・勉強をしていくために必要	
2. 希望する仕事を見つけるために必要	
3. 日常生活のために必要	4. 日本人とつきあうために必要
5. 日本に永住するために必要	6. 母国語で書らせるのであれば必要ない
7. いずれ帰国するのであれば必要ない	8. 必要ない
9. その他 (具体的に:)	

問14

あなたの日本語の学習状況は、次のどれにあてはまりますか。あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1. 日本語に不自由はないので、学習の必要はない
2. 現在、学習している
3. 現在は学習していないが、できれば学習したい
4. 現在は学習していないし、学習するつもりもない

問14で選択肢1と回答された方は問17へ、
 選択肢2と回答された方は問15へ、
 選択肢3、4と回答された方は問16へお進みください

問15

問14で「2.」に○をつけた方にお聞きします。
あなたはどのように日本語を学んでいますか。あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてください。

1. 教材やインターネットまたはオンラインなどで自分で勉強している
2. 家族に教えてもらっている
3. 自宅に講師を招き、個人指導を受けている
4. 日本人の知人・友人に教えてもらっている
5. 通っている大学や学校で学んでいる
6. ボランティアの日本語教室に通っている
7. 語学学校（日本語学校）に通っている
8. その他（具体的に： _____）

問16

問14で「3.」「4.」に○をつけた方にお聞きします。
あなたが日本語を学ばない、学んでいない理由は何か。
あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてください。

1. 忙しくて勉強する時間がないから
2. 日本語教室や日本語学校の情報がわからないから
3. 近くに学べる場がないから
4. 勉強するお金がないから
5. 家族や友人などが通訳してくれるから
6. 母国の言葉だけで生活できるから
7. その他（具体的に： _____）

4

生活に必要な情報についてお聞きします

あなたは、生活に必要な情報をどこから得ていますか。以下の中から、よく利用するものをいくつでも選び、○をつけてください。

問17

1. 外国籍住民向け相談窓口（みやぎ外国人相談センターや市町村窓口等）
2. テレビ・ラジオ
3. 新聞・雑誌
4. ハンコンを使用したインターネット
5. 携帯電話を使用したインターネット
6. 職場・学校
7. 家族
8. 日本人の友人・知人
9. 母国出身の友人・知人
10. 近所の日本人、町内会の回覧
11. ボランティア団体
12. 母国の大使館・領事館
13. 入手する方法がない
14. その他（具体的に： _____）

5

居住についてお聞きします

あなたは、通算して日本にどのくらい住んでいますか。また、宮城県、現在住んでいる市町村には、通算して何年間住んでいますか。以下の中から、あてはまる番号を選び、○をつけてください。

問18

日本	1. 6ヶ月未満	2. 6ヶ月～11ヶ月	3. 1年～2年11ヶ月	4. 3年～4年11ヶ月
	5. 5年～9年11ヶ月	6. 10年～19年11ヶ月	7. 20年～29年11ヶ月	8. 30年以上
宮城県	1. 6ヶ月未満	2. 6ヶ月～11ヶ月	3. 1年～2年11ヶ月	4. 3年～4年11ヶ月
	5. 5年～9年11ヶ月	6. 10年～19年11ヶ月	7. 20年～29年11ヶ月	8. 30年以上
現在住んでいる市町村	1. 6ヶ月未満	2. 6ヶ月～11ヶ月	3. 1年～2年11ヶ月	4. 3年～4年11ヶ月
	5. 5年～9年11ヶ月	6. 10年～19年11ヶ月	7. 20年～29年11ヶ月	8. 30年以上

問19

あなたは現在住んでいる市町村の前はどこに住んでいますか。以下の
中から、あてはまる番号を選び、○をつけてください。

- 1. 宮城県内の他の市町村 (市・町・村)
- 2. 宮城県以外の都道府県 (都・道・府・県)
- 3. 日本以外の国・地域 (国・地域名)
- 4. 現在お住まいの市町村以外に住んだことはない

問20

以下のような保健・医療・介護サービスを利用したことがありますか。
あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてください。

- 1. 県または市町村の基礎健康診断
- 2. 県または市町村の各種がん検診
- 3. 県または市町村の健康相談
- 4. 県または市町村の心の健康相談
- 5. 休日・時間外の診療機関
- 6. 外国語で診療可能な医療機関
- 7. 介護保険サービス

問21

あなたが病気になるって病院に行くときに困ったことはありませんか。
あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてください。

- 1. 外国語が通じる病院を利用したい
- 2. 休日・夜間利用できる病院がどこにあるかわからない
- 3. 医師や看護師と言葉が通じない
- 4. 日本語の書類・案内が理解できない
- 5. 医療費が高すぎる
- 6. とくに困っていることはない
- 7. その他(具体的に)

問22

あなたが病気になるって病院に行くときに、どのような言語支援がある
と良いと思いますか。あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてく
ださい。

- 1. 通訳者
- 2. 母国語で会話ができるスタッフや医師
- 3. 翻訳機
- 4. 言語支援の必要はない
- 5. その他(具体的に)

問23

あなたには現在、18歳未満のお子さんがいますか。
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。また、「2.」に○
をつけた方は人数を記入し、それぞれのお子さんについて下記のとおり
お答えください。

1. いない () 人

2. いる () 人

現在の年齢	日本で生まれたお子さんに○	日本に移住したお子さんは、移住してきた年齢
1人目 () 歳	【 】 歳	【 】 歳
2人目 () 歳	【 】 歳	【 】 歳
3人目 () 歳	【 】 歳	【 】 歳
4人目 () 歳	【 】 歳	【 】 歳
5人目 () 歳	【 】 歳	【 】 歳

問23で選択肢1と回答された方は問30へ、
選択肢2と回答された方は問24へお進みください

問24

あなたがご家庭でお子さんと会話するとき使う言語は以下のうちどれですか。あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

(1) 日本で生まれたお子さんがいる場合

- 1. 日本語だけ
- 2. 主に日本語
- 3. 日本語と母国語が同じぐらい
- 4. 主に母国語
- 5. その他（具体的に：）

(2) 日本に移住してきたお子さんがいる場合

- 1. 日本語だけ
- 2. 主に日本語
- 3. 日本語と母国語が同じぐらい
- 4. 主に母国語
- 5. その他（具体的に：）

問25

育児について、以下のようなことで困っていることはありませんか。あてはまる番号をいくつも選び、○をつけてください。

- 1. 子育てに関する悩みを相談できる相手がない
- 2. 子育てに関する情報が日本語なのでわかりにくい
- 3. 子育てについて日本人の家族と意見が合わない
- 4. 同じように子育てをしている人と知り合う機会がない
- 5. 保健師や保育士などとコミュニケーションがとれない
- 6. とくにない
- 7. その他（具体的に：）

問26

以下のような子育て支援制度を利用したことはありませんか。あてはまる番号をいくつも選び、○をつけてください。

- 1. 母子健康手帳
- 2. 妊産婦・新生児訪問指導
- 3. 乳幼児への予防接種
- 4. 乳幼児の健康診査、検査
- 5. 児童手当
- 6. 児童扶養手当
- 7. 放課後児童クラブ
- 8. 子育てに關する各種電話相談

問27

教育について、以下のようなことで困っていることはありませんか。あてはまる番号をいくつも選び、○をつけてください。

- 1. 子どもが日本語がうまくできないので授業が理解しにくい
- 2. 子どもが学校になじまない
- 3. 進路、進学について不安がある
- 4. 子どもが外国人であることで差別を受けていると感じる
- 5. 言葉の違いなどから、保護者と学校との意思疎通がうまくいかない
- 6. 休育所が近くにない
- 7. 色んな費用が高い
- 8. とくにない
- 9. その他（具体的に：）

問28

あなたはお子さんに母国語や母国の文化についての教育を受けさせたいと思いますか。あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

- 1. 現在受けさせており、今後も受けさせたいと思う
- 2. 現在は受けさせていないが、今後は受けさせたいと思う
- 3. 現在受けさせているが、今後は受けさせたいとは思わない
- 4. 現在受けさせておらず、今後も受けさせたいとは思わない
- 5. わからない

**問27で選択肢2、3、4と回答された方は問29へ、
問28で選択肢2、3、4と回答された方は問29へ、
問27で選択肢1、5と回答された方は問30へお進みください**

問29

問28で「2.」「3.」「4.」に○をつけた方にお聞きします。現在受けさせていない、あるいは今後受けさせたいとは思わない理由は何ですか。あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてください。

1. 母国語や文化を教えてくれる場所がない・知らない
2. 母国語や文化を学ぶ必要はない
3. 子どもが関心をもっていない
4. 日本語や日本文化を身につける妨げになる
5. 日本での勉強の妨げになる
6. その他（具体的に： ）

8 労働についてお聞きします

問30

あなたは現在、どのような形態で仕事をしていますか。あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1. 経営者
2. 正社員
3. 派遣社員・契約社員
4. 自営業（家業従業者、自由業等含む）
5. パートタイム勤務、アルバイト、内職
6. 学生
7. 無職（1～6以外で仕事を探している）
8. 無職（1～6以外で仕事を探していない）

問30で選択肢1、2、3、4、5と回答された方は**問31**へ、**問31**で選択肢6、7と回答された方は**問34**へ、**問34**で選択肢8と回答された方は**問35**へお進みください

問31

あなたの現在の職業は以下のうちどれにあたりますか。あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。2つ以上ある場合は、主なもの1つに○をつけてください。

1. 教員
2. 医療関係職
3. その他の専門職（弁護士、会計士等）
4. 経営・管理職（課長以上）
5. 事務職
6. 技術職（研究員、技術者等）
7. 技能職（工場労働者、運転士等）
8. サービス職（販売員、接客等）
9. 作業員（清掃、建設、土木、配達員等）
10. 農林漁業
11. その他の職業（具体的に： ）

問32

あなたは現在の仕事をどのようにして見つけましたか。あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1. 家族の紹介（親の仕事を経いったり、家族の仕事を手伝っている場合も含む）
2. 新聞・求人誌・チラシなど
3. 学校の紹介
4. 母国出身の友人・知人の紹介
5. 日本人の友人・知人の紹介
6. 職業安定所（ハローワーク）の紹介
7. 仕事を紹介する民間会社の紹介
8. 自分で設立
9. その他（具体的に： ）

問題33

仕事で困っていることや不満はありませんか。
あてはまる番号をいくつも選び、○をつけてください。

1. 給料が安い
2. 雇用期間が短い
3. 労働時間が長い
4. いつ解雇されるか不安がある
5. 正職員になれない、又は昇格できない
6. 日本人とお互いの考えを理解しあえない
7. 上司や同僚との人間関係がうまくいっていない
8. 外国人として差別的な扱いを受けているように感じる
9. 希望する職種、業種ではない
10. とくにない
11. その他（具体的に）

問題34

あなたは今後、宮城県または日本で働こうと思っていますか。
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1. 宮城県で働きたい
2. 日本で働きたいが、宮城県以外で働きたい
3. 母国に帰って働きたい
4. 日本と母国以外の国で働きたい
5. わからない
6. その他（具体的に）

問題35

問30で「8.」に○をつけた方にお聞きします。
仕事を探していない理由は何ですか。
最もあてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1. 就職できないから
- (①から③のうち、最もあてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。)
- ① 日本語がうまく話せないから
- ② 探しても希望する就職先が見つからないから
- ③ 外国人を雇用する企業が少ないから
2. 働く意欲がわからないから
3. 生活していく上で必要がないから
4. 以前の勤務先の人間関係がよくなかったから
5. その他（具体的に）

9

しゃがいせいかつつぽん
社会生活一般についてお聞きします

とくい
問36

現在、あなたには、仲良くしている日本人はいますか。a. 職場、b. 学校、
c. 地域、d. 職場・学校・地域以外のそれぞれについて、あてはまる番号
を1つ選び、○をつけてください。

- | | | | | | |
|-------------------------|-----------------|-------------------|---------------------------|------------|--------------|
| a. 職場 | 1. 何でも話し合える人がいる | 2. たまに立ち話をする人ならいる | 3. あいさつをすすめる程度の人
しかいない | 4. まったくいない | 5. 働いていない |
| b. 学校 | 1. 何でも話し合える人がいる | 2. たまに立ち話をする人ならいる | 3. あいさつをすすめる程度の人
しかいない | 4. まったくいない | 5. 学校に行っていない |
| c. 地域
(同じ町内
の人など) | 1. 何でも話し合える人がいる | 2. たまに立ち話をする人ならいる | 3. あいさつをすすめる程度の人
しかいない | 4. まったくいない | |
| d. 職場・
学校・地
域以外 | 1. 何でも話し合える人がいる | 2. たまに立ち話をする人ならいる | 3. あいさつをすすめる程度の人
しかいない | 4. まったくいない | |

とくい
問37

あなたには、次のA～Dのようなことで悩んだり困ったりした場合、
家族や親戚以外で、誰にまだどこに相談をしようと思えますか。

A～Dのそれぞれについて、あてはまる番号をいくつでも選び、○をつ
けてください。

A 人間関係	1. 母国出身の友人・知人	2. 近所の人	3. 日本人の友人・知人 (2以外)	4. 母国出身者や日本人以外の友人・知人	5. 日本語教室の関係者	6. 民間の相談所やボランティア団体	7. 市役所、町村役場、県庁などの窓口	8. 市町村国際交流協会や宮城県国際化協会	9. 自分で解決するので、相談しない	10. 相談する相手がない	11. その他 ()
B 文化・ 習慣	1. 母国出身の友人・知人	2. 近所の人	3. 日本人の友人・知人 (2以外)	4. 母国出身者や日本人以外の友人・知人	5. 日本語教室の関係者	6. 民間の相談所やボランティア団体	7. 市役所、町村役場、県庁などの窓口	8. 市町村国際交流協会や宮城県国際化協会	9. 自分で解決するので、相談しない	10. 相談する相手がない	11. その他 ()
C 家族・ 生活	1. 母国出身の友人・知人	2. 近所の人	3. 日本人の友人・知人 (2以外)	4. 母国出身者や日本人以外の友人・知人	5. 日本語教室の関係者	6. 民間の相談所やボランティア団体	7. 市役所、町村役場、県庁などの窓口	8. 市町村国際交流協会や宮城県国際化協会	9. 自分で解決するので、相談しない	10. 相談する相手がない	11. その他 ()
D 仕事・ 学業	1. 母国出身の友人・知人	2. 近所の人	3. 日本人の友人・知人 (2以外)	4. 母国出身者や日本人以外の友人・知人	5. 日本語教室の関係者	6. 民間の相談所やボランティア団体	7. 市役所、町村役場、県庁などの窓口	8. 市町村国際交流協会や宮城県国際化協会	9. 自分で解決するので、相談しない	10. 相談する相手がない	11. その他 ()

問38

あなたは今後、地域の日本人とどのような交流をしたいと思いますか。あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてください。

1. 地域の行事にもっと参加したい
2. いっしょにボランティア活動などの社会活動をした
3. 日本人に母国の文化を紹介したい
4. 日本の文化や習慣を学びたい
5. いっしょに食事や買い物に行きたい
6. 家庭のことや子育てなどについて話し合いたい
7. とくに交流したいとは思わない
8. その他（具体的に： ）

問39

あなたは生活上、外国人だということやいやな経験やつらい思いをした（している）ことがありますか。あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1. よくある
2. 時々ある
3. ほとんどない
4. まったくない
5. 過去に経験したことがあるが、今はほとんどない・まったくくない

**問39で選択肢1、2、5と回答された方は問40へ、
選択肢3、4と回答された方は問41へお進みください**

問40

問39で「1.」「2.」「5.」に○をつけた方にお聞きします。それほど
のようなときに感じましたか。あてはまる番号をいくつでも選び、○を
つけてください。

1. 任事中
2. 日本人の友人との交際するとき
3. 住まいを探すとき
4. 仕事を探すとき
5. 近所との付き合いの中で
6. 子どもが学校などで
7. 買い物や食事をしているとき
8. 公的機関などでの手続きのとき
9. 移動しているとき(歩いているときや公共交通機関を利用しているときなど)
10. テレビ・インターネットなどのメディアの情報で
11. その他（具体的に： ）

問41

あなたが生活している上で、現在最も困っていることは何ですか。あてはまる番号を3つまで選び、○をつけてください。

1. 子育て・教育
2. 病氣・けが
3. 就職
4. 仕事
5. 生活費用
6. 住宅
7. 日本語の理解
8. 家族の介護
9. 老後の生活
10. 家族との人間関係
11. 家族に関する問題(1、8～10を除く)
12. 友人・知人や近所の人との人間関係
13. とくになし
14. その他（具体的に： ）

問42

あなたは、仕事や学業以外で何らかの社会活動をしていますか。またはどのようなことを考えていますか。それぞれについて、あてはまる番号を選び、○をつけてください。

1. 母国語や母国文化を生かせる交流活動	1. している	2. してみたい
3. する予定なし	3. する予定なし	
2. 自分の仕事や学業(専攻)を生かせる交流活動	1. している	2. してみたい
3. する予定なし	3. する予定なし	
3. 特技や趣味を生かせる文化・スポーツ活動	1. している	2. してみたい
3. する予定なし	3. する予定なし	
4. 住民として地域のために役立つ活動	1. している	2. してみたい
3. する予定なし	3. する予定なし	
5. 福祉や国際協力などのボランティア活動	1. している	2. してみたい
3. する予定なし	3. する予定なし	
6. 母国出身者のために役立つ活動	1. している	2. してみたい
3. する予定なし	3. する予定なし	

10 ぼうさい かんせんしょうたいさく 防災や感染症対策についてお聞きします

『津波』、『洪水』、『土砂災害』、『緊急安全確保』、『避難指示』などの意味を知っていますか。

それぞれの言葉について、あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

問43

津波	1. 聞いたことがある	2. 意味も知っている	3. 知らない
洪水	1. 聞いたことがある	2. 意味も知っている	3. 知らない
土砂災害	1. 聞いたことがある	2. 意味も知っている	3. 知らない
緊急安全確保	1. 聞いたことがある	2. 意味も知っている	3. 知らない
避難指示	1. 聞いたことがある	2. 意味も知っている	3. 知らない

問44

災害から自分の身を守るために、必要であると感じていることは何ですか。あてはまる番号を3つまで選び、○をつけてください。

1. 災害に関する知識を身につける	2. 防災用品を準備する
3. 住宅の耐震化や家具の固定を行う	
4. 避難所の場所や避難経路を確認しておく	
5. 地域の避難訓練に参加する	
6. 母国語での情報提供を受ける	7. 日本語の学習をする
8. 日ごろから近所との交流を持つ	
9. その他（具体的に：_____）	

問45

新型コロナウイルス感染症の影響で、どのような困りごとがありますか。あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてください。

1. 信頼できる情報をどこから得ればよいかわからない
2. 情報があっても母国語で発信されていないため、わからない
3. 支援策があっても利用方法・申請方法がわからない
4. どこに相談してよいかわからない
5. 困った時に頼れる人がいない
6. 仕事がなくなり、収入が減少した
7. 入国制限や隔離などで、出入国が思うようにできない
8. その他（具体的に：_____）

問46

あなたは、災害（防災）や感染症（予防・対策）に関する情報をどこから得ていますか。

あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてください。

1. 外国人住民向け相談窓口（みやぎ外国人相談センターや市町村窓口等）	4. 公的機関のホームページ
2. テレビ・ラジオ	3. 新聞・雑誌
5. 宮城県国際化協会のホームページ	6. 職場・学校
7. 家族	8. 日本人の友人・知人
10. 近所の日本人・町内会の回覧板	9. 母国出身の友人・知人
12. 母国の大使館・領事館	11. ボランティア団体
14. 入手する方法がない	13. SNS
15. その他（具体的に：_____）	

11 行政についてお聞きします

市役所や町役場、出入国管理局など行政の施設を利用するうえで、困ったことがありますか。

あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1. よくある
2. 時々ある
3. ほとんどない
4. まったくない

問47

問47で選択肢1、2と回答された方は問48へ、
選択肢3、4を回答された方は問49へお進みください

問47で「1.」「2.」に○をつけた方にお聞きします。それほどのよう
なときに感じましたか。

あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてください。

1. どのようなサービスがどこで受けられるのかわからない
2. 施設の種類、利用時間などの情報が入手できない
3. 窓口で言葉が通じない
4. 書類の内容、書き方がわからない
5. 色々な書類をそろえるのが難しい
6. その他（具体的に：)

問49

行政が提供する情報のうち、充実してほしい情報がありますか。
あてはまる番号を3つまで選び、○をつけてください。

1. 就職・雇用
2. 病院・医療
3. 出産・育児
4. 教育制度・学校
5. 税金、健康保険、年金
6. 事故や災害など緊急時の対応
7. 在留資格、住民登録
8. 公営住宅
9. 公共交通機関
10. ゴミの出し方
11. 地域の日本語を学べる場所
12. 外国語で相談できる窓口
13. 通訳・翻訳などのボランティアに参加する方法
14. 地域での交流イベントや祭り・町内会行事
15. とくになし
16. その他（具体的に：)

問50

宮城県では、外国人住民に必要な情報を届けるため、「外国人住民向け
情報発信プラットフォーム（外国語対応）」の設置を検討しています。
あなたは、「外国人住民向け情報発信プラットフォーム」に、どのよう
な情報や機能があると便利だと思いますか。
あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてください。

1. 防災（災害情報・避難情報）の情報サイト
2. 地域での交流イベントや祭り・町内会行事の情報サイト
3. 観光の情報サイト
4. 医療機関の情報サイト
5. 就職の情報サイト
6. その他の情報サイト（具体的に：)
7. 防災情報（災害情報・避難情報など）の通知機能
8. 地域での交流イベントや祭り・町内会行事の通知機能
9. 観光情報の通知機能
10. 医療情報（感染症予防・予防接種情報など）の通知機能
11. その他の通知機能（具体的に：)

令和4年度宮城県
多文化共生アンケート調査（外国人対象調査）
調査結果報告書

令和5年3月発行

【編集・発行】宮城県経済商工観光部国際政策課
〒980-8570 仙台市青葉区本町三丁目8番1号
TEL 022-211-2972 FAX 022-268-4639
URL <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kokusaisei/>

【集計・分析】株式会社サーベイリサーチセンター